

令和8年度

定時総会

令和8年6月19日（金）

オーバード・ホール 中ホール



「看護の日」キャラクター
富山県かんどちゃん



公益社団法人 富山県看護協会

目 次

看護職の倫理綱領	3
富山県看護協会の基本理念	4
令和 8 年度定時総会開催にあたって	5
令和 8 年度定時総会プログラム	6

議決事項

第 1 号議案 令和 8 年度富山県看護協会改選役員の選任	9
第 2 号議案 令和 9 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	10
第 3 号議案 令和 8 年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	11
第 4 号議案 令和 7 年度収支決算報告及び監査報告	12
第 5 号議案 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正	34
第 6 号議案 富山県看護協会会費の一部減額	36
第 7 号議案 役員の報酬等の総額上限の変更	37

報告事項

報告事項 1 令和 7 年度事業報告	41
報告事項 2 令和 8 年度重点事業及び事業計画	51
報告事項 3 令和 8 年度収支予算	58

各種報告

1 令和 7 年度理事会報告	71
2 令和 7 年度職能委員会報告	76
3 令和 7 年度委員会報告	81
4 令和 7 年度支部報告	88

資 料

令和 8 年度	優良看護職員表彰者名簿	105
---------	-------------	-----

[報告事項 1 令和 7 年度事業報告資料]

令和 7 年度	研修会等実施状況報告	106
令和 7 年度	認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	120
令和 7 年度	富山県ナースセンター事業報告	121
令和 7 年度	富山県訪問看護総合支援センター事業報告	136
令和 7 年度	訪問看護ステーションひよどり事業報告	144
令和 7 年度	訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	147
令和 7 年度	ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	152
令和 7 年度	神明・五福地域包括支援センター事業報告	154
令和 7 年度	高齢者保健事業推進基盤整備事業報告	157
令和 8 年度	富山県行政への要望事項	158
令和 7 年度	行政機関および関連団体等の委員等就任状況	161
令和 7 年度	他団体等への推薦	163
令和 7 年度	後援等の報告	164

[各種報告 2 令和 7 年度職能委員会報告資料]

統括保健師の配置と育成 統括保健師が役割を発揮するために	保健師職能委員会	166
保健師・助産師交流会報告 気がかりな妊産婦への支援	保健師職能委員会	168
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	170
多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務分担・協働に関する調査結果報告	看護師職能Ⅰ委員会	171
資質向上研修（小規模事業所・福祉施設等対象）報告	看護師職能Ⅱ委員会	174

[各種報告 3 令和 7 年度委員会報告資料]

看護職の勤務間インターバルに関する調査結果報告	社会経済福祉委員会	175
看護倫理活動に関する調査結果報告	看護倫理委員会	178
看護職の職場におけるハラスメントの調査結果報告	医療安全委員会	181

[各種報告 4 令和 7 年度支部報告資料]

令和 7 年度	支部長会報告	支部	185
---------	--------	----	-----

[各種名簿等]

令和 7 年度	富山県看護協会施設別・職種別会員数	186
令和 7 年度	受章(彰)者名簿	188
令和 7 年度	富山県看護協会役員及び委員名簿	189
令和 7 年度	富山県看護協会支部役員名簿	192
令和 8 年度	日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	193

[参考資料]

会員数と入会率	194
都道府県看護協会一覧表	196
都道府県ナースセンター一覧表	197
公益社団法人富山県看護協会定款	198
公益社団法人富山県看護協会組織図	210
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	211

看護職の倫理綱領

2021年 日本看護協会

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

本文（抜粋）

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

富山県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

(平成22年3月富山県看護協会3月通常総会にて決定)

令和 8 年度 定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会
会 長 岡本 里美

会員の皆様には、日頃より看護協会の事業運営に、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2040年に向けて看護を取り巻く環境は、少子高齢化のさらなる進展、生産年齢人口減少下におけるDXや働き方改革の推進、気候変動による健康への影響などにより、大きく変化していきます。日本看護協会は、昨年公表した「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳を まもり支える看護～」の中で、看護が目指すものとして、【その人らしさを尊重する生涯を通じた支援】、【専門職としての自律した判断と実践】、【キーパーソンとしての多職種との協働】の3つを掲げています。そして、その実現の前提としては、看護職自身がウェルビーイングであること、つまり日々の看護実践にやりがいを実感でき、心身ともに充実して働き続けられる環境にあることが重要です。

国において2040年を見据えて新たな地域医療構想の策定が進められており、入院・外来・在宅・介護連携等も含めた地域完結型の医療・介護提供体制の構築、医療・介護DXの迅速な実装が推進されます。看護においても、看護DXの現場への浸透を図ることや保健・医療・介護を切れ目なく提供するための看護職間や多職種との連携・協働の充実が求められることから、富山県看護協会でも持続可能な看護提供体制の推進に向けて取り組んでまいります。

そして、看護職が専門職として人々の期待に応え役割を発揮するためには、それぞれの看護職が変化する社会状況やニーズに合わせて新たな知識や技術などの継続的な学習に主体的に取り組み、その能力の開発・維持・向上を図り続けるための「生涯学習」が必要不可欠です。本会は、看護職の生涯学習を支援するための研修体系構築を進めるため、新たな地域医療構想に向けての協議と併行して、看護職の人材確保・育成について行政機関や教育機関、医療・介護現場管理者等との協議の場を持てるよう努めます。そこから、看護職が生涯を通じて学ぶことができる環境づくりに繋げていきたいと考えます。

また、本会は災害支援ナース養成研修を2023年から実施しており、昨年度までに201名の修了者が災害・感染症医療業務従事者として国（厚生労働省）に登録されています。今年度は、いつ起こるかかわからない災害派遣に備えて、災害支援ナースフォローアップ研修及び派遣調整訓練を実施します。

そして、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提とし、定款第5条の6事業に基づいて今年度の活動を行います。

令和8年度の重点事業の柱は、以下の4点です。

- 1 看護職のウェルビーイングの向上
- 2 持続可能な看護提供体制の推進
- 3 地域における看護機能の強化
- 4 看護職の主体的なキャリア形成支援

なお、重点事業の内容や事業計画につきましては、定時総会要綱をご覧ください。

本日の総会におきましては、令和8年度富山県看護協会役員の選任、定款の一部改正など7件の議案を提出しておりますので、審議をお願いいたします。

会員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、実り多き総会になることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

令和 8 年度 定時総会プログラム

日 時 令和 8 年 6 月 19 日 (金) 13:30～16:00
場 所 オーバード・ホール 中ホール

- 13:00 開場
- 13:25 オリエンテーション
- 13:30 開会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
来賓祝辞・来賓紹介
表彰 富山県部門功労表彰（看護職員）
富山県看護協会会長表彰
- 14:00 休憩
- 14:10 議長団の選出及び議事録署名人の選任
- 14:15 【議決事項】
第 1 号議案 令和 8 年度富山県看護協会改選役員の選任
第 2 号議案 令和 9 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任
第 3 号議案 令和 8 年度選挙管理委員及び推薦委員の承認
第 4 号議案 令和 7 年度収支決算報告及び監査報告
第 5 号議案 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正
第 6 号議案 富山県看護協会会費の一部減額
第 7 号議案 役員の報酬等の総額上限の変更
- 【報告事項】
報告事項 1 令和 7 年度事業報告
報告事項 2 令和 8 年度重点事業及び事業計画
報告事項 3 令和 8 年度収支予算
- 【各種報告】
1 令和 7 年度理事会報告
2 令和 7 年度職能委員会報告
3 令和 7 年度委員会報告
4 令和 7 年度支部報告
- 15:45 議長団解任
- 15:50 看護職の体験談表彰
- 15:55 新任役員紹介
退任役員紹介・代表あいさつ
副会長あいさつ
- 16:00 閉会

議 決 事 項

第 1 号議案	令和 8 年度富山県看護協会改選役員の選任	9
第 2 号議案	令和 9 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	10
第 3 号議案	令和 8 年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	11
第 4 号議案	令和 7 年度収支決算報告及び監査報告	12
第 5 号議案	公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正	34
第 6 号議案	富山県看護協会会費の一部減額	36
第 7 号議案	役員の報酬等の総額上限の変更	37

令和 8 年度富山県看護協会改選役員の選任（案）

改選役員候補者

（五十音順）

会長（改選 1 名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
岡 本 里 美	公益社団法人富山県看護協会	助産師	再

副会長（改選 2 名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
渋谷 美保子	富山県がん総合相談支援センター	看護師	再
中 島 眞由美	一般社団法人しあわせKAIGOネットワーク	保健師	再

理事（改選 9 名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
榮前田 美穂子	南砺市民病院	看護師	新
小 原 留 美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護ステーション	看護師	再
柏 崎 由 美	国立大学法人富山大学附属病院	看護師	新
砂 田 みさえ	厚生連滑川病院	助産師	新
中 谷 栄里子	市立砺波総合病院	看護師	新
藤 井 淳 子	公益社団法人富山県看護協会	助産師	再
水 上 みどり	富山県砺波厚生センター	保健師	新
守 田 万寿夫	富山県厚生部	医 師	新
渡 邊 和 美	黒部市民病院	看護師	再

監事（改選 1 名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
四十田 真理子	富山県立中央病院	看護師	新

令和 9 年度 日本看護協会 代議員及び予備代議員の選任（案）

代議員及び予備代議員候補者

(五十音順)

役 職 等	氏 名	所 属	職 種
代 議 員 候 補 者	稲 垣 伸 寿	医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院	准看護師
	小 原 留 美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護ステーション	看護師
	高 長 雅 美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	看護師
	中 島 眞由美	一般社団法人しあわせKAIGOネットワーク	保健師
	中 山 詠 美	公立学校共済組合北陸中央病院	看護師
	林 瑞 穂	あさひ総合病院	看護師
	水 上 みどり	富山県砺波厚生センター	保健師
	森 太貴子	富山赤十字病院	助産師
	吉 田 智 子	公益社団法人富山県看護協会	保健師
予備代議員 候 補 者	荒 井 都 子	小矢部市健康福祉課	保健師
	伊 勢 京	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	准看護師
	大 森 みどり	流杉病院	看護師
	篠 山 留 美	富山市立富山市民病院	看護師
	渋谷 美保子	富山県がん総合相談支援センター	看護師
	高 柳 知 子	高岡市福祉保健部	保健師
	廣 川 絢	富山県立中央病院	助産師
	藤 井 淳 子	公益社団法人富山県看護協会	助産師
	吉 岡 典 子	不二越病院	看護師

令和8年度選挙管理委員及び推薦委員の承認（案）

選挙管理委員及び推薦委員候補者

（五十音順）

委員名	氏 名	所 属	職 種
選挙管理委員 候 補 者	畠 山 和 美	南砺市民病院	看護師
	松 本 陽 子	富山県済生会高岡病院	看護師
推 薦 委 員 候 補 者	池 田 琴 美	黒部市民病院	助産師
	今 井 真由美	市立砺波総合病院	看護師
	岩 脇 智香子	射水市こども福祉課	保健師
	川 村 純 子	富山県中部厚生センター	保健師
	北 村 好 美	射水市民病院	看護師
	杉 川 映 子	滑川市高齢介護課	保健師
	不 破 香 織	かみいち総合病院	看護師
	村 岡 裕 子	国立大学法人富山大学附属病院	助産師
	村 上 優 子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	看護師
	吉 川 和 美	厚生連高岡病院	看護師

令和 7 年度 収支決算報告書（案）及び監査報告

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,619,628	47,865,900	4,753,728
未収税金等	24,671,631	35,205,227	△ 10,533,596
未収消費税等	30,100	0	30,100
流動資産合計	77,321,359	83,071,127	△ 5,749,768
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	1,110,000	910,000	200,000
退職給付引当資産	27,794,074	25,957,336	1,836,738
減価償却引当資産	163,691,709	173,211,738	△ 9,520,029
会館建設引当資産	353,802,949	346,351,050	7,451,899
建築物	291,709,752	302,388,776	△ 10,679,024
構築物	2,665,349	4,096,972	△ 1,431,623
什器備品	1	1	0
土地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	915,347,973	927,490,012	△ 12,142,039
(2) その他固定資産			
構築物	7,661,134	9,143,934	△ 1,482,800
建物附属設備	784,142	0	784,142
什器備品	17,341,452	14,746,321	2,595,131
ソフトウェア	1,488,409	2,258,005	△ 769,596
電話加入権	91,575	91,575	0
敷金	1,500,000	1,500,000	0
長期前払費用	2,265,120	0	2,265,120
その他固定資産合計	31,131,832	27,739,835	3,391,997
固定資産合計	946,479,805	955,229,847	△ 8,750,042
資産合計	1,023,801,164	1,038,300,974	△ 14,499,810
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,877,801	12,582,106	△ 704,305
前受会費	47,064,000	38,737,000	8,327,000
預り金	1,307,294	562,444	744,850
役員賞与引当金	1,413,965	1,232,000	181,965
賞与引当金	8,354,515	7,360,724	993,791
未払消費税	0	2,024,500	△ 2,024,500
流動負債合計	70,017,575	62,498,774	7,518,801
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	1,960,000	910,000	1,050,000

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付引当金	26,738,604	25,957,336	781,268
固定負債合計	28,698,604	26,867,336	1,831,268
負債合計	98,716,179	89,366,110	9,350,069
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	210,268,552	216,605,264	△ 6,336,712
指定正味財産合計	210,268,552	216,605,264	△ 6,336,712
(うち特定資産への充当額)	234,201,936	236,065,716	△ 1,863,780
2. 一般正味財産	714,816,433	732,329,600	△ 17,513,167
(うち特定資産への充当額)	654,078,701	664,556,960	△ 10,478,259
正味財産合計	925,084,985	948,934,864	△ 23,849,879
負債及び正味財産合計	1,023,801,164	1,038,300,974	△ 14,499,810

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	[391,676]	[0]	[391,676]
特 定 資 産 受 取 利 息	391,676	0	391,676
受 取 会 費	[53,130,000]	[53,502,000]	[△ 372,000]
受 取 会 費	53,130,000	53,502,000	△ 372,000
受 取 会 館 運 営 基 金	[17,330,000]	[16,740,000]	[590,000]
受 取 会 館 運 営 基 金	17,330,000	16,740,000	590,000
事 業 収 益	[110,839,970]	[114,488,381]	[△ 3,648,411]
受 講 料 収 益	30,131,800	23,987,636	6,144,164
学 会 事 業 収 益	1,861,500	1,743,000	118,500
訪 問 看 護 事 業 収 益	45,890,148	51,413,233	△ 5,523,085
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	4,446,435	8,573,401	△ 4,126,966
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,280,880	19,402,280	△ 121,400
介 護 予 防 支 援 費 収 益	8,315,273	8,140,282	174,991
認 定 調 査 収 益	376,200	320,100	56,100
そ の 他 の 事 業 収 益	537,734	908,449	△ 370,715
受 取 補 助 金 等	[71,335,836]	[72,590,802]	[△ 1,254,966]
受 取 県 補 助 金 等	(57,390,546)	(60,105,646)	(△ 2,715,100)
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	1,823,000	2,035,000	△ 212,000
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 職 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	28,036,000	0	28,036,000
受 取 就 労 相 談 事 業 受 託 収 益	0	26,241,000	△ 26,241,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	0	1,610,000	△ 1,610,000
受 取 看 護 職 員 等 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	0	3,207,000	△ 3,207,000
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	17,100,000	17,100,000	0
受 取 看 護 の 心 普 及 事 業 受 託 収 益	0	785,000	△ 785,000
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託	0	917,000	△ 917,000
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託	790,706	642,646	148,060
受 取 IHEAT 要 員 人 材 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	2,072,840	0	2,072,840
受 取 日 看 協 受 託 収 益	(13,285,290)	(11,885,156)	(1,400,134)
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,059,080	2,064,930	△ 5,850
受 取 法 人 会 員 助 成 金	9,063,280	8,227,270	836,010
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	477,850	692,956	△ 215,106
受 取 日 看 協 受 託 収 益	1,685,080	900,000	785,080
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	(660,000)	(600,000)	(60,000)
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	660,000	600,000	60,000
受 取 負 担 金	[235,818]	[235,818]	[0]
受 取 負 担 金	235,818	235,818	0

科 目					当年度	前年度	増 減
受 取 助 成 金	受 取 寄 付 金	受 取 寄 付 金	受 取 補 助 金	受 取 振 替 金	[633,500]	[529,207]	[104,293]
受 取 寄 付 金	受 取 寄 付 金	受 取 寄 付 金	受 取 補 助 金	受 取 振 替 金	[500,000]	[1,620,000]	[△ 1,120,000]
受 取 寄 付 金	受 取 寄 付 金	受 取 寄 付 金	受 取 補 助 金	受 取 振 替 金	500,000	1,620,000	△ 1,120,000
受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	[6,336,712]	[6,336,712]	[0]
受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	[4,241,748]	[3,737,284]	[504,464]
受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	(254,519)	(461)	(254,058)
受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	254,519	461	254,058
受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	受 取 補 助 金	3,987,229	3,736,823	250,406
經常収益計					264,975,260	269,780,204	△ 4,804,944
(2) 經常費用							
事 業 費	役 員 報 酬	給 料 手 賃	臨 時 雇 賃	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	[243,428,029]	[247,385,933]	[△ 3,957,904]
役 員 報 酬	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	8,071,884	7,816,983	254,901
給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	87,214,905	85,172,833	2,042,072
臨 時 雇 賃	臨 時 雇 賃	臨 時 雇 賃	臨 時 雇 賃	臨 時 雇 賃	21,433,712	24,135,428	△ 2,701,716
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	504,000	0
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	6,402,609	2,982,658	3,419,951
福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	19,690,780	21,547,570	△ 1,856,790
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,272,569	1,108,800	163,769
賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,971,176	7,078,174	893,002
旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	3,919,473	3,592,547	326,926
会 議 費	会 議 費	会 議 費	会 議 費	会 議 費	220,000	0	220,000
通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	6,657,249	6,521,348	135,901
減 価 償 却 費	減 価 償 却 費	減 価 償 却 費	減 価 償 却 費	減 価 償 却 費	(16,287,076)	(14,902,864)	(1,384,212)
建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	8,543,219	8,543,219	0
建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	建 物 減 価 償 却 費	10,686	0	10,686
構 築 物 減 価 償 却 費	構 築 物 減 価 償 却 費	構 築 物 減 価 償 却 費	構 築 物 減 価 償 却 費	構 築 物 減 価 償 却 費	2,628,100	2,628,100	0
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	3,307,994	1,522,679	1,785,315
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	1,797,077	2,208,866	△ 411,789
消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	0	359,700	△ 359,700
消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	消 耗 什 器 備 品 費	2,653,190	3,662,899	△ 1,009,709
修 繕 費	修 繕 費	修 繕 費	修 繕 費	修 繕 費	164,903	587,775	△ 422,872
印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	5,213,660	5,436,609	△ 222,949
新 燃 料 費	新 燃 料 費	新 燃 料 費	新 燃 料 費	新 燃 料 費	618,288	739,549	△ 121,261
光 熱 水 料 費	光 熱 水 料 費	光 熱 水 料 費	光 熱 水 料 費	光 熱 水 料 費	615,906	774,311	△ 158,405
賃 借 料 費	賃 借 料 費	賃 借 料 費	賃 借 料 費	賃 借 料 費	5,534,280	5,354,895	179,385
保 險 料 費	保 險 料 費	保 險 料 費	保 險 料 費	保 險 料 費	11,133,735	11,307,669	△ 173,934
諸 謝 報 金 費	諸 謝 報 金 費	諸 謝 報 金 費	諸 謝 報 金 費	諸 謝 報 金 費	1,138,692	1,233,698	△ 95,006
租 税 公 課 金 費	租 税 公 課 金 費	租 税 公 課 金 費	租 税 公 課 金 費	租 税 公 課 金 費	12,081,745	12,555,321	△ 473,576
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	3,492,250	4,399,817	△ 907,567
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	7,160,780	8,122,726	△ 961,946
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	1,895,190	2,714,622	△ 819,432
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	2,556,972	3,202,385	△ 645,413
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	7,856,839	10,008,941	△ 2,152,102
支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	支 払 負 担 金 費	1,666,166	1,561,811	104,355
管 理 費	管 理 費	管 理 費	管 理 費	管 理 費	[26,836,582]	[25,234,804]	[1,601,778]
役 員 報 酬	役 員 報 酬	役 員 報 酬	役 員 報 酬	役 員 報 酬	5,861,256	5,691,322	169,934
給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	給 料 手 賃	4,590,258	4,482,781	107,477
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336,000	336,000	0
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	188,379	56,086	132,293
福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	64,990	14,050	50,940
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	141,396	123,200	18,196
賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	賞 与 引 当 金 繰 入 額	383,339	282,550	100,789
旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	282,390	400,735	△ 118,345
会 議 費	会 議 費	会 議 費	会 議 費	会 議 費	117,140	175,400	△ 58,260
通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	162,148	148,304	13,844

科 目	当年度	前年度	増 減
減 価 償 却 費	(3,697,685)	(2,799,415)	(898,270)
建 物 減 価 償 却 費	2,135,805	2,135,805	0
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費	2,672	0	2,672
構 築 物 減 価 償 却 費	286,323	286,323	0
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	823,616	377,287	446,329
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	449,269	0	449,269
消 耗 品	88,584	101,538	△ 12,954
修 繕 費	41,226	146,944	△ 105,718
印 刷 製 本 費	1,830,601	1,872,872	△ 42,271
新 聞 図 書 費	94,560	97,220	△ 2,660
燃 料 水 料 費	19,622	24,458	△ 4,836
光 熱 水 料 費	1,383,570	1,338,724	44,846
賃 借 料 料 費	3,200,174	3,310,562	△ 110,388
保 険 料 料 費	127,528	35,880	91,648
諸 謝 金	104,500	120,500	△ 16,000
租 税 公 課	1,798,820	2,037,224	△ 238,404
支 払 負 担 金	304,836	339,081	△ 34,245
支 払 寄 付 金	0	5,000	△ 5,000
委 託 費	774,125	502,150	271,975
雑 費	1,243,455	792,808	450,647
経常費用計	270,264,611	272,620,737	△ 2,356,126
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,289,351	△ 2,840,533	△ 2,448,818
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,289,351	△ 2,840,533	△ 2,448,818
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固 定 資 産 売 却 益	[0]	[300,000]	[△ 300,000]
土 地 売 却 益	0	300,000	△ 300,000
経常外収益計	0	300,000	△ 300,000
(2) 経常外費用			
雑 損 失	[12,223,816]	[3,410,000]	[8,813,816]
経常外費用計	12,223,816	3,410,000	8,813,816
当期経常外増減額	△ 12,223,816	△ 3,110,000	△ 9,113,816
当期一般正味財産増減額	△ 17,513,167	△ 5,950,533	△ 11,562,634
一般正味財産期首残高	732,329,600	738,280,133	△ 5,950,533
一般正味財産期末残高	714,816,433	732,329,600	△ 17,513,167
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 6,336,712]	[△ 6,336,712]	[0]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(△ 6,336,712)	(△ 6,336,712)	(0)
受 取 補 助 金 振 替 額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	216,605,264	222,941,976	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	210,268,552	216,605,264	△ 6,336,712
Ⅲ 正味財産期末残高	925,084,985	948,934,864	△ 23,849,879

予算対比正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[0]	[391,676]	[△ 391,676]
特定資産受取利息	0	391,676	△ 391,676
受取会費	[54,000,000]	[53,130,000]	[870,000]
受取会費	54,000,000	53,130,000	870,000
受取会館運営基金	[16,250,000]	[17,330,000]	[△ 1,080,000]
受取会館運営基金	16,250,000	17,330,000	△ 1,080,000
事業収益	[131,217,000]	[110,839,970]	[20,377,030]
受講料収益	29,522,000	30,131,800	△ 609,800
学会事業収益	1,900,000	1,861,500	38,500
訪問看護事業収益	58,800,000	45,890,148	12,909,852
居宅介護支援費収益	13,114,000	4,446,435	8,667,565
地域包括支援センター受託収益	19,375,000	19,280,880	94,120
介護予防支援費収益	6,966,000	8,315,273	△ 1,349,273
認定調査収益	284,000	376,200	△ 92,200
その他の事業収益	1,256,000	537,734	718,266
受取補助金等	[77,885,000]	[71,335,836]	[6,549,164]
受取県補助金等	(59,827,000)	(57,390,546)	(2,436,454)
受取看護職員研修補助金	2,268,000	2,268,000	0
受取看護職員定着支援事業補助金	420,000	420,000	0
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	1,823,000	1,823,000	0
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会	2,050,000	2,050,000	0
受取看護職員資質向上実務受託収益	820,000	820,000	0
受取看護職確保・定着推進事業	28,036,000	28,036,000	0
受取訪問看護推進事業受託収益	510,000	510,000	0
受取訪問看護総合支援センター事業受託収益	17,100,000	17,100,000	0
受取看護職員就労環境改善事業受託収益	1,200,000	1,200,000	0
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益	300,000	300,000	0
受取医療的ケア児等訪問看護体制整備事業受託	2,200,000	790,706	1,409,294
受取IHEAT要員人材確保・定着推進事業	2,100,000	2,072,840	27,160
受取看護補助者の確保・定着推進事業	1,000,000	0	1,000,000
受取日看協受託収益	(11,481,000)	(13,285,290)	(△ 1,804,290)
受取会員登録事務受託費収益	2,058,000	2,059,080	△ 1,080
受取法人会員助成金	8,223,000	9,063,280	△ 840,280
受取日本看護協会主催事業収益	0	477,850	△ 477,850
受取地域の实情に応じた看護職確保推進事業	1,200,000	0	1,200,000
受取日看協受託収益	0	1,685,080	△ 1,685,080
受取補助金振替額	6,577,000	0	6,577,000
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	(0)	(660,000)	(△ 660,000)
受高齢者保健事業推進基盤整備事業	0	660,000	△ 660,000
受取負担金	[0]	[235,818]	[△ 235,818]
受取負担金	0	235,818	△ 235,818
受取助成金	[0]	[633,500]	[△ 633,500]
受取寄付金	[0]	[500,000]	[△ 500,000]
受取寄付金	0	500,000	△ 500,000
受取補助金振替額	[0]	[6,336,712]	[△ 6,336,712]
雑収	[2,927,000]	[4,241,748]	[△ 1,314,748]
受取利息	(0)	(254,519)	(△ 254,519)
受取利息	0	254,519	△ 254,519

科 目				予算額	決算額	差 異
雑	収	益		2,927,000	3,987,229	△ 1,060,229
經常収益計				282,279,000	264,975,260	17,303,740
(2) 經常費用						
事	業	費		[248,233,000]	[243,428,029]	[4,804,971]
役 員 報 酬				7,920,000	8,071,884	△ 151,884
給 料 手 賃				86,900,000	87,214,905	△ 314,905
臨 時 雇 賃				23,853,000	21,433,712	2,419,288
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額				504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額				5,010,000	6,402,609	△ 1,392,609
福 利 厚 生 費				16,104,000	19,690,780	△ 3,586,780
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額				739,000	1,272,569	△ 533,569
賞 与 引 当 金 繰 入 額				6,991,000	7,971,176	△ 980,176
旅 費 交 通 費				4,246,000	3,919,473	326,527
会 議 費				0	220,000	△ 220,000
通 信 運 搬 費				8,021,000	6,657,249	1,363,751
減 価 償 却 費				(16,465,000)	(16,287,076)	(177,924)
建 物 減 価 償 却 費				8,543,000	8,543,219	△ 219
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費				0	10,686	△ 10,686
構 築 物 減 価 償 却 費				2,331,000	2,628,100	△ 297,100
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費				3,008,000	3,307,994	△ 299,994
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費				2,583,000	1,797,077	785,923
消 耗 品 費				4,859,000	2,653,190	2,205,810
修 繕 費				433,000	164,903	268,097
印 刷 製 本 費				5,263,000	5,213,660	49,340
新 聞 図 書 費				639,000	618,288	20,712
燃 料 水 料 費				1,040,000	615,906	424,094
光 熱 水 借 料 費				3,957,000	5,534,280	△ 1,577,280
賃 借 料 費				11,200,000	11,133,735	66,265
保 險 料 費				1,959,000	1,138,692	820,308
諸 謝 金 費				12,221,000	12,081,745	139,255
広 報 費				5,114,000	3,492,250	1,621,750
租 税 公 課				9,189,000	7,160,780	2,028,220
支 払 負 担 金				1,690,000	1,895,190	△ 205,190
支 払 助 成 金				4,222,000	2,556,972	1,665,028
委 託 費				8,179,000	7,856,839	322,161
雑 費				1,515,000	1,666,166	△ 151,166
管 理 費				[30,535,000]	[26,836,582]	[3,698,418]
役 員 報 酬				5,280,000	5,861,256	△ 581,256
給 料 手 賃				4,345,000	4,590,258	△ 245,258
臨 時 雇 賃				200,000	0	200,000
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額				336,000	336,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額				106,000	188,379	△ 82,379
福 利 厚 生 費				1,590,000	64,990	1,525,010
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額				493,000	141,396	351,604
賞 与 引 当 金 繰 入 額				368,000	383,339	△ 15,339
旅 費 交 通 費				868,000	282,390	585,610
会 議 費				145,000	117,140	27,860
通 信 運 搬 費				184,000	162,148	21,852
減 価 償 却 費				(4,117,000)	(3,697,685)	(419,315)
建 物 減 価 償 却 費				2,136,000	2,135,805	195
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費				0	2,672	△ 2,672
構 築 物 減 価 償 却 費				583,000	286,323	296,677
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費				1,398,000	823,616	574,384
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費				0	449,269	△ 449,269
消 耗 品 費				216,000	88,584	127,416

科 目					予算額	決算額	差 異
修繕費					125,000	41,226	83,774
印刷製本費					1,886,000	1,830,601	55,399
新聞図書費					91,000	94,560	△ 3,560
燃料水料					400,000	19,622	380,378
光熱費					1,500,000	1,383,570	116,430
賃借料					3,304,000	3,200,174	103,826
保険料					54,000	127,528	△ 73,528
諸謝金					72,000	104,500	△ 32,500
租税公課					2,400,000	1,798,820	601,180
支払負担金					329,000	304,836	24,164
支払委託金					8,000	0	8,000
雑費					1,375,000	774,125	600,875
					743,000	1,243,455	△ 500,455
経常費用計					278,768,000	270,264,611	8,503,389
評価損益等調整前当期経常増減額					3,511,000	△ 5,289,351	8,800,351
評価損益等計					0	0	0
当期経常増減額					3,511,000	△ 5,289,351	8,800,351
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計					0	0	0
(2) 経常外費用							
雑損失					[0]	[12,223,816]	[△ 12,223,816]
経常外費用計					0	12,223,816	△ 12,223,816
当期経常外増減額					0	△ 12,223,816	12,223,816
当期一般正味財産増減額					3,511,000	△ 17,513,167	21,024,167
一般正味財産期首残高					0	732,329,600	△ 732,329,600
一般正味財産期末残高					3,511,000	714,816,433	△ 711,305,433
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額					[△ 6,627,000]	[△ 6,336,712]	[△ 290,288]
一般正味財産への振替額					(△ 6,627,000)	(△ 6,336,712)	(△ 290,288)
受取補助金振替額					△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
当期指定正味財産増減額					△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
指定正味財産期首残高					221,200,000	216,605,264	4,594,736
指定正味財産期末残高					214,573,000	210,268,552	4,304,448
Ⅲ 正味財産期末残高					218,084,000	925,084,985	△ 707,000,985

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[△4,934]	[396,610]		[391,676]
特定資産受取利息	△4,934	396,610		391,676
受取会費	[26,615,000]	[26,515,000]		[53,130,000]
受取会費	26,615,000	26,515,000		53,130,000
受取会館運営基金	[8,615,000]	[8,715,000]		[17,330,000]
受取会館運営基金	8,615,000	8,715,000		17,330,000
事業収益	[110,368,570]	[58,400]		[110,426,970]
受講料収益	30,131,800	0		30,131,800
学会事業収益	1,861,500	0		1,861,500
訪問看護事業収益	45,831,748	58,400		45,890,148
居宅介護支援費収益	4,355,435	0		4,355,435
地域包括支援センター受託収益	19,280,880	0		19,280,880
介護予防支援費収益	8,298,273	0		8,298,273
認定調査収益	376,200	0		376,200
その他の事業収益	232,734	0		232,734
受取補助金等	[69,828,446]	[1,507,390]		[71,335,836]
受取県補助金等	(57,390,546)	(0)		(57,390,546)
受取看護職員研修補助金	2,268,000	0		2,268,000
受取看護職員定着支援事業補助金	420,000	0		420,000
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	1,823,000	0		1,823,000
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会	2,050,000	0		2,050,000
受取看護職員資質向上実務受託収益	820,000	0		820,000
受取看護職確保・定着推進事業	28,036,000	0		28,036,000
受取訪問看護推進事業受託収益	510,000	0		510,000
受取訪問看護総合支援センター事業受託収益	17,100,000	0		17,100,000
受取看護職員就労環境改善事業	1,200,000	0		1,200,000
受託収益受取精神科訪問看護師育成支援事業	300,000	0		300,000
受託収益受取医療的ケア児等訪問看護体制整備事業	790,706	0		790,706
受託受取IHEAT要員人材確保・定着推進事業	2,072,840	0		2,072,840
受取日看協受託収益	(11,777,900)	(1,507,390)		(13,285,290)
受取会員登録事務受託費収益	1,029,540	1,029,540		2,059,080
受取法人会員助成金	9,063,280	0		9,063,280
受取日本看護協会主催事業収益	0	477,850		477,850
受取日看協受託収益	1,685,080	0		1,685,080
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	(660,000)	(0)		(660,000)
受取高齢者保健事業推進基盤整備事業	660,000	0		660,000
受取負担金	[235,818]	[0]		[235,818]
受取負担金	235,818	0		235,818
受取助成金	[633,500]	[0]		[633,500]
受取寄付金	[500,000]	[0]		[500,000]
受取寄付金	500,000	0		500,000
受取補助金振替額	[6,336,712]	[0]		[6,336,712]
雑収益	[3,090,787]	[1,150,961]		[4,241,748]
受取利息	(243,478)	(11,041)		(254,519)
受取利息	243,478	11,041		254,519
雑収益	2,847,309	1,139,920		3,987,229
経常収益計	226,218,899	38,343,361		264,562,260

科 目				公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
(2) 経常費用							
事	業	費		[243,015,029]	[0]		[243,015,029]
役 員 報 酬				8,071,884	0		8,071,884
給 料 手 当				87,214,905	0		87,214,905
臨 時 雇 賃 金				21,433,712	0		21,433,712
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額				504,000	0		504,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額				6,402,609	0		6,402,609
福 利 厚 生 費				19,690,780	0		19,690,780
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額				1,272,569	0		1,272,569
賞 与 引 当 金 繰 入 額				7,971,176	0		7,971,176
旅 費 交 通 費				3,919,473	0		3,919,473
会 議 費				220,000	0		220,000
通 信 運 搬 費				6,657,249	0		6,657,249
減 価 償 却 費				(16,287,076)	(0)		(16,287,076)
建 物 減 価 償 却 費				8,543,219	0		8,543,219
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費				10,686	0		10,686
構 築 物 減 価 償 却 費				2,628,100	0		2,628,100
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費				3,307,994	0		3,307,994
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費				1,797,077	0		1,797,077
消 耗 品 費				2,653,190	0		2,653,190
修 繕 費				164,903	0		164,903
印 刷 製 本 費				5,213,660	0		5,213,660
新 聞 図 書 費				618,288	0		618,288
光 熱 水 料 費				615,906	0		615,906
賃 借 料 費				5,534,280	0		5,534,280
保 険 料 費				11,133,735	0		11,133,735
諸 謝 金 費				1,138,692	0		1,138,692
広 報 費				12,026,745	0		12,026,745
租 税 公 課 金				3,492,250	0		3,492,250
支 払 負 担 金				7,160,780	0		7,160,780
支 払 助 成 金				1,895,190	0		1,895,190
委 託 費				2,306,972	0		2,306,972
雑 費				7,748,839	0		7,748,839
管 理 費				1,666,166	0		1,666,166
				[0]	[26,836,582]		[26,836,582]
役 員 報 酬				0	5,861,256		5,861,256
給 料 手 当				0	4,590,258		4,590,258
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額				0	336,000		336,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額				0	188,379		188,379
福 利 厚 生 費				0	64,990		64,990
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額				0	141,396		141,396
賞 与 引 当 金 繰 入 額				0	383,339		383,339
旅 費 交 通 費				0	282,390		282,390
会 議 費				0	117,140		117,140
通 信 運 搬 費				0	162,148		162,148
減 価 償 却 費				(0)	(3,697,685)		(3,697,685)
建 物 減 価 償 却 費				0	2,135,805		2,135,805
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費				0	2,672		2,672
構 築 物 減 価 償 却 費				0	286,323		286,323
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費				0	823,616		823,616
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費				0	449,269		449,269
消 耗 品 費				0	88,584		88,584
修 繕 費				0	41,226		41,226
印 刷 製 本 費				0	1,830,601		1,830,601

科 目					公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
新	聞	図	書	費	0	94,560		94,560
燃		料		費	0	19,622		19,622
光	熱	水	料	費	0	1,383,570		1,383,570
賃		借		料	0	3,200,174		3,200,174
保		險		料	0	127,528		127,528
諸		謝		金	0	104,500		104,500
租	税		公	課	0	1,798,820		1,798,820
支	払	負	担	金	0	304,836		304,836
委		託		費	0	774,125		774,125
雑				費	0	1,243,455		1,243,455
経常費用計					243,015,029	26,836,582		269,851,611
評価損益等調整前当期経常増減額					△ 16,796,130	11,506,779		△ 5,289,351
評価損益等計					0	0		0
当期経常増減額					△ 16,796,130	11,506,779		△ 5,289,351
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計					0	0		0
(2) 経常外費用								
雑		損		失	[12,223,816]	[0]		[12,223,816]
経常外費用計					12,223,816	0		12,223,816
当期経常外増減額					△ 12,223,816	0		△ 12,223,816
当期一般正味財産増減額					△ 29,019,946	11,506,779		△ 17,513,167
一般正味財産期首残高					391,330,408	340,999,192		732,329,600
一般正味財産期末残高					362,310,462	352,505,971		714,816,433
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額					[△ 6,336,712]	[0]		[△ 6,336,712]
一般正味財産への振替額					(△ 6,336,712)	(0)		(△ 6,336,712)
受取補助金振替額					△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額					△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
指定正味財産期首残高					216,605,264	0		216,605,264
指定正味財産期末残高					210,268,552	0		210,268,552
Ⅲ 正味財産期末残高					572,579,014	352,505,971		925,084,985

正味財産増減計算書内訳表

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療福祉に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特 定 資 産 運 用 益	0	0	0	0	0	0	△ 4,934	△ 4,934
特 定 資 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	△ 4,934	△ 4,934
受 取 会 費	0	0	0	0	0	0	26,615,000	26,615,000
受 取 会 費	0	0	0	0	0	0	26,615,000	26,615,000
受 取 会 館 運 営 基 金	0	0	0	0	0	0	8,615,000	8,615,000
受 取 会 館 運 営 基 金	0	0	0	0	0	0	8,615,000	8,615,000
事 業 収 益	29,431,800	1,861,500	700,000	77,000	78,695,470	0	0	110,765,770
受 講 料 収 益	29,431,800	0	700,000	0	0	0	0	30,131,800
学 会 事 業 収 益	0	1,861,500	0	0	0	0	0	1,861,500
訪 問 看 護 事 業 収 益	0	0	0	0	45,815,948	0	0	45,815,948
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	0	0	0	0	4,446,435	0	0	4,446,435
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	0	0	0	0	19,280,880	0	0	19,280,880
介 護 予 防 支 援 費 収 益	0	0	0	0	8,315,273	0	0	8,315,273
認 定 調 査 費 収 益	0	0	0	0	376,200	0	0	376,200
そ の 他 の 事 業 収 益	0	0	0	77,000	460,734	0	0	537,734
受 取 補 助 金 等	6,046,080	0	0	30,956,000	18,400,706	2,832,840	9,992,820	68,228,446
受 取 県 補 助 金 等	5,661,000	0	0	29,656,000	18,400,706	2,072,840	0	55,790,546
受 取 日 看 協 受 託 収 益	385,080	0	0	1,300,000	0	100,000	9,992,820	11,777,900
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	0	0	0	0	0	660,000	0	660,000
受 取 負 担 金	0	0	0	0	235,818	0	0	235,818
受 取 負 担 金	0	0	0	0	235,818	0	0	235,818
受 取 助 成 金	0	0	0	0	633,500	0	0	633,500
受 取 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000
受 取 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000
受 取 補 助 金 振 替 額	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712
雑 収 益	499,000	0	0	0	57,406	7,700	2,526,681	3,090,787
受 取 利 息	0	0	0	0	21,688	0	221,790	243,478
雑 収 益	499,000	0	0	0	35,718	7,700	2,304,891	2,847,309
経常収益計	35,976,880	1,861,500	700,000	31,033,000	98,022,900	2,840,540	54,581,279	225,016,099
(2) 経常費用								
事 業 費	28,671,569	1,811,662	126,660	23,916,377	107,083,293	7,466,582	74,148,681	243,224,824
役 員 報 酬	0	0	0	0	0	0	8,071,884	8,071,884
給 料 手 当	0	0	0	7,600,411	60,016,993	0	19,597,501	87,214,905
臨 時 雇 賃 金	0	0	0	6,463,080	10,410,914	0	4,559,718	21,433,712
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	504,000	504,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	2,823,416	0	3,579,193	6,402,609
福 利 厚 生 費	0	0	0	2,025,087	10,891,971	0	6,773,722	19,690,780
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	1,272,569	1,272,569
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	5,319,589	0	2,651,587	7,971,176
旅 費 交 通 費	1,824,210	73,050	4,170	108,723	80,270	1,541,030	277,355	3,908,808
会 議 費	0	0	0	220,000	0	0	0	220,000
通 信 運 搬 費	856,922	45,831	550	747,830	2,980,171	1,138,200	887,745	6,657,249
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0	0	16,287,076	16,287,076
消 耗 品 費	1,163,864	16,750	6,240	62,489	355,690	885,027	163,130	2,653,190
修 繕 費	71,682	0	0	6,402	88,044	3,201	△ 4,426	164,903
印 刷 製 本 費	1,311,623	957,110	0	1,289,691	756,416	454,709	444,111	5,213,660
新 聞 図 書 費	420,169	0	23,100	117,500	53,581	0	3,938	618,288
燃 料 費	0	0	0	0	615,906	0	0	615,906
光 熱 水 料 費	3,312,845	0	0	232,326	476,439	0	1,512,670	5,534,280
賃 借 料 費	6,791,076	335,200	0	807,924	5,254,432	156,413	△ 2,211,310	11,133,735
保 険 料 費	0	0	0	0	899,432	0	282,770	1,182,202
諸 謝 金 費	8,515,685	80,000	46,000	253,250	1,334,800	1,622,010	0	11,851,745
広 告 費	0	0	0	1,931,275	89,281	1,471,694	0	3,492,250
租 税 公 課	800	0	0	600	0	2,200	7,157,180	7,160,780
支 払 負 担 金	80,000	0	0	484,000	1,143,954	0	187,236	1,895,190
支 払 助 成 金	0	0	0	0	2,556,972	0	0	2,556,972
委 託 費	3,312,677	212,300	0	1,541,694	712,795	0	2,077,373	7,856,839
雑 費	1,010,016	91,421	46,600	24,095	222,227	192,098	73,659	1,660,116
経常費用計	28,671,569	1,811,662	126,660	23,916,377	107,083,293	7,466,582	74,148,681	243,224,824

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護 の質の向上 に関する事 業	看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	看護業務の 開発、看護 制度の改善 等に関する 事業	看護職の労 働環境等の 改善及び福 祉の向上に 関する事業	訪問看護の 実施等地域 の保険医療 福祉に関する 事業	その他本会 の目的を達 成するため に必要な事 業	公益目的共 通事業	
評価損益等調整前当期経常増減額	7,305,311	49,838	573,340	7,116,623	△ 9,060,393	△ 4,626,042	△ 19,567,402	△ 18,208,725
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	7,305,311	49,838	573,340	7,116,623	△ 9,060,393	△ 4,626,042	△ 19,567,402	△ 18,208,725
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
雑 損 失	0	0	0	0	3,998,685	0	8,225,131	12,223,816
経常外費用計	0	0	0	0	3,998,685	0	8,225,131	12,223,816
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 3,998,685	0	△ 8,225,131	△ 12,223,816
当期一般正味財産増減額	7,305,311	49,838	573,340	7,116,623	△ 13,059,078	△ 4,626,042	△ 27,792,533	△ 30,432,541
一般正味財産期首残高	58,575,716	7,046,102	8,035,073	153,843,195	107,936,147	△ 57,940,376	49,903,465	327,399,322
一般正味財産期末残高	65,881,027	7,095,940	8,608,413	160,959,818	94,877,069	△ 62,566,418	22,110,932	296,966,781
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	216,476,049	216,605,264
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	210,139,337	210,268,552
Ⅲ 正味財産期末残高	65,881,027	7,095,940	8,608,413	160,959,818	95,006,284	△ 62,566,418	232,250,269	507,235,333

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 重要な会計方針の変更について

変更なし。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①建物……………定額法によっている。

②構築物・什器備品……………定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金……………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②役員賞与引当金……………役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

③退職給付引当金……………職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

④役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	910,000	840,000	640,000	1,110,000
退職給付引当資産	25,957,336	6,590,988	4,754,250	27,794,074
減価償却引当資産	173,211,738	130,038,112	139,558,141	163,691,709
会館建設引当資産	346,351,050	321,589,323	314,137,424	353,802,949
建築物	302,388,776	0	10,679,024	291,709,752
構築物	4,096,972	0	1,431,623	2,665,349
什器備品	1	0	0	1
土地	74,574,139	0	0	74,574,139
小 計	927,490,012	459,058,423	471,200,462	915,347,973
合 計	927,490,012	459,058,423	471,200,462	915,347,973

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役 員 退 職 慰 労 引 当 資 産	1,110,000			1,110,000
退 職 給 付 引 当 資 産	27,794,074			27,794,074
減 価 償 却 引 当 資 産	163,691,709		163,691,709	
会 館 建 設 引 当 資 産	353,802,949		353,802,949	
建 構 物	291,709,752	140,200,409	151,509,343	
構 築 物	2,665,349		2,665,349	
什 器 備 品	1	1		
土 地	74,574,139	74,574,139		
小 計	915,347,973	214,774,549	671,669,350	28,904,074
合 計	915,347,973	214,774,549	671,669,350	28,904,074

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 構 物	563,685,911	271,976,159	291,709,752
構 築 物	47,073,459	44,408,110	2,665,349
什 器 備 品	209,160	209,159	1
※第一研修室演台			
その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	797,500	13,358	784,142
構 築 物	14,828,000	7,166,866	7,661,134
※駐車場ゲート整備関連一式			
什 器 備 品	31,536,168	14,194,716	17,341,452
ソ フ ト ウ ェ ア	15,880,930	14,392,521	1,488,409
電 話 加 入 権	91,575	0	91,575
合 計	674,102,703	352,360,889	321,741,814

5 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	216,605,264	0	6,336,712	210,268,552	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,963,280	8,963,280	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合 計		216,605,264	11,751,280	18,087,992	210,268,552	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	910,000	1,050,000	0	0	1,960,000
退職給付引当金	25,957,336	6,590,988	5,809,720	0	26,738,604
役員賞与引当金	1,232,000	1,413,965	1,232,000	0	1,413,965
賞与引当金	7,360,724	8,354,515	7,360,724	0	8,354,515

財産目録

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	207,326	
		普通預金	運転資金として	52,412,302	
		北陸五福会費収入		48,844,078	
		北陸五福支払		328,724	
		北陸五福受講料収入		41,751	
		北陸五福補助金収入		2,443,549	
		北陸五福ひよどり		242,732	
		北陸五福ひよどり富山		345,383	
		北陸五福包括センター		166,085	
	未収金		県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他	24,671,631	
未収消費税等		確定申告分還付分	30,100		
流動資産合計				77,321,359	
(固定資産) 特定資産	役員退職慰労引当資産 北陸五福普通 退職給付引当資産 北陸五福普通 減価償却引当資産 北陸五福普通 北陸五福定期 会館建設引当資産 北陸五福普通 北陸五福定期 国債	役員退職慰労引当預金	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	1,110,000 (1,110,000)	
		退職給与引当預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	27,794,074 (27,794,074)	
		減価償却引当預金	資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの	163,691,709 (10,669,681)	
		会館建設引当預金	資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの	(153,022,028) 353,802,949 (49,741,283) (230,000,000) (74,061,666)	
		建物	富山市鶴島字川原1907-1		
		建物	融雪設備、キュービクル等	公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	291,709,752
		構築物		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	2,665,349
		構築物	附属設備一式		
		什器備品		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1
		什器備品			
	土地	富山市鶴島字川原1907-1	公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	74,574,139	
	土地				
	その他固定資産	構築物	有料駐車場ゲート等	公益目的事業及び管理運営の用に供している。	7,661,134
		建物附属設備		公益目的事業及び管理運営の用に供している。	784,142
		什器備品等	附属設備一式	公益目的事業及び管理運営の用に供している。	17,341,452
		ソフトウェア		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,488,409
		電話加入権			91,575
		敷金	有料駐車場	公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,500,000
		長期前払費用			2,265,120
		固定資産合計			
	資産合計				1,023,801,164
	(流動負債)	未払金 前受会費 預り金 役員賞与引当金 賞与引当金 未払消費税	令和 8 年度協会会費 令和 8 年 3 月源泉所得税他	令和 8 年 3 月分社会保険料、令和 7 年度 HTC 事業 ST 向け助成金等	11,877,801
				公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け	47,064,000
				令和 8 年 3 月健康保険料他	1,307,294
令和 7 年度消費税			役員に対する賞与の支払いに備えたもの	1,413,965	
			職員に対する賞与の支払いに備えたもの	8,354,515	
			令和 6 年度に支払う消費税	0	
流動負債合計				70,017,575	
(固定負債)	役員退職慰労引当金 退職給付引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	1,960,000	
			職員に対する退職金の支払いに備えたもの	26,738,604	
固定負債合計				28,698,604	
負債合計				98,716,179	
正味財産				925,084,985	

令和 7 年度収支決算（案）の概要

令和 7 年度収支決算（案）の概要（①対前年比）			
科 目	当年度	前年度	差 異
1. 経常増減の部			
（1） 経常収益	264,975,260	269,780,204	△ 4,804,944
（2） 経常費用	270,264,611	272,620,737	△ 2,356,126
（3） 当期経常増減額	△ 5,289,351	△ 2,840,533	△ 2,448,818
2. 経常外増減の部			
（1） 経常外収益	0	300,000	△ 300,000
（2） 経常外費用	12,223,816	3,410,000	8,813,816
（3） 当期経常外増減額	△ 12,223,816	△ 3,110,000	△ 9,113,816
当期一般正味財産増減額	△ 17,513,167	△ 5,950,533	△ 11,562,634
令和 7 年度の経常収益総額は264百万円と前年度の269百万円に対し480万円の減、経常費用総額は270百万円と前年度の272百万円から235万円の減となり、当期経常増減額は528万円の減となった。 一方、令和 7 年度の経常外収益はゼロ、経常外費用は、過年度の未収金、未払金、前受会費において振替処理の誤りがあったため、1,222万円を雑損失として計上した。よって、当期の経常外増減額は1,222万円の減となった。 この結果、当期の一般正味財産増減額は、1,751万円の減となった。			

令和 7 年度収支決算（案）の概要（②対前年比経常収益分析）			
科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1） 経常収益	264,975,260	269,780,204	△ 4,804,944
受取会費	53,130,000	53,502,000	△ 372,000
受取会館運営基金	17,330,000	16,740,000	590,000
事業収益	110,839,970	114,488,381	△ 3,648,411
受講料収益	30,131,800	23,987,636	6,144,164
学会事業収益	1,861,500	1,743,000	118,500
訪問看護事業収益	45,890,148	51,413,233	△ 5,523,085
居宅介護支援費収益	4,446,435	8,573,401	△ 4,126,966
地域包括支援センター（介護予防・認定調査含む）受託収益	27,972,353	27,862,662	109,691
受取補助金等	71,335,836	72,590,802	△ 1,254,966
受取県補助金等	57,390,546	60,105,646	△ 2,715,100
受取日本看護協会受託収益	13,285,290	11,885,156	1,400,134
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	660,000	600,000	60,000
経常収益は、前年度比480万円の減となった。 内訳では、事業収益において、受講料収益は認定看護管理者教育課程の受講料改定や研修受講者数の増加により614万円の増、学会は参加費改定により118千円の微増となった。 訪問看護は、訪問看護件数の減により552万円の減、居宅介護は事業所の廃止に向けた常勤換算数や給付管理数の減により412万円の減、地域包括は109千円の微増となった。 受取補助金は、県補助金で、看護師等就労促進事業（ナースセンターデジタル化推進等）の完了により380万円の減、看護職員認知症対応力向上研修事業の終了により917千円の減、IHEAT要員人材確保育成事業の新規受託により207万円の増などで計271万円の減、日本看護協会受託収益は、教育研修事業助成金の増額や看護職員確保推進に係る委託事業等により140万円の増となった。			

令和 7 年度収支決算（案）の概要（③対前年比経常経費分析）			
科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常費用	270,264,611	272,620,737	△ 2,356,126
事業費	243,428,029	247,385,933	△ 3,957,904
給料手当	87,214,905	85,172,833	2,042,072
臨時雇賃金	21,433,712	24,135,428	△ 2,701,716
消耗品費	2,653,190	3,662,899	△ 1,009,709
賃借料	11,133,735	11,307,669	△ 173,934
広報費	3,492,250	4,399,817	△ 907,567
支払助成金	2,556,972	3,202,385	△ 645,413
委託費	7,856,839	10,008,941	△ 2,152,102
管理費	26,836,582	25,234,804	1,601,778
経常費用は、前年度比235万円の減となった。 内訳では、事業費において、給料手当は常勤職員のベースアップ等により204万円の増、臨時雇賃金については非常勤職員の減により270万円の減となった。消耗品費は前年度物価高騰で増加したが今年度は経費節減により100万円の減、賃借料は173千円の微減となった。広報費は広報媒体等の見直しにより90万円の減、支払助成金は新卒訪問看護師育成試行事業の完了等により64万円の減、委託費は前年度のナースセンターホームページの制作完了等により215万円の減となった。 管理費は、常勤職員の給料手当の見直し等により160万円の増となった。			

令和 7 年度収支決算（案）の概要（④公益事業会計と法人会計）			
科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	226,631,899	38,343,361	264,975,260
(2) 経常費用	243,428,029	26,836,582	270,264,611
(経常費用の構成割合)	90.1%	9.9%	100%
本会の会計区分は、公益目的事業会計と法人会計とで構成し、区分経理している。 公益目的事業会計とは、公衆衛生の向上を目的とした定款に定める 6 事業の実施に係る会計であり、法人会計とは、その他法人の管理運営に係る会計である。 経常収益の総額は264百万円で、内訳は 公益目的事業会計 226百万円、法人会計 38百万円 経常費用の総額は270百万円で、内訳は 公益目的事業会計 243百万円、法人会計 26百万円 経常費用の構成割合は、公益目的事業会計が90.1%、法人会計が9.9%であった。			

令和7年度収支決算（案）の概要（⑤貸借対照表）			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部計	1,023,801,164	1,038,300,974	△ 14,499,810
1. 流動資産（現金預金、未収金等）	77,321,359	83,071,127	△ 5,749,768
2. 固定資産（退職給付引当資産、会館建設引当資産、土地、建物等）	946,479,805	955,229,847	△ 8,750,042
II 負債の部計	98,716,179	89,366,110	9,350,069
1. 流動負債（未払金、前受会費、賞与引当金、未払消費税等）	70,017,575	62,498,774	7,518,801
2. 固定負債（役員退職慰労引当金、退職給付引当金）	28,698,604	26,867,336	1,831,268
III 正味財産の部計	925,084,985	948,934,864	△ 23,849,879
1. 指定正味財産（地方公共団体補助金）	210,268,552	216,605,264	△ 6,336,712
2. 一般正味財産	714,816,433	732,329,600	△ 17,513,167
（参考）流動比率（流動資産／流動負債×100）	110%	133%	—
貸借対照表のポイント 資産は、流動資産、固定資産合せて1,023百万円 負債は、流動負債、固定負債合せて98百万円 差引正味財産は925百万円 流動資産を流動負債で割った「流動比率」は110%と昨年度を下回ったが、不良とされる水準（100%未満）には至っていない。			

令和7年度決算（案）と財務3基準	
【公益認定3基準】 1. 収支相償 公益目的事業に係る収入が、その実施に要する費用を超えないこと 2. 公益目的事業比率 公益目的事業に係る費用の割合が、収益事業、法人の管理費用を加えた事業費全体の50%以上であること 3. 遊休財産額 用途の定まらない蓄積した財産の額が公益目的事業に係る費用の1年分を超えないこと	
1. 収支相償【適合】 公益目的に係る収入（226,631千円）は、公益目的事業の実施に要する費用（243,428千円）を超えていない。 2. 公益目的事業比率【適合】 公益目的事業の実施に要する費用（243,428千円）は、費用の総額（270,264千円）の90.1%で50%を超えている。 3. 遊休財産額【適合】 総資産1,023,801,164円から、負債98,716,179円（流動＋固定）と控除対象財産396,315,953円と資産取得資金（163,691,709円＋353,802,949円）を除いた残額である遊休財産額11,274,374円は、公益目的事業の実施に要する費用（243,428千円）を超えていない。	

監査報告書

令和8年5月13日

公益社団法人富山県看護協会

会長 岡本里美 殿

監事 丸池 小百合 

監事 吉岡 智子 

監事 河村 拓栄 

公益社団法人富山県看護協会定款第29条に基づき、令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和8年5月13日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

公益社団法人 富山県看護協会定款の一部改正（案）

1 賛助会員制度の創設

(1) 提案理由

看護職の日頃の活動や看護を取り巻く現状に対する県民の理解を深めるとともに、看護協会への一般の個人・団体等からの支援・協力の輪を広め、併せて、事業の推進に資するため、新たに賛助会員制度を設ける。

(2) 制度内容

ア 対象者

正会員（法人法上の社員）・名誉会員とは異なり、看護職に限定せず一般の個人・団体等についても、本会の目的に賛同し援助するものを、理事会承認により賛助会員（法人法上の社員ではない）として会員に加える。

イ 年会費

個人会員：3,000円

団体会員：10,000円

ウ 賛助会員へのサービス・メリット

個人会員には、賛助会員特典を提供

団体会員には、看護協会を支援してくれる団体として、ホームページ・広報誌で紹介するなど賛助会員特典を提供

(3) 募集開始時期

令和9年度から賛助会員の募集を開始する。

2 正会員の入会承認手続きの変更

(1) 提案理由

現在の定款では、正会員になろうとする者は、理事会の承認を受けなければならないとされているが、理事会の年間開催数を令和7年度より8回から7回に減少させている中、理事会の開催時期に関わらず円滑な入会手続きを進めるため、会長による入会承認に変更する。

(2) 変更内容

正会員の入会承認を理事会承認から会長承認に変更し、理事会へは報告事項とする。

(3) 変更時期

総会で定款変更後の入会承認から適用する。

3 定款の一部改正（案）新旧対照表

新	旧	備考
(略)	(略)	
第3章 会 員	第3章 会 員	
(法人の構成員)	(法人の構成員)	
第6条 本会の会員は、次の3種とする。	第6条 本会の会員は、次の2種とする。	
(1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。	(1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。	
(2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。	(2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。	

新	旧	備考
(3) 賛助会員 本会の目的に賛同し、その事業の推進に援助する個人又は法人若しくは法人格のない団体で、<u>理事会の承認を受けたもの。</u> 2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。 （入会） 第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、<u>会長の承認</u>を受けなければならない。 （ 略 ） <u>附 則</u> <u>この定款は、令和8年6月19日から施行する。</u> ただし、第6条第1項第3号の規定は、令和9年4月1日から施行する。	2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。 （入会） 第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、<u>理事会の承認</u>を受けなければならない。 （ 略 ）	・「賛助会員」の設置 ・正会員の入会承認の変更

4 施行期日

令和8年6月19日（総会で承認を受けた日）

ただし、この定款変更で追加する賛成会員の規定の施行日については、令和9年4月1日とする。

富山県看護協会会費の一部減額（案）

1 提案理由

看護の人材不足が叫ばれて久しく、今後ますます看護職不足は避けられなくなっていることから、経験値の高いプラチナナースの活躍が期待されている。

一方、当協会の会員年齢構成を見ると、66歳以上の占める割合が大きく減少していることから、66歳以上になっても会員継続していただけるよう会費の優遇措置を図りたい。

2 会費の変更内容

年齢区分	年会費	備考
65歳まで	6,000円	変更なし
66歳以上	3,000円	

※日本看護協会の年会費5,000円は変更なし

3 実施時期

令和9年度会費から適用する。

役員の報酬等の総額上限の変更（案）

1 提案理由

現行の役員の報酬等の総額上限については、平成24年度の公益社団法人への移行にあたり、平成23年6月定時総会において承認された。

その後、職員給与を改定してきた結果、今年度においては、常勤理事と職員給与の不均衡が大きくなってきているため、その縮小に常勤理事の月額報酬を改定することが必要になっている。

ついては、この改定に当たり必要となる役員の報酬等の総額上限を15年ぶりに引き上げることとしたしたい。

2 変更内容

役員の報酬等の総額上限額（年額）

	現行（年額）	変更後（年額）	備考
常勤理事 （3名）	18,000千円	20,000千円	月額報酬、期末手当、社会保険料、退職慰労金

報 告 事 項

報告事項 1	令和 7 年度事業報告	41
報告事項 2	令和 8 年度重点事業及び事業計画	51
報告事項 3	令和 8 年度収支予算	58

令和 7 年度 事業報告

○定款第 5 条に定める次の 6 事業を実施した。

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業） 下線は新規事業

項 目	実 施 状 況	実 績
1-1 生涯学習支援に関する事業		
1 富山県看護協会「生涯学習支援に係る調査」の実施・分析	(1) 「看護とやま10月号」の紙面で「看護職が求める研修ニーズ」について調査を実施し、その結果をもとに令和8年度の研修を企画した	調査期間 令和7年10月24日～11月7日 調査回答数 1,041人
2 研修計画の企画・実施・計画	(2) 「他施設の看護職員が参加可能な研修に関する調査」を実施（県内公的病院24施設対象） (1) 令和7年度教育計画に基づいた研修を実施 ア 80研修を実施 イ 研修終了後にWEBアンケートを実施し評価 ウ 広報：「研修計画冊子」、「看護とやま」、「ホームページ」、「施設訪問」等 (2) 新規企画研修の実施 令和6年度に実施した「看護管理者が求める生涯学習支援のための研修調査」結果を反映 ア 患者の尊厳を大切にした看護を目指して～身体拘束に頼らない看護職のチャレンジ～ イ 中堅看護職員の人材育成～中堅看護師が育つと部署が変わる！～ ウ メンバーシップを発揮しよう エ ハラスメント対策～ハラスメントの現状と今後の取り組み～ オ 対応が困難な看護職者への支援の基本と実践～共に働くための職場適応支援～ カ 生涯学習支援とキャリア支援 (3) 看護師のまなびサポートブックの周知・配布 (4) 委員会担当研修会等 ア 統括保健師の配置と育成 令和7年10月6日(月) イ 胎児・新生児の異常・異変を見逃さない 令和7年9月6日(土) ウ 保健師・助産師職能委員会合同研修 令和7年8月18日(月) 「気がかりな妊産婦への支援」 エ 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 e-ラーニング、事前課題、演習 (令和7年12月19日(金)) オ 准看護師キャリア研修 令和7年9月11日(木)	調査期間 令和8年3月18日～4月10日 総受講者 4,187人 参加者 81名 参加者 50名 参加者 76名 参加者 81名 参加者 69名 参加者 69名 保健師職能委員会 参加者 29名 助産師職能委員会 参加者 39名 保健師・助産師職能委員会 参加者 41名 修了者 29名 看護師職能委員会 I 参加者 8名

項 目	実 施 状 況	実 績
3 認定看護管理者の育成	カ 介護・福祉・在宅領域の施設等の研修 令和7年7月26日(土) 利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策について学ぶ	看護師職能委員会Ⅱ 参加者 49名
	キ 看護倫理Ⅰ(基礎編)、Ⅱ(実践編)、Ⅲ(上級編) 令和7年9月24日(水)、10月17日(金)、令和8年2月17日(火)	看護倫理委員会 参加者 167名
	ク 医療安全管理者・推進者のためのセーフティ マネジメント 令和7年11月27日(木)	医療安全委員会 参加者 37名
	(5) 日本看護協会と連携した研修(オンデマ ンド、DVD、集合演習)	
	ア 認知症高齢者の看護実践に必要な知識(2日間)	修了者 94名
	イ 医療安全管理者養成研修	修了者 30名
	ウ 災害支援ナース(災害・新興感染症対応)養成研修	修了者 74名
	エ 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	修了者 83名
	オ 看護補助者標準研修 看護補助体制充実加 算該当パッケージ研修	修了者 4名
	(6) 糖尿病重症化予防(フットケア)研修(3日間)	修了者 30名
4 実習指導者育成	(1) 認定看護管理者教育(ファーストレベル課程) 108時間 (2) 認定看護管理者教育(セカンドレベル課程) 180時間	修了者 58名 修了者 25名
1-2 看護師基礎教育 4年制化の取り組み	(1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 180時間 (2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会(特定分野) 39時間 (1) 臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育	修了者 40名 修了者 3名 参加者 43名

2 学術研究の振興に関する事業(公益目的事業)

項 目	実 施 状 況	実 績
2-1 富山県看護研究学会	1 第35回富山県看護研究学会 令和7年12月20日(土) オーバード・ホール中ホール	学会委員会 参加者総数525名
2-2 図書室運営に関する事業	1 図書室機能の充実 看護専門図書・雑誌・資料等の購入	新刊図書購入、定期購読図書製本 (新刊書籍45冊、年間購読 雑誌19冊、蔵書数6,276冊) 利用者数(延べ)146名

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業(公益目的事業)

項 目	実 施 状 況	実 績
3-1 医療安全に関する 事業		
1 医療安全対策研修	(1) 医療安全対策研修 楽しく学ぼうKYT・一 から学ぶチームSTEPPS 令和7年10月16日(木) (2) 医療安全管理者・推進者のためのセーフティ マネジメント 令和7年11月27日(木)	医療安全委員会 修了者58名 修了者37名
2 医療事故調査制度に 関すること	(1) 医療事故調査制度支援団体の登録及び専門 家の推薦 (2) 県内における専門家の派遣	日本看護協会へ推薦 1名 派遣要請なし
3-2 専門・認定看護師、 特定行為研修修了 者の活用を推進す るための取り組み	(1) 特定行為研修修了者の活躍推進 (2) 専門性の高い看護師等による地域支援の強化	指定研修機関連絡会 (富山県医務課主催) 令和7年12月17日(水) 認定看護師数を分野別・施 設別にHPへ掲載(更新)
3-3 准看護師から看護 師への支援事業	(1) 准看護師の生涯学習支援研修 令和7年9月11日(木) (2) 准看護師への進学支援(准看護学生への講義) 令和8年2月18日(水)	参加者 8名 参加学生31名、教員2名
3-4 看護業務及び制度 に関する政策提言		
1 職能委員会活動 (1) 日本看護協会職能 委員会との連携	(1) 日本看護協会職能委員会との連携 ア 日本看護協会通常総会/全国職能別交流集会 通常総会 令和7年6月11日(水) 幕張メッセ	

項 目	実 施 状 況	実 績
	職能別交流集会 同 6月12日(木) 同上ほか イ 全国職能委員長会議への出席 令和7年8月1日(金) 東京都 TKP新橋カンファレンスセンター 令和8年3月6日(金) 東京都 TKP新橋カンファレンスセンター ウ 東海北陸地区職能委員長会議への出席 令和7年10月16日(木) 石川県 金沢ニューグランドホテル	出席者 若杉 央(保) 森 太貴子(助) 小倉里美(看Ⅰ) 小原留美(看Ⅱ) 出席者 若杉 央(保) 森 太貴子(助) 小倉里美(看Ⅰ) 小原留美(看Ⅱ) 出席者 若杉 央(保) 森 太貴子(助) 小倉里美(看Ⅰ) 小原留美(看Ⅱ)
(2) 保健師職能委員会	(2) 保健師職能委員会 (開催回数6回(研修会2回含まず)) ア 保健師・助産師交流会 令和7年8月18日(月) テーマ「気がかりな妊産婦への支援」 イ 統括保健師の配置と育成に関する研修 令和7年10月6日(月) 調査結果の報告、実践報告、意見交換 ウ 自治体保健師と地域の看護職の連携・協働 についての情報交換	参加者 46名 参加者 29名
(3) 助産師職能委員会	(3) 助産師職能委員会 (開催回数6回(研修会2回含まず)) ア 保健師・助産師交流会 テーマ「気がかりな妊産婦への支援」 イ 研修会の開催 テーマ:CLoCMiP®レベルⅢ対応研修 令和7年9月6日(土) ウ 「いのちの教室」実践報告 エ 日本看護協会助産師職能委員会等への出席	3回 参加者 46名 参加者 39名
(4) 看護師職能委員会Ⅰ	(4) 看護師職能Ⅰ委員会 (開催回数8回(研修会・交流会は含まず)) ア 看護職員資質向上実務研修の企画・運営 イ 職能別キャリア研修 令和7年9月11日(木) テーマ 准看護師の資質の向上とキャリア支援 ウ 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 令和7年12月19日(金) エ 多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務 分担・協働に関する調査の実施 オ 日本看護協会看護師職能委員会等への出席(別記)	3回 2回 66名 参加者8名 参加者29名
(5) 看護師職能委員会Ⅱ	(5) 看護師職能Ⅱ委員会 (開催回数8回(研修会2回含まず)) ア 在宅・地域医療を推進する研修 令和7年6月4日(水) テーマ:小規模事業所における災害時対策 イ 資質向上研修 令和7年7月26日(土) テーマ:利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策について学ぶ ウ 在宅ケア事例検討会 エ 看護小規模多機能居宅介護について現状把握、情報共有 オ 日本看護協会看護師職能委員長会等への出席	3回 参加者34名 参加者49名
2 行政・関係団体等からの委員委嘱	各委員への就任	3回 161ページ参照

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項 目	実 施 内 容	実 績
4-1 働きやすい労働環境 づくり支援事業 富山県ナースセンター事業 1 看護師等就労促進事業	(1) 就労相談事業 ア 無料職業紹介所の運営 イ e ナースセンターの登録・管理 ウ 就業相談 エ 移動就業相談 介護職場の就職説明会（5/21、9/26、11/19、2/25） オ 病院等訪問 (2) 看護職員就業支援事業 ア ハローワーク（7ヶ所）への就業支援専門 員の派遣（各月1回） イ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携 ウ 会議等 連絡調整会議 令和7年12月3日(水) エ 広報 就業相談ちらし作成と配布 (3) 看護師等免許保持者届出事業 ア 届出情報の登録・管理 イ 求職登録の促進 ウ 情報提供、周知活動 (4) 潜在看護職員把握調査 登録看護職員就業希望条件等の調査 令和7年8月18日(月) (5) 看護職員再就業支援研修 ア 集合研修 4回（6/3、7/1、8/5、9/2） イ 病院実習 ウ 技術チェック研修 エ e ラーニングを活用した復職支援研修 (6) 看護師等養成機関共同PR事業 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、 配布、ホームページ掲載 (7) 看護学生就労啓発事業 看護師等学校・養成所で出向講義 (8) 広報活動 ア TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）発行 イ 新聞・タブロイド情報紙	求人登録数 5,458人 求職登録数 1,806人 有効求人倍率 3.0倍 就職者数 256人 相談件数（全体） 7,039人 相談件数（就職アドバイザー） 2,863人 相談件数 11件 訪問先 9施設 相談件数 117件 （うち看護補助者5件） 新規登録 求人数 644人 （うち看護補助者41人） 新規登録 事業所数 217事業所 （うち看護補助者17件） 新規登録 求職者数 214人 （うち看護補助者0人） 連携事業対象 求人数 8人 連携事業対象 求職者数 17人 連携事業対象 就職者数 4人 年1回、参加者14名 就業支援専門員・就職アドバイザー、 労働局・ハローワーク担当者等含む 発行枚数 1,500枚 届出人数 211人 うち、e ナースセンター登録希望人数 74人 うち、e ナースセンター登録人数 26人 対象： e ナースセンター登録者140人 受講者（延人数） 34名 受講者 0名 受講者 15名 受講者 24名 掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,300部 富山福祉短期大学（10/2） 51人 富山県立大学看護学部（1/8） 75人 富山市医師会看護専門学校（2/18） 31人 富山市立看護専門学校（2/27） 37人 年4回（4月、7月、10月、1月） 年5回 （5/9、7/10、11/11、3/13、3/31）

項 目	実 施 内 容	実 績
	(9) ナースセンター事業運営委員会 ア ナースセンター事業運営委員会 令和8年2月13日(金) イ 事業実績報告の作成・配布 (10) ナースセンターホームページの運営	年1回、委員15名 発行部数 250部
2 富山県医療勤務環境改善 支援センター病院サポ ート事業	(1) 個別病院支援 (2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和7年12月10日(水) WLB取組み報告、講演「医療現場における カスハラ問題とその対策」 (3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 令和7年7月4日(金)	1年目：厚生連高岡病院 3年目：富山県済生会富山病院、 栗山病院 参加者 36名 共催 社会経済福祉委員会
3 看護職員定着支援事業	(1) 看護職の体験談 募集・表彰 募集期間 令和6年12月10日～令和7年1月24日 発表 令和7年5月12日(月) 表彰式 令和7年6月20日(金) (2) 看護職員定着支援事業シンポジウム 令和7年8月6日(水)	年1回、委員10名 応募数 81編 表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、 特別賞3名 参加者 42名 共催 社会経済福祉委員会
4 看護補助者の確保、 定着支援	(1) 看護補助者「お仕事説明会&体験会」開催 (6月・10～12月) (2) 「ナースセンターによる看護補助者の就業に 向けた研修」実施	実施16施設 参加者33名 受講者29名
5 地域に必要な看護職 確保事業	(1) 北陸3県 くらし&しごとフェア 令和7年11月1日(土) 東京交通会館12階 (2) ママと企業を結ぶ求人イベント「ママJoBフェスタ」 令和7年5月17日(土)、18日(日) 富山産業展示館テクノホール 令和7年11月29日(土)、30日(日) フューチャーシティ ファボーレ (3) 「へき地等における看護職確保」特設サイト 令和7年11月4日公開	来場者数 240組357名 相談者 3名 来場数(内、ブース訪問・ 相談者) 123名(11名) 来場数(内、ブース訪問・ 相談者) 85名(14名) https://rural.nurse-center.net/
4-2 ハラスメント対策 (再掲)	1 利用者家族からのハラスメント対策研修(看護師職能Ⅱ) 令和7年7月26日(土) 2 職場におけるハラスメント対策研修 令和7年8月22日(金) 3 医療現場におけるカスハラ問題とその対策(講演) 令和7年12月10日(水)	受講者42名 受講者81名 受講者36名

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業(公益目的事業)

項 目	実 施 状 況	実 績
5-1 訪問看護支援事業 富山県訪問看護訪問看護 相談支援センター事業	(1) 訪問看護相談窓口 (2) 訪問看護の普及啓発等(県内2公的病院ほか)	相談数 延344件 啓発(5回・参加者46人)、 イベント(1回)、出前講座(1回)
1 訪問看護支援強化事業	(3) 訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザーによる相談 令和7年10月23日(木) オンライン指導 フォローアップ(3か月後)指導	参加施設 4施設

項 目	実 施 状 況	実 績
2 訪問看護師人材確保事業	イ 小児医療対応力向上技術研修会 オンデマンド研修:令和7年9月12日(金)~12月12日(金) 実習・演習・連携:令和7年10月8日(水)または10月29日(水) 実習・同行訪問:令和7年9月17日(水)~10月22日(水)のうち1日	協力機関 富山大学附属病院、 訪問看護ステーションままアシスト 参加者 延28名 参加者 延9名 参加者 延9名
	ウ 専門性の高い看護師による地域支援 訪問看護ステーションにおける専門看護師・ 認定看護師・特定行為研修修了者在籍状況 一覧表を作成しホームページにて公表した。	
	エ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会の支援 総会、役員会(8回)、研修会(2回)、 新卒・新任訪問看護師交流会等	事務局
	オ ホームヘルパー研修会への講師派遣	5名派遣(5会場) 受講者延81人
	(1) 新卒訪問看護師の育成 ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会の開催(1回)	委員10名 令和7年12月16日(火) ガイドライン活用状況調査 令和7年9月19日(金)~10月9日(木) 新卒・新任訪問看護師就業 調査(5月、10月) 事業所訪問(令和7年7月16 日(水)、令和8年3月19日(木))
3 訪問看護師人材育成 事業	イ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの 周知・活用促進 ウ 新卒・新任訪問看護師就業調査及び事業所訪問	
	(2) 訪問看護インターンシップ 令和7年8月13日(水)~令和7年8月26日(火) 訪問看護ステーション5ヶ所で実施(学生1人あたり1日)	参加者 看護学生13名 (看護学校2校から参加)
	(3) 訪問看護キャリア支援セミナー 令和7年11月11日(火)	受講者 14名
	(1) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護 師養成講習会 令和7年6月18日(水)~12月17日(水)	受講者 20名(修了者15名)
	(2) 訪問看護従事者等研修会 令和7年11月12日(水)	受講者 19名
4 訪問看護災害時等支 援体制推進事業	(3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 令和7年9月27日(土)	受講者 36名
	(1) 災害時等の相互支援体制の構築・見直し	
	ア 富山県内訪問看護ステーションにおける災 害時等の連絡体制の作成 イ 富山県内訪問看護事業所・県高齢福祉課・富山県訪問 看護総合支援センター災害時連携情報伝達訓練の実施	訓練実施日 令和8年2月12日(木)
5 訪問看護ステーション サポート事業	(1) 医療圏毎に5ステーションを指定し、研修 会や相談等に対応 朝日町、光風会、済生会富山、砺波市、厚生連高岡	研修会12回 (受講者延401人)、相談13件 ST訪問1件、情報交換会13回 (参加者延138人)
6 訪問看護・医療機関 相互研修事業	(2) 連絡会議(2回開催) 令和7年5月29日(木)、令和8年2月26日(木)	出席者22名
	(1) 病院看護師出向研修事業 出向元(富山県立中央病院) 出向先(富山赤十字訪問看護ステーション) 出向期間(令和7年12月1日(月)~令和8年2月28日(土):3ヵ月間)	1名
	(2) 病院看護師の研修受入事業 ア 派遣元(かみいち総合病院) 研修先(訪問看護ステーションひよどり富山) 研修期間(令和7年7月1日(火)~7月31日(木))	2名

項 目	実 施 状 況	実 績
7 訪問看護推進事業	イ 派遣元（高岡市民病院） 研修先（厚生連高岡訪問看護ステーション） 研修期間（令和7年9月1日(月)～9月30日(火)） (3) 訪問看護師スキルアップ研修事業 5病院で実施（黒部市民病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、市立砺波総合病院） (1) 在宅ケアアドバイザー派遣事業（在宅ケア事例検討会）各圏域に分かれて4回開催 (2) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修	受講者 延50名 参加者 延193名、 アドバイザー 4名 受入れステーション6か所、 参加者8名
8 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業	(1) 2か所の訪問看護ステーションによる訪問看護の実施 (2) 訪問看護事業所、医療機関、市町村等からの相談対応	参加事業所：2事業所、 対象児：2名、42回（1回30分）実施 相談件数 30件
5-2 富山県看護協会訪問看護ステーションの活動の推進	1 訪問看護ステーションひよどりの活動 (1) 訪問看護活動 ア 実動日数 イ 訪問延回数 ウ 職員体制 (2) 他機関連携 射水市医師会、高岡医療圏関係機関等との連携 (3) 訪問看護実習及び研修の受入れ ア 学生指導 イ 看護師・ケアマネジャー研修 2 訪問看護ステーションひよどり富山の活動 (1) 訪問看護活動 ア 実動日数 イ 訪問延回数 ウ 職員体制 (2) 他機関連携 富山市在宅医療・介護連携における研修・会議等に参加 (4) 訪問看護実習及び研修の受け入れ ア 学生指導 イ 看護師・ケアマネジャー研修	242日/年 月平均20.2日 2,772回/年 月平均231.0回 常勤換算4.3人 10回 2校 6名 3名
5-3 地域包括ケアシステムにおける活動の推進	1 ひよどり富山居宅介護支援事業所の活動 ※R8年1月末廃止 (1) ケアマネジメント (2) 認定調査 2 神明・五福地域包括支援センターの活動 (1) 一般介護予防事業 ア 実態把握 イ 介護予防地域説明会など ウ ふれあいサークル、住民主体型サービス活動支援など (2) 介護予防・生活支援サービス事業 介護予防教室 (3) 包括的支援事業 ア 総合相談 イ 地域ケア会議など関係機関との連携 ウ 認知症カフェ、家族介護教室など (4) 認知症高齢者見守り支援事業 認知症地域説明会など (5) 指定介護予防支援事業 介護予防ケアマネジメント	374件/年 26件/年 187件 36回 41回 13回 3,397件 32回 21回 10回 1,746件

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
6-1 感染症に関する事業		
1 新興感染症の発生・まん延に備えた体制整備	(1) 災害支援ナースの養成・登録・派遣体制の整備養成研修 [災害]令和7年10月21日(火) [感染]令和7年11月14日(金) (2) IHEAT要員の人材確保・育成 IHEA研修の実施 令和8年3月4日(水) (3) 医療措置協定の締結・推進	修了者・登録者 74名 IHEAT要員登録者 66名 参加者23名
6-2 災害時の看護支援活動に関する事業		
1 災害に備えた体制整備	(1) 災害支援ナースの派遣体制整備・訓練 (2) 災害支援ナース養成・登録・リスト管理 災害支援ナースの基本知識研修 令和7年12月8日(月) (3) 災害支援ナースポケットマニュアル改訂検討 (災害看護委員会)	参加者30名
2 防災訓練等	(1) 県が行う各訓練へ参加 ア 富山県総合防災訓練 南砺市城南屋内グラウンド 令和7年9月28日(日) イ 原子力災害訓練 氷見運動公園 令和7年11月24日(月)	災害委員 2名 災害委員 2名
3 災害発生時対応体制の整備	富山県看護協会事業継続計画及び災害対策マニュアルの改訂 上記BCP及びマニュアルに基づく訓練を実施し、その評価結果を反映	
6-3 県民の健康の増進・啓発に関する事業		
1 看護の心普及啓発事業 ※看護の日 5月12日	(1) 看護の日記念事業 ア 飛び出せ！看護の日×町おこしプロジェクト 令和7年5月11日(日) 富山大和6階 イ とやま看護フェスタ2025 令和7年8月2日(土) 富山医療福祉専門学校 ウ ふれあい看護体験 エ サンフォルテ フェスティバル 令和7年6月28日～7月26日 「看護職の紹介」展示・HP紹介 (2) 高校生の一日看護見学 令和7年7月7日(月)～7月18日(金) (3) 看護普及推進事業（看護体験学習）	参加者 県民300人程度 参加者 小中高生 63名 保護者37名 参加者 約2200人 協力病院 28病院 参加者 43校 606名 協力病院 24病院 参加者 660人 実施看護師等学校・養成所 6校
6-4 支部活動の推進	(1) 各支部における活動 ア 地域のニーズに応じた看護活動 イ 支部研修会 ウ 「看護協会まちの保健室」事業 エ 「看護の日」及び看護週間における事業 オ フレイル啓発・予防活動事業 (2) 支部長会	健康維持増進、介護予防の啓発、 小規模介護施設への支援・指導等 参加者約280人 9会場 参加者約830人 小学校・中学校・高等学校等での 出前講座 受講者約1,640人 出前講座・フレイルチェック・イベント への参加等 参加者約1,400人 2回（9月2日、12月8日）
6-5 地域における看護職のネットワーク強化事業	1 看護政策のための組織強化事業（総務委員会） 看護師等学校・養成所への訪問（出講）	看護専門学校4校、大学2校、 高等学校1校
6-6 広報活動		
1 看護職及び県民等への広報	(1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布 年4回発行（4月、7月、10月、1月 第151号～154号） (2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載 (3) とやま看護フェスタ2025（再掲） 令和7年8月2日(土) 富山医療福祉専門学校	37,200部発行/年 参加者 小中高生 63人 保護者 37人

項目	実 施 状 況	実 績												
6-7 法人管理に関する事業 1 組織の運営に関する事業	(4) 県医師会報、自治体広報等での情報提供 (5) マスコミ（新聞等）を通じた広報活動 5月12日 「看護の日」「看護週間」の広報ほか 公益社団法人としての円滑な組織運営 (1) 定時総会 1回 令和7年6月20日(金) オーバード・ホール 中ホール (2) 理事会 7回 4月、5月、6月、8月、10月、12月、3月 (3) 職能集会 1回(定時総会同日) 保健師職能集会 助産師職能集会 看護師職能集会 (4) 職能委員会:保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ (5) 委員会:総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、 医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦委員会 (6) 合同委員会 令和7年6月25日(水) (7) 合同支部役員会 同 上 (8) 会員支援の充実 ア 表彰 イ 各候補者の推薦 ウ 会員への福利厚生(特典・優待など) エ 慶弔 (ア) 慶事 (イ) 各種見舞(災害等)の支給 (ウ) 弔慰 (9) 職員の人事管理・労務管理 (1) 会員募集及び入会の促進 (看護専門学校への広報活動等) (2) 会員登録 ア 新規・継続会員の受付と日本看護協会会員管理 システム(ナースシップシステム)の運用・管理 イ 会員証の送付 令和7年度末会員数8,855名 (令和8年3月末) ウ 会員情報管理 エ キャリナースの活用	 総会参加者 272名 委任数 7,131名 参加者 34名 参加者 20名 参加者 130名 委員会回数 計28回 委員会回数 計73回 富山県看護協会会長表彰 10名 叙勲 富山県部門功労表彰 日本看護協会会長表彰 他 ショップの割引、靴下・布団の優待など 叙勲者への祝電(春1名、秋2名) 支給なし 物故会員への弔慰 4名 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">総数 8,855名(R 8.3月末)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内 訳</td> <td>保健師</td> <td>503名</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>397名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7,887名</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>68名</td> </tr> </table>	総数 8,855名(R 8.3月末)			内 訳	保健師	503名	助産師	397名	看護師	7,887名	准看護師	68名
総数 8,855名(R 8.3月末)														
内 訳	保健師	503名												
	助産師	397名												
	看護師	7,887名												
	准看護師	68名												
6-8 渉外活動 1 富山県・関係団体・審議会等への委員派遣 2 自治体への要望提出 3 関係団体との連携	(1) 構成団体の一員としての活動・提言 (2) 関係機関・団体の会議への参画・情報交換 (3) 後援・推薦等依頼への協力 富山県への要望書提出(令和8年度事業要望) (1) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等 (2) 県訪問看護ステーション連絡協議会、看護師養成機関、大学等 (3) コメディカル・介護保険関係団体等	資料参照 資料参照 令和7年8月27日(水)												
6-9 日本看護協会との連携 1 組織運営への協力	(1) 日本看護協会理事会・法人会員会への出席 ア 理事会 年6回 イ 法人会員会 年5回 ウ 地区別法人会員会 (石川県 金沢ニューグランドホテル) 令和7年10月16日(木)~17日(金) (2) 日本看護協会通常総会代議員出席 令和7年6月11日(水) 千葉県 幕張メッセ (3) 日本看護協会代議員等の選出と代議員活動の支援 ア 県看護協会定時総会での日本看護協会代議員等の選出 イ 日本看護協会代議員研修 令和7年5月19日(月)	出席者 岡本里美(会長) 出席者 岡本里美(会長) 出席者 岡本里美(会長)、 吉田智子(専務理事) 代議員 9名 議長団 吉田智子(専務理事)												

項目	実施状況	実績
6-10 看護研修センター の管理・運営	(4) 全国職能別交流集会 令和7年6月12日(木) 千葉県 幕張メッセ	全国：令和7年8月1日(金)、 令和8年3月6日(金) 地区別(石川県)：令和7年10月17日(金) 出席者 若杉 央(保)、森 太貴子(助) 小倉里美(看Ⅰ)、小原留美(看Ⅱ)
	(5) 全国職能委員長会2回、地区別職能委員長会1回	
	(6) その他の会議等	出席者 岡本里美(会長)、吉田智子(専務理事)、境 信子(ナースセンター長) 他 出席者 吉田智子(専務理事)、 境 信子(ナースセンター長) 他 出席者 吉田智子(専務理事)、 中井 誠(事務局長) 他 出席者 藤井淳子(常任理事) 他 出席者 岡本里美(会長)、 吉田智子(専務理事) 出席者 岡本里美(会長)、吉田智子 (専務理事)、藤井淳子(常任理事)、 中井 誠(事務局長) 他 出席者 岡本里美(会長)、吉田智子(専務理事)、境 信子(ナースセンター長) 他 出席者 吉田智子(専務理事)、 川岸孝美(HTC長) 他 出席者 岡本里美(会長)、吉田智子 (専務理事)、川岸孝美(HTC長) 他 出席者 岡本里美(会長)、吉田智子 (専務理事)、藤井淳子(常任理事)、 中井 誠(事務局長) 他 出席者 岡本里美(会長) 出席者 岡本里美(会長)、 藤井淳子(常任理事) 他
	ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議 令和7年7月17日(木) 日本看護協会(Web配信)	
	イ ナースセンター事業担当者会議 令和7年4月16日(水) Web会議	
	ウ 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 令和7年7月30日(水)	
	エ 都道府県看護協会教育担当者会議 令和7年9月10日(水) 日本看護協会 Web	
	オ 都道府県看護協会政策責任者会議 令和7年9月18日(木) 日本看護協会	
	カ 公益法人運営に関する勉強会 第1回 令和7年7月16日(水) 日本看護協会 第2回 令和8年2月2日(月) 日本看護協会	
	キ 都道府県看護協会広報担当役員会議 令和7年11月19日(木) Web会議	
	ク 訪問看護サミット 令和7年11月8日(土)	
	ケ 都道府県看護協会都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 令和7年11月13日(木) Web会議	
	コ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 令和7年12月17日(水) Web会議	
	サ 日本看護サミット 令和8年2月5日(木) パシフィコ横浜 国立大ホール	
	シ 全国看護基礎教育担当役員会議 令和8年3月10日(火) Web会議	
	1 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災	
	2 設備投資(電話機の入替え、第一研修室音響設備の更新等)	
	3 地域活動(町内会等への協力、連携) 子ども110番の家等	

令和 8 年度 重点事業及び事業計画

国において2040年を見据えた様々な政策が進められている中で、人口減少が本格化する2030年までを社会経済の持続性を高める変革のラストチャンスと捉え、経済・財政・社会保障の持続可能性の確保に力が注がれている。また、新たな地域医療構想のもと、入院・外来・在宅、医療・介護連携も含めた地域完結型の医療・介護提供体制の構築、医療・介護DXの迅速な実装が推進されている。このため、看護においてもより一層、看護DXの現場への浸透を図るとともに、保健・医療・介護を切れ目なく提供するための看護職間及び多職種との連携・協働の充実が求められる。

日本看護協会は、2025年6月に「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」(以下、ビジョン)を公表した。ビジョンでは、【看護がめざすもの】として、(1)その人らしさを尊重する生涯を通じた支援、(2)専門職としての自律した判断と実践、(3)キーパーソンとしての多職種との協働の3つが掲げられている。具体的には、看護職一人ひとりの看護実践の質を高め、より高い自律性をもって看護にあたるとともに、人々が生活する身近な地域に看護の拠点を確保し、看護職の人材確保・育成、役割拡大を推進する。そして、これらを実現する前提として、看護職自身がウェルビーイングであること、すなわち日々の看護実践にやりがいを実感でき、心身ともに充実して働くことができる環境を整えることが重要となる。

本会では、これらの任務、役割、看護職自身のウェルビーイングを達成するため、日本看護協会と連携し、本会の3つの使命「看護の質の向上」、「看護職が安心して働き続けられる環境づくりの推進」、「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」に則り、令和8年度は、次の4つの施策を柱とした12の重点事業に取り組む。

【重点事業】

1 看護職のウェルビーイングの向上

- (1) 看護職の多様で柔軟な働き方の推進
- (2) 看護職のディーセントワーク実現に向けた支援
- (3) ハラスメント対策の推進

2 持続可能な看護提供体制の推進

- (1) 地域における看護職確保支援
- (2) 社会における看護のプレゼンスの向上
- (3) 看護の専門性に資する看護DXの推進

3 地域における看護機能の強化

- (1) 地域で活躍できる看護職の人材育成と役割拡大
- (2) 訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護の提供体制強化
- (3) 助産師の役割拡大

4 看護職の主体的なキャリア形成支援

- (1) 看護職の生涯学習支援
- (2) 保健師の人材育成と保健活動のマネジメント力向上
- (3) 看護管理者の育成

令和 8 年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、次のとおり行う。

○事業計画は、定款第 5 条の 6 事業に沿って掲載

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・下線は新たな取り組み

実 施 内 容	
1-1 生涯学習支援に関する事業 1 富山県内公的病院における他施設の看護職員が参加可能な研修一覧の作成・公表・年度末実績調査 2 研修計画の企画・実施・評価 (1) 令和 8 年度研修計画の広報・実施・評価 ア 81 研修(令和 7 年度実施の研修ニーズ調査結果を反映した新規研修を企画) イ 研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ウ 広報:「生涯学習支援研修計画」、「看護とやま」、「ホームページ」、「施設訪問」等 (2) 研修分類 ア 新人研修 イ 専門性を深める研修 ウ 教育・研究 エ 看護管理 オ 在宅・地域医療を推進する研修 カ 看護職定着・再就業支援に関する研修 キ 職能別キャリア研修 ク 日本看護協会主催または診療報酬に関する研修 ケ 支部研修 3 認定看護管理者の育成 (1) 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル） 108時間 定員50人 (2) 認定看護管理者教育課程（セカンドレベル） 180時間 定員25人 4 実習指導者育成 (1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（一般） 180時間 定員40人 (2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野） 39時間 定員 8 人	・教育委員会との協働 ・令和 8 年度生涯学習支援研修計画に掲載 <研修分類ごとの <u>主な新規企画研修</u> > ・災害支援ナースフォローアップ研修 ・看護職に必要なポリファーマシーの知識と看護職の役割 ・論理的な小論文・レポートの書き方 ・部下を持つ立場になったときに知っておきたいマネジメント ・看護管理者に求められる施設基準管理について ・気持ちよく出すことを叶える排便ケア ・人生100年時代を見据えた看護職のための資産運用 ・認定看護管理者教育運営委員会（年 4 回開催）

実 施 内 容	
2-1 富山県看護研究学会の開催	・令和8年11月14日(土) オーバード・ホール 中ホール
2-2 図書室運営に関する事業	

実 施 内 容	
3-1 医療・安全に関する事業 1 医療安全対策研修 2 医療事故調査等制度に関すること （1）支援団体として登録 （2）院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣 3-2 専門・認定看護師、特定行為研修修了者の活用を推進するための取り組み ア 特定行為研修修了者の活動推進 イ 専門性の高い看護師等による地域支援の強化 3-3 地域における看護職のネットワーク強化 1 看護職のネットワーク強化 （1）施設訪問 （2）出前講座 2 自治体保健師と地域の看護職の連携・協働 3 <u>保健師の人材育成と保健活動のマネジメント力向上</u> 3-4 助産師の役割拡大 1 <u>助産師の人材育成と役割拡大</u> 2 いのちの大切さの啓発に関する事業 3-5 看護業務及び制度に関する政策提言 1 職能委員会活動（保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ） 2 委員会活動（総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦） 3 行政・関係団体等からの委員委嘱 3-6 准看護師から看護師への支援事業 1 准看護師の進学支援研修（准看護師の生涯学習支援） 2 准看護学生への進学支援	・ 指定研修機関連絡会（県医務課）等 ・ <u>2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会（厚労省）のとりまとめを反映</u> ・ 多様で柔軟な働き方の導入促進 ・ <u>看護職のディーセントワーク実現に向けた支援</u> ・ 令和8年9月10日(木) ・ 准看護学生への講義

実 施 内 容	
4-1 看護職の人材確保及び働きやすい労働環境づくり 支援事業 1 看護師等就労促進事業 (1) 就労相談事業 ア 無料職業紹介所の運営 イ eナースセンターの登録・管理 ウ 就業相談（対面・電話・オンライン） エ 移動就業相談（介護職場の就職説明会） オ 病院等訪問 (2) 看護職員等就業支援事業 ア 県内ハローワークへの就業支援専門員の派遣	・プラチナナースの活躍推進 ・年4回 ・ハローワーク7か所（富山、高岡、魚津、 砺波、氷見、滑川、小矢部）

実 施 内 容	
イ ハローワークとの連携の重点化（富山・高岡・魚津） ウ 会議等 エ 広報 （３）看護師等免許保持者届出事業（通称：とどけるん） ア 届出情報の登録・管理 イ 求職登録の促進強化 ウ 情報提供・周知活動 （４）潜在看護職員把握調査 （５）看護職員再就業支援研修 ア 集合研修（ <u>心電図研修を新たに追加</u> ） イ 病院実習 ウ 技術チェック研修 エ eラーニングを活用した復職支援研修 （６）看護師等養成機関共同PR事業 （７）看護学生就労啓発事業 （８）広報活動 ア TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）発行 イ 新聞（タブロイド紙）広告 ウ ナースセンターホームページ運用 （９）看護補助者確保・定着推進事業 （１０）ナースセンター事業運営委員会 ア ナースセンター事業運営委員会 イ 事業実績報告 作成・配布 （１１）デジタル改革関連法による「看護職の人材活用システム」の周知 ２ 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 （１）病院への個別支援 （２）看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 （３）看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 ３ 看護職員定着支援 （１）看護職の体験談 表彰 （２） <u>看護職のウェルビーイングを高めるためのセルフケアと職場づくり研修</u> ４－２ ハラスメント対策 １ ハラスメント対策研修	・令和８年８月 ・令和８年６月９日、７月７日、８月４日、９月８日 ・随時 ・随時 ・随時（ <u>当協会での視聴を可能とする</u> ） ・ガイドブックの作成 ・年４回発行（４月、７月、１０月、１月） ・年３回 ・無料職業紹介の周知 ・看護補助者の業務説明会、体験会の開催 ・令和９年２月 ・NCCSと看護職キャリアデータベースとの情報連携に関する周知 ・令和８年１２月８日（火） ・ <u>看護DXの推進</u> ・令和８年５月２９日（金） ・令和８年６月１９日（金） ・ <u>令和８年８月６日（木）</u> ・令和８年６月３日（水）

５ 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実 施 内 容	
５－１ 訪問看護支援事業（富山県訪問看護総合支援センター事業） １ 訪問看護支援強化事業 （１）訪問看護相談窓口 （２）訪問看護の普及啓発 （３）訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザーによる相談 イ 小児医療対応力向上技術研修会 ウ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援 ２ 訪問看護師人材確保事業 （１）訪問看護インターンシップ （２）訪問看護キャリア支援セミナー	・令和８年８月 ・令和８年１１月１７日（火）

実 施 内 容	
(3) 新卒訪問看護師の育成 ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会 イ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの周知・活用推進 3 訪問看護師人材育成事業 (1) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 (2) 訪問看護従事者等研修会 (3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 4 訪問看護災害時等支援体制推進事業 (1) 災害時連絡体制整備及び災害訓練の支援 5 訪問看護ステーションサポート事業 (1) 連絡会議 6 訪問看護・医療機関相互研修事業 (1) 病院看護師の研修受入事業 (2) 訪問看護師スキルアップ研修事業 7 訪問看護推進事業 (1) 在宅ケアアドバイザー派遣事業（事例検討会） (2) 医療機関等看護師の訪問看護ステーション研修 8 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業 5-2 訪問看護・看多機の提供体制強化 5-3 訪問看護ステーション活動の推進 1 訪問看護ステーションひよどり 2 訪問看護ステーションひよどり富山 (1) 訪問看護活動 (2) 他機関連携 (3) 訪問看護実習及び研修の受入れ 5-4 地域包括システムにおける活動の推進 1 神明・五福地域包括支援センター (1) 一般介護予防事業 (2) 介護予防・生活支援サービス事業 (3) 包括的支援事業 (4) 認知症高齢者見守り支援事業 (5) 指定介護予防支援事業	・令和8年12月（1回/年） ・令和8年6月3日(水)～12月16日(水) ・令和8年11月11日(水) ・令和8年9月12日(土) ・サポートステーション（県内5か所） ・令和8年5月、令和9年2月（2回/年） ・令和8年10月～11月 4圏域 ・令和8年8月～9月 4圏域 ・令和8年7月

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

実 施 内 容	
6-1 感染症に関する事業 1 新興感染症の発生・まん延時に備えた体制整備 (1) 災害支援ナースの養成・登録・派遣体制の整備 (2) IHEAT要員の人材確保・育成 6-2 災害時の看護支援活動に関する事業 1 災害に備えた体制整備 (1) 災害支援ナースの派遣体制整備・訓練 (2) 災害支援ナース養成・登録・リスト管理 (3) 災害支援ナースフォローアップ研修事業 2 防災訓練等 (1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練（富山県総合防災訓練）	・IHEAT要員の募集、名簿管理、人材育成 ・集合研修 （災害10月22日(木)、感染11月18日(水)) ・集合研修（12月7日(月)） ・令和8年8月予定

実 施 内 容	
(2) 富山県原子力防災訓練 3 災害発生時対応体制の整備 富山県看護協会事業継続計画(BCP)及び災害対策マニュアルの検証 6-3 県民の健康の増進・啓発に関する事業 1 看護の心普及啓発事業 ※看護の日「5月12日」 (1) 看護の日記念事業 ア とやま看護フェスタ2026 イ ふれあい看護体験 ウ サンフォルテフェスティバル エ 出前講座 (2) 高校生の一日看護見学 (3) 看護普及推進事業(看護体験学習) 6-4 支部における看護職の連携強化 1 支部活動(県内6支部) (1) 地域のニーズに応じた看護活動 (2) 支部研修会 (3) 看護協会まちの保健室事業 (4) <u>看護のプレゼンス向上に関する事業</u> (5) フレイル予防に関する事業 6-5 広報活動 1 看護職及び県民等への広報 (1) 「看護とやま」の発行・配布 (2) ホームページの内容充実 (3) 県医師会報、自治体広報等への情報提供 (4) 新聞、テレビ等への情報提供 6-6 法人管理に関する事業 1 内部管理体制の強化 (1) 定時総会 (2) 理事会 (3) 職能集会 (4) 職能委員会(4委員会) (5) 委員会(10委員会) 合同委員会 (6) 支部長会 (7) 職員の人事管理・労務管理 2 会員管理 (1) 新規・継続会員の受付とナースシップの運用・管理 (2) キャリナース登録推進 (3) 会員サービス、会員特典の充実 3 会員の福利厚生 (1) 表彰 (2) 各受章(彰)候補者の推薦 (3) 災害見舞金、弔慰見舞金等の支出 6-7 渉外活動 1 自治体への要望活動 2 自治体及び関係団体等との連携 (1) 構成団体の一員としての活動 (2) 関係団体等の会議への参加、情報交換、委員等派遣	・令和8年11月予定 ・令和8年8月1日(土) 富山県看護研修センター ・令和8年6月27日(土)～7月25日(土) ・令和8年7月6日(月)～7月17日(金) ・年4回(4月、7月、10月、1月) ・令和8年6月19日(金) ・年7回:4、5、6、8、10、12、3月 ・令和8年6月20日(土) ・各委員会 年8回程度 ・各委員会 年5回～12回 ・年1回:令和8年6月24日(水) ・年2回:9月、12月予定 ・令和8年8月

実 施 内 容	
3 後援・推薦等依頼への協力 4 施設管理 (1) 会館の管理・運営 (2) 駐車場の確保・運営 5 地域活動（町内会等への協力、連携） 子ども110番の家等 6－8 日本看護協会との連携 1 会議等 (1) 日本看護協会通常総会 (2) 全国職能別交流集会 (3) 理事会 (4) 法人会員会(中央) (5) 地区別法人会員会・職能委員長会（開催県:愛知県） (6) 全国職能委員長会 (7) 第57回日本看護学会学術集会 (8) その他の会議 ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議 イ ナースセンター事業担当者会議 ウ 都道府県看護協会会員情報交換会 エ 都道府県看護協会図書室担当者研修会 オ 都道府県看護協会政策責任者会議 カ 医療事故調査制度に関する情報交換会 キ 都道府県看護協会広報担当役員会議 ク 都道府県看護協会、都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 ケ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 コ 全国看護基礎教育担当役員会議 サ 都道府県看護協会教育担当者会議	・令和8年6月10日(水) 幕張メッセ ・令和8年6月11日(木) 幕張メッセ ・年6回程度：日本看護協会JNAホールほか ・年5回程度：日本看護協会JNAホールほか ・令和8年10月29日(木)、30日(金) ・年2回：令和8年8月5日(水) 令和9年3月12日(金) ・令和8年9月18日(金)～20日(日) 岡山コンベンションセンター ・令和8年7月29日(水) ・令和8年4月15日(水) ・令和8年7月2日(木) ・令和8年7月中旬 ・令和8年8月27日(木) ・未定 ・令和8年11月19日(木) ・令和8年11月20日(金) ・令和9年1月中旬 ・未定 ・令和8年9月上旬

令和 8 年度 収支予算

令和 8 年度収支予算書

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

(千円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	53,400	54,000	△ 600	
受 取 会 費	53,400	54,000	△ 600	
受 取 会 館 運 営 基 金	15,550	16,250	△ 700	
事 業 収 益	15,550	16,250	△ 700	
事 業 収 益	118,490	131,217	△ 12,727	
受 講 料 収 益	31,535	29,522	2,013	
学 会 事 業 収 益	1,977	1,900	77	
訪 問 看 護 事 業 収 益	57,192	58,800	△ 1,608	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	0	13,114	△ 13,114	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,530	26,625	△ 95	
そ の 他 の 事 業 収 益	1,256	1,256	0	
受 取 補 助 金 等 収 益	2,268	2,688	△ 420	
受 取 県 補 助 金 等 収 益	2,268	2,688	△ 420	
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268	2,268	0	
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	0	420	△ 420	
受 取 受 託 収 益 等	70,267	68,620	1,647	
受 取 県 受 託 収 益 等	57,762	57,139	623	
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	1,823	1,823	0	
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050	2,050	0	
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820	820	0	
受 取 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	28,036	28,036	0	
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510	510	0	
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100	17,100	0	
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300	300	0	
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200	2,200	0	
受 取 IHEAT 要 員 人 材 確 保 育 成 事 業	2,073	2,100	△ 27	
災 害 支 援 ナ ース フォロ ー ア ッ プ 研 修 事 業	660	0	660	
高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	990	0	990	
受 取 看 護 補 助 者 の 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	0	1,000	△ 1,000	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	12,505	11,481	1,024	
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,046	2,058	△ 12	
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	9,259	8,223	1,036	
受 取 地 域 の 実 情 に 応 じ た 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,577	0	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,577	0	
雑 収 益	5,427	2,927	2,500	
受 取 利 息	2,500	0	2,500	
そ の 他 の 雑 収 益	2,927	2,927	0	
経 常 収 益 計	271,979	282,279	△ 10,300	

科 目				当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
2) 經常費用						0	
事		業	費	240,090	248,233	△ 8,143	
役	員	報	酬	7,920	7,920	0	
給	料	手	当	83,188	86,900	△ 3,712	
臨	時	雇	賃	18,795	23,853	△ 5,058	
役	員	慰	勞	504	504	0	
退	職	引	引	3,570	5,010	△ 1,440	
福	給	当	金	17,524	16,104	1,420	
役	利	厚	生	739	739	0	
賞	賞	引	当	7,346	6,991	355	
旅	与	当	金	4,282	4,246	36	
通	費	交	通	8,285	8,021	264	
減	信	運	搬	17,541	16,465	1,076	
消	価	償	却	0	0	0	
消	耗	器	備	4,649	4,859	△ 210	
修	什	品	品	378	433	△ 55	
印	耗	繕	費	5,137	5,263	△ 126	
新	刷	製	費	582	639	△ 57	
燃	聞	図	本	714	1,040	△ 326	
光	熱	料	料	3,882	3,957	△ 75	
賃		水	費	11,417	11,200	217	
保		借	料	1,597	1,959	△ 362	
諸		險	金	12,524	12,221	303	
委		謝	費	8,179	8,179	0	
広		託	費	5,606	5,114	492	
租	税	報	課	8,981	9,189	△ 208	
支	払	公	担	1,672	1,690	△ 18	
支	払	負	成	3,707	4,222	△ 515	
雑		助	金	1,371	1,515	△ 144	
管		理	費	31,710	30,535	1,175	
役	員	報	酬	5,280	5,280	0	
給	料	手	当	4,377	4,345	32	
臨	時	雇	賃	200	200	0	
役	員	慰	勞	336	336	0	
退	職	引	引	51	106	△ 55	
福	給	当	金	1,946	1,590	356	
役	利	厚	生	493	493	0	
賞	賞	引	当	387	368	19	
会	与	当	金	128	145	△ 17	
旅	費	議	交	842	868	△ 26	
通	信	運	通	161	184	△ 23	
減	価	償	搬	4,386	4,117	269	
消	耗	器	却	0	0	0	
消	什	品	品	245	216	29	
修	耗	繕	費	125	125	0	
印	刷	製	費	1,827	1,886	△ 59	
新	聞	図	本	88	91	△ 3	
燃	熱	料	料	400	400	0	
光		水	費	1,500	1,500	0	
賃		借	料	3,388	3,304	84	
保		險	金	54	54	0	
諸		謝	費	53	72	△ 19	
委		託	課	1,991	1,375	616	
租	税	公	課	2,400	2,400	0	

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
支 払 負 担 金	303	329	△ 26	
支 払 寄 付 金	3	8	△ 5	
雑 費	746	743	3	
経 常 費 用 計	271,800	278,768	△ 6,968	
当 期 経 常 増 減 額	179	3,511	△ 3,332	
経常外増減の部			0	
1. 経常外収益			0	
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
2. 経常外費用計			0	
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	179	3,511	△ 3,332	
法 人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税			0	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	179	3,511	△ 3,332	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	746,570	743,059	3,511	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	746,749	746,570	179	
指定正味財産増減の部			0	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	214,573	221,200	△ 6,627	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	207,946	214,573	△ 6,627	
正味財産期末残高	954,695	961,143	△ 6,448	

令和 8 年度収支予算書内訳表

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月31日まで

(千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	26,700	26,700		53,400
受 取 会 費	26,700	26,700		53,400
受 取 会 館 運 営 基 金	7,775	7,775		15,550
受 取 会 館 運 営 基 金	7,775	7,775		15,550
事 業 収 益	118,490			118,490
受 講 料 収 益	31,535			31,535
学 会 事 業 収 益	1,977			1,977
訪 問 看 護 事 業 収 益	57,192			57,192
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	0			0
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,530			26,530
そ の 他 の 事 業 収 益	1,256			1,256
受 取 補 助 金 等 収 益	2,268			2,268
受 取 県 補 助 金 等 収 益	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	0			0
受 取 受 託 収 益 等	69,244	1,023		70,267
受 取 県 受 託 収 益 等	57,762			57,762
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	1,823			1,823
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050			2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820			820
受 取 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	28,036			28,036
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510			510
受 取 訪 問 看 護 綜 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100			17,100
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300			300
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200			2,200
受 取 IHEAT 要 員 人 材 確 保 育 成 事 業	2,073			2,073
災 害 支 援 ナ ー ス フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修 事 業	660			660
高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	990			990
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,482	1,023		12,505
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,023	1,023		2,046
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	9,259			9,259
受 取 地 域 の 実 情 に 応 じ た 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
雑 収 益	1,277	4,150		5,427
受 取 他 の 利 息		2,500		2,500
そ の 他 の 雑 収 益	1,277	1,650		2,927
経 常 収 益 計	231,495	40,484	0	271,979
2) 経常費用				
事 業 費	240,090			240,090
役 員 報 酬	7,920			7,920
給 料 手 当	83,188			83,188
臨 時 雇 賃 金	18,795			18,795
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	504			504
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,570			3,570

科 目						公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
福	利	厚	生	費		17,524			17,524
役	賞	引	金	額		739			739
賞	与	当	繰	入		7,346			7,346
旅	費	交	通	費		4,282			4,282
通	信	運	搬	費		8,285			8,285
減	価	償	却	費		17,541			17,541
消	耗	器	備	品		0			0
消						4,649			4,649
修		繕				378			378
印	刷	製	本			5,137			5,137
新	聞	図	書			582			582
燃		料				714			714
光	熱	水	料			3,882			3,882
賃		借				11,417			11,417
保		險				1,597			1,597
諸		謝				12,524			12,524
委		託				8,179			8,179
広		報				5,606			5,606
租	税		公			8,981			8,981
支	払	負	担			1,672			1,672
支	払	助	成			3,707			3,707
雑				費		1,371			1,371
管	理			費			31,710		31,710
役	員	報	賃	酬			5,280		5,280
給	料	手	入	当			4,377		4,377
臨	時	雇	繰	金			200		200
役	退	引	入	額			336		336
退	職	当	繰	入			51		51
福	給	厚	生	額			1,946		1,946
役	利	当	繰	入			493		493
賞	与	金	繰	入			387		387
会		議		額			128		128
旅	費	交	通	費			842		842
通	信	運	搬	費			161		161
減	価	償	却	費			4,386		4,386
消	耗	器	備	品			0		0
消							245		245
修		繕					125		125
印	刷	製	本				1,827		1,827
新	聞	図	書				88		88
燃		料					400		400
光	熱	水	料				1,500		1,500
賃		借					3,388		3,388
保		險					54		54
諸		謝					53		53
委	税	託	公				1,991		1,991
租	払	負	担				2,400		2,400
支	払	寄	付				303		303
支				金			3		3
雑				費			746		746
經常費用計						240,090	31,710		271,800
当期經常増減額						△ 8,595	8,774		179

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
経常外増減の部				
1. 経常外収益				
経 常 外 収 益 計				0
2. 経常外費用計				
経 常 外 費 用 計				0
当 期 経 常 外 増 減 額				0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 8,595	8,774		179
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税				
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 8,595	8,774		179
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	448,590	297,980		746,570
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	439,995	306,754		746,749
指定正味財産増減の部				
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金				0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	166,304	48,269		214,573
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	160,563	47,383		207,946
正味財産期末残高	600,558	354,137		954,695

令和8年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和8年4月1日より令和9年3月31日まで

(千円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	合計
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
受取会費							26,700	26,700
受取会館運営基金収益							26,700	26,700
受取会館運営基金収益							7,775	7,775
事業収益	30,615	1,977	920	0	84,378	600	0	118,490
受講料収益	30,615		920					31,535
学会事業収益		1,977						1,977
訪問看護事業収益					57,192			57,192
居宅介護支援費収益					0			0
地域包括支援センター受託収益					26,530			26,530
その他の事業収益					656	600		1,256
受取補助金等	2,268	0	0	0	0	0	0	2,268
受取県補助金等	2,268	0	0	0	0	0	0	2,268
受取看護職員研修補助金	2,268							2,268
受取看護職員定着支援事業補助金								0
受取受託収益等	4,693	0	0	28,336	24,733	100	11,382	69,244
受取県受託収益等	4,693	0	0	28,336	24,733	0	0	57,762
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	1,823							1,823
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050							2,050
受取看護職員資質向上実務受託収益	820							820
受取看護職員確保・定着推進事業				28,036				28,036
受取訪問看護推進事業受託収益					510			510
受取訪問看護総合支援センター運営事業受託収益					17,100			17,100
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益					1,200			1,200
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益				300				300
受取医療的ケア児等訪問看護体制整備事業					2,200			2,200
受取IHEAT要員人材確保育成事業					2,073			2,073
災害支援ナースフォローアップ研修事業					660			660
高齢者保健事業推進基盤整備事業					990			990
受取日看協受託収益	0					100	11,382	11,482
受取会員登録事務受託費収益							1,023	1,023
受取法人会員助成金						100	9,159	9,259
受取地域の実情に応じた看護職確保推進事業受託収益							1,200	1,200
受取補助金振替額							5,741	5,741
受取補助金振替額							5,741	5,741
雑収益	0						1,277	1,277
受取利息								0
その他の雑収益							1,277	1,277
経常収益計	37,576	1,977	920	28,336	109,111	700	52,875	231,495
2) 経常費用								
事業費	32,142	1,823	1,954	33,206	102,111	6,692	62,162	240,090
役員報酬	3,000	0	0	0	0	0	4,920	7,920
給料手当	6,445	0	993	7,780	64,860	0	3,110	83,188
臨時雇賃金	2,616	0	0	8,086	7,935	150	8	18,795
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	504	504
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	3,570	3,570
福利厚生費	0	0	0	2,269	11,195	0	4,060	17,524
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	739	739
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	7,346	7,346
旅費交通費	1,976	130	93	120	358	1,605	0	4,282
通信運搬費	1,798	40	51	1,163	2,733	1,400	1,100	8,285
減価償却費	0	0	0	0	0	0	17,541	17,541
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	合計
消 耗 品 費	1,553	100	124	923	1,147	492	310	4,649
修 繕 費	0	0	0	0	0	3	375	378
印 刷 製 本 費	156	1,000	0	1,571	220	656	1,534	5,137
新 聞 図 書 費	60	0	0	30	50	142	300	582
燃 料 費	0	0	0	0	714	0	0	714
光 熱 水 料 費	0	0	0	250	132	0	3,500	3,882
賃 借 料 費	5,000	310	413	1,141	4,180	133	240	11,417
保 険 料 費	0	0	0	130	1,067	0	400	1,597
諸 委 託 費	8,488	80	258	2,353	990	355	0	12,524
広 告 費	340	60	0	1,200	450	0	6,129	8,179
租 税 公 課 費	0	0	0	2,570	112	1,424	1,500	5,606
支 払 負 担 金	0	0	0	2,637	1,844	0	4,500	8,981
支 払 金	344	0	0	785	157	0	386	1,672
雑 費	0	0	0	0	3,707	0	0	17,550
経 常 費 用 計	366	103	22	198	260	332	90	1,371
経 常 費 用 計	32,142	1,823	1,954	33,206	102,111	6,692	62,162	240,090
当 期 経 常 増 減 額	5,434	154	△ 1,034	△ 4,870	7,000	△ 5,992	△ 9,287	△ 8,595
Ⅱ 経常外増減の部								0
1. 経常外収益								0
経 常 外 収 益 計								0
2. 経常外費用計								0
経 常 外 費 用 計								0
当 期 経 常 外 増 減 額								0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	5,434	154	△ 1,034	△ 4,870	7,000	△ 5,992	△ 9,287	△ 8,595
法 人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税								0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	5,434	154	△ 1,034	△ 4,870	7,000	△ 5,992	△ 9,287	△ 8,595
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高								448,590
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高								439,995
指定正味財産増減の部								
一 般 会 計 へ の 振 替 額							△ 5,741	△ 5,741
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金								
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額							△ 5,741	△ 5,741
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高								166,304
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高								160,563
正味財産期末残高								600,558

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		☐ あ り	☒ な し
事業番号	借入先	金額	
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		☒ あ り	☐ な し
事業番号	設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
公益目的会計	吸収式冷温水発生機部品交換等	1,285,000 円	自己資金
公益目的会計	屋上排水管修繕、倉庫漏水対策等	973,000 円	自己資金
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		2,258,000 円	

令和 8 年度予算の概要

1 経常収益・費用等

【一般正味財産】		対前年度			対前年度
1 経常収益計	271,979千円 (△ 10,300千円)		・臨時雇賃金	18,795千円 (△ 5,058千円)	
(1) 受取会費	53,400千円 (△ 600千円)		・旅費交通費	4,282千円 (36千円)	
(2) 受取会館運営基金	15,550千円 (△ 700千円)		・減価償却費	17,541千円 (1,076千円)	
(3) 事業収益	118,490千円 (△ 12,727千円)		・印刷製本費	5,137千円 (△ 126千円)	
(内 訳)			・賃借料	11,417千円 (217千円)	
・受講料収益	31,535千円 (2,013千円)		・諸謝金 (講師等謝金)	12,524千円 (303千円)	
・学会事業収益	1,977千円 (77千円)		・委託費	8,179千円 (0千円)	
・訪問看護事業収益	57,192千円 (△ 1,608千円)		(2) 管 理 費	31,710千円 (1,175千円)	
・居宅介護支援費収益	0千円 (△ 13,114千円)		3 当期経常増減額	179千円 (△ 3,332千円)	
・地域包括支援センター収益	26,530千円 (△ 95千円)		4 当期経常外増減額	0千円 (0千円)	
・その他収入	1,256千円 (0千円)		5 当期一般正味財産増減額	179千円 (△ 3,332千円)	
(4) 受取補助金等・受取受託収益等	72,535千円 (1,227千円)		6 一般正味財産期末残高	746,749千円 (179千円)①	
(内 訳)			【指定正味財産】		
・受取県補助金等・受取県受託収益等	60,030千円 (203千円)		1 受取補助金等	0千円 (0千円)	
・受取日看協受託収益	12,505千円 (1,024千円)		(建物等への県等の補助金)		
(5) その他収入	12,004千円 (2,500千円)		2 一般正味財産への振替額	△ 6,627千円 (0千円)	
受取補助金振替、雑収益等			(補助金を受けた建物等の減価償却費相当額)		
2 経常費用計	271,800千円 (△ 6,968千円)		3 当期指定正味財産増減額	△ 6,627千円 (0千円)	
(1) 事業費	240,090千円 (△ 8,143千円)		4 指定正味財産期末残高	207,946千円 (△ 6,627千円)②	
(主な内訳)			【正味財産】		
・給料手当	83,188千円 (△ 3,712千円)		正味財産期末残高 (①+②)	954,695千円 (△ 6,448千円)	

2 収益・費用等の会計別内訳

(単位：千円)

区 分	公益目的会計	法人会計	合 計
一般正味財産			
経常収益	231,495	40,484	271,979
経常費用	240,090	31,710	271,800
当期経常増減額	△ 8,595	8,774	179
当期経常外増減額	0	0	0
当期増減額	△ 8,595	8,774	179
指定正味財産	△ 5,741	△ 886	△ 6,627
正味財産期末残高	600,558	354,137	954,695

※経常収益の会費及び会館運営基金は、公益目的事業会計と法人会計に50%ずつ按分

3 公益目的会計の内訳 (定款に定める事業別予算)

(単位：千円)

事業の区分	当年度	前年度	増 減
①教育等看護の質の向上に関する事業	32,142	30,347	1,795
②日本看護研究学会等の開催等学術研究の振興に関する事業	1,823	1,823	0
③看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	1,954	2,030	△ 76
④看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	33,206	34,033	△ 827
⑤訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業	102,111	116,048	△ 13,937
⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業	6,692	5,378	1,314
⑦公益目的共通事業	62,162	58,574	3,588
合 計	240,090	248,233	△ 8,143

※経常費用の額

4 公益法人の財務3基準

区 分	要件及び予算の状況等
①収支相償 (公益事業会計)	公益目的事業会計の経常収益と経常費用の収支差額は、△8,595千円で収入が支出を超えていない
②公益目的事業比率	公益目的事業会計の経常費用 (年間支出額) は合計全体の88.3%で50%を超えている
③遊休財産額	使途の決まっていない遊休財産 (R6末：22,072千円) は、公益目的事業会計の経常費用 (年間支出額) の240,090千円を超えない見込み

各 種 報 告

令和 7 年度	理事会報告	71
令和 7 年度	職能委員会報告	76
令和 7 年度	委員会報告	81
令和 7 年度	支部報告	88

令和 7 年度 理事会報告

1 理事会開催状況

回	日 時	場 所
1	令和 7 年 4 月 14 日 (月) 15:00～16:04	オンライン開催
2	令和 7 年 5 月 19 日 (月) 15:00～16:05	富山県看護研修センター
3	令和 7 年 6 月 20 日 (金) 16:02～16:42	オーバードホール・中ホール
4	令和 7 年 8 月 4 日 (月) 15:00～16:29	オンライン開催
5	令和 7 年 10 月 20 日 (月) 15:00～16:47	富山県看護研修センター
6	令和 7 年 12 月 8 日 (月) 15:00～16:16	富山県看護研修センター
7	令和 8 年 3 月 16 日 (月) 15:00～17:03	富山県看護研修センター

2 協議事項等

回	協 議 事 項 等	
1	1 協議事項	
	1) 令和 7 年度新規会員の承認について	[承認]
	2) 令和 7 年度委員及び支部役員の推薦等について	
	(1) 選挙管理委員及び推薦委員候補者の推薦	[承認]
	(2) 職能委員会委員の選任	[承認]
	(3) 各委員会委員の選任	[承認]
	(4) 支部役員の選任	[承認]
	3) 令和 7 年度定時総会について	
	(1) 令和 7 年度富山県看護協会定時総会議決事項	
	第 1 号議案 令和 7 年度富山県看護協会改選役員の選任	[承認]
	第 2 号議案 令和 8 年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任	[承認]
	第 5 号議案 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正	[承認]
	(2) 令和 7 年度富山県看護協会定時総会報告事項	
	令和 6 年度事業報告	[承認]
	4) 令和 7 年度富山県看護協会長表彰候補者について	[承認]
	5) 令和 7 年度事業について	
	(1) 合同委員会・支部役員会の開催	[承認]
	2 報告事項	
	1) 令和 6 年度日本看護協会会議等報告	
	(1) 全国職能委員長会報告	
	2) 令和 6 年度事業報告	
	(1) 会員数報告	
	(2) 委員会・支部報告	
	(3) 統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果報告	
	(4) 看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査結果報告	
	(5) ナースセンター事業実績報告	

回	協 議 事 項 等	
1	(6) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (7) 訪問看護に関する事業報告会開催報告 (8) その他の会議等報告 3) 令和7年度事業について (1) 研修日程の確定及び講師の変更等 (2) 看護補助者の求人・求職登録の開始 (3) 「看護補助者のお仕事説明会・体験会」実施病院の募集 (4) 「看護の日2025」新聞企画	
2	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和7年度富山県看護協会定時総会の運営について 3) 令和6年度決算報告及び監査報告について 2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会会議等報告 (1) 第1回理事会報告・第1回法人会員会報告 (2) ナースセンター事業担当者会議(Web)報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 専門性の高い看護師による地域支援活動についての報告 (3) 富山県看護協会事業継続計画(BCP)の制定について (4) 第56回(2025年度)日本看護学会学術集会都道府県看護協会公募企画について (5) 第35回富山県看護研究学会について (6) 研修会について (7) 「高校生の一日本看護見学」について (8) 後援・協力等依頼報告 (9) その他の会議等報告	[承認] [承認] [承認]
3	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和7年度委員会及び支部担当理事について 3) 令和7年度教育委員会委員の選任(変更)について 2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会会議等報告 (1) 第2回理事会報告 (2) 第8次医療計画中間見直しに向けた研修会報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 認定看護管理者教育課程第1回教育運営委員会報告 (3) IHEAT人材確保育成事業について (4) とやま看護フェスタ2025の開催について (5) 看護職員定着支援事業シンポジウムについて (6) 在宅ケア事例検討会について (7) 後援・協力等依頼報告 (8) その他の会議等報告	[承認] [承認] [承認]

回	協 議 事 項 等
4	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和8年度富山県への要望事項について 3) 富山県看護協会ひよどり富山居宅介護支援事業所の廃止について 2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会会議等報告 (1) 第3回理事会・第2回法人会員会報告 (2) 都道府県看護協会看護労働担当学会議報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 資金運用について (3) 認定看護管理者教育課程 第2回教育運営委員会報告 (4) 研修会等実施状況報告 (5) 研修受付方法の変更について (6) ナースセンター事業実績報告 (7) 看護補助者のお仕事説明会・体験会実施報告 (8) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (9) 訪問看護サポートステーションについて (10) 小児医療対応力向上技術研修会について (11) 訪問看護ステーション管理者育成研修会について (12) 委員会報告 (13) 支部報告 (14) 後援・協力等依頼報告 (15) その他の会議等報告
5	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和7年度事業について (1) 多様で柔軟な働き方の導入・看護補助者との業務分担・協働に関する調査の実施について (2) 看護職の勤務間インターバルに関する実態調査の実施について (3) 看護倫理活動に関する調査の実施について 3) 令和8年度事業等について (1) 令和8年度定時総会及び第3回理事会の開催について 2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会会議等報告 (1) 第4回理事会・第3回法人会員会報告 (2) 全国職能委員長会報告 (3) 都道府県看護協会政策責任学会議報告 (4) 都道府県看護協会教育担当学会議報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 2026年度ナースシップ継続の手続きについて (3) 研修実施報告 (4) 看護職が求める研修ニーズ調査の実施について (5) 研修【特別企画】「看多機を知ろう！」の開催について (6) IHEATの申し込み方法について

回	協 議 事 項 等	
5	(7) 研修「災害支援ナースの基礎知識」の開催について (8) 第35回富山県看護研究学会プログラム (9) とやま看護フェスタ2025実施報告 (10) 高校生の1日看護見学実施報告 (11) 訪問看護インターンシップ実施報告 (12) 委員会報告 (13) 支部報告 (14) 後援・協力等依頼報告 (15) その他の会議等報告	
6	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和7年度事業について (1) 看護職の職場におけるハラスメント実態調査の実施について 3) 令和8年度事業について (1) 三職能合同職能集会について (2) 看護職の体験談「忘れられない看護エピソード」の募集について 4) 令和8年度日本看護協会名誉会員及び会長表彰候補者の推薦について 5) 令和8年度執行部会・理事会日程について 2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会会議等報告 (1) 第5回理事会・第4回法人会員会報告 (2) 地区別法人会員会（東海・北陸地区）報告 (3) 地区別職能委員長会報告 (4) 都道府県看護協会広報担当役員会議（Web開催）報告 (5) 看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議（Web開催）報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 上半期決算報告 (3) 公益法人立入検査の結果報告 (4) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会報告 (5) 研修実施報告 (6) ナースセンター事業実績 (7) 訪問看護総合支援センター事業実績 (8) 委員会報告 (9) 支部報告 (10) 協会が運営する事業所の実績報告（上半期） (11) 後援・協力等依頼報告 (12) その他の会議等報告	[承認] [承認] [承認] [承認] [承認] [承認]
7	1 協議事項 1) 令和7年度新規会員の承認について 2) 令和8年度事業について (1) 重点事業・事業計画 (2) 収支予算 3) 令和8年度委員会の諮問事項及び支部の任務について 4) 2026年度生涯学習支援研修計画について	[承認] [承認] [承認] [承認]

回	協 議 事 項 等	
7	5) 他施設の看護職員が参加可能な研修に関する調査の実施について 6) 富山県看護協会事務局長の任命について	[承認] [承認]
	2 報告事項 1) 令和7年度日本看護協会等会議等報告 (1) 第6回理事会・第5回法人会員会報告 (2) 全国職能委員長会報告 (3) 都道府県看護協会健康危機管理担当学会議報告 2) 令和7年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 看護職が求める研修ニーズ調査結果報告 (3) 第35回富山県看護研究学会報告 (4) 令和7年度研修実施報告 (5) 研修WEB申込の利用方法について (6) 看護補助者のお仕事説明会・体験会実施報告 (7) 委員会報告 (8) 支部報告 (9) 後援・協力等依頼報告 (10) その他の会議等報告 3) 令和8年度富山県看護協会事業 (1) 訪問看護・医療機関相互研修事業の意向調査について	

令和 7 年度 職能委員会報告

◎保健師職能委員会活動報告

委員長 若杉 央

1 開催回数 6 回（研修会 2 回含まず）

2 活動目標

（1）保健師の専門性の向上を図る。

（2）地域包括ケアの推進に向けて、産後ケア等の課題や取組みを共有するとともに、保健師・助産師等の連携を深める。

（3）統括保健師の能力の向上を図る。

3 活動内容

（1）研修会の開催

ア 保健師・助産師交流会

テーマ「気がかりな妊産婦への支援」

日 時 令和 7 年 8 月 18 日（月） 14:00～16:30

場 所 富山県看護研修センター

内 容 報告「気がかりな妊産婦への支援」

入善町元気わくわく健康課・保健センター保健師 田中 優香 氏

南砺市健康課 副主幹・母子保健係長 橋爪 奈千 氏

南砺市こども課こども家庭センター副主幹 こども家庭支援係長

但田 誠子 氏

高岡児童相談所主任

土浦 優 氏

富山県立中央病院上席主任

廣川 絢 氏

意見交換 気がかりな妊産婦への支援で、工夫していること

病院と地域との連携の実際や地域で必要な情報について

助言者 富山県高岡厚生センター氷見支所地域健康課長

板鼻 広美 氏

参加者 46名

イ 統括保健師の配置と育成

日 時 令和 7 年 10 月 6 日（月） 14:00～16:30

場 所 富山県看護研修センター

内 容 報告「統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査」

保健師職能委員

実践報告「統括保健師の配置と育成」

富山市保健所保健予防課長

堀井 由紀 氏

小矢部市健康福祉課課長補佐

荒井 都子 氏

意見交換 統括保健師またはその役割を担う困難

統括保健師の配置のための働きかけ

次期統括保健師の育成にむけて所属でできること

助言者

富山県厚生部医務課 主幹

平 和美 氏

PHN-PER オフィス 富山県立大学名誉教授

佐伯 和子 氏

参加者 29名

- (2) 自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による地域全体の健康・療養支援としくみづくりについての情報交換

現状は、事例検討で顔つなぎができる、認定看護師と研修などを共に企画、連絡会や勉強会の実施同行訪問を実施している。

課題は、社会資源やつなぐ先がわからない、看護職により連携についての考え方・認識の違いがあるのではないかとということである。

これからにむけて、看護職がお互いのことを知るための情報共有のあり方、保健師に関する情報発信方法を考えていくことが必要である。

- (3) 日本看護協会保健師職能委員会活動

ア 全国保健師職能委員長会 2回

(TKP新橋カンファレンスセンター)

イ 東海北陸地区保健師職能委員長会 1回 (金沢ニューグランドホテル)

4 目標達成度、次年度に向けての課題

気がかりな妊産婦への支援について、各機関の役割と専門性を理解し関係づくりを構築することにつながった。

また、統括保健師の配置と育成に関する研修において、統括保健師の役割を担う保健師同士が交流し、情報共有に加え、統括保健師の役割達成の動機付けができ、今後の保健師活動につながるよい機会とできた。

以上より、活動目標はほぼ達成とする。

次年度は、引き続き各機関の役割を共有し、看護職が連携した支援について協議していきたい。また、保健活動における課題を整理するとともに、保健師が地域の状況に応じた活動を理解し、その意義を実感できるよう取り組んでいきたい。

◎助産師職能委員会活動報告

委員長 森 太貴子

- 1 開催回数 6回 (研修会2回含まず)

2 活動目標

- (1) ライフステージに応じた女性のケアを考え、助産師の役割拡大を検討する
- (2) 県内の小・中学校と連携し「いのちの教室」を実施する
- (3) 助産師育成を目的とした、助産師育成研修システムについて検討する

3 活動内容

- (1) 保健師・助産師交流会

テーマ:「気がかりな妊産婦への支援について」

場 所: 富山県看護研修センター

日 時: 令和7年8月18日(月) 13:00~16:00

富山県内広域の保健師、助産師の交流による情報交換となり参加者の満足度は高かった。互いに連絡する際に躊躇している様子や、保健師の活動の理解に繋がっていた。

- (2) 研修会開催

場 所: 富山県看護研修センター

日 時: 令和7年9月6日(土) 9:00~16:00 参加者 39名

テーマ: CLoCMiP®レベルⅢ対応研修

- ① 講 師: 富山県済生会高岡病院 医師 吉本 英生 氏

内 容: 基本から学ぶ産科関連フィジカルアセスメント、NST判読

- ② 講師：富山県立中央病院 医師 二谷 武 氏
内 容：新生児のフィジカルアセスメント
- (3) 「いのちの教室」小中学校への出前講座（資料参照）
8校（445名受講） 出講助産師 10名（3施設から）
- (4) 看護フェスタ
ブース名：「Let'sママになってみよう！助産師のお仕事をのぞいてみよう！」
企 画：赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験、胎児モデル展示、助産師の仕事紹介、分娩施設紹介
- (5) 日本看護協会助産師職能委員会活動
全国助産師職能委員長会（東京開催）2回、地区別職能委員長会（金沢開催）1回
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題
少子化が進み、ほぼ混合病棟となる分娩取扱い施設の現状を意見交換した。厚生労働省が運営する情報サイト「出産ナビ」の施設情報の掲載を確認し、現状との乖離を確認した。「いのちの教室」は、地域貢献として、依頼先の最寄りの施設助産師の協力を得て実施した。依頼施設に偏りがあるため、次年度は助産師職能委員会としての協力体制を考えたい。富山県内の全域で、産後ケア事業の取り組みとなった。保健師・助産師交流会では、母子の継続支援について情報交換は満足度も高く、次年度も継続課題とする。継続課題はあるが、今年度の目標はほぼ達成とする。次年度は、プレコンセプションケア推進に向けて企画・運営をする。

◎看護師職能 I 委員会活動報告

委員長 小倉 里美

- 1 開催回数 8回（研修会・交流会は含まず）
- 2 活動目標
 - (1) 多様で柔軟な働き方の導入に関して県内の現状把握を行い、課題を集約する
 - (2) 看護の専門性に資するタスクシフト/シェアの推進に関して検討する
 - (3) 病院における在宅療養支援の質向上を図る
- 3 活動内容
 - (1) 看護職員資質向上研修（小規模施設・福祉施設等対象）の企画・運営
 - ア 感染管理
ねらい：看護職員が従事している領域の感染管理を学び、自施設で活かすことができる
日 時：令和7年7月17日（木）13:30～16:30
講 師：富山赤十字病院 感染管理認定看護師 亀山 礼子 氏
内 容：講義 演習（PPE着脱訓練 意見交換）
参加者：31名（看護師28名、准看護師3名）
 - イ フィジカルアセスメント
ねらい：フィジカルアセスメントの基礎知識を学び、日々の看護実践に活かす
日 時：令和7年8月21日（木）9:30～16:30
講 師：黒部市民病院 クリティカルケア認定看護師 八倉 卷 考司 氏
富山県済生会高岡病院 クリティカルケア認定看護師 福井 達也 氏
富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 宮崎 優 氏
内 容：講義 演習（呼吸音聴診 意識・麻痺の評価 事例検討）
参加者：35名（看護師30名、准看護師5名）
 - (2) 職能別キャリア研修の企画・運営
 - ア 准看護師の生涯学習支援
ねらい：准看護師の資質の向上とキャリア支援
日 時：令和7年9月11日（木）13:30～16:00

講 師：ふくの若葉病院 看護部長 鍛治本 秀子 氏
医療法人 光ヶ丘病院 認知症看護認定看護師 林 浩靖 氏
かみいち総合病院 手術室看護認定看護師 柿森 祐司 氏

内 容：講義 意見交換

参加者：8名（准看護師8名）

(3) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修の企画・運営

ねらい：地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来を担うべき役割を習得するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。

在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

日 時：令和7年12月19日(金) 13:30～16:00

講 師：公益社団法人富山県看護協会 会長 岡本 里美 氏
富山赤十字病院 看護師長 曾山 潤 氏

内 容：事前eラーニング 講義 事例報告 意見交換

参加者：29名（看護師29名）

(4) 多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務分担・協働に関する調査の実施

富山県看護協会会員施設のうち調査回答可能な70病院の看護部長や看護部代表者にWEBによるアンケート調査を行い、44件（回答率62.8%）の回答を得た。

限られた人材で質の高い看護を提供するため、県内各施設における多様で柔軟な働き方や、看護補助者との業務分担・協働に関する取り組みについて現状把握、課題の集約を行った。

(5) 日本看護協会看護師職能委員会活動

ア 全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域出席 2回

イ 地区別看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域出席 1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

看護師職能Ⅰでは、多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務分担・協働に関する調査を実施し、県内44施設の現状把握、課題の集約を行った。また、4つの研修会の企画・運営を行った。「外来における在宅療養支援能力向上のための取り組み」では、県内の他施設の取り組みの情報や意見交換により、外来看護の役割や在宅療養支援の課題を多くの施設が認識することができた。以上より今年度活動目標は、ほぼ達成とする。

次年度は、今年度の調査結果を活かし、多様で柔軟な働き方を実現するための取り組みを推進する活動を行う。また、引き続き病院領域看護職の、キャリア継続や在宅療養支援能力向上のための支援を行う。

◎看護師職能Ⅱ委員会活動

委員長 小原 留美

1 開催回数 8回（研修会・交流会は含まず）

2 活動目標

- （1）教育・研修機会の充実や看護実践を通じて、在宅・施設における看護の質の向上を図る
- （2）訪問看護・介護領域の魅力や必要性を発信し、人材の確保と継続的育成を図る
- （3）訪問看護・看多機の提供体制構築に向け、現場の実情に基づく意見を集約する

3 活動内容

（1）在宅・地域医療を推進する研修

テーマ：小規模事業所における災害時対策

日時：令和7年6月4日（水）13:30～16:30

場所：富山県看護研修センター

講師：国立医療福祉大学大学院 内海 清乃 氏

内容：講義及びグループワーク

参加者：34名

（2）資質向上研修

テーマ：利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策について学ぶ

日時：令和7年7月26日（土）13:30～16:30

場所：富山県看護研修センター

講師：関西医科大学 三木 明子 氏

内容：講義及びグループワーク

参加者：42名

（3）事例検討会

黒部市民病院、富山県立中央病院、真生会富山病院、市立砺波総合病院で開催、県内の訪問看護ステーションから事例を提供し、認定看護師等がアドバイザーになり、訪問看護師や医療機関の看護職が在宅療養者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できる事例検討会となった。

（4）看護小規模多機能居宅介護について現状把握、情報共有

ア 令和7年9月4日（木）希望のひかり 杉田 美紀 委員より、看多機の現状について紹介

イ 令和7年10月1日（水）日本看護協会主催「看多機の設置促進に向け、看多機事業所や自治体の取り組み等を紹介するオンラインセミナー」に参加

ウ 令和8年1月17日（土）富山県看護協会主催「看多機を知ろう！」

講師 福田 裕子 氏に参加

（5）日本看護協会看護師職能Ⅱ委員会活動

ア 全国看護師職能Ⅱ委員長会（東京開催）2回

イ 地区別看護師職能Ⅱ委員長会（石川開催）1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

研修会の開催や在宅事例検討会への参加を通し、看護職の連携強化と資質向上に一定の成果を得た。一方で、看Ⅱ領域の魅力発信については具体的な取り組み成果には至らず、看多機についても現状把握と研修参加による情報収集にとどまったため、目標達成率は90%とする。次年度は魅力発信方法を具体化するとともに、看多機の課題整理を進めたい。

令和 7 年度 委員会報告

◎総務委員会

委員長 黒田 昌樹

1 開催回数 8 回

2 活動目標

- (1) 看護学校への訪問も含めて、若い人のニーズを把握する
- (2) 看護の日の新聞のテーマを決定する
- (3) 加入するメリットの可視化や特典の検討をする

3 活動内容

- (1) 看護学校への訪問も含めて、若い人のニーズを把握する

今年度の学校訪問は、昨年の看護専門学校 4 校と高校 1 校に加え、大学 2 校の計 7 校を訪問した。看護学生に対し、看護協会の紹介をパワーポイントを用いて行った。今回は日本看護協会の動画を活用し、より分かりやすく理解の促進を図った。参加学生数は計 375 名。また、今回から Google フォームを活用し、受講した学生にアンケート調査を行ったことで、理解度や要望を確認できた。

- (2) 看護の日の新聞のテーマを決定する

看護の日の新聞掲載テーマの検討と内容について検討し、提案した。

- (3) 加入するメリットの可視化や特典の検討をする

他の都道府県看護協会の特典について情報収集したことを提案し、特典を増やした。また、看護とやまに入会特典について掲載した。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

昨年に引き続き学校訪問を継続して行った。学生にとっては看護協会の事業内容や入会のメリットについて、就職前から知る機会となり、理解を促すことができた。また、アンケートの結果では看護協会へのポジティブな意見が多く、興味をもってもらえる機会となり、学校訪問が入会の動機づけとなったと考える。

次年度も看護の魅力を伝える機会となるよう、取り組みを継続したい。

◎教育委員会

委員長 石黒 伸昌

1 開催回数 7 回

2 活動目標

- (1) 年間教育計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質向上を目指す
- (2) 生涯学習ガイドラインに沿って、会員のニーズを分析した上で具体的な計画を行う
- (3) 生涯学習に関わる多様な組織・機関と連携を検討する

3 活動内容

- (1) 令和 7 年度研修会を分類に沿って、29 研修 39 日間実施した。

ア 新人研修：新人看護職員研修Ⅱ

イ 専門性を深める研修：優しさを伝える認知症ケア、感染対策Ⅰ基礎編、感染対策Ⅱ実践編、糖尿病の看護、脳卒中患者の看護、摂食嚥下障害の理解とケア、現場で活かせる褥瘡ケア、せん妄の理解とケア、がん看護（基礎編・応用編）、高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア、ジェンダー（LGBTQ）への理解と支援、こころと命を守る支援、虐待とネグレストを予防する、患者の尊厳を大切にした看護をめざして

ウ 教育・研究：新人看護職員研修責任者・教育担当者研修、新人看護職員実地指導者研修、中堅看護職員の人材育成

エ 看護管理：現場で役立つコミュニケーション！、メンバーシップを発揮しよう、対応が困難な看護職者への支援の基本と実践、コーチングできるリーダー育成、サーバントリーダーシップ、ハラスメント対策、生涯学習とキャリア開発支援

- オ 在宅・地域医療を推進する研修：精神科訪問看護師育成研修、地域で暮らす患者を支える多職種連携
- カ 診療報酬に関する研修：認知症高齢者の看護実践に必要な知識
- (2) その他
 - ア 看護研究学会を研究委員と連携しサポートすることができた
 - イ 看護師基礎教育を考える会を開催し、ファシリテーターを務めた
 - ウ 会員の研修ニーズを把握するためのアンケートを行った
 - エ 他施設の看護職員が参加出来る研修を調査し、集計を行い協会ホームページに掲載した
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題
 - (1) 目標達成度

会員を対象に看護とやまにQRコードを掲載し、アンケートを行った。
結果をもとに、来年度新研修（小論文・メンタルヘルス・資産運用・様式9）を企画した。
今年度：新研修（ハラスメント・職場適応支援・メンバーシップ・中堅看護職員の人材育成）などは参加率が高かった。
 - (2) 次年度に向けての課題

他施設の看護職員が参加できる研修の実績調査・評価 3月に再度施設へ照会を行う
新企画研修の評価

◎広報委員会

委員長 伊勢呂 博恵

- 1 開催回数 12回
- 2 活動目標

富山県看護協会の使命を受け、県民及び会員の皆様、看護をめざす皆様に、看護協会の活動等、看護に関する情報を提供する。
- 3 活動内容
 - (1) 行事の取材（定期総会、看護研究学会等）
 - (2) 富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行
 - ア 「看護とやま」掲載記事の編集を行い4回発行
No.155（4月号）、No.156（7月号）、No.157（10月号）、No.158（1月号）
 - イ テーマ「ともに歩む」（2年目）
 - ウ 表紙「富山県の四季折々の風景や富山県の魅力を紹介」
会員から写真を募集し、富山県や近県の自然や風景、富山の魅力を紹介した。
 - エ 主な掲載内容
 - No.155・令和7年度定時総会の報告 ・支部活動「黒部・魚津地区支部」
・地域で活躍する認定看護師 ・ともに歩む特集「働くナースマン」
 - No.156・令和7年度富山県看護協会定時総会・新役員紹介
・ともに歩む特集「新人紹介」
 - No.157・令和8年度富山県への要望事項
・令和7年度セカンドレベル実践報告会
・ともに歩む特集「訪問看護ステーション」
 - No.158・第35回 富山県看護研究学会報告
・ともに歩む特集「地域や病院での患者会や交流会紹介」
 - (3) 看護協会員の入会増加に向けた広報活動への具体的内容検討
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

「看護とやま」は、会員の皆様の原稿協力を得て、発刊できた。多くの方に看護協会の活動や看護の情報が伝わるよう興味ある紙面づくりに努め、看護協会員の拡大にも寄与したい。

◎社会経済福祉委員会

委員長 中空 真由美

1 開催回数 9回

2 活動目標

- (1) 看護職員が働き続けられる職場環境に関する内容を発信し各職場の定着支援につなげる
- (2) 看護の日の新聞のテーマを決定する
- (3) 医療現場の安全と円滑な運営維持することで看護職がより良い環境で働き続けられるよう推進する

3 活動内容

心理的安全性について学び安心して発言・行動できる職場環境づくりを考える機会とする研修会を企画した。

(1) 看護職員定着支援事業シンポジウム

日時 令和7年8月6日(水) 13:30~16:00

参加者 42名(17施設)

ア シンポジウム「イキイキ働くためのコミュニケーションとは」

イ 講演「心理的安全性の高い職場づくり」

講師 公立学校共済組合北陸中央病院 臨床心理士 富田 さなえ氏

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

日時 令和7年12月10日(水) 13:30~16:30

参加者 36名(19施設)

ア 報告施設 医療法人社団基伸会栗山病院、富山県済生会富山病院

イ 講演「医療現場におけるカスハラ問題とその対策」

講師 ともさわ社会保険労務士事務所 社会保険労務士 友澤 景子氏

(3) 広報誌「看護とやま」(No157・No158)に看護職が働き続けられる職場環境に関する研修内容を掲載した。

(4) 看護職の勤務間インターバルに関する調査の実施

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

シンポジウムや講演を通じて働き続けられる職場環境づくりを提案することができた。勤務間インターバルに関する調査を実施し各医療機関の実態を知ることができた。次年度は看護職のウェルビーイングを理解し職場の魅力向上を図り定着支援につなげる。

◎看護倫理委員会

委員長 高 しのぶ

1 開催回数 9回

2 活動目標

- (1) 県内の施設に対して、看護倫理に関する現状を把握する
- (2) 看護倫理研修を実施評価し、次年度の活動に活かす

3 活動内容

(1) 看護倫理研修ⅠⅡⅢの企画・運営・支援

ア 看護倫理Ⅰ 9月24日(水) 参加者66名

ねらい：看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる

日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる

倫理的問題に立ちはだかった時には「倫理原則」で検討する事、患者・家族・医療者のそれぞれの価値観を認め合いながら、患者の思いに寄り添った医療・看護が提供していけるように医療チームで話し合うことが重要であることを学んだ

イ 看護倫理Ⅱ(ハイブリッド研修) 10月17日(金) 参加者74名

ねらい：看護職が専門職として、身につけるべき倫理の基礎を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び、自施設の活動に活かす

意思決定支援のため、事例検討シートの活用や倫理カンファレンスの運営のポイント

などを学べる機会となった。研修の活用として、自施設での倫理カンファレンスの開催が挙げられた。ハイブリッド研修で実施したが、Zoom参加者は全体の25%であり来年度は現地開催とする。

ウ 看護倫理Ⅲ 令和8年2月17日(火) 参加者29名

ねらい：地域包括ケア時代において、多様な場面での倫理問題に向き合い、倫理風土を育む人材を育成する

倫理的問題は複数存在していることに気づき、広い視野で物事を考える必要があること、患者を深く知ろうとすることの大切さや、多職種で根気強く話し合うことの重要性を再認識できた。

エ 看護倫理活動に関する調査の実施

ねらい：県内の急性期・回復期病院を除く施設に対して、看護倫理活動現状とニーズを明らかにし、今後の看護倫理研修の企画運営に活かす

アンケート調査：令和7年10月27日～令和7年11月21日 対象施設37施設

回答数27施設（回答率72.9%）倫理委員会設置状況は約3割が設置。研修会実施状況は6割が開催。課題として倫理的問題発生時のカンファレンス不足がある。急性期・回復期病院以外の施設における看護倫理活動やニーズが把握でき、出前講座の必要性が明らかになった。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

- (1) 受講者の75～100%が研修目的を「達成できた・一部達成」と回答、効果的な研修ができた。看護倫理Ⅱはハイブリッド研修だったが、Zoom参加者は全体の25%であり来年度は現地開催とする。
- (2) 看護倫理活動に関する調査結果より、急性期・回復期病院以外の施設において、看護倫理に対する関心が高く出前講座を希望する施設が7割あった。来年度は、出前講座の企画・運営につなげる活動を行っていく。

◎医療安全委員会

委員長 濱田 裕子

1 開催回数 6回（研修会開催を含まず）

2 活動目標

- ・医療安全対策に関する専門能力の育成及び支援を行う
- ・医療安全管理者の養成及び施設内の医療安全体制を整備・構築するための情報交換や資質向上を図る
- ・ハラスメント対応に関する各施設の現状を把握し今後活かす

3 活動内容

医療安全対策研修会の企画及び運営（5回9日間）

- (1) 医療安全の観点からのリスクマネジメント（定員50名×3日）
6月13日(金) 28名参加、7月8日(火) 30名参加、8月8日(金) 23名参加
- (2) 新人看護職員研修Ⅱコミュニケーションスキルを磨こう（定員140名×2日）
10月1日(水) 134名参加、10月10日(金) 134名参加
- (3) 医療安全管理者養成研修（定員30名）
10月3日(金) 30名参加
- (4) 楽しく学ぼうKYT・一から学ぶチームSTEPPS（定員50名）
10月16日(木) 58名参加
今年度から医療安全委員のメンバーが講師となり開催
- (5) 医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント（定員50名）
11月27日(木) 37名参加

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

(1) 専門的知識の獲得支援について

今年度もラダーに応じた研修を実施した。全ての研修において目的の達成度や満足度が概ね高く、研修の目的は達成とする。しかし定員募集人数よりも大幅に少ない研修があるため、次年度は対象者の条件見直しを行い、より参加しやすい研修とすることで、専門的知識の獲得支援につなげる。

(2) 医療安全管理者の養成及び資質向上について

医療安全管理者養成研修は、自施設のインシデント事例を持ち寄り、初期対応や再発防止策について検討し学びを深めた。システム思考で考えることができ、目標は達成とする。

(3) ハラスメント対応に関する各施設の現状の把握

県内各施設でのハラスメントに関する実態調査を実施し、概ね内容の把握はできたため目標は達成とする。次年度は各課題の整備を行い、職場環境の改善や離職防止に向けた活動を行っていく必要がある。

◎災害看護委員会

委員長 山口 都

1 開催回数 6回

2 活動目標

富山県看護協会として、災害支援ナースの応援派遣体制を整備する

(1) 災害支援ナース養成研修を実施し、登録者を養成

(2) 災害支援看護師派遣体制の整備

(3) 防災訓練に参加し、地域の災害対応を把握する

3 活動内容

(1) 災害支援ナース養成研修（オンデマンド研修・集合研修）を実施・運営

ア 令和7年8月1日(金)～10月20日(月) オンデマンド研修

イ 令和7年10月21日(火) 災害看護 受講者 75名

ウ 令和7年11月14日(金) 感染看護 受講者 74名

エ 令和7年12月8日(月) 災害支援ナース基本知識 受講者30名

(2) 災害支援看護師派遣体制の整備

ア 日本看護協会と富山県が業務提携され、日本看護協会災害支援ナース派遣調整マニュアルに準じてポケットマニュアルの改訂を行った。

イ 災害派遣時のリストに沿って災害発生時にすぐに持ち出せるよう災害支援活動物品の整理を行った。

(3) 災害訓練参加

ア 富山県総合防災訓練

令和7年9月28日(日) 南砺市城端屋内グラウンド 参加者2名

救護所において避難住民の状況を速やかに把握し、適切な医療・看護を提供する重要性を確認した。

イ 富山県原子力防災訓練

令和7年11月24日(月) 氷見運動公園 参加者2名

原子力の汚染状況を確認するため、避難退域時検査に訪れた住民の体調不良者の対応を行った。支援者自身が被災者となる危険性があるため、原子力災害時の知識を理解し、適切に対応する重要性を確認した。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

災害支援ナースは合計201名となった。次年度は、災害支援ナース養成を継続し登録者を確保する。また、フォローアップ研修を実施し災害支援ナースのとしての専門的な看護実践スキルを向上する。

◎学会委員会

委員長 寺井 彩

- 1 開催回数 委員会 9 回、研修会 7 回
- 2 活動目標

- (1) 富山県看護研究学会の企画・運営ができる。
- (2) 看護研究研修の企画・運営ができる。

3 活動内容

- (1) 第35回富山県看護研究学会の企画・運営について
演題登録数は25演題であった。今年も昨年に引き続きオーバードホール中ホールにおいて対面形式の学会開催となり、口演19演題、示説6演題を採択した。特別講演は「私を引きつける看護の魅力」という題で、NPO法人デイサービスこのゆびと一まれ 理事長 惣万佳代子氏に依頼した。
- (2) 看護研究研修の企画・運営について
レベルごとにⅠ～Ⅳを企画し、受講者のニーズに答えられるよう開催時期・回数・研修内容・参加者数を検討した。Ⅰは1日コースを3回、Ⅱは2日間コースを1回、Ⅲは1日コースを2回・Ⅳは1日コースを1回開催し、研修後に受講生のアンケートに基づき評価を行った。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

- (1) 富山県看護研究学会においては、査読・集録の作成ともに予定通りに進めることができた。学会会場は昨年に引き続きオーバードホール・中ホールとし、事前打ち合わせを十分にを行い、大きなトラブルはなく開催できた。最大客席数652席の会場で、参加者数525名であった。今回より演題発表1席毎の質疑に変更した点は高評価であり、次年度も同様のスタイルで行う予定である。アンケートの回収率は17%と低い結果となったが、今後学会運営をする上で様々なご意見やアドバイスを頂戴したため、次年度に生かしていく。
- (2) 看護研究研修については、全て計画通り実施できた。研修Ⅲにおいては、今年度より新しい講師に担当していただいた。研修後のアンケート結果も良好であり、次年度以降も継続していただく。研修は演習が多いため、次年度も引き続き、受講生のニーズを把握しながら委員が講師と受講生の橋渡し役となることが求められる。

◎選挙管理委員会

委員長 中谷 栄里子

- 1 開催回数 4 回
- 2 活動目標

- ・公益社団法人富山県看護協会の役員及び日本看護協会代議員並びに同予備代議員の選挙を公正に行う。

3 活動内容

- (1) 改選役員及び代議員・予備代議員の公表
令和7年度富山県看護協会新役員及び令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員選任結果を「看護とやま」No.156（7月15日号）に掲載した。
- (2) 選挙公示
公募について、令和8年度富山県看護協会改選役員及び令和9年度日本看護協会代議員・予備代議員を「看護とやま」No.158（1月15日号）に掲載した。
- (3) 立候補者なし。推薦候補者を「看護とやま」No.159（4月30日号）に公示した。
- (4) 選挙手順の確認
・選挙に備え、富山県看護協会定時総会での選挙管理委員会の役割を確認した。
(準備から当選当日までの工程を確認)
・総会出席者による投票を支障なく行うため、選挙当日の手順書の内容を確認した。
- (5) 選挙録の作成
選挙の経過を記録した選挙録を作成し、委員長の署名捺印を行う。
6月25日(水) 年間活動計画を作成

- 9月12日(金) 総会予定日・選挙手順の確認
- 11月14日(金) 選挙公示に向けての準備
選挙関連書類の確認
「看護とやま」掲載内容の検討
- 4月3日(金) 候補者の最終確認

◎推薦委員会

委員長 中橋 香織

- 1 開催回数 6回
- 2 活動目標
 - (1) 改選役員、職能委員、推薦委員候補者を推薦する。
 - (2) 代議員及び予備代議員を推薦する。
- 3 活動内容
 - (1) 公益社団法人日本看護協会定款及び定款細則について読み合わせ
日本看護協会：定款第4章（代議員・予備代議員）第5章（総会）
定款細則第5章（代議員・予備代議員の選出）第6章（総会）
 - (2) 公益社団法人富山県看護協会役員などの推薦及び推薦委員に関する規定について読み合わせ（目的から附則まで）
 - (3) 公益社団法人富山県看護協会職能委員会規定の読み合わせ（目的から附則まで）
富山県看護協会：定款5章（役員）第7章（職能委員会）
 - (4) 令和8年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
 - (5) 令和8年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出
 - (6) 公益社団法人富山県看護協会役員などについて
令和8年度役員の推薦候補を選出し、規定に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
 - (7) 日本看護協会代議員・予備代議員について
令和9年度代議員・予備代議員を選出し、規定に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
 - (8) 推薦委員会運営マニュアルの改訂
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題
 - ・適正な委員候補者を推薦することができた。
 - ・今年度改訂した委員会運営マニュアルを活用し、今後も適正な委員の選出を行う。
 - ・委員継続の意向確認後でないと候補施設の選出等に取りかかれないため、委員継続の意向確認を12月の委員会前までに把握できるよう看護協会事務局と調整し、計画的に進める。
 - ・看護師職能Ⅰ准看護師枠の選出に苦慮した。（人材不足等の状況から選出施設が限定）次年度も准看護師枠の選出が予想されるため、早期から選出施設等の検討が必要である。

令和 7 年度 支部報告

◎黒部・魚津支部

支部長 藤田 由紀江

1 活動目標

多職種と連携し、地域高齢者の健康ニーズに沿った支部活動を実践する。

	開催日時	開催場所	対象者		参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	①11月12日(水) 19:00～20:30 ②・9月5日(金) 14:00～16:00 ・10月9日(木) 14:00～16:30 ・10月30日(木) 14:00～16:30 ③2月9日(月) 14:00～15:30	①新川文化ホール 黒部市民病院 及び 富山労災病院	地域住民 新川医療圏内の 医療機関及び介護・福祉施設、 訪問看護ステーション		①54人 ②74人 ③43人	目的：地域住民の健康管理、在宅療養支援 対象：開催地区の地域住民・医療介護従事者 内容：①がん患者の在宅療養支援事例検討会(新川厚生センター・黒部市民病院・富山労災病院共催) ②看護職員等資質向上実務研修協力参加(新川厚生センター主催) ③看護管理者等連絡会(新川厚生センター主催) 評価：がん患者の在宅療養支援事例検討会では、介護・福祉施設や訪問看護ステーションより多数の参加があり、多職種連携や家族ケアのあり方等について考える良い機会となった。 看護職員等資質向上実務研修では、医療安全に関してKYT研修を行い、確認行為の徹底と危険を事前に予防することの重要性を学び、「現場に活かすことのできる内容であった」との声が聞かれた。また、感染対策の研修では、感染対策の基本を学び、事例検討を行い、実践力向上につながる研修となった。 看護管理者等連絡会では、入退院支援の現状や課題について情報交換を行い、入退院支援の促進や医療・介護連携体制の充実を図った。
2. 支部研修会	9月20日(土) 10:00～12:00	黒部市民病院	職種	保健師：5人 助産師：4人 看護師：30人 准看護師：1人	40人	目的：看護職自身が健康を保ちながら、活躍し続ける 対象：地区支部看護協会員 内容：①協会の「将来ビジョン2040年」動画 ②男女ともにホルモンバランスを整え、健康管理する テーマ：「働く女性の健康管理～月経にキャリアを邪魔されない～」 講師：厚生連高岡病院 産婦人科医 伊藤実香氏 評価：働く女性のライフサイクルに沿った身体の変化や健康管理、リフレッシュしながら働き続けられるアドバイスなど大変わかりやすく有意義な講演であった。
			所属	病院：6施設 行政：2施設		
3. 「まちの保健室」事業	8月23日(土) 9:00～13:00	入善町サンウェル	地域住民		100人	目的：地域住民の健康意識の向上 対象：地域住民 内容：入善町主催の「健康フェスタ」に共催参加 健康相談、介護相談、血圧測定、体脂肪測定 評価：地域住民との交流を通して、健康チェックを行い、測定値について説明し、日頃の健康管理の重要性や方法を理解してもらえるように啓発することができた。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	①看護の出前講座 10月15日(水) 10:15～11:00 11月4日(火) 13:30～14:30 11月7日(金) 13:30～14:30 11月28日(金) 10:25～11:10 12月9日(火) 午後 2月10日(火) 14:25～15:10 ②こども ジョブトライ 7月27日(日) 9:00～12:00	魚津市立 よつば小学校 魚津市立 清流小学校 魚津市立 道下小学校 黒部市立 桜井小学校 黒部市立 明峰中学校 黒部市立 たかせ小学校 黒部市民病院	5年生 6年生 6年生 6年生 6年生 1年生 6年生 5・6年生 (黒部市内)	91人 84人 47人 74人 171人 26人 21人	目的：地域の小中学校で「看護の出前講座」を開催し看護職の魅力ややりがいを伝え、将来の看護職確保につなげる 対象：地域の小中学校 内容：①看護の出前講座を企画・実施する（小学校4校・中学校1校） ・看護師や助産師のお仕事について、クイズ形式で学ぶ ・DMATの紹介と災害時の行動について ・がんという病気を理解し、リンパ浮腫やリンパマッサージについて体験する ②こどもジョブトライ お仕事体験会（黒部市民病院主催） 評価：看護師の出前講座については、6校より応募があり、看護職の魅力とやりがいを伝えることができた。災害時の搬送体験や救急車の見学はとても興味を示し、やりがいのある仕事であることが伝わったと考える。 こどもジョブトライについては、看護職だけではなく、医師や他職種のお仕事体験をしてもらった。児童からは、「血液型判定や手術室でロボット操作をしてみても楽しかった」等の意見が聞かれた。興味深い体験となり、医療職への関心が高まるきっかけとなった。
5. フレイル啓発・予防活動事業	10月27日(月) 13:00～14:00	魚津市 サンプラザ	地域住民 (魚津市)	29人	目的：地域住民の健康意識の向上・フレイル予防 対象：地域住民（魚津市） 内容：魚津市健康センターのフレイル事業「フレイル予防セミナー」と共催参加 ・魚津市「さんさん介護予防倶楽部」で1コマ講座を開催 講座内容：「人生歯つらつ！ おいしく楽しく食べよう」～食べる・飲み込む・口腔ケアについて～ 講師：黒部市民病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 山崎直子氏 歯科衛生士 朝野直美氏 評価：「オーラルフレイル予防体操」や「嚥む・飲み込む力」「嚥下おでこ体操」などについてパンフレットを配布しフレイル予防を啓発した。70～90歳代の高齢者29人が集まり、「寝る前に舌も磨くようにします」「食べる前に嚥下体操します」などフレイル予防に意欲的な声が多数聞かれた。
目標の達成度、次年度に向けての課題： 今年度計画されていた支部活動を通して地域の多職種との連携が深まり、高齢者への支援活動や地域の小中学校へ「看護の出前講座」を通して、看護の魅力を充分伝えることができた。目標は100%達成できたと考える。 次年度の課題として、今年度は「看護の出前講座」の希望校が増え、看護に関するパンフレットやクリアファイル等のグッズを配布することができない学校もあったため、余裕を持って準備していく。					

1 活動目標

多職種と連携し、地域高齢者の健康ニーズに沿った支部活動を実践する。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	9月27日(土) 10:00～14:30	グランドプラザ	地域住民	100人程度	目的：地域住民が交流イベントを通して、健康増進・フレイル予防に関心が持てる 対象：富山市地域住民など 内容：市民ふれあい広場に参加（健康相談コーナーを設置、各種測定や健康相談を受ける） 評価：血圧測定・Spo2測定を通じて健康増進および維持について対象者と一緒に考える機会となった。さらに「かんごちゃん顔出しパネル」を設置、希望者（特に幼児や児童）にはユニフォームを着用し写真撮影も行ったことで、看護に興味や関心をもってもらう機会となった。
	10月22日(水) 13:00～14:30	富山まちなか病院	地域住民	37人	目的：地域住民が交流イベント（富山まちなか病院骨粗鬆症予防イベント）を通して、骨粗鬆症予防に関する知識向上および健康増進・フレイル予防に関心が持てる 対象：富山市地域住民など 内容：①骨密度測定と骨粗鬆症に関するDVDを使用 ②来院者を対象に骨密度測定、結果説明と併せてフレイル予防に関する健康相談を実施 ③骨粗鬆症予防や食事・運動など生活習慣改善ポイントをまとめたパンフレットの配布 評価：骨密度測定という具体的な数値提示が、参加者の健康意識向上につながった。看護職が生活習慣やフレイル予防の重要性を説明することで、一次予防の推進に寄与したと考える。
2. 支部研修会	7月26日(土) 10:00～12:00	県民会館	職 種 保健師：3人 助産師：2人 看護師：88人 その他：2人 所 属 病院：82人 診療所：1人 居宅関係：1人 訪問看護：4人 福祉施設：3人 行政：3人 その他：1人	95人	目的：地域包括ケアシステムを理解し、地域住民が病院・施設・在宅において切れ目のない医療介護を受けることができ量看護活動の質向上につなげる 対象：富山医療圏の看護職等 内容：1.シンポジウム テーマ「地域包括ケアにおけるACPの実践～在宅・施設・病院でのACPの実践と課題～」 シンポジスト ・かみいち総合病院地域医療連携室 副看護師長 織田明氏 ・ナーシングホーム希望のひかり管理者 看護師 杉田美紀氏 ・くれよん在宅クリニック プロデューサー 看護師 明和靖恵氏 ・富山医療生活協同組合在宅福祉総合センターひまわり 居宅介護支援事業所 管理者 社会福祉士 岩城由佳氏 2.講演 講師 西能病院 診療部 内科部長 清水幸裕先生 評価：「在宅でのACPの実践」に焦点をあてた研修会を開催した。病院や施設などから多職種の方々にシンポジストとして参加していただき、それぞれの立場から、ACPの本質とその対話をする際に医療者として必要なこととお話いただいた。アンケートから、シンポジウムや基調講演の満足度および活用度は高い結果であったことから、全体として参加者の多くが価値ある学びを得たと感じており、研修の目的は概ね達成できた。

	開催日時	開催場所	対象者		参加人数	内 容
2. 支部研修会	1. 8月～11月	1. まちなか診療所・くれよん在宅クリニック	職種	看護師:23人	23人	目的：在宅医療の実際と医療・介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる 対象：富山医療圏の看護職 内容：1. 在宅医療体験実習（受講者数：まちなか診療所10人、くれよん在宅クリニック13人） 2. 在宅医療体験実習報告会
	2. 11月28日（金） 13:00～14:30	2. 富山県看護研修センター	所属	診療所：まちなか診療所10人、くれよん在宅クリニック13人		
3. 「まちの保健室」事業	10月10日（金） 11:30～13:00	まちのお寺	地域住民		10人	目的：地域住民との交流を通して、地域住民に看護活動への理解を深める 対象：地域住民 内容：①地域の寺院で開催された報恩講に参加し、法話終了後に参加者を対象とした口腔内ケアおよび健康相談活動を実施。 ②摂食嚥下障害看護認定看護師の協力を得、口腔ケアの重要性や、誤嚥性肺炎予防・食事を楽しむための口腔機能維持のポイントを説明、パンフレットや模型を用いて具体的なケア方法を紹介。 ③血圧測定を施行、健康診断の重要性および生活習慣等について説明 評価：「お寺」という地域住民が集まる場所での活動は、地域住民の関心が高く、特に「口腔内フレイル」は日常生活に直結する健康行動の促進につながった。看護職が地域に出向き、健康支援を行うことで、住民との信頼関係を深め、フレイル予防や健康寿命延伸への寄与が期待できる。
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	9月9日（火） 9:15～10:00	富山市立萩浦小学校	6年生		40人	目的：各学校に出向き、看護職について理解してもらい、看護職確保に繋ぐ 対象：富山市立萩浦小学校6年生 内容：実際の機器などを活用した看護体験および看護職確保にむけパンフレットやグッズを配布し情報提供する 評価：アンケートより、看護師の仕事に興味を持つことができた（75%）、聴診器等を使った体験は面白かった（90%）という結果だった。また看護師はやりがいがあることが分かったという意見もあったことから、看護の仕事について興味や関心をもってもらった機会となった。
	10月15日（水） 10:45～11:30	富山市立堀川南小学校	6年生		134人	目的：各学校に出向き、看護職について理解してもらい、看護職確保に繋ぐ 対象：富山市立堀川南小学校6年生 内容：看護職の仕事について、看護師・保健師・助産師の立場からスライドを用いて説明 評価：アンケートより、看護の仕事がよくわかった（77.0%）、看護の仕事に興味を持つことができた（40.0%）であった。大人数のため体験型の内容が提供できなかった点が課題であった。今後は少人数体験の導入や動画活用など、参加者が看護をより身近に感じられる工夫を検討する。
5. フレイル啓発・予防活動事業	10～11月	地域で開催されるイベント会場	地域住民		20人程度	目的：地域のイベントに参加し、フレイル予防パンフレットやグッズなどを配布し、地域住民への啓発 対象：地域住民 内容：フットケア療法士によるフレイル予防や薬剤師によるポリファーマシーに関する情報提供 評価：開催できず
	10月12日（日）	ファボーレ	地域住民		50人程度	目的：地域住民が交流を通して、健康増進・フレイル予防に関心を持てる 対象：地域住民 内容：五省会主催「ロコケン」に参加、健康相談コーナーを開設し各種測定や健康相談を実施 評価：西・南支部に同じ
目標の達成度、次年度に向けての課題： まちの保健室事業や支部研修会を実施し、地域住民への健康啓発や看護職の学習機会の充実に取り組んだ。参加者からは好意的な意見も多く、地域ニーズを踏まえた活動として一定の成果が得られたと考える。一方で、フレイル予防やポリファーマシーに関する啓発については年度内の実施には至らなかったが、地域課題として共有することができた。今後は関係機関との連携を図りながら、継続的な取り組みとして具体的な活動につなげていく必要がある。						

1 活動目標

多職種と連携し、地域高齢者の健康ニーズに沿った支部活動を実践する。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	9月27日(土) 9:30~13:00 富山地区合同開催	八尾 コミュニティー センター	富山市地域住民	53人	目的：地域住民が交流イベントを通して、健康増進に関心を持てる 対象：富山市在住地域住民など 内容：やつおふれあいフェスティバルに参加 各会場で健康相談コーナーを設ける。血管年齢測定、ベジチェック、肌年齢測定など各種測定を実施し、健康相談を受けた。子供さんや学生さんには「看護の仕事」のパンフレットを配布した。 評価：多くの種類の測定を実施したことで、多くの方の参加があった。また、健康相談時には、フレイル予防の話もできた。子供さんや学生さんには「看護の仕事」のパンフレットを配布することで、将来の看護師の仕事へ興味を持ってもらえた。
2. 支部研修会	7月26日(土) 10:00~12:00	富山県民会館	職種 保健師：3人 助産師：2人 看護師：88人 その他：2人	95人	目的：地域包括システムを理解し、地域住民が病院・施設・在宅において切れ目のない医療介護を受けられるよう看護活動の質の向上に繋げる。 対象：富山医療圏の看護職等 内容：1) シンポジウム テーマ「地域包括ケアにおけるACPの実践～在宅・施設・病院でのACPの実践と課題～」 シンポジスト (1)かみいち総合病院 地域医療連携室 副看護師長 織田 明氏 (2)ナースিংホーム希望のひかり 管理者 看護師 杉田 美紀氏 (3)くれよん在宅クリニック プロデューサー 看護師 明和 靖恵氏 (4)富山医療生活協同組合 在宅福祉総合センター ひまわり 居宅介護支援事業所 管理者 社会福祉士 岩城 由佳氏 2) 講演 講師：西能病院 内科部長 清水 幸裕先生 評価：富山支部に同じ(研修報告書参照) 次年度も研修シンポジウムを実施し、会場とシンポジストとの意見交換をしたい。
	7月~10月	まちなか診療所 くれよん在宅 クリニック	職種 看護師：23人	23人	目的：在宅医療の実際と医療・介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな退院支援に役立てる。 対象：富山医療圏の看護職 内容：1) 在宅医療体験実習 2) 在宅医療体験実習報告会 評価：在宅医療実習を受け入れして頂いた診療所の先生方と実習生との活発な意見交換があった。実習生からは「在宅で患者にどのよう先生方が寄り添っておられるか知ることができてよかった」など良い意見が多く聴かれた。次年度も研修を継続していきたい。
	11月28日(金) 13:00~14:30	富山県看護協会	所属 病院：23人	報告会 15人	
3. 「まちの保健室」事業	R8.2月28日(土) 9:30~16:30	婦中ふれあい館	富山市地域住民	70人	目的：地域住民が看護師によって健康相談・支援を受けることで看護を身近に感じてもらい、健康増進に繋げられる。 対象：地域住民 内容：婦中生涯学習フェスティバルの参加 *富山西保健センターと共同で健康相談コーナーを設ける(血圧測定・血管年齢測定・SPO2測定など) *健康相談・フレイルについての啓蒙活動など実施 評価：多くの高齢者の参加があり、前年度、前々年度も参加して今年度も参加したという方もおられた。健康相談に来たという方もおられた。フレイル予防について熱心に聴いてもらえた。子供さんには「看護の仕事」のお話ができ、看護師について興味を持ってもらえた。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	① 7月9日(水)・11日(金) ② 9月9日(火) 14:15～15:15 ③ 11月14日(金) 9:20～10:20	① 富山市立 藤ノ木小学校 ② 富山市立 神保小学校 ③ 富山市立 大庄小学校	富山市小学生 第6学年	① 193人 ② 39人 ③ 34人	目的：看護職の魅力ややりがいを若年層に周知し、将来の進路・職業選択に繋げることができる。 対象：富山市小学生 内容：看護師出前講座 ・看護のしごと紹介、やりがい、看護師になるために必要なこと、看護師の資格を取得する方法など体験を交えて話をする。 評価：① 3人の看護師、60分間で2日間に分けて訪問した。看護の仕事が色々あること、看護師になろうと思ったきっかけ、看護の仕事に興味を持った、やりがいのある仕事であることを理解してもらえた。 ② 3人の看護師で60分間の講座を実施した。「患者さんから怒られたときは?」「仕事で一番大変だったこと」「患者さんとののかかわりで大切にしていること」「楽しかったこと」などの質問に答え、有意義な時間を過ごした。 ③ 2人で出前講座を実施した。仕事について「病院の中で勤務異動というものがあり、学校の先生が学校を替わるようなことがある」「看護師の仕事の種類が多いこと」「看護師になるためのコースがいろいろある」など理解してもらえた。次年度も継続していきたい。
5. フレイル啓発・予防活動事業	6月～R8.2月 10月12日(日) 9:30～16:00 富山地区合同開催 11月16日(日) 9:30～14:30	富山地区内の地域で開催されるイベント会場 各病院 ファボーレ(太陽の広場) 介護老人保健施設 みどり苑	富山市地域住民 富山市地域住民	各イベント 50～70人 67人 30人	目的：高齢者が増加する中、健康寿命を延ばすため、自己管理ができるようフレイル予防に繋げる 対象：富山市在住地域住民など 内容：健康相談コーナーを設け、地域住民の各種測定や健康相談を実施する *フレイル予防のチラシを配布、ポスター掲示 *フレイル自己チェック表付ポケットティッシュを配布 *血圧測定、SPO2測定など実施 1. 五省会主催「ロコケン®」に参加 各会場健康相談コーナー開設 血圧測定や酸素飽和度測定、健康相談、パンフレット・ティッシュ配布(フレイル予防・生活習慣病に関する)で啓蒙活動など実施した。 評価：思ったより血圧が高かった方、日常の健康について気になっていた方などの健康相談にのったり、お子さん連れの方に看護のお仕事を紹介したりできた。 2. 五省会みどり苑主催「みどり苑フェスタ」に参加 骨密度測定や健康相談(フレイル予防・生活習慣病に関する)、ポリファーマシー(西能みなみ病院薬剤師協力)啓蒙活動など実施 評価：健康に関心の高い方が多く、特に骨密度測定に興味をもって頂けた。次にポリファーマシー、フレイルの話になり、より健康になってもらえるよう支援できた。
目標の達成度、次年度に向けての課題： いずれの事業も目標は達成できた。地域住民の方にはイベントの健康相談を通して、看護師を身近に感じてもらった。小学校の出前講座では、「看護のお仕事」について、看護師の仕事をイメージしてもらえ、将来の仕事につながった人もいた。支部研修会では、病院と施設、在宅が連携できるよう「自分たちはこうしていきたい」というそれぞれの立場の理解につながった。 次年度は研修について、シンポジウムを継続して実施し、会場とシンポジストが活発に意見交換できる研修会にする。地域住民の方には、ますます看護師を身近に感じてもらえるようイベントを通して看護職をアピールしていく。将来の看護師につなげるため、子供さんや若年層に対しては、看護師の活躍の場や仕事のやりがいを伝えていくことが大切である。					

◎上市支部

支部長 松井 由香

1 活動目標

地域のニーズに応じた看護活動を実施する。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	1.9月 2.10月 3.11月	かみいち 総合病院 厚生連 滑川病院 外来廊下	病院来院者、 地域住民	100人	目的：高齢者、地域住民の健康維持増進及び疾病を予防するための看護活動を推進する。 対象：病院来訪者 内容：1.認知症に関する啓発活動（ポスター掲示、オレンジライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 2.乳がんに関する啓発活動（ポスター掲示、ピンクライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 3.糖尿病に関する啓発活動（ポスター掲示、ブルーライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 評価：各テーマに関する問い合わせや、健診の予約方法など地域住民から問い合わせがあり、地域住民の健康維持増進に関する意識向上に繋がった。
2. 支部研修会	7月26日(土) 10:00～12:00	富山県民会館 401号室	職種 保健師：3人 助産師：2人 看護師：88人 その他：2人 所属 病院：82人 診療所：1人 居宅関係：1人 訪問看護：4人 福祉施設：3人 行政：3人 その他：1人	95人	目的：看護・介護・福祉の連携を促進するための取り組みを共有する。 対象：富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師等 内容：富山支部に同じ 評価：富山支部に同じ
	8月～11月	まちなか診療所 くれよん在宅 クリニック		30人	目的：在宅医療の実態と医療・介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる。 対象：富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師等 内容：富山支部に同じ 評価：富山支部に同じ
	11月28日(金) 13:00～14:30	富山県看護協会		30人	内容：富山支部に同じ 評価：富山支部に同じ
3. 「まちの保健室」事業	10月19日(日) 10:00～12:00	カミール	地域住民	105人	目的：地域住民が身近に看護相談や支援を受けることが出来る。フレイル予防活動の一環として、地域住民に情報提供と予防活動の啓蒙を行う。地域住民に看護活動の理解を深める。 対象：地域住民 内容：上市商工会事業（市姫さんど）に合わせて健康相談、フレイル予防についての啓発等を実施する。 評価：親子向けの内容のイベントもあったため、子供から高齢者まで多くの方の参加があった。管理栄養士にも協力を得て、食事チェックを行い、フレイル予防について周知できた。握力測定も実施したため、若い世代の方にも興味・関心を持っていただくことができた。
	10月27日(月) 13:30～14:30	つるぎ ふれあい館 2階	乳幼児とその保護者及び消防署並びに産後ケア事業に携わる関係者	11組の親子	目的：乳幼児安全教室を開催し、子どもの急なケガや病気に対する家庭や事業所での正しい対応方法について啓発活動を行い、相互理解を深める。 対象：乳幼児とその保護者及び消防署並びに産後ケア事業に携わる関係者（かみいち総合病院、母子保健推進員、町助産師・保健師等） 内容：講義（乳幼児の救急対応）、実技（小児心肺蘇生、AED）等 評価：助産師・看護師・母子保健推進員等が教室をサポートし、保護者の相談にも気軽に応じて不安の解消に繋がった。救命処置の実際について医師から講義を受け、実技を通して子供の急なケガや病気に対する対応方法について学びを深める機会となった。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
3. 「まちの保健室」事業	11月9日(日) 10:00～15:00	上市町役場 駐車場	地域住民	約300人	目的：地域住民が身近に看護相談や支援を受けることが出来る。フレイル予防活動の一環として、地域住民に情報提供と予防活動の啓蒙を行う。地域住民に看護活動の理解を深める。 対象：地域住民 内容：「まちの保健室」開催 つるぎフェスティバルinかみいち かんごちゃんのぬいぐるみ等を使用し集客、看護に興味をもってもらう。バイタル測定、血管年齢測定、介護・健康・認知症相談、フレイル予防等 評価：まちの保健室をつるぎフェスティバルinかみいちでかみいち総合病院との合同ブースで行うことで、多くの地域住民に対し、血圧測定や血管年齢等を測定することで気軽に健康相談等が行える機会となった。認知症のVR体験も同時に行い、認知症の方の対応の理解を勧めるきっかけにもなり、昨年度を上回る相談数であった。地域住民が気軽にブースを訪れ自身の健康について理解を深めるよい機会となった。「かんごちゃん」を展示したことで興味を誘い集客につながり、看護への興味や関心につながった面もあった。
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	5月2日(金) 6月4日(水) 6月11日(水) 9:30～11:45	南加積小学校 相ノ木小学校 陽南小学校	地域の小学生とその家族	17人 23人 20人	目的：次世代を担う看護職の確保のため、看護職の魅力を伝える。 ふれあい看護体験出前講座 対象：地域の小学生とその家族 内容：病院紹介、看護師・助産師・保健師の仕事紹介、看護体験（点滴滴下、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ、AED、術衣体験等） 評価：小学生より、看護師さんは病気になった人や怪我した人のお世話だけではなく患者さんや家族の心のケアまでしていると聞いてすごいと思った、心臓マッサージで人を助けたいなど感想があり、看護の体験をすることで看護に対する理解・関心につながることができた。
	5月12日(月)～ 6月12日(木)	かみいち 総合病院	病院来院者	100人 程度	目的：「看護の日・看護週間」に関する普及・啓発 対象：病院来院者 内容：看護の日・看護週間に関するポスター掲示、ライトアップ、看護活動の紹介等 評価：ナイチンゲールや看護活動をポスター等で紹介し、受診・来院したたくさんの方が立ち止まり興味深く見ており、看護の活動をアピールできた。
	5月11日(日)	富山大和 6階 特別会場	地域住民	約200人	目的：ふれあい看護 対象：一般県民200人以上 内容：厚生連滑川病院「飛び出せ！看護の日×町おこしプロジェクト看護×母の日 医療と癒しのコラボレーション」 ・ふれあい看護体験出前講座 ・保護者参加型中学校看護体験 ・高等学校職場見学及び看護体験 など 評価：予想以上に多くの一般市民の参加があった。血管年齢や骨密度など健康の指標の一部がわかることで、健康に対する意識の向上に寄与できた。大人の方も看護ブースに立ち寄り、いろいろ体験したり情報を得ることで看護に関する理解を示されていた。子供の参加は予想より少なかったが、参加した子供たちはいろいろなことに興味を持って体験していた。その体験や体験をしている子供の様子を見ることで、看護師のイメージアップにつながるのではないかと考えられた。今後もこのような企画を継続してほしいと、一般市民や富山大和より要望があった。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	8月5日(火)～8日(金) 9:00～16:00	厚生連滑川病院	上市高校生	2人	目的：次世代を担う看護職の確保のため、看護職の魅力を伝える。 上市高校生インターンシップ(就業体験) 対象：上市高校2年生 内容：病院各部署見学・看護体験 評価：病院で働く多職種の方の仕事を見学して病院はいろいろな方たちの力が集結していると感じた意見があった。
	11月5日(水) 11月12日(水) 13:20～15:10	かみいち総合病院	上市高校生	10人	目的：次世代を担う看護職の確保のため、看護職の魅力を伝える。 令和6年度上市高校職場見学 対象：上市高校1年生 内容：病院の概要、看護部の紹介、病院各部署見学(手術室、病棟、外来等)質疑応答 評価：看護師・セラピスト・管理栄養士の仕事について紹介した。参加者から、病院の経営・看護師の教育課程・高齢者のコミュニケーション方法についての質問があった。
5. フレイル啓発・予防活動事業	11月9日(日) 10:00～15:00	上市町役場駐車場	地域住民	約300人	3「まちの保健室」事業に同じ
	①6月30日(月) ②2月28日(土) ③R8.1月～2月	①大岩地区公民館 ②宮川公民館 ③厚生連滑川病院	地域住民	①20人 ②37人 ③受診者	目的：高齢化社会に向けて、フレイル予防およびポリファーマシーについて地域住民の理解を深め、住民が自発的に健康管理に取り組めるよう働きかける。 ①・②デイサロンのフレイル予防・ポリファーマシー啓蒙活動 ③摂食嚥下機能低下がフレイル進行の要因であり、フレイルを包括的に捉え、早期発見・予防・機能維持や改善、地域との連携の推進。ポリファーマシーについて理解を深め、地域住民が自発的に健康管理に取り組める 対象：①・②かみいち総合病院デイサロン参加者 ③厚生連滑川病院受診者 内容：①・②デイサロンにてパンフレットを用いてフレイル予防およびポリファーマシーの啓蒙活動を行う。 ③スライドを表示 握力測定 フレイルチェックリスト ポリファーマシーのパンフレットを用いて啓蒙活動 評価：①参加者から「体操も教えてもらったし、栄養も大事だね」「たくさん薬飲んでるわ。大丈夫かな。今副作用怖いね」など興味を示す意見があった。 ②参加者から、運動する時間をつくり、いつまでも健康でいたい。久しぶりにみんなで集まって運動して楽しかったなど感想があった。 ③握力測定・チェック表やフレイルチェックリストが活用されており、展示物への関心があったと思われる。フレイルの基本、摂食嚥下障害との関連を提示することで食事や口腔機能維持・向上の重要性を伝えることができた。
	12月～R8.3月	かみいち総合病院 厚生連滑川病院 管内市町村	地域住民及び医療従事者	500人	目的：高齢化社会に向けて、フレイル予防について地域住民の理解を深め、住民が自発的に健康管理に取り組めるよう働きかける。また、各種イベント等でポリファーマシーに関する普及啓発を行う。 対象：地域住民及び医療従事者 内容：フレイル予防に関するYouTube配信 各施設やイベント等でフレイルに関するリーフレット等を配布した。 評価：YouTubeについては限定公開としたこともあり、広くPRすることができず積極的な活用はできなかった。それに代わり、パンフレットやリーフレットを配布することで、広く住民へフレイル予防について周知することができた。
目標の達成度、次年度に向けての課題： 事業については計画通り実施でき、目標についてはおおむね達成できた。今年度、初めて富山大和でのイベントを実施したが、病院や市町村の中だけで実施するのではなく、様々な企業等と今後協力を得たり、様々なイベントを活用して看護の魅力等について啓発する機会があるとよいと考えた。					

1 活動目標

- (1) 地域包括ケアネットワークを構成する地域の看護・介護職のニーズに応じた活動を進める。
 (2) 各施設における災害対策の実践を支援する。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	①10月31日(金) 15:30～16:30 ②10月28日(火) 15:45～16:50 ③10月29日(水) 15:00～16:00 ④11月13日(木) 14:00～15:00 ⑤11月21日(金) 10:00～11:00 ⑥11月28日(金) 14:00～15:00 ⑦12月22日(月) 14:00～15:00	①縁 (サ高住) ②デイサービス 愛のて ③風乃里 (サ高住等) ④ケアホーム 新湊あいの風 (サ高住等) ⑤のんのさんの家よりどころ (グループホーム) ⑥⑦あさひ苑 アネックス (特養)	施設従事者 (看護職、介護職、栄養士等)	① 8人 ② 7人 ③ 6人 ④ 11人 ⑤ 10人 ⑥ 15人 ⑦ 11人	目的：地域の介護施設のニーズに応じた看護・介護に係る支援を行い、医療機関と介護施設の相互理解・連携を深め地域包括ケアを推進する。 対象：地域の小規模介護施設の従事者 内容：施設従事者の希望に応じ、皮膚・排泄ケア、摂食・嚥下ケア、急変時の対応、感染予防対策等をテーマに認定看護師を施設に派遣し、支援・指導を実施する。 評価：今年度は、案内文に加え、申し込みから認定看護師の派遣までをわかりやすく示した図や昨年度支援を実施した施設の感想等を記載したチラシを作成し送付することで、申込施設が増加した。講義や事例検討のほか、摂食嚥下がテーマの場合、パン粉等を利用した飲み込みにくさの体験や実際の食事介助への助言、褥瘡予防がテーマの場合、使用しているマットレスの点検を行うなどした。実施後のアンケートでは、いずれの施設も「参考になった」、「日常のケアに活かしたい」、「次年度以降も本事業を利用したい」と回答している。次年度は、よりスムーズに事業が進むよう、準備の手順、当日の役割分担等をまとめた資料を作成し、認定看護師、施設に配付・共有予定。
2. 支部研修会	9月13日(土) 13:30～15:30	真生会 富山病院	職種 保健師：2人 助産師：2人 看護師：35人 その他：1人 所属 病院：37人 訪問看護：1人 行政：2人	54人 (内訳) 会場参集 28人、 WEB参加 26人 ※左記内訳はアンケートを回収できた40人の内訳	目的：実践的な減災対策の基本を学び、各施設における災害対策の見直しやBCPの立案に役立てる。令和4年度から5年間計画で同講師に依頼。今回は4回目、各施設におけるアクション・カードの作成・見直しをテーマとした。 対象：高岡・射水・氷見市内の看護職等 内容：講義・意見交換「実践！アクション・カード作成ワークショップ」 講師：東京都立病院機構法人本部 危機管理統括部長 中島 康 先生 ※ライブ配信 評価：実施後のアンケートでは、95%の参加者が満足した、業務に活かすと回答していた。次年度は、より実践につながるよう、各施設の管理者や災害対策委員等の参加を促進したい。
3. 「まちの保健室」事業	①10月4日(土) 10:30～15:00 ②11月30日(日) 12:30～16:00	①あしつき ふれあいの郷 ②高岡市 ふれあい福祉センター	一般市民	① 31人 ② 54人	目的：地域のイベント等に出向き、健康づくりの啓発や健康チェック、健康相談を行い、地域住民の健康づくりの実践を促す。 対象：一般市民 内容：①「あしつき秋祭り」(精神障害者支援団体・事業所の催し)における健康相談、血圧測定 ②「高岡市民健康フォーラム」における健康相談、血圧測定、体組成測定 ※富山県訪問看護総合支援センター訪問看護啓発・相談会「おうちで安心！訪問看護相談室」も開設 評価：幅広い年代層の参加があり、日頃から血圧や体組成に関心のある方、そうでない方、関心はあっても測定する機会がない方等様々であり、測定を切り口に、自身の健康について振り返る機会になったと考える。課題としては、他のコーナーの状況を把握し、参加者に案内できるようにすることや、コーナー間で連携し、さらに参加者を呼び込む工夫をする必要を感じた。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
4. 「看護の日」及び看護週間における事業	●スポーツイベントでの活動 ① 6月15日(日) 11:00～13:00 ② 10月19日(日) 10:00～12:00	① 高岡市 竹平記念 体育館 ② 氷見市 ふれあい スポーツ センター	主に小学生とその保護者	① 40人 ② 40人	高岡市、氷見市スポーツイベントでの活動 目的：小学生等の子ども達が集まる場に出向き、看護職の役割や魅力を伝え、看護職に関心を持ってもらう。 対象：主に小学生とその保護者 内容：スポーツイベントにおいて、看護のPRコーナーを設置。子どもにも分かりやすい看護の仕事のちらしを作成し配布、聴診、乳児モデル人形の抱っこ、子ども用白衣の試着等の体験を実施。 評価：初めての取り組みであり、子ども達へ積極的に声掛けしコーナーへの参加を勧めた。参加者は真剣に体験に取り組み、終了時満足な表情であった。次年度は、イベントの案内チラシに体験内容をアピールしたり、スタンプラリーの一環としても行う等工夫し、さらなる参加者増を目指す。
	●病院イベントでの活動 11月16日(日) 13:00～16:00	高岡市民病院	幼児、小学生等、保護者	100人	「高岡市民病院ふれあい健康フェスティバル」での活動 目的：子ども達に看護の体験をしてもらい、看護職に関心を持ってもらう。 対象：幼児から小学生 内容：一般市民を対象とした病院のイベントにおいて、子供向けの看護のPRコーナーを設置。聴診、乳児モデル人形の抱っこの体験を実施。 評価：子どもたちは真剣な表情で聴診を体験していた。人形の抱っこでは、保護者より「生まれた時はこんなだったよ。」等と声を掛けられ温かな会話が交わされ好評であった。
	●学校での活動 ① 9月8日(月) 14:50～15:35 ② 9月29日(月) 15:20～16:10	高岡第一高校	高校生	① 2人 ② 3人	高校での活動 目的：高校に出向き、高校生に看護職等の役割や魅力を伝え看護職に関心を持ってもらう。 対象：高岡第一高校全学年生徒に周知し、参加希望者 内容：認定看護師の講義、動画視聴等 ① 急性・重症患者看護専門看護師によるICU看護の経験を基にした看護の役割等 ② 救急看護認定看護師による救急看護や災害派遣の経験を基にした看護の役割等 評価：参加者数は予定より少なかったが、看護職の進路の質問がある等興味を持ち聴講していた。 次年度は、同校で授業の一貫として講座を開催する予定。また、他高校での活動も企画予定。
5. フレイル啓発・予防活動事業	●病院教室での活動 (1) ① 4月～R8.3月 ② 9月17日(水) 14:00～15:00 ③ 9月26日(金) 14:00～15:00 (2) 4月～R8.3月	(1) 高岡市民病院 ① 糖尿病教室 ② 腎臓病教室 ③ 心不全教室 (2) 射水市民病院 骨粗鬆症教室	一般市民	(1) ① 65人 (2月末まで) ② 41人 ③ 15人 (2) 78人 (2月末まで)	目的：医療機関における高齢者が多く集まる各種教室で、フレイルの予防啓発を併せて実施する。 対象：医療機関教室参加者 内容：(1) 高岡市民病院での教室 ① 糖尿病教室 ② 腎臓病教室 ③ 心不全教室においてフレイル予防に関する講義、相談実施 (2) 射水市民病院での教室 骨粗鬆症教室においてフレイル予防に関する講義、相談実施 評価：各教室のテーマだけでなく、フレイル予防の啓発も併せて行い、日常生活全般を振り返る機会としていただいた。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
5. フレイル啓発・予防活動事業	●地域イベントでの活動 ①11月30日(日) 13:00~16:00 ②2月28日(土) 13:00~16:00	①②救急薬品 市民交流プラザ	一般市民	①30人 ②30人	目的：高齢者が多く集まる地域イベントに出向き、フレイル予防やポリファーマシーの予防啓発、健康チェック、健康相談を行い、フレイル予防の実践を促す。 対象：一般市民 内容：(1)「射水市在宅医療と介護を考える市民講座」におけるフレイルの啓発、健康相談、血圧・血管年齢測定等の実施 (2)「射水市シルバーまつり」におけるフレイルの啓発、健康相談、血圧・血管年齢測定等の実施 評価：血管年齢測定は市民に関心が高く、測定を目的に来場する方が多くみられた。血圧、血管年齢測定に合わせ血管モデルを配置することにより、動脈硬化について効果的に伝えることができた。
目標の達成度、次年度に向けての課題： ・地域のニーズに応じた看護活動として実施している小規模介護施設への認定看護師の派遣については、案内文を工夫したことにより申し込み施設が増加した。また、事後アンケートでは、いずれの施設も満足度が高く、引き続き本活動を継続していく。次年度も利用施設が増加することを見込み、実施までの連絡を正確に効率的に行うために施設及び認定看護師と事業の流れ・役割分担を共有する資料を作成する予定。また、施設職員との対話を大切に、広く業務上の課題や病院との連携における課題を捉え、取組みの展開に活かしたい。 ・各施設の災害対策向上を目的として開催している支部研修会の受講者の満足度は高いが、個々の学びに留まらず、組織の対策向上につながるよう次年度は、各施設の管理者や災害対策の担当者の受講を積極的に促す予定である。 ・「看護の日」及び看護週間における事業については、今年度、高校での取組みを再開したほか、新たに、小学生が集まるスポーツイベントとタイアップした取組みを開始した。次年度は、高校生、小学生をターゲットとした取組みを拡充する予定である。					

1 活動目標

看護職が砺波医療圏の現状を理解し、地域住民が自ら健康づくりに取り組むことを支援する。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
1. 地域のニーズに応じた看護活動	1. 9月27日(土) 10:00~12:00 2. 11月23日(日) 14:20~15:20	1. 井波文化センター 2. 「ちゃいむ」 砺波市善行寺	砺波・南砺・小矢部市に在住する高齢者	1. 26人 2. 10~20人程度	目的: 自らの健康に関心を持ち予防行動がとれる。 対象: 3市に在住する高齢者 内容: 心不全パンデミックに備えるため、心不全発症リスクを伝え、予防行動がとれるように住民の意識を高める。 家庭での血圧管理についてパンフレットを使用し、説明する。 評価: 1. 南砺市を中心に幅広く活動する「コントDE健康」を楽しみに講演会に参加された方が多かった。もともと意識が高い方の参加が多かったこともあり、地域住民の健康予防と啓発活動につなげることができたと考ええる。 2. 血圧管理の重要性については理解されているが、冬場に起こりやすいヒートショックの認識は低く、今回の活動で啓蒙ができた。看護師のみでの活動であったが、地域住民への啓蒙活動の目的から、次年度は保健師の参加も希望する。
2. 支部研修会	9月20日(土) 9:00~11:00	市立 砺波総合病院	職種 保健師: 7人 助産師: 1人 看護師: 58人 准看護師: 1人 所属 病院: 58人 地域包括支援センター: 1人 訪問看護: 1人 行政: 6人 その他: 1人	67人	目的: 最近の看護の動向について理解を深める。 フレイル予防のために看護職ができることについて理解する。 対象: 砺波医療圏の看護職 内容: 1. 富山県看護協会会長から動画による「最近の看護の動向」の講義 2. 「フレイル予防! 元気を毎日をサポートする食べ方と運動のコツ」として地域の管理栄養士や理学療法士の講義 評価: 1. 2040年を見据えて様々な対策を実施していることを理解してもらうためのよい学びであったが動画配信であったため集合でなくてもよかったとの意見もあった。 2. 地域でフレイルサポーターが活動していることも知らなかった。他職種連携の必要性を感じることができた。
3. 「まちの保健室」事業	1. 7月12日(土) 2. 10月11日(土) 3. 11月8日(土) 各10:00~12:00	イオンモール 砺波	すべて、 イオンモール砺波 来場者	1. 101人 2. 17人 3. 20人	目的: 地域で健康に暮らすために健康相談ができる。高齢者の健康課題であるポリファーマシー等を予防するために薬剤師とともに、普及啓発活動を行う。 対象: ショッピングセンター来訪者 内容: 健康について気になることや悩みを気軽に相談できる機会を提供する。 ・熱中症にならないために ・ヒートショックについて ・フレイル予防 ・心不全について など 3. については薬剤師とともに、ポリファーマシー予防のためにパンフレットなどを用い、啓発活動を行う。 評価: 1. 訪問看護啓発活動との共同開催であった。今回開催場所が今までと異なる場所であり、若い層の来場者が多かった。熱中症予防のテーマは時期的にも関心が高かったが、今後は来場者層に合わせた展示やアプローチを想定しておく必要がある。 2. ヒートショックについては、10月とはいえまだ暑い日であり現実味が乏しかったようであった。相談者にパンフレットなどお渡ししたが、通りがかりの年配の方々に渡すのみでも試みればよかった。 3. 薬剤師の相談ブースを設けたが案内などがなく、PR不足であった。普段ショッピングモールで勤務している薬剤師のアドバイスにより催事場所の変更を提案された。来年度に向け交渉予定。

	開催日時	開催場所	対象者	参加人数	内 容
4.「看護の日」及び看護週間における事業	1.5月8日(木) 9:30～11:00	1.北陸中央病院 エントランス	1・2. 地域住民	1.60人	目的：次世代を担う看護職確保のため、見学や体験を通じて看護職の魅力を発信する。 対象：小学校高学年～中学生・高校生 内容：看護職の仕事の内容や看護の魅力、資格の取り方を伝える。看護の体験を通じて看護職を身近に感じる機会とする。 評価： 1.病棟・外来で働く看護師のイメージがあったが、フレイル予防の指導や誤嚥しないための方法をともに考えることを通じ、看護師の仕事に新たな認識を持ていただく機会となった。 2.聴診器での心音聴取や、ドクターカーや手術室内のパネル展示前で白衣を着用し写真を撮る機会を持つことで、楽しかったことを契機に看護師の仕事を知る良い機会となった。 3.看護師の仕事のプレゼンテーションの中で、能登半島の震災看護活動に興味を持ちながら聞いてもらえた。保護者も同時に参加していただいたので、児童と一緒に体験をしてもらうことで、ともに看護の魅力を感じていただだけ、今後の職業選択の際に後ろ盾となる機会となった。
	2.5月17日(土) 10:00～12:00	2.井波コミュニティー センターアスモ		2.30人	
3.6月7日(土) 9:30～12:00	3.公立 南砺中央病院	3.南砺市内 小学校4～6年生・ 保護者	3.10人		
	4.7月7日(月) 9:30～10:30 5.9月24日(水) 9:30～10:30	4・5. 北陸中央病院	4.福岡中学 2年生 5.小矢部市内 中学2年生	4.6人 5.6人	4.看護師だけでなく医療職に関心のある対象であったが、「患者を中心としたワンチームで自宅へ帰れるように支援している」と感じ、医療の中での看護師の役割を考える機会となり、看護師への興味を高めることができた。 5.病院は医師と看護師だけが働いていると思ったが、他職種が働いているということがわかった。どの仕事も大変だが、やりがいがあり、責任感が身につくと思った。病院は人との連携、協力が大事ということがわかった。 学校行事での新規実施は難しいが、各施設の行事を活用し継続に取り組む。 出前講座については、新たにご案内文書を作成し、配布時期、配布先を変更して次年度につなげていく。
5.フレイル啓発・予防活動事業	1.5月29日(木) 10:00～11:00 2. R8.2月1日(日)	1.福野 老人福祉センター さつき荘 2.ショッピング ア・ミュー	1.福野 老人福祉センター さつき荘 利用者 2.地域住民	1.15人 2.73人	目的：フレイル予防について理解を深め、地域住民への予防・啓発を図る。 対象：地域住民 内容：心不全バンデミックに備えるため、心不全発症リスクを伝え、予防行動がとれるように住民の意識を高める。 家庭での血圧管理についてパンフレットを使用し、説明する。 健康について気になることや悩みを気軽に相談できる機会を提供する。 ・熱中症にならないために ・ヒートショックについて ・フレイル予防 評価： 1.いくつかのブースを設けたイベントへの参加であり、リハビリとフレイル予防として設置した。利用者のニーズが栄養指導や認知症、血圧測定に偏ったため、今回はニーズの高いコーナーとブースを設けられるよう調整が必要である。 2.他のブースへの参加の流れで集客できた。70歳以上の割合が高く、骨粗鬆症への関心が高かった。 血圧が高く計測される方が多かったが、寒い時期で玄関に近い場所での開催や、他のブースでの活動後の状況であったことが影響していたと思われる。
目標の達成度、次年度に向けての課題： 計画通りに活動できた。「看護の日」及び看護週間における事業について、出前講座の依頼はなかった。次年度に向け、案内用紙を新規に作成した。3市（砺波市・南砺市・小矢部市）の教育総務課の協力を得て、小中学校に転送周知した。今後も各事業において地域住民のニーズを捉え、看護職だけでなく他職種と協働し活動につなげていく。					

資 料

令和 8 年度	優良看護職員表彰者名簿	105
---------	-------------	-----

[報告事項 1 令和 7 年度事業報告資料]

令和 7 年度	研修会等実施状況報告	106
令和 7 年度	認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	120
令和 7 年度	富山県ナースセンター事業報告	121
令和 7 年度	富山県訪問看護総合支援センター事業報告	136
令和 7 年度	訪問看護ステーションひよどり事業報告	144
令和 7 年度	訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	147
令和 7 年度	ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	152
令和 7 年度	神明・五福地域包括支援センター事業報告	154
令和 7 年度	高齢者保健事業推進基盤整備事業報告	157
令和 8 年度	富山県行政への要望事項	158
令和 7 年度	行政機関および関連団体等の委員等就任状況	161
令和 7 年度	他団体等への推薦	163
令和 7 年度	後援等の報告	164

[各種報告 2 令和 7 年度職能委員会報告資料]

統括保健師の配置と育成 統括保健師が役割を発揮するために	保健師職能委員会	166
保健師・助産師交流会報告 気がかりな妊産婦への支援	保健師職能委員会	168
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	170
多様で柔軟な働き方、看護補助者との業務分担・協働に関する調査結果報告	看護師職能Ⅰ委員会	171
資質向上研修（小規模事業所・福祉施設等対象）報告	看護師職能Ⅱ委員会	174

[各種報告 3 令和 7 年度委員会報告資料]

看護職の勤務間インターバルに関する調査結果報告	社会経済福祉委員会	175
看護倫理活動に関する調査結果報告	看護倫理委員会	178
看護職の職場におけるハラスメントの調査結果報告	医療安全委員会	181

[各種報告 4 令和 7 年度支部報告資料]

令和 7 年度	支部長会報告	支部	185
---------	--------	----	-----

[各種名簿等]

令和 7 年度	富山県看護協会施設別・職種別会員数	186
令和 7 年度	受章(彰)者名簿	188
令和 7 年度	富山県看護協会役員及び委員名簿	189
令和 7 年度	富山県看護協会支部役員名簿	192
令和 8 年度	日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	193

[参考資料]

会員数と入会率	194
都道府県看護協会一覧表	196
都道府県ナースセンター一覧表	197
公益社団法人富山県看護協会定款	198
公益社団法人富山県看護協会組織図	210
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	211

令和8年度優良看護職員表彰者名簿

◎富山県部門功労表彰者（5人）

五十音順

小 倉 里 美	元市立砺波総合病院
重 松 理 恵	富山市立富山まちなか病院
佐 伯 久 恵	公益社団法人富山県看護協会
瀬 山 尚 子	医療法人社団和敬会谷野呉山病院
中 島 眞由美	一般社団法人しあわせKAIGOネットワーク

◎富山県看護協会会長表彰者（10人）

五十音順

小 原 留 美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護ステーション
嘉 藤 和 男	かみいち総合病院
角 園 子	富山県中部厚生センター
金 兵 留 美	南砺市役所
松 井 弘 美	金城大学
南 峰 子	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑
森 太貴子	富山赤十字病院
諸 江 由紀子	独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
吉 岡 智 子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
渡 邊 和 美	黒部市民病院

令和7年度 研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

R8年3月現在

区分	富山県委託補助事業	zoom活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数 (うち 非会員)		受講率 (%)	受講者の内訳				
											保	助	看	准	その他
1 新人研修		○	新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！ 【オンデマンド研修】	配信期間 4/22(火)～10/31(金)	2h	360	387	387	(0)	108%	2	20	361	4	0
	※補助		新人看護職員研修Ⅱ ～コミュニケーションスキルを磨こう～	10/1(水)	1	140	140	133	(0)	95%	1	3	129	0	0
				10/10(金)	1	140	133	135	(4)	96%	1	5	129	0	0
2 専門性を深める研修 ①疾患別看護			糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への生活調整と支援	9/4(木)	1	80	53	52	(5)	65%	0	0	51	1	0
			脳卒中患者の看護 脳卒中認定看護師が教える重篤回避の秘訣	6/10(火)	1	80	35	34	(2)	43%	0	0	33	1	0
			がん看護（基礎編）がん看護に関する基礎知識	10/28(火)	1	80	35	32	(2)	40%	0	0	31	1	0
			がん看護（応用編） ライフステージの特徴に応じた意思決定支援	11/17(金)	1	80	71	65	(1)	81%	0	2	62	1	0
			摂食嚥下障害の理解とケア	9/17(水)	1	80	75	73	(13)	91%	1	0	69	3	0
			現場に活かせる褥瘡ケア	10/9(木)	1	80	84	81	(19)	101%	0	0	78	3	0
			高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア	11/5(水)	1	80	74	66	(7)	83%	0	0	66	0	0
	※補助		せん妄の理解とケア	10/20(月)	1	80	66	64	(12)	80%	1	0	59	3	1
			優しさを伝える認知症ケア	7/7(月)	1	80	64	63	(8)	79%	0	0	60	3	0
	※補助	講師のみ	こころと命を守る支援 ～看護職としてのゲートキーパーの役割を知る～	11/17(月)	1	50	28	26	(4)	52%	1	3	22	0	0
			虐待とネグレクトを予防する	12/4(木)	1	70	33	28	(3)	40%	0	0	28	0	0
			ジェンダー（LGBTQ）への理解と支援	11/19(水)	1	70	36	35	(0)	50%	1	5	29	0	0
			患者の尊厳を大切にしたい看護 身体拘束に頼らない看護職のチャレンジ	8/12(火)	1	80	104	102	(15)	128%	1	1	96	4	0
2 ② 感染管理			感染対策Ⅰ 基礎編	9/8(月)	1	80	86	83	(9)	104%	1	1	78	3	0
			感染対策Ⅱ 実践編	9/22(月)	1	80	87	84	(17)	105%	2	2	78	2	0
2 ③ 看護倫理			看護倫理Ⅰ（基礎編）	9/24(水)	1	70	70	65	(5)	93%	0	4	58	2	1
	○		看護倫理Ⅱ（実践編）【受講者ハイブリット】	10/17(金)	1	80	79	73	(4)	91%	0	2	69	2	0
	※補助		看護倫理Ⅲ（上級編）	令和7年/2/17(火)	1	80	31	29	(2)	36%	0	2	27	0	0
			楽しく学ぼうKTY・一から学ぶチームSTEPPS	10/16(木)	1	50	58	58	(8)	116%	0	2	52	2	2
			医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント	11/27(木)	1	50	42	37	(7)	74%	0	0	35	0	2
3 教育・研究 ①教育	※委託		新人看護職員 研修責任者・教育担当者研修	5/24(土),7/27(日) 7/28(月),11/1(土)	4	70	48	40	(6)	57%	1	1	38	0	0
	※委託		新人看護職員 実地指導者研修	5/24(土),5/30(金) 6/9(月)2025.2/20(金)	4	80	87	74	(5)	93%	0	1	73	0	0
	○		中堅看護師の人材育成 【講師・受講者ともにZOOM】	9/16(火)	1	50	50	50	(6)	100%	0	2	47	1	0
	※委託		富山県保健師助産師看護師実習指導者講習会	10/24(金)～12/12(金)	一般 特定	40 8	40 3	40 3	(2) (0)	100% 38%	1 0	0 0	39 3	0 0	0 0
	※委託		富山県保健師助産師看護師実習指導者講習会 指導案発表会	12/11(木)	1	20	5	5	(1)	25%	0	0	5	0	0
3 ② 研究			看護研究Ⅰ（楽しく学ぶ初めての看護研究）	A 5/15(木)	1	70	68	63	(0)	90%	1	3	59	0	0
				B 5/21(水)	1	70	42	41	(1)	59%	0	2	39	0	0
				C R8/2/5(木)	1	70	52	52	(0)	74%	0	0	52	0	0
	※補助		看護研究Ⅱ（進めよう看護研究）	7/25(金),7/31(木)	2	60	60	60	(2)	100%	1	1	58	0	0
			看護研究Ⅲ-①（質的研究を学ぼう）	8/1(金)	1	50	37	35	(1)	70%	0	1	34	0	0
			看護研究Ⅲ-②（量的研究を学ぼう）	9/5(金)	1	40	32	32	(1)	80%	0	2	30	0	0
			看護研究Ⅳ（迷わない研究サポート）	8/25(月)	1	40	28	27	(0)	68%	0	0	27	0	0
リーダーシップ研修 ① 4 看護管理	※補助		現場で役立つコミュニケーション！	7/14(月)	1	70	75	69	(1)	99%	0	0	69	0	0
			メンバーシップを発揮しよう	7/15(火)	1	70	81	76	(8)	109%	1	7	64	4	0
	※補助		コーチングできるリーダー育成	10/7(火),10/8(水)	2	50	37	37	(6)	74%	1	36	0	0	0
	※補助		サーバントリーダーシップ	11/4(火)	1	70	67	64	(4)	91%	0	2	62	0	0
			ハラスメント対策	8/22(金)PM	0.5	80	85	81	(7)	101%	1	2	77	0	1
4 ② 管理者研修			対応が困難な看護職者への支援の基本と実践	9/19(金)	1	70	70	69	(3)	99%	0	2	67	0	0
			認定看護管理者教育課程 セカンドレベル研修	6/17(火)～8/5(火)	31	25	25	25	(0)	100%	0	1	24	0	0
			セカンドレベル公開講座 (ヘルスケアサービスにおける多職種連携)	6/28(土)	1	25	12	12	(0)	48%	1	0	11	0	0
			セカンドレベル公開講座 (人材を育てるマネジメント)	7/3(木)	1	25	23	22	(0)	88%	0	0	22	0	0

区分	富山県 委託補助 事業	zoom 活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募 者数	受講者数 (うち 非会員)		受講率 (%)	受講者の内訳				
											保	助	看	准	その他
4・② 管理者研修		講師のみ	セカンドレベル公開講座 (多職種チームのマネジメント)	7/5(土)	1	25	20	20	(0)	80%	0	0	20	0	0
			セカンドレベル公開講座 (経営資源と管理の実際)	7/18(金)	1	25	11	10	(0)	40%	0	1	9	0	0
			セカンドレベル公開講座 (看護管理実践報告会)	8/6(水)	1	50	33	33	(0)	66%	0	2	31	0	0
			認定看護管理者教育課程 ファーストレベル研修	8/26(火)～9/30(火)	21	50	58	58	(0)	116%	0	1	57	0	0
			ファーストレベル公開講座 (人材育成の基礎知識)	9/2(火)	1	30	43	43	(1)	143%	1	1	41	0	0
			ファーストレベル公開講座 (経営資源と管理の基礎知識)	9/3(水)	1	30	26	24	(4)	80%	0	0	24	0	0
			ファーストレベル公開講座 (ヘルスケアサービスにおける看護の役割)	9/6(土)	1	30	20	19	(2)	63%	0	1	18	0	0
			生涯学習とキャリア開発支援	5/1(木)	1	80	72	69	(0)	86%	1	4	64	0	0
5 在宅・地域医療を推進する研修	※委託		訪問看護ステーション管理者育成研修会	9/27(土)	1	40	40	36	(7)	90%	1	0	35	0	0
			外来における在宅療養支援能力向上のための研修	12/19(金)	0.5	50	29	29	(3)	58%	0	0	29	0	0
			地域で暮らす患者を支える多職種連携	11/21(金)	1	80	46	42	(2)	53%	0	1	41	0	0
			小規模事業所における災害時対策	6/4(水)	0.5	50	34	34	(7)	68%	1	1	32	0	0
	※委託		「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	6/18(水),7/30(水),8/27(水) 9/25(木),12/17(木)	-	30	20	15	(6)	50%	0	0	15	0	0
	※委託		訪問看護従事者等研修会	11/12(水)	1	30	20	19	(11)	63%	0	0	18	1	0
	※委託		医療機関看護師の訪問看護研修	7/3～7/23	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※委託		在宅ケア事例検討会	8/20～9/11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※委託		訪問看護キャリア支援セミナー	11/11(火)	0.5	20	15	14	(5)	70%	0	0	14	0	0
	※委託	○	精神科訪問看護師育成研修【zoom】	8/16(土)	0.5	50	38	35	(19)	70%	1	1	25	5	3
6 支援に関する研修 看護職定着・再就業	※補助		看護職員定着支援事業シンポジウム	8/6(水)	0.5	50	42	42	(3)	84%	1	0	41	0	0
	※委託		看護職員再就業支援研修	6/3(火)	0.5	15	7	6	(5)	40%	0	0	5	1	0
				7/1(火)	0.5	15	10	10	(9)	67%	0	0	9	1	0
				8/5(火)	0.5	15	9	9	(8)	60%	0	0	9	0	0
				9/2(火)	0.5	15	9	9	(9)	60%	0	0	9	0	0
	※委託		看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会	12/10(水)	0.5	50	38	36	(1)	72%	0	0	36	0	0
	(1)保健師・助産師・看護師研修 ⑦職関キャリア研修		統括保健師の配置と育成	10/6(月)	0.5	40	33	29	(2)	73%	29	0	0	0	0
			保健師助産師交流会 気がかりな妊産婦への支援	8/18(月)	0.5	40	47	41	(2)	103%	20	20	1	0	0
		※補助	胎児・新生児の異常・異変を見逃さない 基本から学ぶ産科関連フィジカルアセスメント	9/6(土)	1	40	41	39	(2)	98%	0	31	8	0	0
			准看護師の生涯学習支援	9/11(木)	0.5	30	8	8	(7)	27%	0	0	0	8	0
7 ②資質向上研修 小規模施設・福祉施設等対象	※委託		利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策について学ぶ	7/26(土)	0.5	50	51	49	(23)	98%	0	0	45	4	0
			感染管理	7/17(木)	0.5	50	33	31	(18)	62%	0	0	28	3	0
			フィジカルアセスメント	8/21(木)	1	50	35	33	(20)	66%	0	0	29	4	0
			医療安全の観点からのリスクマネジメント 3日間全日程受講	6/13(金),7/8(火) 8/8(金)	3	50	25	25	(9)	50%	0	0	25	0	0
			医療安全の観点からのリスクマネジメント 1日目受講(杉山)	6/13(金)	1	50	29	28	(10)	56%	0	0	28	0	0
			医療安全の観点からのリスクマネジメント 2日目受講(脇田・笹山)	7/8(火)	1	50	30	30	(9)	60%	0	0	30	0	0
			医療安全の観点からのリスクマネジメント 3日目受講(長島)	8/8(金)	1	50	26	23	(9)	46%	0	0	22	0	1
8 日本看護協会・診療報酬に関する研修			糖尿病重症化予防(フットケア)研修	7/16(水),7/22(火), 7/23(水)	3	30	30	30	(4)	100%	0	1	29	0	0
			看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	5/22(木)	1	80	83	83	(1)	104%	1	2	80	0	0
			認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識	10/22(水),10/23(木)	2	100	95	94	(18)	94%	1	1	92	0	0
	※委託		災害支援ナース養成研修(災害・感染)	10/21(火),11/14(金)	2	80	81	74	(4)	93%	0	4	70	0	0
			日本看護協会主催 医療安全管理者養成講習会 (オンデマンド修了者)	10/3(金)	1	40	30	30	(0)	75%	0	0	30	0	0
			看護補助体制充実加算該当パッケージ研修 オンデマンド10/1～11/6	11/18(火)	0.5	15	4	4	(4)	27%	0	0	0	0	4
			臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育	11/20(木)	0.5	50	45	43	(2)	86%	2	0	41	0	0
その他			認定看護師交流会(前年度分)	6/7(土)	0.5	100	58	58	(0)	58%	1	0	57	0	0
			看多機を知らう！	1/17(土)	0.5	50	42	36	(2)	72%	0	2	34	0	0
			災害支援ナースの基本知識	12/8(月)	0.5	50	50	30	(2)	60%	0	1	29	0	0
			合計			5148	4389	4187	451	81%	80	190	3835	67	15
			令和6年度			4618	3613	3447	436	75%	77	180	3088	73	29

1. 新人研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
1	新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！ 【オンデマンド研修】	富山県看護協会 会長 岡本 里美 富山県ナースセンター センター長 境 信子 富山県看護協会 常任理事 藤井 淳子	看護を取り巻く状況 を知り、専門職業人 としての自覚を深め る 専門職業人として生 涯学習を理解し個々 の学びを深める	・日本看護協会について ・富山県看護協会について ・ナースセンターの役割 ・看護職の生涯学習について	<専門性の開発能力> ・看護の専門性の強 化と社会貢献	新人 ◆ 免許取得後に医 療機関にはじめて 就労して1年未満 の者	2時間	配信期間 4/22～ 10/31	3,000円 申込方法 は18Pに 記載	
2	新人看護職員研修Ⅱ コミュニケーション スキルを磨こう	特定非営利活動法人 アサーティブジャパン 事務局長 専属講師 牛島 のり子 10/1(水) 研修A 認定講師 大橋 春美 10/10(金) 研修A 南砺市民病院 GRM 看護師長 横川 香 研修B	社会人として求めら れるコミュニケーション スキルを理解する 自己の現状のコミュ ニケーションスタイル を客観的に把握する 全ての人間関係に 必要なコミュニケー ションスキルを身につ ける 新人が起こしやすい インシデントの 種類、原因、防止 対策について理解 する	・コミュニケーションの基本を理 解する ・自己のコミュニケーションスタ イルを知る ・コミュニケーション技法を学ぶ ・演習 ・医療事故等の事例から学ぶ ・故意の事故や犯罪の防止 ・患者の診療情報管理 ・安全な薬剤の取り扱い	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 <リーダーシップとマネ ジメント能力> ・安全な環境の整備	新人 ◆ 免許取得後に医 療機関にはじめて 就労して1年未 満の者	1日 × 2	10/1(水) または 10/10(金)	3,500円 (7,000円) 140人 × 2 申込期間 8/1～ 8/31	補助

2. 専門性を深める研修

2-①疾患別看護

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
3	糖尿病の看護 基礎知識・自己管理へ の生活調整と支援	糖尿病看護 認定看護師 宮本 晴江 山元 麻美	生活習慣病である 糖尿病の正しい知 識を知り、最新の情 報やケアを学ぶ 糖尿病患者の重症 化予防のための療 養指導を学ぶ	・糖尿病の基礎知識 ・看護ケアの観察と注意点 ・糖尿病指導のコツ ・フットケア ・薬物療法 ・チームでの取り組み	<臨床実践能力> ・ケアする力	I～Ⅲ ◆	1日	9/4 (木)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 7/1～ 7/31	
4	脳卒中患者の看護 脳卒中認定看護師が教 える重篤回避の秘訣！	脳卒中看護認定看護師 池守 実智代 脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 松村 江美子	急性期における重 篤化回避～脳卒中 患者の機能回復及 び日常生活の支援 について学ぶ	・脳卒中とは ・脳卒中患者の重篤化回避の ための看護 ・脳卒中患者の回復期の看護 ・脳卒中再発予防指導につい て	<臨床実践能力> ・ケアする力	新人～Ⅲ ◆	1日	6/10 (火)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 4/1～ 4/30	
5	がん看護（基礎編） がん看護に関する 基礎知識	がん性疼痛看護 認定看護師 佐伯 睦子 緩和ケア認定看護師 中村 香織	がん患者の苦痛症 状を理解し、適切 なケアが実践でき る がん患者や家族に 寄り添えるサポー トを学ぶ	・がんの痛みの理解とアセス メント ・薬剤を使用した疼痛マネジ メント ・副作用とケア ・がんによる苦痛症状のアセ スメントとケア（症状コン トロール） ・患者家族の思いに寄り添う ケア ・エンゼルケア	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力	新人・I ◆	1日	10/28 (火)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 8/1～ 8/31	
6	がん看護（応用編） ライフステージの特徴 に応じた意思決定支援	がん看護専門看護師 平 優子 樋口 麻衣子	ライフステージの 特徴に応じたがん 患者、家族の心理 と看護職の役割を 理解し援助の実際 を知る 看取りについて理 解を深め、最期を 迎えるための意思 決定支援や多職種 連携における看護 職の役割を学ぶ	・意思決定支援をする際に考 えること ・意思決定を支援する際のモ デル ・具体的な意思決定場面～小 児・AYA世代のがん告知・ 治療決定～ ・終末期医療における意思決 定のプロセスの支援、多職 種連携 ・具体的な意思決定場面～高 度なコミュニケーション場面・ 否認～ ・こんな場面どうする？～認知 症の患者の意思決定支援～ ・今日の看取りと現状の課題 ・クリーフケア	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	新人～Ⅲ ◆	1日	11/7 (金)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 9/1～ 9/30	

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
7	摂食嚥下障害の理解とケア	摂食・嚥下障害看護認定看護師 有澤 未来 松下 卓也	摂食嚥下のメカニズムとその障害を理解する 摂食嚥下機能評価と訓練の実践を学び看護実践に活かす	・摂食嚥下のメカニズム ・摂食嚥下の評価や訓練 ・演習 ・リスク管理 ポジショニング 口腔ケアについて ・事例検討 ・チーム活動	<臨床実践能力> ・ケアする力 ・協働する力	I～Ⅲ ◆	1日	9/17 (水)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 7/1～7/31	
8	現場で活かせる褥瘡ケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 土居 泰美 樋口 希	褥瘡の基礎知識を理解し、褥瘡の予防と悪化させないための最新の知識・技術を習得する	・褥瘡の基礎 ・褥瘡予防① (体圧分散、ポジショニング) ・褥瘡予防② (スキンケア、栄養管理) ・医療関連機器圧迫創傷の予防 ・スキントアの予防・管理 ・IAD (失禁関連性皮膚炎) ・DESIGN-R® 2020について ・褥瘡治療と創傷治療過程 ・事例検討	<臨床実践能力> ・ケアする力	新人～Ⅲ ◆	1日	10/9 (木)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 8/1～8/31	
9	高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 田中 一美 慢性心不全看護認定看護師 相山 扶美	高齢者に多い疾患の病態を理解し、実践に即したケアのポイントを学ぶ	・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の基礎知識 ・症状別看護ケアのポイント ・在宅でのセルフケアポイント ・チームでの取り組み	<臨床実践能力> ・ケアする力 ・協働する力	新人～Ⅲ ◆	1日	11/5 (水)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 9/1～9/30	
10	せん妄の理解とケア	福井県立病院 こころの医療センター 精神看護専門看護師 山口 達也	せん妄について理解し、予防や対応について学ぶ	・せん妄を引き起こす要因 ・せん妄の症状と治療 ・せん妄の症状・評価と対応 ・チームでの取り組み ・演習	<臨床実践能力> ・ケアする力 ・協働する力	新人～Ⅲ ◆	1日	10/20 (月)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 8/1～8/31	補助
11	優しさを伝える認知症ケア ～対象を理解することでケアが変わる～	認知症看護認定看護師 林 浩靖	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	・認知症の本人の声を知る ・認知症とともに生きる体験を知る ・認知症ケアのあり方と自分のことと考える ・認知症患者・患者家族の声	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・倫理的実践 <臨床実践能力> ・ケアする力	I～Ⅲ ◆	1日	7/7 (月)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 5/1～5/31	
12	こころと命を守る支援 ～看護職としてゲートキーパーの役割を知る～	【講師のみZoom】 岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚 耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者がメンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つながり」ことのできるゲートキーパーとしての役割を果たすことができる	・かけがえのない命を守る ・自殺の予防と対策 ・災害現場の心のケア ・ゲートキーパーの役割 ・基本的面接法	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・協働する力	保健師 助産師 看護師 ◆	1日	11/17 (月)	3,500円 (7,000円) 50人 申込期間 9/1～9/30	補助
13	虐待とネグレクトを予防する	小児看護専門看護師 松井 弘美 老人看護専門看護師 長瀬 佐知子	子どもと高齢者を虐待から守るための予防的視点と対策を学ぶ	・子どもや高齢者を取りまく社会の変化 ・虐待やネグレクトを受けている子どもへの支援 ・要保護高齢者のスクリーニング ・サポート体制	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・倫理的実践 <リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備	保健師 助産師 看護師 ◆	1日	12/4 (木)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 10/1～10/31	
14	ジェンダー (LGBTQ) への理解と支援	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授・診療科長 佐武 利彦 岡山大学大学院保健学研究科 博士後期課程 江口 珠美【Zoom】 女性クリニックWe富山 産婦人科医師 県議会議員 種部 恭子	医療従事者側の性的マイノリティに関する正しい理解 多様な性の人々への受診・入院することを想定したシステム作りの在り方を学ぶ	・性別不合の基礎知識 ・ジェンダー平等における病院での対応・あり方 ・LGBTQへの個別性の看護・対応 ・医療現場の実践 ・北陸のGI (性別不合) ネットワーク・研究会について	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・倫理的実践 <臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力	新人～Ⅳ ◆	1日	11/19 (水)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 9/1～9/30	
15	New 患者の尊厳を大切にしたい看護を目指して～身体拘束に頼らない看護職のチャレンジ～	医療法人社団橋会 整形外科 米澤病院 看護部長 中西 悦子	患者の尊厳を尊重できる、看護職の倫理観を養う 患者の尊厳と安全を守るための取り組みを学ぶ	・患者の尊厳と看護職の倫理観について ・金沢大学付属病院の取り組みについて ・参加者と意見交換を行い、相互で学びを深める	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・アカウンタビリティ ・倫理的実践 <看護実践能力> ・ケアする力 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	I～Ⅳ ◆	1日	8/12(火)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 6/1～6/30	

2-②感染管理

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
16	感染対策Ⅰ 基礎編	感染管理認定看護師 多喜 宏平 牛谷 裕美 村本 由子	標準予防策を理解し正しい感染対策（手指衛生、予防具、環境整備、職業感染）予防を実践することができる	・標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱演習 ・環境整備について ・職業感染予防策について ・医療処置における感染対策（末梢・中心静脈カテーテル管理、尿道留置カテーテル管理） ・看護ケアにおける感染管理（経管栄養、吸引、おむつ交換） ・病院の取り組みについて現状の報告	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備	新人～Ⅱ	1日	9/8 (月)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 7/1～ 7/31	
17	感染対策Ⅱ 実践編	感染管理認定看護師 長谷川 裕 一ノ山 拓也 青木 雅子	根拠に基づいた感染対策を実践・指導できる	・標準予防策 ・感染経路別予防策とアウトブレイク対策（インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症） ・結核、疥癬、流行性ウイルス疾患（麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎） ・侵襲的処置別感染対策（尿路感染防止対策、血流感染防止対策） ・感染症発症時の対応～事例を通して感染対策を考える～	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備	Ⅱ～Ⅳ	1日	9/22 (月)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 7/1～ 7/31	

2-③看護倫理

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
18	看護倫理Ⅰ (基礎編)	急性・重症患者看護 専門看護師 寺井 彩 がん看護専門看護師 加藤 麻衣	看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる 日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる	・倫理とは ・倫理的行動と6つの要素 ・看護専門職と倫理の関係 ・多様性の時代における倫理的問題（ジェンダーに関する事を含む） ・身体拘束や高齢者の意志決定支援と倫理 ・事例検討	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・アカウンタビリティ ・倫理の実践 ・看護実践能力 ・協働する力	新人～Ⅱ	1日	9/24 (水)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 7/1～ 7/31	補助
19	看護倫理Ⅱ (実践編) 【受講者ハイブリット】	老人看護専門看護師 辻 めぐみ がん看護専門看護師 時山 麻美	看護職が専門職として、身につけるべき倫理の基礎を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び、自施設の活動に活かす	・倫理原則、看護職の倫理綱領、意思決定を支えるプロセス ・Jonsenの4分割法 ・演習 事例検討シートを用いた事例検討 ・多様性の時代における倫理的問題（ジェンダーに関する事を含む） ・ACPの進め方や意思決定支援について ・研究倫理について ・倫理カンファレンスの進め方	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・アカウンタビリティ ・倫理の実践 ・看護実践能力 ・意思決定を支える力	Ⅱ～Ⅳ	1日	10/17 (金)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 8/1～ 8/31	補助
20	看護倫理Ⅲ（上級編）	特定医療法人財団 五省会 西能病院 清水 幸裕	地域包括ケア時代において、多様な場面での倫理問題に向き合い、倫理風土を育む人材を育成する	・臨床倫理の基礎知識と取り組みについて ・急性期から在宅まで多様な臨床場面をもとにグループワーク ・倫理的問題の顕在化と、適切なリソースの活用や相談・コンサルテーションについて ・倫理活動を推進する人材育成のための組織づくり	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・アカウンタビリティ ・倫理の実践 ・専門性の開発能力 ・看護実践の質の改善	Ⅲ～Ⅳ	1日	R8/2/17 (火)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 12/1～ 12/31	補助

2-④医療安全

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
21	楽しく学ぼうKYT・一から学ぶチームSTEPPS	医療安全委員会	医療安全対策の基本概念と具体的対策に関する知識を学び、安全性を高める行動が取れる（KYT） チームSTEPPSを活用し、エビデンスに基づいたチームトレーニングを学び、コミュニケーションの強化、組織としてのチーム力向上、患者安全文化の醸成につなげる。	・医療安全対策の基本的概念 KYTの講義 ・ヒューマンエラーの基礎知識 ・安全文化・リスクアセスメントについて ・医療安全教育のポイントについて ・インシデントレポートの事例検討及び演習 ・チームSTEPPS ・チームSTEPPSの基本的知識 ・グループ演習：コミュニケーション技法について、ツールを使った演習	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備 ・臨床実践能力 ・協働する力	Ⅰ～Ⅲ ◆ 医療安全推進に関わっている者 他職種参加可	1日	10/16 (木)	3,500円 (7,000円) 50人 申込期間 8/1～ 8/31	補助

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階	期間	開催日時	受講料 (非会員)	県 委託 補助
						参加対象			定員 申込期間	
22	医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント	日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部 参事 黒川 美知代	医療安全管理者・推進者の役割を理解し、自施設内の医療事故防止に活かすための情報収集から対策立案・実践・評価までの実践能力を身につける	・医療安全管理者・推進者の役割 ・事故報告の情報収集と分析法(事故分析手法 POAM) ・現場へのフィードバック並びに再発、風化防止に向けた取り組み(組織的対応) ・医療安全実践活動の評価方法 ・適時調査対策について(日々のラウンドにどのように落とし込むか) 演習	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備	1 日	11/27 (木)	3,500円 (7,000円)	50人	補助
			医療安全管理者・推進者で意見交換を行い、自施設の質向上を図る							
		医療法人社団愛友会上尾中央病院 医療安全特任副院長 長島 久	医療安全管理について ・自施設での問題・検討事項を含めて意見交換・交流会 ・ポジティブインシデントレポート報告の推進			他職種参加可		申込期間 9 / 1 ~ 9 / 30		

3. 教育・研究

3-①教育

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
23	新人看護職員 研修責任者 教育担当者研修	医療法人社団 康心会汐見台病院 看護部長 兼 湘南医療大学 臨床教授 熊谷 雅美	新人看護職員研修の卒後臨床研修制度について理解し、その実施に向けて部署としての取り組みを考えることができる	<1日目> 【新人看護職員研修ガイドライン】 ・新人看護職員研修ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の概要と教育体制 ・研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	4 日			無料	委託
		<2・3日目> 【新人看護職員研修の企画と評価の実際】 ・基礎教育における看護実践能力の習得状況 ・指導方法や教育的なかわり方 ・新人看護職員教育計画立案と運営、評価の実際 ・グループワーク		<1日目> 5/24 (土) <2日目> 7/27 (日) <3日目> 7/28 (月) <4日目> 11/1 (土)		70人				
		<4日目> ・相手を理解する(学習者分析) ・自分の感情をコントロールする(アンガーマネジメントとアサーション) ・効果的な関わりを目指して(心理的安全性を意識した多角的な情報収集) ・「気がかりな場面」のリフレクション ・教育に関わる皆の頑張り ・頑張りグループでシェア		申込期間 4/1～ 4/30						
24	新人看護職員 実地指導者研修	医療法人社団 康心会汐見台病院 看護部長 兼 湘南医療大学 臨床教授 熊谷 雅美	新人看護職員研修の実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員に対して効果的な臨床実践指導及び教育的なかわりができるよう必要な知識・技術を習得する	<1日目> 【新人看護職員研修ガイドライン】 ・新人看護職員研修ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の概要と教育体制 ・研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	4 日			無料	委託
		東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 機能看護学 教授 末永 由理		<2・4日目> ・自分が担う役割を理解する:実地指導者の役割 ・人材育成計画を理解する:看護実践力獲得に向けた年間計画 ・対象を理解する:新人看護士の教育的、社会的背景 ・成人学習の特徴 ・指導スキル・評価方法を知る①:教育や学習に関する理論/学習評価 ・指導スキル・評価方法を知る②:リフレクション ・活動計画の立案:実地指導者としての取り組み		<1日目> 5/24 (土) <2日目> 5/30 (金) <3日目> 6/9 (月) <4日目> R8/2/20 (金)		80人		
		心理臨床オフィスPsyche 金沢医科大学 精神神経科学 非常勤講師 臨床心理士 北本 福美		<3日目> ・新人看護職員の精神的支援 ・新人看護職員の心理的特徴、適応状況の把握、適応の支援 ・関係を築くコミュニケーション ・自身のストレスマネジメント		申込期間 4/1～ 4/30				

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
25	New 中堅看護職員の人材育成 ～中堅看護師が育つと 部署が変わる!～ 【講師・受講者共に Zoom】	東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 機能看護学 教授 末永 由理	中堅看護職員（中途採用者を含む）がそれまで獲得したスキルを活かしながら、モチベーションを保ち活き活きとその役割を果たせるように指導・支援する方法を学ぶ	・効果的に人を育てるためには ・今どきのスタッフの特徴と理解、効果的な関わり方 ・中途採用者の支援・指導方法 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・指導者が経験しやすい指導上の問題や困難とその解決方法	<リーダーシップとマネジメント能力> ・組織の一員としての役割発揮 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	Ⅱ～Ⅳ ◆	1日	9/16 (火)	3,500円 (7,000円) 50人 申込期間 7/1～ 7/31	
26	富山県保健師助産師 看護師等実習指導者 講習会（一般）	看護師等養成所の実習生受入れ施設における実習指導者の任にある者について、看護教育に関する実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的に実習指導ができるよう、必要な知識と技術を習得することを目的とする。	教育原理、教育方法、 教育心理、教育評価 看護論、看護教育課程論 実習指導方法論 実習指導方法演習	<リーダーシップとマネジメント能力> ・組織の一員としての役割発揮 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	実習指導の任（予定含む）にある者、 実務経験5年以上の者、所属代表者の推薦のある者等			10/24 (金) ～ 12/12 (金)	受講料は無料 資料代20,000円 (一般)・6,000円 (特定分野)等は 自己負担とする (一般) 40人 (特定分野) 8人 申込期間 7/15～7/31 [様式4]	委託
	富山県保健師助産師 看護師等実習指導者 講習会（特定分野）	病院以外の実習施設で次に掲げる特定分野について実習指導者の任にある者、または将来これらの施設で実習指導者となる予定の者が、看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導が出来るように必要な知識、技術を習得する。 <特定分野>看護師養成所における地域・在宅看護論	教育原理、教育方法、 教育心理、教育評価 実習指導の実際Ⅰ（講義） 実習指導の実際Ⅱ（演習）		病院以外の実習施設で在宅看護論実習指導の任（予定含む）にある者、 実務経験5年以上の者、所属代表者の推薦のある者等					
27	富山県保健師助産師 看護師等実習指導者 講習会 指導案発表会	2025年度富山県保健師 助産師看護師等実習指導者講習会受講生	看護師等学校養成所の実習生受け入れ施設における実習指導者の任にある者について、看護教育に関する実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的に実習指導ができるように必要な知識、技術を習得する	・地域・在宅看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学の各グループの実習指導案発表	<リーダーシップとマネジメント能力> ・組織の一員としての役割発揮 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	1日		12/11 (木)	無料 20人 申込期間 10/1～ 10/31	委託

3-②研究

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
28	看護研究Ⅰ ～楽しく学ぶ初めての 看護研究～	富山県立大学 看護学部看護学科 准教授 寺井 孝弘	日頃の疑問を 看護研究に繋げる 方法を学ぶ	・看護研究のテーマの見つけ方 ・研究デザイン ・レポート・論文の書き方	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	新人・Ⅰ 初めて研究 に取り組む者	1 日	A 5/15 (木) B 5/21 (水) C R8/2/5 (木)	3,500円 (7,000円) 70人×3 申込期間 A・B 4/1 ～4/30 C 12/1～ 12/31	補助
29	看護研究Ⅱ ～進めよう看護研究～	富山大学大学院 医学薬学研究部 基礎看護学 准教授 吉井 美穂	看護研究計画書の 実際を学び、作成 する	・看護研究方法の選択 ・対象の絞り方 ・データの集め方 ・データの分析 ・研究計画書作成 ・アンケート作成方法 ・演習 ※各自パソコン又は、タブレット をご持参ください	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	2 日 ①過去に看護研 究Ⅰ又は同等の 研修を修了して いる者 ②研究を支援す る者 ①②いずれかの 条件を満たし2日 間受講できる者		7/25 (金) 7/31 (木)	7,000円 (14,000円) 60人 申込期間 5/1～ 5/31	補助
30	看護研究Ⅲ-① (質的研究を学ぼう)	学校法人浦山学園 富山福祉短期大学 看護学科 特任教授 岩城 直子	質的看護研究の進 め方を学ぶ	・質的研究デザイン ・質的研究の進め方 ・演習	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	1 日 ①過去に看護研 究Ⅰ、Ⅱ又は同等 の研修を修了し ている者 ②研究を支援す る者		8/1 (金)	3,500円 (7,000円) 50人 申込期間 6/1～ 6/30	補助
31	看護研究Ⅲ-② (量的研究を学ぼう)	学校法人浦山学園 富山福祉短期大学 看護学科 特任教授 岩城 直子	量的看護研究の進 め方を学ぶ	・量的研究デザイン ・量的研究の進め方 ・演習	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	1 日 ①過去に看護研 究Ⅰ、Ⅱ又は同等 の研修を修了し ている者 ②研究を支援す る者		9/5 (金)	3,500円 (7,000円) 40人 申込期間 7/1～ 7/31	補助
32	看護研究Ⅳ (迷わない研究 サポート)	東京有明医療大学 看護学部看護学科 教授 前田 樹海	円滑な看護研究活 動の支援及び査読 方法が分かる	・査読の実際 ・研究遂行上に直面しやすい 問題 ・具体的な助言方法	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	教育・看護研究指 導に関わる者、研究 を支援する者	1 日	8/25 (月)	3,500円 (7,000円) 40人 申込期間 6/1～ 6/30	補助

4. 看護管理

4-①リーダーシップ研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
33	現場で役立つ コミュニケーション！	有限会社ビジネス ブレン 代表取締役 一般財団法人 生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	看護現場で役立つ コミュニケーション力 を身につける	・学習型組織について ・心理的安全性とは ・多様性から学ぶ合うスキル ・共感のスキル ・コンフリクト・マネジメントとは ・合意形成の種類と進め方 ・事例検討（グループワーク）	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・組織の一員としての 役割発揮	I～Ⅲ	1日	7/14 (月)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 5/1～ 5/31	補助
34	New メンバーシップを 発揮しよう	有限会社ビジネス ブレン 代表取締役 一般財団法人 生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	メンバーシップ・ リーダーシップの 基本的知識と、より 複雑化する人間 関係を円滑にする ための知識と技法 を学ぶ	・メンバーシップについて チームの一員としての役割 と責任 ・リーダーシップについて ・社会人基礎力を育てるには 組織の人間としての行動 自己の日常のセルフマネジ メント（健康管理、感情コ ントロール等） ・職場内の人間関係を円滑に するために、自分も相手も 大切に自己表現ができるア サーティブな対応について ・事例検討（グループワーク）	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・組織の一員としての 役割発揮	新人～Ⅱ	1日	7/15 (火)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 5/1～ 5/31	
35	コーチングできる リーダー育成	有限会社AEメディカル 代表取締役 野津 浩嗣	スタッフを育成する ためのコーチングス キルを学ぶ	・コーチングとは ・指導とは：スタッフ育成のため のコーチングスキル ・職場の心理的安全性 ・コーチングスキルの実際 ・聞く・結果承認・事実承認・ 叱る質問 ・総合ロールプレイ ・マネジメント特性診断MPA	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・組織の一員としての役 割発揮 ・専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	Ⅲ・Ⅳ部 署のリー ダー的役 割を担う 者（日本 看護協 会版クリ ニカルラ ダーⅢ以 上で実務 経験10年 以上）	2日	10/7 (火) 10/8 (水)	7,000円 (14,000円) 50人 申込期間 8/1～ 8/31	補助
36	サーバントリーダーシップ	聖隷クリストファー大学 大学院 看護学研究科長 看護学部 学部長 看護学研究科 看護学管理領域 看護学部 基礎看護学領域 教授 檜原 理恵	看護管理に必要な サーバントリーダー シップを理解するこ とで、チームメンバ ーとの関係を構築し、 チームで成果をあげ る手法を学ぶ	・サーバントリーダーシップとは ・リーダーシップ論 ・自分を知り、スタッフを知る ・看護と組織を考える ・自分のキャリアアンカーを 知る	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・組織の一員としての 役割発揮	I～Ⅳ	1日	11/4 (火)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 9/1～ 9/30	補助
37	New ハラスメント対策 ～ハラスメントの現状と 今後の取り組み～	坂下裕子社会保険労務士 事務所代表 坂下裕子	職場におけるパワー ハラスメント防止の ための対策とポイン トを理解する。カス タマーハラスメントの 基本的な考え方を 理解し対策方法を 身につける。	・労働施策総合推進法の改正について ・パワハラ、セクハラ、マタハラ、 カスハラについて ・パワハラ防止法などの施策 について ・パワハラ予防の為の取り組み ・パワハラ対応（メンタルヘル スとアンガーマネジメント） ・カスタマーハラスメントに ついて ・カスタマーハラスメント防止 のための基本的な考え方 ・カスタマーハラスメントの対 策方法 ・具体的なプロトコルについて	<専門的・倫理的・ 法的な実践能力> ・倫理の実践/法的実 践 <リーダーシップとマネ ジメント能力> ・安全な環境の整備	Ⅱ～Ⅳ	半日	8/22 (金) 9:30～ 12:30	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 6/1～ 6/30	
38	New 対応が困難な看護職者 への支援の基本と実践 ～共に働くための職場 適応支援～	順天堂大学保健看護学科 精神看護学領域教授 北川 明	職場適応が困難と 思われる看護職の 特性を理解し、実 務への支援方法を 学ぶ	・発達障害とは ・発達障害の特性 ・発達障害に対する理解と対応 ・課題別支援方法 ・職場での支援と環境づくり について ・看護管理上の注意とポイント (患者の安全性の担保) ・演習	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・安全な環境の整備 ・組織の一員としての 役割発揮	Ⅱ～Ⅳ	1日	9/19 (金)	3,500円 (7,000円) 70人 申込期間 7/1～ 7/31	

4-②管理者研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
39	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル研修		看護管理者としての 基本的責務を遂 行するために必要 な知識・技術・態 度を習得する。	ヘルスケアシステム論Ⅱ 組織管理論Ⅱ 人材管理Ⅱ 資源管理Ⅱ 質管理Ⅱ 統合演習Ⅱ	<専門的・倫理的・ 法的な実践能力> <臨床実践能力> <リーダーシップとマネ ジメント能力> <専門性の開発能力>	ファーストレベル を修了している者、 または看護部長 相当の職位にある 者、もしくは副 看護部長相当の職 位に1年以上就いて いる者等		6 / 17 (火) ～ 8 / 5 (火)	253,000円 (379,500円) 25人 申込期間 4 / 1 ～ 4 / 15 [様式 1]	

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
40	セカンドレベル 公開講座 ヘルスケアサービスに おける多職種連携	名古屋大学医学部附属 病院卒後臨床研修・キャ リア形成支援センター 看護キャリア支援室 教授 秋山 智弥	看護管理者として基 本的業務を遂行す るために必要な知 識・技術・態度を習 得する	・多職種によるチームケア提 供の実際と課題	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 <臨床実践能力> ・協働する力	看護管理 の役割に あたっ ている 者(師長 以上)ま たは、看 護管理者 に準ずる 役割にあ たってい る者(主 任職以 上)の保 健師、助 産師、看 護師	1日	6/28 (土)	3,500円 (7,000円) 25人 申込期間 5/1～ 5/31	
41	セカンドレベル 公開講座 人材を育てる マネジメント	昭和医科大学 横浜市北部病院 看護部長 小笠原 京子		・人材育成計画	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善		1日	7/3 (木)	3,500円 (7,000円) 25人 申込期間 5/1～ 5/31	
42	セカンドレベル 公開講座 多職種チームのマネジ メント 【講師ZOOM】	日本看護協会 常任理事 橋本 美穂		・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 ・組織の一員としての 役割発揮		1日	7/5 (土)	3,500円 (7,000円) 25人 申込期間 5/1～ 5/31	
43	セカンドレベル 公開講座 経営資源と管理の実際	国際医療福祉大学 三田病院 看護部長 箱石 恵子		・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 ・組織の一員としての役 割発揮		1日	7/18 (金)	3,500円 (7,000円) 25人 申込期間 5/1～ 5/31	
44	セカンドレベル 公開講座 看護管理実践報告会	2024年度認定看護管 理者教育課程セカンド レベル修了者 若干名	看護管理実践報告 を基に問題点の共 有と課題の明確化 を図り、より望ましい 看護のあり方を学ぶ	・実践報告	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 <専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	①2025年度セカンドレベル 受講生 ②2024年度セカンドレベル 修了生 ③看護管理の役割にあ たっている者(師長以上)又は、看 護管理者に準ずる役割にあ たっている者(主任職以上) ①～③のいずれかの条件を 満たす者	半日	8/6 (水)	無料 50人 申込期間 6/1～ 6/30	
45	認定看護管理者 教育課程 ファーストレベル研修		看護専門職として必 要な管理に関する 基本的知識・技術・ 態度を習得する。	ヘルスケアシステム論Ⅰ 組織管理論Ⅰ 人材管理Ⅰ 資源管理Ⅰ 質管理Ⅰ 統合演習Ⅰ	<専門的・倫理的・法 的な実践能力> <臨床実践能力> <リーダーシップとマネ ジメント能力> <専門性の開発能力>		実務経験5年以上 で、管理業務に関 心がある者等	8/26 (火) ～ 9/30 (火)	143,000円 (214,500円) 50人 申込期間 5/15～ 5/30 [様式3]	
46	ファーストレベル 公開講座 人材育成の基礎知識	トータルライフケア プロモーション代表 青木 菜穂子	看護専門職として必 要な管理に関する 基本的知識・技術・ 態度を修得する	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけの理論	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 ・組織の一員としての 役割発揮	Ⅱ～Ⅳ 実務経験 5年以上 の者又 は、看護 管理業務 に関心が ある保健 師・助産 師・看護 師	1日	9/2 (火)	3,500円 (7,000円) 30人 申込期間 7/1～ 7/31	
47	ファーストレベル 公開講座 経営資源と管理の 基礎知識	学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 財務部財務経理課 マネジャー 羽場 裕		・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督 ・組織の一員としての 役割発揮		1日	9/3 (水)	3,500円 (7,000円) 30人 申込期間 7/1～ 7/31	
48	ファーストレベル 公開講座 ヘルスケアサービスに おける看護の役割	日本看護協会 看護開発部 看護業務/ 看護教育制度担当専門職 安西恵梨子		・看看連携 ・地域医療における看護職の 役割 ・保健医療福祉関連職種の理 解 ・看護の社会的責務と業務基 準	<専門的・倫理的・法 的な実践能力> ・法的実践 <リーダーシップとマネ ジメント能力> ・業務の委譲/移譲と 管理監督		1日	9/6 (土)	3,500円 (7,000円) 30人 申込期間 7/1～ 7/31	
49	New 生涯学習と キャリア開発支援	国際医療福祉大学 大学院教授・ 副大学院長 福井 トシ子		・JNAオンデマンド研修 【組織で行う生涯学習支援の 基礎知識】120分 講師による講演 ・人生100年時代の看護職の 生涯学習支援 ・学習する風土の醸成 ・働く場での学び ・看護職員のキャリアデザイン ・看護管理者からの支援方法	<専門性の開発能力> ・生涯学習 ・自身のウェルビーニン グの向上	看護管理 の役割を 担ってい る者(師長 以上)又 は、看護 管理者に 準ずる役 割を担っ ている者(主任 以上) ◆	1日	5/1 (木)	8,800円 (13,200円) 80人 申込期間 4/1～ 4/15	

5. 在宅・地域医療を推進する研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
50	訪問看護ステーション 管理者育成研修会	北須磨訪問看護・ リハビリセンター 所長 藤田 愛	今一度、訪問看護 の意味することを考 え、明日からの看護 実践に役立てる。	講義及びグループワーク ・日々の訪問看護の実践から ・訪問看護が存在する価値や 意味 ・自信と誇りを持ち実践に向 き合うために など	<リーダーシップとマネ ジメント能力>	訪問看護 ステー ション管 理者およ び準ずる 看護職	1 日	9 /27 (土) 9 :00～ 15:00	無料 40人 申込期間 7 /1～ 8 /29 (申込フォーム)	委託
51	外来における在宅療養 支援能力向上のための 研修 ～外来にかかわる看護 職が在宅療養支援を 実践するために～	富山県看護協会 会長 岡本 里美 実践報告者	外来看護を取り巻く 現状と課題のもと、地 域における自施設の 外来が果たすべき役 割と自らが外来で担う べき役割を認識する とともに、外来患者を 支えるために必要な 在宅療養支援に関す る知識を習得できる。 習得した知識と、在 宅療養支援の強化に 向けた取り組みに役 立てることができる。	・各自事前にeラーニングによる 研修 (195分) ・講演 「富山県における医療・看護を とりまく状況等について」 ・実践報告 ・事例検討	<臨床実践能力> ・ニーズを捉える力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	県内の病 院に勤務 している 看護職	半日	12/19 (金) 13:30～ 16:00	8,800円 (13,200円) 50人 申込期間 9 /1～ 9 /22	
52	地域で暮らす患者を支 える多職種連携	富山市まちなか総合支援 センターまちなか診療所 管理者・医師 三浦太郎 南砺市訪問看護 ステーション 緩和ケア認定看護師 吉田 裕美子	入院前から始める 入退院支援 在宅生活での事例 を通して在宅療養 支援の知識を深め る	・地域包括ケアシステムについて ・入退院支援に必要な基礎知 識 ・介護保険制度 ・地域へつなぐ退院支援と多 職種連携 ・退院後の療養生活の現状 ・訪問事例から学ぶ ・グループワーク	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	I～Ⅲ	1 日	11/21 (金)	3,500円 (7,000円) 80人 申込期間 9 /1～ 9 /30	
53	小規模事業所における 災害時対策	国立医療福祉大学大学院 医療福祉研究科 保健医療学専攻 災害医療分野 内海 清乃	災害時における看 護の役割や対応に ついて、理解を深 め、実践的な知識 を身につける	・災害時の看護師の役割 ・災害対策の基礎知識 ・過去の災害事例を通した看 護の実践の紹介	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	県内の小 規模施設 及び福祉 施設等に 勤務する 看護職◆	半日	6 /4 (水) 13:30～ 16:30	3,500円 (7,000円) 50人 申込期間 4 /1～ 4 /30	
54	「訪問看護eラーニング」 を活用した 訪問看護師養成講習会	「令和7年度富山県ナースセンター事業報告」 (P129参照)			<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	「令和7年度富山 県ナースセンター 事業報告」 (P129参照)	◆	6 /18(水) ～12/17 (水)	無料 30人 申込期間 4 /1～ 5 /9 様式8	委託
55	訪問看護従事者等 研修会	富山県厚生部高齢福祉課 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり 福井 達也 八倉巻 孝司 集中ケア認定看護師 三輪 哲也	訪問看護に従事す る看護職及び訪問 看護に関心のある 看護職が、より高度 な知識を習得し、質 の高い看護を提供 する	・訪問看護をめぐる動向 (講義) ・フィジカルアセスメント (講義・演習)	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	訪問看護 に従事し ている、 あるいは 今後従事 しようと している 看護職◆	1 日	11/12 (水)	無料 30人 申込期間 9 /1～ 9 /30 様式10	委託

NO	研修名	研修目標/主な内容/開催日時				参加対象	県 委託 補助
56	医療機関看護師の 訪問看護研修	研修目標:在宅療養患者の生活を理解し、医療機関から在宅に向けた 退院指導や準備を行うことができる				医療機関に所属し、入退院や地域連携 に関わる者(病棟・外来も含む) ◆ 申込期間 4 /1～5 /30 〔様式9〕郵送orFAX	委託
		分類	地区	場所	研修日 8:30～16:30		
		A	新川	朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション	7 /3 (木)		
		B	新川	朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション	7 /4 (金)		
		C	富山	訪問看護ステーションジョジョ	7 /15(火)		
		D	富山	済生会富山訪問看護ステーション	7 /16(水)		
		E	富山	済生会富山訪問看護ステーション	7 /23(水)		
		F	富山	訪問看護ステーションひより富山	7 /9 (水)		
		G	高岡	もみじ訪問看護ステーション	7 /3 (木)		
		H	高岡	もみじ訪問看護ステーション	7 /10(木)		
		I	砺波	砺波市訪問看護ステーション	7 /17(木)		
57	在宅ケア事例検討会	研修目標:訪問看護師や医療機関の看護職が在宅療養患者・家族の現 状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できるよう支援する				在宅療養を支える医療・保健・福祉関 係者 ◆ 申込締切各研修日の 2週間前まで 〔様式10〕郵送orFAX	委託
		No	地区	場所	研修日 17:30～18:30		
		1	新川	黒部市市民病院	8 /20(水)		
		2	富山	富山県立中央病院	9 /2 (火)		
		3	高岡	真生会富山病院	8 /27(水)		
		4	砺波	市立砺波総合病院	9 /11(木)		

NO	研修名	研修目標/主な内容/開催日時				参加対象				県委託補助
58	訪問看護 キャリア支援セミナー	訪問看護にキャリア チェンジした看護師 3名	訪問看護に関心のある 看護師等を対象に訪問看護の働き 方や魅力・やりがい等を伝え、訪問看護 師の確保に繋げる	・体験談（3名から報告） 訪問看護という選択 （私が訪問看護を選んだ理由） ・本音 de トーク 「ここでしか聞けない訪問看護」の コト	＜臨床実践能力＞ ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	訪問看護に関心のある看護 職や訪問看護師等 ◆	半日	11/11 （火） 13:30～ 15:00	無料 20人 申込締切 9/1～ 10/28 （申込フォーム）	委託
59	精神科訪問看護師 育成研修 【講師・受講者共に ZOOM】	精神科認定看護師 訪問看護ステーション 和来やす 尾崎 景子	精神障害者地域サ ポート強化：精神疾 患をかかえる患者の 地域生活を支えるた め、基本的知識及び 技術の習得を図る	・精神科訪問看護を行うにあ たっての基本的知識 ・精神障害を持ちながら生活 すること ・精神科訪問看護とは ・患者情報の捉え方とアセス メント ・疾患の理解 ・コミュニケーションとかかわりの ポイント ・連携・社会資源 ・家族支援 ・事例演習	＜臨床実践能力＞ ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力	Ⅱ～Ⅳ 訪問看護に従事し ている者、または 今後従事したいと 考える者 ◆	半日	8/16 （土） 9:30～ 12:30	無料 50人 申込期間 6/1～ 6/30	委託

6. 看護職定着・再就業支援に関する研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	＜看護実践能力＞ ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 （非会員） 定員 申込期間	県委託補助
60	看護職員定着支援事業 シンポジウム	公立学校共済組合 北陸中央病院 臨床心理士 富田 さなえ	心理的安全性につ いて学び、安心して 発言、行動できる職 場環境づくりを考え る機会とする	・シンポジウム「イキイキ働くた めのコミュニケーションとは」 ・講義・演習：イキイキ働くた めのコミュニケーション 「心理的安全性の高い職場 づくり」	＜専門性の開発能力＞ ・自身のウェルビー ングの向上	県内の 看護職 ◆	半日	8/6 （水） 13:30～ 16:00	無料 50人 申込期間 6/1～ 6/30 〔様式11〕	補助
61	看護職員 再就業支援研修	富山県ナースセンター センター長 境 信子 クリティカルケア 認定看護師 佐藤 慎哉 富山県厚生部医療課 感染管理認定看護師 高橋 孝治 富山県ナースセンター センター長 境 信子 感染管理認定看護師 松本 悠平 富山県ナースセンター センター長 境 信子 感染管理認定看護師 萩行 愛	最近の看護につ いての知識及び技術 を学ぶ機会を提供 し、看護力の向上 と職場復帰の促進 を図る	集合研修1 ・ナースセンターの役割① ・急変時の対応について学ぼう AEDの使い方 集合研修2 ・看護職を取り巻く環境につ いて ・感染看護について学ぼう 標準予防策と吸引 集合研修3 ・ナースセンターの役割② ・採血・点滴について学ぼう 集合研修4 ・ナースセンターの役割③ ・膀胱留置について学ぼう	＜専門性の開発能力＞ ・生涯学習	県内に居 住する未 就業ま たは就 業1年 以内の 看護職 で、看護 技術に不 安のある 者 ◆	4回	6/3 （火） 10:00～ 12:30 7/1 （火） 10:00～ 12:30 8/5 （火） 10:00～ 12:30 9/2 （火） 10:00～ 12:30	無料 各 15人 随時受付 （申込フォーム）	委託
62	看護職のワーク・ライフ・ バランス推進事業 報告会	ともさわ社会保険労務士 事務所 社会保険労務士 友澤 景子	カスハラの実態と 適切な対策を把握 し、医療現場の安全 と円滑な運営を 維持することで、 看護職がより良い 職場環境で働ける ことができる	・看護職のワーク・ライフ・パ ランス推進事業報告 ・講演「医療現場におけるカ スハラ問題とその対策」	＜リーダーシップとマネ ジメント能力＞ ・組織の一員としての 役割発揮 ＜専門性の開発能力＞ ・自身のウェルビー ングの向上	県内の 看護職 ◆	半日	12/10 （水） 13:30～ 16:30	無料 50人 申込期間 10/1～ 10/31 〔様式11〕	委託

7. 職能別キャリア研修

7-① 保健師・助産師・看護師・准看護師研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	＜看護実践能力＞ ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 （非会員） 定員 申込期間	県委託補助
63	統括保健師の配置と育成 統括保健師が役割を発 揮するために	スーパーバイザー 富山県立大学看護学部 学部長 教授 佐伯和子 富山県厚生部医療課 保健看護係長	統括保健師が感じ る困難さの共有や、 統括保健師の位置 づけや支える体制 について意見交換 し、共に育ちあ う職場づくりが実践 できるようにする	・実践報告「統括保健師の配 置と育成」 ・意見交換 ①統括保健師またはその役 割を担う困難 ②統括保健師を配置するた めの働きかけ ③次期統括保健師の育成に むけて所属でできること ・助言（助言者 富山県立大 学佐伯和子教授）	＜専門性の開発能力＞ ・看護の専門性の強化 と社会貢献	保健師	2.5時間	10/6 （月） 14:00～ 16:30	無料 40人 申込期間 8/1～ 8/31	

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
					参加対象					
64	保健師・助産師交流会 「気かかんな妊産婦への支援」	富山県厚生部こども家庭室 子育て支援課 母子保健担当 保健師職能委員 助産師職能委員	特定妊婦など気が かかんな妊産婦への 支援を通し、各機 関の役割を共有し、 看護職が連携した 支援について話し合 い、実践できるように する	・実践報告「気かかんな妊産婦への支援」 ・意見交換 ①気かかんな妊産婦への支援で、工夫していること ②病院と地域との連携の実際や地域で必要な情報について	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・倫理実践 <専門性の開発能力> ・看護の専門性の強化と社会貢献	保健師 助産師 看護師 ◆	2.5時間	8/18 (月) 14:00～ 16:30	無料	
									40人	
									申込期間 6/1～ 6/30	
65	胎児・新生児の異常・ 異変を見逃さない！ ～基本から学ぶ産科関連 フィジカルアセスメント～	済生会高岡病院 産婦人科部長 吉本 英生 富山県立中央病院 新生児科 二谷 武	NST判読 母体、胎児の状態を的確に把握でき、 分娩時の胎児モニタリングの読み方と対応ができる 新生児フィジカルアセスメント 新生児フィジカルアセスメント能力を高め、 ケアの実践に結びつける	・講義：NST判読（母体、胎児の異常）、早期発見 胎児心拍数のメカニズム、低酸素状態の胎児への対応、 応用編：脳性麻痺事例から ・新生児の異常について、早期発見 新生児のフィジカルアセスメントの基礎知識、 具体的事例を通じた逸脱状況の予測と対応	<専門性の開発能力> ・看護実践の質の改善	保健師 助産師 看護師 ◆	1日	9/6 (土)	3,500円 (7,000円)	補助
									40人	
									申込期間 7/1～ 7/31	
66	准看護師の 生涯学習支援	ふくの若葉病院 看護部長 鍛冶本 秀子 認知症看護認定看護師 林 浩靖 手術看護認定看護師 (2年課程教育卒業生) 柿森 祐司	准看護師の資質向上と キャリア支援	・講演：准看護師へのキャリア支援 ・講義：認知症看護の基礎知識 ・体験談：わたしのキャリアアップ ・講師との意見交換： テーマ「准看護師の生涯学習支援」	<臨床実践能力> ・ケアする力 <専門性の開発能力> ・生涯学習	県内で就業している 准看護師 ◆	半日	9/11 (木) 13:30～ 16:00	無料	
									30人	
									申込期間 7/1～ 7/31	

7-②資質向上研修（小規模施設・福祉施設等対象）

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
67	利用者・家族からの 暴力・ハラスメント対策 について学ぶ	関西医科大学 看護学部 教授 三木 明子	利用者・家族からの 暴力・ハラスメントに 対する理解を深め、 看護師の安全確保 と心理的ケアの向上 を目的とする	・暴力・ハラスメントの定義と 種類 ・発生要因と背景の理解 ・具体的な対策と対応方法 を目的とする	<専門的・倫理的・ 法的な実践能力> ・倫理実践 ・法的実践 <専門性の開発能力> ・看護の専門性の強化 と社会貢献	県内の 小規模施 設及び福 祉施設等 に勤務す る看護職 ◆	半日	7/26 (土) 13:30～ 16:30	無料	委託
									50人	
									申込期間 5/1～ 5/31	
68	感染管理	感染管理認定看護師 亀山 礼子	看護職員が従事し ている領域の感染 管理を学び、自施 設で活かす事が出 来る	・標準予防策（主な疾患と感 染対策） ・感染性廃棄物の取り扱い ・医療監視に向けた対応 ・環境整備 ・個人防護服 PPEのつけ 方・外し方 ・演習	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・安全な環境の整備	県内の小 規模施設 及び福祉 施設等に 勤務する 看護職 ◆	半日	7/17 (木) 13:30～ 16:30	無料	委託
									50人	
									申込期間 5/1～ 5/31	
69	フィジカルアセスメント	クリティカルケア・集中 ケア 認定看護師 宮崎 優 福井 達也 八倉巻 孝司	フィジカルアセス メントの基礎知識 を学び、日々の看 護実践に活かす	・講義：呼吸器系、循環器系、 消化器系、脳神経系のフィ ジカルアセスメント ・演習	<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力	県内の小 規模施設 及び福祉 施設等に 勤務する 看護職 ◆	1日	8/21 (木)	無料	委託
									50人	
									申込期間 6/1～ 6/30	
70	医療安全の観点からの リスクマネジメント	パラマウントベッド 株式会社顧問 転倒転落研究会(RoomT2) 主幹 杉山良子	医療安全の実務力 向上を目指す	1日目 ・医療安全文化の醸成 ・転倒転落防止対策と事例分 析の実際	<リーダーシップとマネ ジメント能力> ・安全な環境の整備 <臨床実践能力> ・ケアする力	3日	6/13 (金)	無料	50人×3	委託
		光ヶ丘病院薬剤科 薬剤師 脇田 真之		2日目AM ・安全な与薬業務を行うた めの管理 ・薬剤の安全管理に必要な知識 ・カリウム製剤の基礎知識						
		黒部市民病院 臨床工学士 笹山 真一		2日目PM ・安全に医療機器を使用す るために必要な知識（輸液 ポンプ、シリンジポンプ、モニ ターアラーム管理等）						
		医療法人社団愛友会 上尾中央病院 日本メディエーター協会 北陸支部長 長島 久		3日目 ・医療コンフリクト・マネジメント ・医療メディエーション・スキル						

8. 日本看護協会・診療報酬に関する研修

◆は、准看護師に参加いただける研修

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県 委託 補助
71	糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修 ※診療報酬「糖尿病合併症管理料」算定要件の「糖尿病足病変に係る適切な研修」に該当します	富山市民病院 日本糖尿病学会専門医 家城 恭彦 FHA認定シューフィッター 奥野 瑠美 ＜演習・グループワークのファシリテーター＞ 糖尿病看護認定看護師 10名	糖尿病看護におけるフットケアの意義・基礎知識を正しく理解し、糖尿病足病変に対する予防的なフットケア技術やセルフケア支援を学ぶ。	1. 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する 2. 糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する 3. 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ 4. 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ 5. 糖尿病患者の事例検討を通してフットケアにおけるセルフケアを理解する 6. 予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる	<臨床実践能力> ・ケアする力	糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を5年以上有し、研修終了後は糖尿病足病変患者の看護に従事予定の看護師	3日間	7/16 (水) 7/22 (火) 7/23 (水)	20,000円 (40,000円) 30人 申込期間 5/1～ 5/25	
72	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※看護補助者体制充実加算の算定要件となります	公益社団法人 日本看護協会 講師 (ファシリテーター) 病院看護管理者	看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる	・看護補助者の活用推進の背景 ・看護補助者の位置づけ ・看護補助者との協働に関する基本的な考え方 ・業務実施体制の整備 ・看護職への教育体制の整備 ・看護補助者の労働環境の整備及び確保等 ・看護補助者の育成・研修・評価 ・看護補助者と協働のための体制整備に関する課題とその対策案の作成	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・法的実践 <臨床実践能力> ・協働する力 <リーダーシップとマネジメント能力> ・業務移乗/移譲管理監督	看護補助者を管理・教育する看護師長等で全時間研修参加が可能である者	1日	5/22 (木)	8,800円 (13,200円) 80人 申込期間 4/1～ 4/30	
73	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ※認知症ケア加算2及び3の施設基準の「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当します。	演習支援者 認知症看護認定看護師 大城 宏子 盛田 大樹 水上 美幸	認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる 入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる	【オンデマンド7日】 ・認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み ・認知症に関する疾患と病態と治療・組織で取り組む認知症高齢ケア ・認知症高齢者の看護に必要なアセスメント ・認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術 ・認知症高齢者ケアにおける多職種・看看護連携のあり方 ・多職種・看看護連携による認知症高齢者のケアの進め方 ・認知症高齢者の適した療養環境と調整方法 ・認知症高齢者に特有な倫理的問題 ・認知症高齢者の意思決定支援 【演習4日】 講義 ・富山県における災害・新興感染症に係る派遣時の看護支援活動 ・災害支援ナースとしての心構え ・災害時の看護職の活動の実際 ①派遣決定から出発までの準備 ②支援者としての心構え ③活動場所の違いによる活動の特徴 ④災害医療対応の原則 ⑤方針に沿った活動	<専門的・倫理的・法的な実践能力> ・倫理的実践 <臨床実践能力> ・ケアする力 ・協働する力	2日間全て受講可能な看護職	2日間	10/22 (水) 10/23 (木)	11,000円 (16,500円) 100人 申込期間 8/1～ 8/31	
74	災害支援ナース養成研修 1日目 (集合研修:災害)	富山県立中央病院 救命救急センター部長 若杉 雅浩 富山県厚生部医療課 公立大学法人富山県立大学 成人看護学 (急性期) 教授 城戸口 親史	看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する 看護職として被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する	講義 ・富山県における災害・新興感染症に係る派遣時の看護支援活動 ・災害支援ナースとしての心構え ・災害時の看護職の活動の実際 ①派遣決定から出発までの準備 ②支援者としての心構え ③活動場所の違いによる活動の特徴 ④災害医療対応の原則 ⑤方針に沿った活動	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備 <臨床実践能力> ・協働する力	次の全てを満たすこと(要件に満たしていない場合は同意できない場合申込み不可) 1)令和5年度以前研修を受講したことがない者 2)9月末までにオンデマンド配信研修の視聴を完了し、2日間すべて受講可能な者 3)研修終了後、県行政への情報提供(災害支援ナース研修修了者リスト)に記載することに同意できる者 4)研修終了後、厚生労働省医政局による災害支援ナースの登録に同意できる者(新EMISの登録含む) 5)研修終了後、厚生労働省医政局による災害・感染症医療連携従事者への登録に同意できる者 6)EMISがシステム登録のため、受講申請時にメールアドレスや電話番号(個人)の情報を、第三者に提供することに同意できる者	2日間	10/21 (火)	無料 80人 申込期間 6/1～ 6/30 申込方法は別紙 24P参照	委託
	災害支援ナース養成研修 2日目 (集合研修:感染)	感染管理認定看護師 荒俣 ゆかり 救急看護認定看護師 吉井 優子	新型コロナなど新興感染症に関する基礎知識を習得する 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する 酸素療法、集中治療管理に関する基礎知識を習得する 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基礎知識を習得する	講義・演習 ・感染拡大・重症化予防 ・安楽な呼吸を保つための看護 ・多職種連携による医療提供 ・患者・家族へのケア ・まとめ	<リーダーシップとマネジメント能力> ・安全な環境の整備 <臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・協働する力			11/14 (金)		

NO	研修名	講師	ねらい	主な内容	<看護実践能力> ・能力の構成要素	習熟段階 参加対象	期間	開催日時	受講料 (非会員) 定員 申込期間	県委託 補助
75	医療安全管理者 養成研修	※「医療安全対策加算」に対応しています。 日本看護協会オンデマンド配信研修35時間を履修済みの方のみ各県にて集合研修が受けられます。 なお、富山県の受け入れ人数は40人です。(他職種可) 集合研修5時間 開催地 富山県(富山県看護研修センター) 開催日時 10/3(金) 10:00~16:00 講師 医療法人社団愛友会 上尾中央病院 医療安全特任副院長 長島 久 演習支援 富山県看護協会 医療安全委員 内 容 講義:安全文化の醸成、医療事故発生時の対応 演習:事例検討								
76	看護補助者標準研修- 看護補助体制充実加算 該当パッケージ研修 ※診療報酬 地域包括 医療病棟等における 「看護補助体制充実 加算」の算定要件に 該当する研修です	オンデマンド講義(610分) ・医療機関で働く看護補助者の役割と業務 ・直接ケア総論 ・直接ケア各論 オンデマンド研修の受講を終了して、演習(120分)を受講			<臨床実践能力> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・協働する力	オンデマンド受講期間 10/1(水)~11/6(木) オンデマンド研修受講終了 後、演習を受講 演習日時:11/18(火)			11,000円 (16,500円) 15人 申込期間 8/1~ 8/22	
77	看護師基礎教育を 考える会 臨床・教育現場と共に 考える看護師基礎教育	公立大学法人 富山県立大学 看護学部長 松井 弘美 富山市立 看護専門学校 副校長 龍井 瑞穂	看護師基礎教育4 年制化の必要性を 理解するとともに、 基礎教育の現状や 臨床現場での新任 看護職の実情を共 有し、看護師基礎 教育4年制化につ いて考える機会とす る。	・講演 ・グループ討議・意見交換	<専門性の開発能力> ・看護の専門性の強化 と社会貢献	Ⅱ~Ⅳ 実習指導 者講習会 に参加し ている受 講生で参 加可能な 者看護基 礎教育関 係者10名 程度	半日	11/20 (木)	無料 50人 申込期間 9/1~ 9/30	

令和 7 年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区分	内容
[第 1 回] 5 月 14 日(水) 10:00～10:50	1 2025年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講生の選考について (1) 定員25名に対して応募者25名あり、審査の結果、全員受講決定とする。 (2) 応募は18施設からあり、そのうち民間施設からは3施設の応募があった。 2 応募のあった小論文について (1) 自身の担う役割が不明瞭であり、自施設の現状を課題として捉えることが論文形式として伝わらない小論文が多くみられた。それぞれの受講生が事実の見つめ方や考え方を意識し、自身の課題へ向かうことへの指導が必要である。
[第 2 回] 7 月 9 日(水) 10:00～10:45	1 2025年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講生の選考について (1) 定員50名に対して応募者58名あり、全員受講決定とする。 (2) 応募は33施設からあり、そのうち民間施設からは10施設の応募があった。民間施設の3施設は初めての応募だった。 2 ファーストレベル受講生の傾向について (1) 受講生の実務年数が、10～36年と幅広く、所属施設も老人福祉施設や訪問看護ステーション等、多様になってきている。また3名は他県からの受講生であった。管理業務に関心のある受講生同士が、それぞれの地域医療について意見交換や情報収集する教育のよい機会になる。 3 受講生が増加することを目的に、民間病院の6か所の看護部長を訪問した。(会長、常任理事、専任教員)
[第 3 回] 10月15日(水) 10:00～10:45	1 2025年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講生の修了について (1) 今年度の受講生30名を修了と認定する。 (2) 統合演習では、グループダイナミクスが活用され、類似テーマのグループ内でお互いの部署のあるべき姿や課題を話し合い、より良い方向へ高めていた。 2 セカンドレベル受講生の研修アンケート結果について (1) 統合演習(実習)により、地域包括ケアシステムへの理解が深まり、学びが多かった。
[第 4 回] 11月19日(水) 10:00～11:00	1 2025年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講生の修了について (1) 今年度の受講生58名と前年度未修了者2名の60名を修了と認定する。 (2) 初めて受講される施設に関しては、更に細やかな支援が必要である。 2 ファーストレベル受講生の研修アンケート結果について (1) タイツなスケジュールであったため、期間中の休みを考慮していく。 3 論文作成の研修について (1) 受講生、支援者共に論文作成の必要性を述べており、次年度からの新企画とする。 4 日本看護協会は、2028年度より「新たな認定看護管理者教育課程」、2027年度より「看護管理研修(付加研修含む)」を予定しており、当協会も対応していく。

令和7年度 富山県ナースセンター事業報告

	事業	事業内容	実績
就労促進	就労相談事業	①無料職業紹介所の運営	
		②eナースセンターの登録・管理	求人登録数 5,458人 求職登録数 1,806人 有効求人倍率 3.0倍 就職者数 看護職 256人 看護補助者 0人
		③就業相談 対面・電話・オンライン	相談件数 求人施設からの相談 4,176件 求職者からの相談 2,857件 進路相談 6件 看護補助者に関する相談 48件
		④移動就業相談 介護職場の就職説明会 (5/21、9/26、11/19、2/25)	相談件数 看護職 3件 看護補助者 8件
		⑤病院等訪問	訪問先 9施設
	看護職員等就業支援事業	①ハローワーク（7ヶ所）への就業支援 専門員の派遣（各月1回）	相談件数 看護職 112件 看護補助者 5件
		②ハローワーク（富山・高岡・魚津） との連携	新規登録 求人数 看護職 603人 看護補助者 41人 事業所数 看護職 200件 看護補助者 17件 求職者数 看護職 214人 看護補助者 0人 連携事業対象 求人数 8人 求職者数 17人 就職者数 4人
		③会議等 連絡調整会議（年1回） 令和7年12月	参加者 14名
		④広報 就業相談ちらし作成と配布	発行枚数 1,500枚
		①届出情報の登録・管理 ②求職登録の促進 ③情報提供・周知活動	届出人数 211人 うち、eナースセンター登録希望人数 74人 うち、eナースセンター登録人数 26人
	潜在看護職員把握調査	登録看護職員就業希望条件等の調査 令和7年8月18日(月)	対象:eナースセンター登録者 140人
	看護職員再就業支援研修	①集合研修 4回(6/3、7/1、8/5、9/2)	受講者(延人数) 34名
		②病院実習	受講者 0名
		③技術チェック研修	受講者 15名
		④eラーニングを活用した復職支援研修(5～3月)	受講者 24名
	看護師等養成機関 共同PR事業	看護師等養成機関紹介ガイドブックの 作成、配布、ホームページ掲載	掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,300部
	看護学生就労啓発事業	看護師等学校・養成所で出向講義	富山福祉短期大学(10/2) 51人 富山県立大学(1/8) 75人 富山市医師会看護専門学校(2/18) 31人 富山市立看護専門学校(2/27) 37人
	広報活動	①TOYAMAナースセンターニュース (看護とやま)発行	年4回(4月、7月、10月、1月)
		②新聞・タブロイド紙広告	年5回
	看護補助者 確保・定着推進事業	①看護補助者のお仕事説明会・体験会 と研修の実施	実施病院 16病院 参加者 33名 研修受講者 29名
		②就業相談	求人施設からの相談 26件 求職者からの相談 22件

	事業	事業内容	実績
就労促進	看護補助者 確保・定着推進事業	③広報 介護職場の就職説明会 (5/21、9/26、11/19、2/25) ママJOBフェスタ(5/17、5/18) ママJOBフェスタ(11/29、11/30)	看護補助者相談件数 8件 来場組数(内、ブース訪問・相談者) 123人(11人) 来場組数(内、ブース訪問・相談者) 85人(14人)
	ナースセンター 事業運営委員会	①ナースセンター事業運営委員会 (年1回) 令和8年2月13日(金)	委員 15名
		②事業実績報告の作成・配布	発行部数 200部
訪問看護支援	「訪問看護eラーニング」 を活用した 訪問看護師養成講習会	①「訪問看護eラーニング」を活用した 訪問看護師養成講習会 令和7年6月18日(水)～12月17日(水)	受講者 20名 内、修了者 15名
		②修了者就業状況調査	対象者なし
	訪問看護従事者等研修会	令和7年11月12日(水)	受講者 19名
	訪問看護ステーション 管理者育成研修会	令和7年9月27日(土)	受講者 36名
看護の心普及啓発	看護の日記念事業	①とやま看護フェスタ2025 令和7年8月2日(土) 富山医療福祉専門学校	参加者 小中高生 63名 保護者 37名
		②ふれあい看護体験	参加者 約2,800人 協力病院 28病院
		③とやまおしごと図鑑	協力病院 富山市立富山市民病院
		④飛び出せ!看護の日～町おこしプロジェクト～ 令和7年5月11日(日) 富山大和6階	参加者 県民300人程度
		⑤サンフォルテ フェスティバル2025	展示 令和7年6月28日(土)～7月26日(土) 場所 サンフォルテ1階通路、WEB展示
		⑥広報 令和7年5月11日(日)	北日本新聞「これからも、南砺市の医療を支えるために。」 富山新聞「看護職の体験談」受賞作品
	高校生の一日看護見学	令和7年7月7日(月)～7月18日(金)	参加者 43校 606名 協力病院 24病院
その他	看護普及推進事業	看護体験学習	参加者 660人 実施看護師等学校・養成所 6校
	富山県医療勤務環境改善 支援センター 病院サポート事業	①個別病院支援	1年目：厚生連高岡病院 3年目：富山県済生会富山病院、栗山病院
		②看護職のワーク・ライフ・バランス 推進事業報告会 令和7年12月10日(水)	参加者 19施設 36名
		③看護職のワーク・ライフ・バランス 推進委員会(年1回) 令和7年7月4日(金)	委員 10名
	看護職員定着支援事業	①看護職の体験談 募集期間 令和6年12月10日～令和7年1月24日 発表 令和7年5月12日(月) 表彰式 令和7年6月20日(金)	応募数 81編 表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞3名
		②看護職員定着支援事業シンポジウム 令和7年8月6日(水)	参加者 17施設 42名
	地域の実情に応じた 看護職確保推進事業 (日本看護協会委託)	①求人イベント「ママJOBフェスタ」 令和7年5月17日(土)、18日(日) 富山産業展示館テクノホール 令和7年11月29日(土)、30日(日) フューチャーシティ ファボーレ	来場数(内、ブース訪問・相談者) 123名(11名) 来場数(内、ブース訪問・相談者) 85名(14名)
		②北陸3県くらし&しごとフェア 令和7年11月1日(土) 東京交通会館12階	来場者数 240組357名 相談者 3名
		③「へき地等における看護職確保」 特設サイト 令和7年11月4日公開	https://rural.nurse-center.net/

就労促進に関する事項

1 就労相談事業

(1) 無料職業紹介所の運営

許可年月日 昭和60年7月22日

許可期間 令和4年8月1日～令和9年7月31日

(2) eナースセンターの登録・管理

	求人数 (人)	求職者数 (人)	求人倍率 (倍)	就職件数(延べ)(件)		
				計	NC紹介	NC以外
4月	466	149	3.1	6	2	4
5月	486	151	3.2	9	3	6
6月	458	145	3.2	22	9	13
7月	449	139	3.2	9	5	4
8月	491	140	3.5	5	3	2
9月	466	151	3.1	36	25	11
10月	458	154	3.0	30	22	8
11月	406	150	2.7	8	5	3
12月	402	156	2.6	7	3	4
1月	408	152	2.7	9	4	5
2月	436	152	2.9	35	31	4
3月	532	167	3.2	80	75	5
延べ人数	5,458	1,806	3.0	256	187	69

求人数 : 「対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数」 + 「対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数」

求職者数 : 「対象月の前月以前から繰越した求職者数」 + 「対象月に新規求職票を登録した求職者数」 + 「対象月に求職票を有していないシステム応募した求職者数」

就職件数(延べ) : ナースセンターからの紹介、もしくはナースセンター以外(ハローワークからの紹介、自己による)のいずれかの就職による延べ件数

(3) 就業相談

		オンライン	来所	電話	メール	郵送・FAX	小計	合計
求人施設 からの相談	受付	0	26	366	122	31	545	4,176
	発信	—	—	496	3,129	6	3,631	
求職者 からの相談	受付	5	82	432	425	236	1,180	2,857
	発信	—	—	898	775	4	1,677	
進路相談	受付	0	2	4	0	0	6	6
	発信	—	—	0	0	0	0	
看護補助者 に関する相談	受付	0	2	20	2	6	30	48
	発信	—	—	13	5	0	18	

(4) 移動就業相談

介護職場の就職説明会(主催:富山市、富山労働局、ハローワーク富山)

回	日時・場所			相談件数(件)	
				看護職	看護補助者
1	令和7年5月21日(水)	13:00～15:30	サンフォルテ	1	1
2	令和7年9月26日(金)	13:00～15:30	サンフォルテ	1	3
3	令和7年11月19日(水)	13:00～15:30	サンフォルテ	0	3
4	令和8年2月25日(水)	13:00～15:30	サンフォルテ	1	1

(5) 病院等訪問

- 目的 富山県ナースセンター職員が、県内施設を訪問し、「看護の質の向上」「働き続けられる環境作り」に関する情報を看護管理者や事務担当者等と共有することで、看護職員の人材確保や定着支援を目指す。
- 実施時期 令和7年10～11月
- 訪問先 9施設（公的病院、民間病院、デイサービス）

2 看護職員等就業支援事業

- (1) 目的 就業等を希望する看護職員等（保健師・助産師・看護師・准看護師・看護補助者）に対し、情報提供や復職に対する不安や悩み等に対する相談・助言を行い、円滑な就労・定着を支援する。

(2) 内容

- ア ハローワーク（7ヶ所）へ就業支援専門員の派遣（各月1回）
- イ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携
- ウ 会議等
- エ 広報

(3) 実績

ア ハローワークへ就業支援専門員の派遣

派遣先	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
ハローワーク富山	第4木曜日	12	35
ハローワーク高岡	第3火曜日	12	35
ハローワーク魚津	第2水曜日	12	11
ハローワーク砺波	第3水曜日	12	17
ハローワーク小矢部	第2水曜日	12	5
ハローワーク氷見	第2木曜日	12	4
ハローワーク滑川	第3木曜日	12	10
計		84	117

イ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携

新規求人数（人）		新規求職者数（人）		就職件数（件）	
連携	未連携	連携	未連携	連携	未連携
8	598	17	172	4	183

ウ 会議等

連絡調整会議（年1回）

- 開催日 令和7年12月3日（水）14:00～15:00
- 場所 富山県看護研修センター 第2研修室
- 内容 令和7年度活動実績について
令和8年度事業計画（案）について

- 参加者 14名
（就業支援専門員・就職アドバイザー、労働局・ハローワーク担当者、県医務課）

エ 広報

就業相談ちらしの作成（1,500枚）と配布

3 看護師等免許保持者届出事業

- (1) 目的 「看護師等免許保持者届出制度」の届出情報を効果的に活用し、看護師等の潜在化を予防するとともに、復職支援を促進し看護師等の確保を図る。
- (2) 開始 2015年10月
- (3) 内容 ア 届出情報の登録・管理
イ 求職登録の促進
ウ 情報提供、周知活動

(4) 実績

ア 届出情報の登録・管理

(人)

届出人数	eナースセンター登録状況		
	登録済み	登録を希望する	登録を希望しない
211	26	74	111

イ 情報提供、周知活動

- ・ 病院訪問で制度を説明
- ・ 県内看護師等養成機関の学生を対象とした講義で制度を紹介
- ・ 理事会および会議で制度を周知

4 潜在看護職員把握調査

- (1) 目的 eナースセンター登録者の実態と就業希望条件等を把握する。
- (2) 調査日 令和7年8月18日(月)
- (3) 調査対象 eナースセンター登録者140人

5 看護職員再就業支援研修

- (1) 目的 最近の看護についての知識及び技術を学び、看護力の向上と職場復帰の促進を図る。

(2) 集合研修

開催日 令和7年6月3日(火) 10:00～12:30
 令和7年7月1日(火) 10:00～12:30
 令和7年8月5日(火) 10:00～12:30
 令和7年9月2日(火) 10:00～12:30

会場 富山県看護研修センター 第2研修室

対象 県内に居住する未就業の看護職
 県内に居住する就業1年以内で看護技術に不安のある看護職

受講者 延べ34名

プログラム

開催日	内容	受講者(名)
6/3	講義 「ナースセンターの役割①」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習 「急変時の対応について学ぼう AEDの使い方」 講師 国立大学法人富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 佐藤 慎哉 氏	6
7/1	講義 「看護職を取り巻く環境」 講師 富山県厚生部医務課 主幹 平 和美 氏 講義・演習 「感染看護について学ぼう 標準予防策と吸引」 講師 厚生連滑川病院 感染管理認定看護師 高橋 孝治 氏	10
8/5	講義 「ナースセンターの役割②」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習 「採血・点滴について学ぼう」 講師 富山県済生会高岡病院 感染管理認定看護師 松木 悠平 氏	9
9/2	講義 「ナースセンターの役割③」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習 「膀胱留置について学ぼう」 講師 医療法人光ヶ丘病院 感染管理認定看護師 萩行 愛 氏	9
計(延べ人数)		34

- (3) 病院実習
 開催日 受講者が希望する2日間
 会場 受講者が希望する病院
 対象 県内に居住する未就業の看護職
 内容 病院実習
 受講者 0名
- (4) 技術チェック研修
 開催日 月～金曜日（祝日除く）
 会場 富山県ナースセンター相談室
 対象 県内に居住する未就業の看護職
 県内に居住する就業1年以内で看護技術に不安のある看護職
 内容 動画視聴、シミュレータ実習（採血）
 受講者 15名
- (5) eラーニングを活用した復職支援研修
 対象 県内に居住する未就業の看護職
 県内に居住する看護業務に従事していない看護職
 県内に居住する就業1年以内で看護技術に不安のある看護職
 内容 パソコンやスマートフォンを使って、株式会社学研メディカルサポート「学研ナーシングサポート」及び「ビジュアルナーシングメソッド」を視聴する。
 視聴期間 3か月間
 受講者 24名

6 看護師等養成機関共同PR事業

- (1) 目的 県内看護師等学校・養成所の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、県内の中学校、高等学校等に配布し、広く学生募集を行う。
- (2) 内容 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、配布、ホームページに掲載
- (3) 実績 掲載看護師等学校・養成所 9校
 発行部数 1,300部
 配布先 高校生の一泊看護見学参加者及び協力病院
 県内の中学校・高等学校、県外の高等学校
 市町村教育委員会、ハローワーク等

7 看護学生就労啓発事業

- (1) 目的 看護学生に、スキルアップをしながら生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、その支援を看護協会、ナースセンターが行っていることを周知することにより就労促進を図る。
- (2) 内容 看護学生に対し、看護協会及びナースセンターの役割等について講義を行う。
- (3) 実績

実施日	対象	受講者（人）
令和7年10月2日(木)	富山福祉短期大学 看護学科3年生	51
令和8年1月8日(木)	富山県立大学 看護学部3年生	75
令和8年2月18日(水)	富山市医師会看護専門学校 准看護学科2年生	31
令和8年2月27日(金)	富山市立看護専門学校 3年生	37

8 広報活動

(1) TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）

号	内容	配布先・発行部数
No.155 (4月)	・案内 ナースセンターホームページ開設 看護補助者の求人・求職取扱い開始 看護師等の届出制度「とどけるん」 ・その他 求人情報	<配布先> 県内 ・医療機関・施設 ・看護師等養成所 ・求人登録施設 ・未就業看護職 ・看護協会員 ・行政機関 等 県外 ・日本看護協会 ・都道府県看護協会 <発行部数> 年37,200部
No.156 (7月)	・案内 とやま看護フェスタ2025 開催決定 顔出しパネルはじめました ・報告 令和7年度看護職の体験談 受賞者 ・その他 求人情報	
No.157 (10月)	・報告 令和7年度看護職員定着支援事業シンポジウム とやま看護フェスタ2025 ・その他 求人情報	
No.158 (1月)	・案内 看護のお仕事出張相談 ・報告 北陸3県くらし&しごとフェア ママJOBフェスタ 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 ・その他 求人情報	

(2) 新聞（タブロイド紙）広告等

月	掲載先	内容
5月	北日本新聞タブロイド版 「Wao！北日本新聞」	看護職員再就業支援研修を紹介
7月	北日本新聞タブロイド情報紙 「コノコトプラス」夏号（Vol.13）	看護職等のための就業相談を紹介 県内全ての小中学生へ配布
11月	北日本新聞タブロイド情報紙 「Future」冬号（Vol.19）	看護師のお仕事を紹介 県内の中学3年生と高校生へ配布
3月	Future希望の光 エール花火	中学・高校の卒業生の門出を祝うメッセージ掲載と花火協賛
3月	Future入学特別号 未来へ踏み出す君たちへ	県内の高校生に向けてお祝いと応援のメッセージを掲載（新聞、あいの風とやま鉄道中づり広告）

9 看護補助者確保・定着推進事業

- (1) 目的 看護補助者のお仕事説明会・体験会を通して、看護補助者の仕事内容を具体的に知ってもらい、看護補助者の確保・定着につなげる。
- (2) 内容
- ア 看護補助者のお仕事説明会・体験会の開催と研修の実施
 - イ 就業相談
 - ウ 広報

(3) 実績

ア 看護補助者のお仕事説明会・体験会の開催と研修の実施

(名)

実施日	実施病院	参加者	研修受講者
令和7年6月14日(土)	真生会富山病院	2	1
令和7年6月18日(水)	ふくの若葉病院	3	3
令和7年6月23日(月)	厚生連高岡病院	2	1
令和7年6月27日(金)	西能みなみ病院	2	2
令和7年10月23日(木)	富山協立病院	1	1
令和7年10月28日(火)	流杉病院	1	1
令和7年10月30日(木)	射水市民病院	1	0
令和7年11月6日(木)	独立行政法人地域医療推進機構高岡ふしき病院	1	1
令和7年11月11日(火)	公立学校共済組合北陸中央病院	2	2
令和7年11月12日(水)	富山西リハビリテーション病院	2	2
令和7年11月13日(木)	かみいち総合病院	2	2
令和7年12月2日(火)	黒部市民病院	1	1
令和7年12月2日(火)	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	6	6
令和7年12月3日(水)	富山城南病院	1	1
令和7年12月3日(水)	富山県済生会高岡病院	3	3
令和7年12月8日(月)	富山赤十字病院	3	2
合計		33	29

イ 就業相談

(件)

	ナースセンター受付	ナースセンター発信	合計
求人相談	12	14	26
求職相談	18	4	22

ウ 広報

実施時期	内容
令和7年5月21日(水) 令和7年9月26日(金) 令和7年11月19日(水) 令和8年2月25日(水)	介護職場の就職説明会 場所：サンフォルテ 内容：仕事紹介、個別面談 参加者：看護補助者相談8件
令和7年5月17日(土) 令和7年5月18日(日)	ママ世代と企業様を結ぶ、求人イベント！「ママJOBフェスタ」 場所：富山産業展示館テクノホール西館（新館）ホールB 内容：仕事紹介、就業相談 参加者：来場数123人、ブース訪問・相談者11人
令和7年11月29日(土) 令和7年11月30日(日)	ママ世代と企業様を結ぶ、求人イベント！「ママJOBフェスタ」 場所：フューチャーシティ ファボーレ1階 ファボーレホール 内容：仕事紹介、就業相談 参加者：来場数85人、ブース訪問・相談者：14人

10 ナースセンター事業運営委員会

(1) 富山県ナースセンター事業運営委員会

開催日 令和8年2月13日(金) 14:00~15:00
場所 富山県看護研修センター 第1研修室
委員 15名
議事 令和7年度事業概要と実績について
令和8年度事業計画(案)について

(2) 事業実績報告の作成

発行部数 200部
配布先 県内病院、県内看護師等学校・養成所、ハローワーク等

訪問看護支援に関する事項

1-1 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

- (1) 目的 訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師を養成する。
- (2) 開催期間 令和7年6月18日(水)～12月17日(水)
- (3) 対象者 訪問看護を実施している施設の看護職
これから訪問看護を始めようとする看護職
訪問看護の知識習得を目指す看護職
- (4) 受講者 20名(内、修了者15名)
- (5) プログラム

ア 集合研修(開催場所:富山県看護研修センター)

開催日	内容・講師
6月18日(水)	開講式 講義「富山県の訪問看護の現状」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 係長 平瀬 綾 氏 講義「訪問看護の魅力について」 講師 済生会高岡訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 齊藤 矢寿子 氏
7月30日(水)	講義・演習「フィジカルアセスメント」 講師 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 大屋 江里子 氏 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 坂井 祐樹 氏
8月27日(水)	講義・演習「スキンケア」 講師 厚生連滑川病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 横山 真代 氏 講義・演習「摂食嚥下障害患者の看護と栄養管理」 講師 市立砺波総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 谷口 めぐみ 氏
9月25日(木)	講義「認知症の看護」 講師 富山県立大学 講師 山崎 智可 氏 講師 富山赤十字病院 認知症看護認定看護師 向井 紀子 氏
12月17日(水)	特別講演「富山型デイサービスのあゆみ」 講師 このゆびとーまれ 副理事長 西村 和美 氏 講義「こんにちは。成年後見人です」 講師 行政書士らいちょう事務所 行政書士 菊地 美穂子 氏 ワールドカフェ、閉講式

イ eラーニング(開催場所:自宅等)

期間 令和7年7月1日(火)～9月30日(火)

内容 日本訪問看護財団「訪問看護ラーニング～訪問看護の基礎講座～」

ウ 実習(開催場所:病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター)

期間 令和7年10月1日(水)～11月7日(金)

内容 病院実習1日、訪問看護ステーション実習3日、地域包括支援センター実習1日

1-2 訪問看護師養成講習会修了者の就業状況確認

- (1) 目的 訪問看護師養成講習会修了者で、修了時未就業の者の状況を把握し、就業を促進する。
- (2) 対象 該当者なし(令和6年度受講修了者13名のうち、修了時未就業だった者0名)

2 訪問看護従事者等研修会

- (1) 目的 訪問看護に従事する看護職及び訪問看護に関心のある看護職が、より高度な知識を習得し、質の高い看護を提供する。
- (2) 開催日 令和7年11月12日(水) 9:30~16:30
- (3) 会場 富山県看護研修センター 第1研修室
- (4) 対象者 訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとしている看護職
- (5) 受講者 19名
- (6) プログラム

時間	内容
9:30~16:30	講義「訪問看護をめぐる動向」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 係長 平瀬 綾 氏 講義・演習「フィジカルアセスメント」 講師 富山赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり 氏 富山県済生会高岡病院 クリティカルケア認定看護師 福井 達也 氏 黒部市民病院 クリティカルケア認定看護師 八倉巻 考司 氏 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 三輪 哲也 氏

3 訪問看護ステーション管理者育成研修会

- (1) 目的 今一度、訪問看護の意味することを考え、明日からの看護実践に役立てる。
- (2) 開催日 令和7年9月27日(土) 9:00~15:00
- (3) 会場 富山県看護研修センター
- (4) 対象者 訪問看護ステーション管理者および準ずる看護職
- (5) 受講者 36名
- (6) プログラム

時間	内容
9:00~15:00	講義「訪問看護の意味を探して」及びグループワーク ・日々の訪問看護の実践 ・訪問看護が存在する価値や意味 ・自信と誇りを持ち実践に向き合うために 講師 北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長 藤田 愛 氏

看護の心普及啓発に関する事項

1 看護の日記念事業

(1) とやま看護フェスタ2025

目的 看護に興味のある学生・その家族に看護の魅力を発信し、将来の人材確保・進路選択に結びつける。

開催日 令和7年8月2日(土) 13:00～15:00

場所 富山医療福祉専門学校

参加者 100名（未就学児9名、小学生45名、中学生6名、高校生3名、保護者37名）

プログラム

時間	内容
13:00	カンゴのシゴトを体験しよう！ ・体験コーナー AED体験、乳児家庭訪問体験、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験 健康観察、模擬採血体験、高齢者疑似体験、嚥下食の試食会 ・展示コーナー 看護学校紹介、進路相談、カンゴのマンガ ・スペシャルコーナー 看護学生ミニ体験、白衣試着・撮影会、ハンドケア、カラダパズル
15:00	閉会

(2) ふれあい看護体験

目的 知識と技術を持つプロフェッショナルとしての看護師像を、若年層や看護職志望者・家族、県民、看護職に伝えることを通して、看護のイメージアップを図り、人材確保・定着に結び付ける。また、「看護の日」事業の一環として、施設見学や簡単な看護体験、交流等を実施し、看護の心を伝える。

実施期間 5月12日の看護の日にあわせて、5～7月に実施

内容 各施設で、施設見学、看護体験、健康チェック、健康相談、看護相談、医療相談、介護相談等を企画・運営する。実施後、実施報告書を提出する。
ポスター・チラシの掲示による広報活動を行う。

参加者 約2,800人

協力病院 28病院

(3) 「とやまおしごと図鑑」の作成（企画／富山テレビ放送）

目的 富山で暮らす子どもたちが「ふるさと富山」の産業や職業に対して関心や知識を持つ「きっかけ」をつくり、仕事を知る、学ぶことで、将来につなげる。富山県内全ての小学5年生に配布し、将来の夢・目標を育んでもらう副読本として活用してもらう。

協力病院 富山市立富山市民病院

配布先 県内の小学5年生

(4) 飛び出せ！看護の日～町おこしプロジェクト～

主催 厚生連滑川病院

協賛 パルジュネム株式会社、富山大和、西町商店街、富山県ナースセンター

開催日 令和7年5月11日(日) 10:00～15:00

場所 富山大和6階イベントスペース

内容 医療ブース、企業ブース、看護ブース（進路相談・パネル展示を担当）

参加者 県民300人程度

- (5) サンフォルテフェスティバル2025
 主催 サンフォルテフェスティバル実行委員会 他
 展示期間 令和7年6月28日(土)～7月26日(土)
 場所 サンフォルテ1階通路、サンフォルテホームページでWEB展示
 内容 「さあ、看護の未来を見つけにいこう！」
 忘れられない看護エピソード、看護の日ポスター等を展示

- (6) 広報
 掲載日 令和7年5月11日(日)
 内容 北日本新聞「これからも、南砺市の医療を支えるために。」
 富山新聞「看護職の体験談」受賞作品

2 高校生の一日常見学

目的 高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。

実施期間 令和7年7月7日(月)～7月18日(金)

対象 県内の高等学校に在学する生徒

内容 院内見学、看護業務見学、「看護の道」について説明、座談会、個別進路相談

参加者 高校生43校606名(男子59名、女子547名)

協力病院 24病院

回	月日	施設名
1 回目	7月7日(月)	富山市立富山まちなか病院 富山県立中央病院 厚生連高岡病院
	7月8日(火)	富山労災病院 富山県済生会富山病院 富山県済生会高岡病院
	7月9日(水)	富山市立富山市民病院 高岡市民病院 独立行政法人国立病院機構北陸病院 南砺市民病院
	7月10日(木)	あさひ総合病院 国立大学法人富山大学附属病院 市立砺波総合病院 射水市民病院 公立南砺中央病院 金沢医科大学氷見市民病院
	7月11日(金)	黒部市民病院 富山赤十字病院 厚生連滑川病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター かみいち総合病院
2 回目	7月14日(月)	富山市立富山まちなか病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 富山県立中央病院 市立砺波総合病院
	7月15日(火)	富山労災病院 富山県済生会富山病院 富山県済生会高岡病院 独立行政法人国立病院機構北陸病院 国立大学法人富山大学附属病院
	7月16日(水)	富山赤十字病院 独立行政法人国立病院機構富山病院 高岡市民病院 厚生連高岡病院
	7月17日(木)	あさひ総合病院 高岡ふしき病院 公立学校共済組合北陸中央病院 南砺市民病院 射水市民病院
	7月18日(金)	黒部市民病院 富山市立富山市民病院 かみいち総合病院 金沢医科大学氷見市民病院 厚生連滑川病院

3 看護普及推進事業

目的 小、中、高校生や学校教員等へ看護の普及啓発を行い、看護について理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。

実施期間 令和7年7月～10月

対象 県内小学生、中学生、高校生、保護者、学校教員、地域住民等

内容 看護師等学校・養成所における講義及び看護体験学習

実施状況

学校	開催日	参加者	内容
国立大学法人 富山大学	9/20(土)	高校生14人	説明「看護職について」 模擬授業「生活習慣と健康 行動を変える健康教育」 学校紹介「富山大学看護学科の特徴」
公立大学法人 富山県立大学	7/27(日) 8/8(金)	高校生359人 保護者等100人	①オープンキャンパス 模擬講義「高齢者をとりまく社会と高齢者のヘルスプロモーション」 演習体験「感染予防」
	8/4(月)	高校生15人 引率教員1人	②アカデミックインターンシップ 模擬講義「感染予防策の基本」 演習体験「手洗い体験」「エプロン等の着脱体験」
富山 福祉短期大学	10/18(土)	50人	白衣着用体験 車椅子操作、高齢者疑似体験 育児モデル体験、バイタルサイン測定
富山市立 看護専門学校	8/4(月)	中学生4人	看護ってどんな仕事？（仕事内容、進路コース、学校紹介） 技術体験（バイタルサイン、包帯法） 座談会、個別進路相談
富山医療福祉 専門学校	8/2(土)	未就学児6人 小学生38人 中学生4人 高校生3人 保護者32人	モデル人形（さくら）の洗髪 個人防護具の着脱 衛生的手洗い 新生児モデルの沐浴
富山県高岡 看護専門学校	8/19(火)	小学生15人 保護者9人 教員10人	看護の仕事と魅力について説明 からだの音クイズ 看護教材の説明と体験 胎児発育過程を学習 正しい手洗い体験と洗い残しチェック

その他

1 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

- 目的 多様な勤務形態の整備や看護業務の効率化を促進し、看護職が健康で安心して働き続けられる職場環境づくりを行う。
- 内容 (1) 病院等支援
(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会の開催（年1回）
(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会の開催（年1回）
- 参加施設 1年目 厚生連高岡病院
3年目 富山県済生会富山病院、栗山病院
- 実施状況 (1) 個別病院支援
インデックス調査 令和7年5月～6月
施設訪問 令和7年8月25日(月) 厚生連高岡病院
令和7年9月19日(金) 富山県済生会富山病院
令和7年10月30日(木) 栗山病院
(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会
開催日 令和7年12月10日(水) 13:30～16:30
場所 富山県看護研修センター第1研修室
参加者 36名(19施設)
プログラム 報告 栗山病院、富山県済生会富山病院
講演 「医療現場におけるカスハラ問題とその対策」
講師 ともさわ社会保険労務士事務所
社会保険労務士 友澤 景子 氏
(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会
開催日 令和7年7月4日(金) 15:00～16:00
場所 富山県看護研修センター第2研修室
委員 10名
内容 令和6年度事業報告
令和7年度事業概要

2 看護職員定着支援事業

(1) 看護職の体験談

- 目的 プロフェッショナルとしての看護職の専門性や魅力を若い方々に伝えるエピソードを募集し、看護職を目指す方々の希望へと繋げる。
- 募集期間 令和6年12月10日(火)～令和7年1月24日(金)
- 募集資格 富山県内の看護職
※現在、看護職に就いている方、または過去に看護職に就いていた方
- 応募数 81編
- 受賞者 最優秀賞1名 長坂百合
優秀賞2名 木村優子、里見美佳
特別賞3名 岡村有美江、清水彩月、藤野冬奈
- 表彰式 令和7年6月20日(金) 富山県看護協会定時総会で最優秀賞を表彰
- 広報 受賞作品を富山新聞、広報誌「看護とやま」、ホームページに掲載

(2) 看護職員定着支援事業シンポジウム

目的 心理的安全性について学び、安心して発言、行動できる職場環境づくりを考える機会とする。

開催日 令和7年8月6日(水) 13:30~16:00

場所 富山県看護研修センター第3研修室

参加者 42名(17施設)

プログラム シンポジウム「イキイキ働くためのコミュニケーションとは」

シンポジスト 富山県済生会高岡病院 前馬 ほのか 氏

射水市民病院 湯川 舞 氏

富山県立中央病院 山岸 久枝 氏

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

吉岡 智子 氏

講義・演習 「心理的安全性の高い職場づくり」

講師 公立学校共済組合北陸中央病院 臨床心理士 富田 さなえ 氏

3 地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託)

目的 地域の実情や病院等のニーズに応じた看護職・看護補助者の確保

内容 (1) 領域別・地域別の偏在是正に向けた取り組み

(2) 看護補助者確保・定着に向けた取り組み

(3) 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知

実施状況 (1) 領域別・地域別の偏在是正に向けた取り組み

事業名 富山県の実情に応じた看護職確保

成果 ア 多様な働き方の求人を登録・紹介

・求人イベント「ママJOBフェスタ」でブースを設置

・登録紹介件数1件

イ 訪問看護ステーションに勤務する看護職を確保

・訪問看護キャリア支援セミナーを開催(訪問看護総合支援センター)

・訪問看護ステーション就業人数9名

ウ 離島・へき地における看護職確保

・「北陸3県くらし&しごとフェア」でブース設置

参加者357名、ブース相談3名

(2) 看護補助者確保・定着に向けた取り組み

事業名 看護補助者の確保と定着推進

成果 看護補助者のお仕事説明会・体験会

実施病院18病院、参加者33名、就職者2名

(3) 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知

事業名 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知

成果 ア 看護学校出向講義 参加者215名

イ 看護職員再就業支援研修 参加者34名

令和7年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告

富山県訪問看護総合支援センター運営事業（富山県委託事業）

富山県訪問看護総合支援センターは、県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化・機能強化を行い、訪問看護提供体制の推進を図る。

1 訪問看護支援強化事業

- (1) 事業目的 訪問看護に関する相談や啓発等の実施、運営支援アドバイザーによる相談、小児医療対応力向上技術研修会の開催等を行うことにより、在宅療養環境の充実を図る。

- (2) 訪問看護相談窓口の開設

県民や関係機関からの訪問看護の利用に関する相談や、訪問看護ステーションの運営や開設等に関する相談に応じている。

ア 相談数及び相談方法

相談数 延344件(月平均28.7件)(対前年比0.60倍)

相談方法 電話相談305件(88.7%)、メール4件(1.2%)、来訪等35件(10.1%)

イ 相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合(%)	相談内容
訪問看護ステーション	258	75.0	報酬算定、ハラスメント、研修会や委託事業、訪問看護指示書等に関する事
医療機関	13	3.8	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関する事
新規開設予定者	18	5.2	開設準備、研修会や委託事業等に関する事
ケアマネジャー	12	3.5	医療保険の訪問看護、サービス内容に関する事
利用者・家族等	5	1.4	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関する事
施設	2	0.6	訪問看護のサービス内容に関する事
県行政・関係団体	11	3.2	報酬算定、委託事業、連絡協議会に関する事
その他	25	7.3	県直事業の問い合わせ、人材確保等に関する事
合計	344	100.0	

- (3) 訪問看護の普及・啓発

ア 啓発・相談会

院内に訪問看護ステーションを所有していない2カ所の公的病院及び富山県看護協会支部活動「看護協会まちの保健室」と協働して計5回開催 訪問看護ステーションの管理者や訪問看護総合支援センターの職員(各回2名)が対応

開催場所	開催数(回)	相談者数(人)
富山県立中央病院	1	9
富山大学附属病院	1	6
入善町健康交流プラザサンウェル	1	13
イオンモール砺波	1	0
高岡市ふれあい福祉センター	1	18

イ 県民への啓発

- (ア) イベントでの啓発

開催日	内容
令和7年8月2日(土)	とやま看護フェスタ2025

(イ) 相談窓口の案内（新聞掲載）

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

ウ 出前講座

1 回（富山県立大学）

エ その他

(ア) 「看護とやま」（4 月、7 月、10 月、1 月）を活用した啓発

(イ) 訪問看護に関する情報発信、広報や研修案内等富山県訪問看護総合支援センターのホームページの更新

(4) 訪問看護の機能強化

訪問看護ステーションの安定した運営基盤の構築、小児医療への対応力の向上、訪問看護ステーション連絡協議会への支援等を行う。

ア 訪問看護運営支援アドバイザーによる相談

事業内容 アドバイザーによる事業所運営全般に関する助言指導

講 師 株式会社ウッディ訪問看護ステーションはーと

訪問看護認定看護師 富岡 里江 氏

開催日及び方法

(ア) 令和 7 年 10 月 23 日(木) オンライン指導

(イ) 令和 8 年 1 月 30 日(金) 書面による指導

実施施設 4 カ所 ナーシングケアさくら、訪問看護ステーション十色

済生会富山訪問看護ステーション、中新川訪問看護ステーション

イ 訪問看護ステーション管理者育成研修会

目 的 今一度、訪問看護の意味することを考え、明日からの看護実践に役立てる。

開 催 日 令和 7 年 9 月 27 日(土) 9:00～15:00

方 法 対面開催

参 加 者 36 名

プログラム

時間	内 容
9:00～15:00	講義「訪問看護の意味を探して」及びグループワーク ・日々の訪問看護の実践 ・訪問看護が存在する価値や意味 ・自信と誇りを持ち、実践に向き合うために 講師 医療法人社団慈恵会北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長/慢性疾患看護専門看護師 藤田 愛 氏

ウ 小児医療対応力向上技術研修会

目 的 医療的ケア児等の在宅医療を推進するため、児の健康管理を行いながら、地域で生活する児と家族への看護に必要な知識の習得、技術向上、医療処置への対応、NICU等の小児医療機関の実習や訪問看護の同行訪問を含めた研修を実施する。

開催日及び受講者

オンデマンド研修：令和 7 年 9 月 12 日(金)～令和 7 年 12 月 12 日(金)

受講生 28 名

実習・演習・連携：令和 7 年 10 月 8 日(水) または 令和 7 年 10 月 29 日(水)

受講生 9 名

実習・同行訪問：令和 7 年 9 月 17 日(水)～令和 7 年 10 月 22 日(水) のうち 1 日 受講者 9 名

プログラム

	研 修 内 容	講 師
オンデマンド研修	①医療的ケア児等の支援に係る制度	富山県厚生部障害福祉課 地域生活支援係 係長 岩崎 渉 氏
	②医療的ケア児と家族のためにできること	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 准教授 田村 賢太郎 氏
	③障害児支援計画の作成等について	社会福祉法人くるみ 相談支援専門員 松田 瞳 氏
	④医療的ケアを必要とする児と家族の看護 (医療的ケア児の概要・児の特徴・看護 の実際)	富山大学附属病院 新生児集中ケア認定看護師 田村 愛 氏
	⑤医療的ケアを必要とする児の医療的ケア の実際 (栄養管理・呼吸管理)	富山大学附属病院 医療的ケア児コーディネーター 土田 悦子 氏
	⑥医療的ケアを必要とする児の家族の心理 と支援	富山大学附属病院 公認心理師・臨床心理士 小暮 奏 氏
	⑦小児のストーマ管理	富山大学附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 吉井 忍 氏
	⑧在宅用人工呼吸器と小児の心肺蘇生	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 講師 猪又 智実 氏
	⑨医療的ケアを必要とする児に関わる感染 予防対策	富山大学附属病院 感染管理認定看護師 松浦 美里 氏
	⑩当院におけるNICU・GCUでのリハビリ テーション ～医療的ケア児のリハビリ介入～	富山大学附属病院 リハビリテーション部 作業療法士 永原 詩乃 氏
	⑪医療的ケア児に関する制度・サービス	富山大学附属病院 医療福祉サポートセンター 医療ソーシャルワーカー 小塚 麻友子 氏
実習・演習・連携	実習：NICU・GCU・南2階病棟 演習：栄養管理・呼吸管理・蘇生・呼吸器 リハビリの実際 連携：退院支援カンファレンス・意見交換等	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 准教授 田村 賢太郎 氏
		富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 講師 猪又 智実 氏
		副看護部長 新生児集中ケア認定看護師 鹿島 美友紀 氏
		新生児集中ケア認定看護師 田村 愛 氏
		医療的ケア児コーディネーター 土田 悦子 氏
		作業療法士 永原 詩乃 氏
		南2階病棟看護師長 大西 典子 氏
		医療的ケア児コーディネーター 萩中 希 氏
		公認心理師・臨床心理士 小暮 奏 氏
実習	実習（同行訪問）：小児を対象とした訪問看護 ステーションにおける訪問看護の実際	医療福祉サポートセンター 医療ソーシャルワーカー 小塚 麻友子 氏
		訪問看護ステーションまますまアсист 管理者 高尾 久子 氏

エ 専門性の高い看護師による地域支援

目 的 専門性の高い看護師と訪問看護師との連携による質の高い在宅療養支援の促進を図る。

実 績

- (ア) 訪問看護ステーションにおける専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者在籍一覧表を作成した。(専門看護師2名、認定看護師18名、特定行為研修修了者25名)
- (イ) ホームページ公表に同意を得られた18事業所に在籍する専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者延べ41名について掲載した。

オ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会への支援

(ア) 事務局としての支援

(イ) 総会、役員会（8回）、研修会（2回）、新卒・新任訪問看護師交流会

カ 関係者研修会への支援

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	会場	参加者 (人)	講 師
新川	7月26日(土) 10:00～12:00	くろべ市民交流センター	11	訪問看護ナースソフィアにいかわ 管理者 時山 麻美 氏
富山 東部	10月11日(土) 13:00～15:00	教育文化会館	15	富山赤十字訪問看護ステーション 管理者 津浦 陽子 氏
富山 西部	12月6日(土) 13:30～15:30	富山市八尾コミュニティセンター	15	訪問看護ステーション希望のひかり 管理者 杉田 美紀 氏
高岡	9月24日(水) 18:00～20:00	だいが清水館	17	厚生連高岡訪問看護ステーション 管理者 近藤 道代 氏
砺波	7月26日(土) 10:00～11:30	砺波スリーティ運輸研修室	23	南砺市訪問看護ステーション 言語聴覚士 羽柴 尚子 氏

キ その他

訪問看護に関する情報分析及び富山県訪問看護総合支援センターホームページへの掲載等

2 訪問看護人材確保事業

(1) 事業目的 新卒・新任看護師が安心して訪問看護師として就労できるよう、県内訪問看護ステーション等でのインターンシップやセミナー等を開催し、訪問看護師の安定的な確保を目指す。

(2) 新卒看護師雇用・育成事業（訪問看護インターンシップ事業）

目 的 訪問看護に関心のある看護学生が、訪問看護ステーションの職場を体験し、訪問看護の魅力の発見や関心を高めることにより訪問看護ステーションへの就業促進を目指す。

実施期間 令和7年8月13日(水)～8月26日(火)

参 加 者 看護学生13名（富山市立看護専門学校、富山県高岡看護専門学校）

体験事業所 訪問看護ステーション5カ所（朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション、在宅福祉総合センターきずな訪問看護ステーション、光風会訪問看護ステーション、厚生連高岡訪問看護ステーション、南砺市訪問看護ステーション）

(3) 先輩訪問看護師と語るセミナー（訪問看護キャリア支援セミナー）の開催

目 的 新たに訪問看護に従事しようと考えている看護職員等を対象に、訪問看護の魅力や働き方を伝えるセミナーを開催し、訪問看護師の確保につなげる。

開 催 日 令和7年11月11日(火) 13:30～15:00

内 容 体験談（3名）「訪問看護という選択 ～私が訪問看護を選んだ理由（わけ）～」

報 告 者 横山 雄子 氏（富山赤十字訪問看護ステーション）

山田 裕美子氏（中新川訪問看護ステーション）

野明 美代子氏（訪問看護ステーションかけはし）

グループワーク（本音deトーク）「ここでしか聞けない訪問看護のコト」

参 加 者 14名

(4) 新卒訪問看護師の育成

ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会

目 的 新卒訪問看護師が訪問看護師として成長するための教育・育成体制の検討及び訪問看護ステーションにおける新卒看護師の教育・育成に必要な体制構築等について、総合的に検討する。

開 催 日 令和7年12月16日(火)

開催場所 富山県看護研修センター

委 員 10名

イ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの周知・活用推進

(ア) 新卒・新任訪問看護師就業状況調査の実施（5月、10月）

(イ) ガイドライン活用状況調査

調査期間：令和7年9月19日(金)～10月9日(木)

調査対象：県内訪問看護ステーション111事業所

調査結果：回答数60件（回収率54.1%）

ガイドラインの認知度は90%と高いが、活用率は27%と低かった。その主な要因としては、新卒・新任訪問看護師の採用がなかったことがあげられた。

(ウ) 新任訪問看護師採用事業所訪問 1事業所（7/16、3/19）

(エ) 新卒・新任訪問看護師交流会の開催（10/27）

参加者：新任訪問看護師3名、支援者8名

(オ) ガイドラインの改訂（令和7年12月）、ホームページ更新

3 訪問看護災害時等支援体制推進事業

- (1) 事業目的 新興感染症拡大時や災害発災時に、訪問看護サービスを必要とする在宅療養者が継続して訪問看護を利用できるよう、県内訪問看護ステーション相互の連携によるサービス提供を支援する。
- (2) 事業内容
- ア サポートステーションの圏域内で情報交換会の開催支援と情報の共有
 - イ BCP更新の支援や応援体制の整備
 - ウ 感染症・災害時等のBCP作成状況の確認
 - エ 災害時等のシミュレーション
- (3) 実績
- ア サポートステーション連絡会議で情報交換を実施
 - イ 富山県内訪問看護ステーションにおける災害時等の連絡体制の調査と一覧の作成
 - ウ 各圏域の訪問看護ステーション一時閉鎖時の応援体制リストの確認・集約
 - エ (ア) 災害時情報共有システムへの入力について周知
 - (イ) 富山県内訪問看護事業所・県高齢福祉課・富山県訪問看護総合支援センター
災害時連携情報伝達訓練の実施
 - a 事前説明会：令和8年1月20日(火) Zoom開催
 - b 訓練実施日：令和8年2月12日(木) 到達率：61.8%
 - c 振り評価：サポートステーション5事業所
 - d 災害訓練実施後のアンケート調査：県内110事業所

4 訪問看護ステーションサポート事業

- (1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、教育的機能を有する「訪問看護サポートステーション」を医療圏毎に選定し、圏域内の訪問看護職員を対象とした実践的研修等や管理者等への相談対応や情報交換会等を開催することにより、訪問看護サービスの向上を目指す。
- (2) 事業内容
- ア サポートステーションの審査及び必要経費の助成
 - イ 連絡会議の開催、サポートステーションからの相談対応、実績の取りまとめ等
 - ウ コーディネーターの設置・連絡調整・対応策の検討等
- (3) 実績
- ア サポートステーションの一覧及び活動実績

医療圏	サポートステーション	電話相談	同行訪問	ST訪問	研修	情報交換会
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	2	0	0	3	4
富山	済生会富山訪問看護ステーション	0	7	1	2	1
	光風会訪問看護ステーション	4	1	0	2	2
高岡	厚生連高岡訪問看護ステーション	2	85	0	2	3
砺波	砺波市訪問看護ステーション	5	0	0	3	3
	計	13	93	1	12	13

イ 連絡会議

開催日 第1回 令和7年5月29日(木)

第2回 令和8年2月26日(木)

5 訪問看護・医療機関相互研修事業

- (1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーション双方の技術向上と連携強化を図る。

- (2) 病院看護師出向研修事業

ア 事業内容 病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術を習得し、訪問看護を実践する。

イ 実績

派遣病院 受入事業所	出向研修期間	派遣元の所属部署・ 職位（人数）	事前 説明日	中間・最終 評価日
富山県立中央病院	12月1日(月)～	病棟	10/9	1/14
富山赤十字訪問看護ステーション	2月28日(土)	主任看護師（1名）	11/5	2/27

- (3) 病院看護師の研修受入事業

ア 事業内容 派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。

イ 実績

派遣病院 受入事業所	研修期間	派遣元の所属部署・ 職位（人数）	事前 説明日	最終 評価日
かみいち総合病院	7月1日(火)～	病棟	6/19	7/31
訪問看護ステーションひより富山	7月31日(木)	看護師（1名）		
高岡市民病院	9月1日(月)～	地域医療部	7/25	9/26
厚生連高岡訪問看護ステーション	9月30日(火)	主任看護師（1名）		

- (4) 訪問看護師スキルアップ研修事業

ア 事業内容 県内の病院において、訪問看護師に必要な資質・対応力の向上のための研修を行う。

- (ア) 最新の看護技術や知識等を学ぶ研修

最新医療機器や緩和ケア、外来化学療法等の知識や技術を学ぶ。

- (イ) 訪問看護師と病院看護師等との連携会議（情報交換）

在宅移行や在宅療養生活に必要な事項を意見交換する連携会議を開催する。

イ 実 績（４圏域５病院）

圏域	開催日	場 所	参加者(人)	内 容
新川	11月21日(金)	黒部市民病院	7	・ 認定看護師等３名による講義・演習等 ・ 中心静脈ポート管理、感染対策 ・ フィジカルアセスメントを用いた急変予兆 ・ 意見交換
富山	11月18日(火)	国立大学法人 富山大学附属病院	16	・ 認定看護師等９名による講義・演習等 ・ 呼吸フィジカルアセスメント・呼吸リハビリ ・ 心不全に伴う浮腫・浮腫のスキンケア ・ 人工呼吸器管理、がん性疼痛の緩和 ・ 意見交換
	11月12日(水)	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	6	・ 認定看護師５名による講義・演習等 ・ こども棟の呼吸ケア（人工呼吸器等） ・ 摂食嚥下看護・嚥下管理チーム活動等 ・ V F 見学、STによる直接訓練の見学 ・ 意見交換
高岡	9月24日(水)	厚生連高岡病院	15	・ 認定看護師等８名のコラボによる講義・演習等 ・ 乳がん看護×集中ケア、皮膚・排泄ケア×感染管理、集中ケア×緩和ケア、認知症ケア×緩和ケア等 ・ 意見交換
砺波	11月11日(火)	市立砺波総合病院	6	・ 専門・認定看護師等５名による講義・演習等 ・ 摂食嚥下ケア、がん相談支援センター紹介 看護外来の実際と褥瘡ラウンド見学等 ・ 意見交換
計			50	

6 訪問看護推進事業

- (１) 事業目的 訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。また、医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。

(２) 実 績

ア 在宅ケア事例検討会へのアドバイザー（専門看護師・認定看護師等）の派遣

(ア) 派遣アドバイザー（４名）

氏 名	所 属	認定看護師等名称
高山 由紀子 氏	黒部市民病院	緩和ケア認定看護師
宮元 滋宏 氏	富山県立中央病院	認知症看護認定看護師
松井 寛子 氏	真生会富山病院	認知症看護認定看護師
中田 史世 氏	市立砺波総合病院	小児看護専門看護師

(イ) 在宅ケア事例検討会（４回 参加総数193名）

地区	開催日	会 場	アドバイザー	事例検討テーマ (事例提供ステーション)	参加者 (人)
新川	8月20日(水)	黒部市民病院	高山	在宅療養を強く希望した痛末期の患者と家族への支援 (坂東病院訪問看護ステーション)	56
富山	9月2日(火)	富山県立中央病院	宮元	独居認知症高齢者の訪問看護での関わりと多職種連携 (済生会富山訪問看護ステーション)	52
高岡	8月27日(水)	真生会富山病院	松井	身寄りのない人の生活支援 ～認知症を抱える人の生活を支える～ (こかげ訪問看護ステーション)	48
砺波	9月11日(木)	市立砺波総合病院	中田	瘻孔のセルフケアを行う在宅療養児との関わり方 (ものがたり訪問看護ステーション)	37
計					193

イ 医療機関看護師の訪問看護研修及び事例検討会への参加

研修場所及び期日			参加者 (人)
訪問看護ステーション	在宅ケア事例検討会		
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション 7/3(木)・7/4(金)	黒部市民病院 富山県立中央病院	8/20(水) 9/2(火)	2
訪問看護ステーションひよどり富山 7/9(水)	富山県立中央病院	9/2(火)	1
訪問看護ステーションジョジョ 8/8(金)	真生会富山病院	8/27(水)	1
済生会富山訪問看護ステーション 7/16(水)	富山県立中央病院	9/2(火)	1
もみじ訪問看護ステーション 7/3(木)・8/26(火)	富山県立中央病院 真生会富山病院	9/2(火) 8/27(水)	2
砺波市訪問看護ステーション 7/17(木)	黒部市民病院	8/20(水)	1
計			8

7 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業

- (1) 事業目的 人工呼吸器を装着している児（者）や日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）、また、重症心身障害児（者）（以下「医療的ケア児等」という。）とその家族が、身近な地域で必要な訪問看護を安心して受けることができるよう、訪問看護提供体制の整備を図る。

(2) 事業内容

ア 地域の訪問看護ステーションへの引継ぎを前提とした同行訪問の調整及び経費の助成

イ 市町村、障害福祉サービス事業所、保育所、学校等の関係機関との情報連携、相談・助言、啓発等

(3) 実績

ア 2か所の訪問看護ステーションによる訪問看護の実施

(ア) 指導ステーション 1事業所

(イ) 受講ステーション 2事業所

(ウ) 対象となった児 2名

(エ) 同行訪問回数 延42回（1回＝30分）

イ 訪問看護事業所や市町村等からの相談支援、医療機関への普及啓発 相談件数 30件

令和7年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告

1 経緯

平成8年8月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年3月31日で居宅介護支援事業を廃止。4月より訪問看護事業のみとなる。

2 職員体制（令和8年3月現在）

常勤換算 4.3名

勤務形態

管理者	1名
常勤看護師	4名
非常勤看護師	1名

3 訪問看護活動実績（145ページ参照）

4 地域・他機関連携

- ・富山県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
- ・射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・在宅ケア事例検討会
- ・射水在宅医療カンファレンス
- ・在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会

5 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・訪問看護ステーション管理者育成研修会

【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・高岡・氷見支部研修会

【その他】 一部を記載

- ・高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会（Web）
- ・富山県在宅医療支援センター研修会（Web）
- ・医療従事者を対象とした緩和ケアに関する講演会（Web）
- ・認定看護師を対象としたフォローアップ研修（Web）
- ・射水市在宅医療と介護を考える市民公開講座
- ・射水市認知症セミナー
- ・がん看護セミナーアドバンス
- ・射水市医師会医療安全講習会

6 訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期間	人数（名）
2025年度セカンドレベル実習	令和7年7月22日～7月24日	3
富山県高岡看護専門学校	令和7年6月5日～6月10日	4
富山県立大学看護学部	令和7年5月15日～5月22日	2
計		9

令和 7 年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり

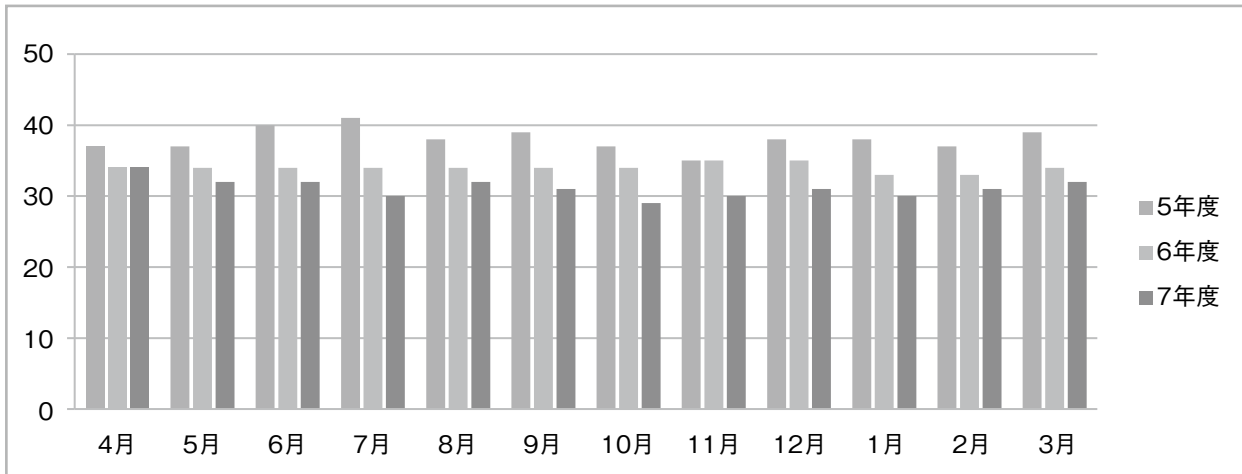
区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数			21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	20.2
利用者状況	登録者数		34	32	32	30	32	31	29	30	31	30	31	32	374	31.2
	利用者数		34	32	32	30	32	31	29	30	31	30	31	32	374	31.2
	介護保険		23	21	21	19	21	20	18	19	19	19	19	20	239	19.9
	医療保険		11	11	11	11	11	11	11	11	12	11	12	12	135	11.3
	新利用者数		0	2	1	0	2	1	0	2	2	0	3	0	13	1.1
	終了者		0	4	1	2	0	2	2	1	1	1	2	0	16	1.3
訪問状況	訪問延回数		219	232	268	297	232	228	233	185	235	208	214	221	2,772	231.0
	医療保険訪問		110	112	139	147	132	108	111	91	124	101	121	121	1,417	118.1
	複数訪問		17	18	30	31	30	16	18	14	23	16	23	11	247	20.6
	平均訪問回数		11.0	11.6	13.4	14.9	11.6	11.4	11.6	9.3	11.8	10.4	10.7	11.5	139.2	11.6
終了内訳	死亡		0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0.3
	入院		0	3	1	0	0	0	2	1	1	0	1	0	9	0.8
	入所		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0.3
	軽快		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2
依頼状況	居宅支援事業所		0	2	1	0	2	1	0	1	1	0	1	0	9	0.8
	地域包括支援センター		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.3
	医療機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
	家族・本人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援		3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	35	2.9
	要介護 1		6	7	7	7	7	5	4	4	5	6	5	7	70	5.8
	要介護 2		8	5	5	5	6	6	6	6	5	4	3	2	61	5.1
	要介護 3		2	3	3	3	2	3	3	3	3	4	4	5	38	3.2
	要介護 4		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
	要介護 5		3	3	2	1	4	3	2	3	3	3	3	2	32	2.7
	申請中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
	医療保険利用		11	11	11	11	11	11	11	11	12	11	12	12	135	11.3
利用者年齢	平均年齢		78.5	78.8	79.9	78.3	78.8	78.1	78.1	78.2	78.2	78.7	78.0	78.1	941.7	78.5
	65歳未満		4	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	51	4.3
	65～69歳		2	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	21	1.8
	70～74歳		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	0.5
	75～79歳		3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	39	3.3
	80～84歳		9	7	7	7	9	9	7	8	8	7	7	8	93	7.8
	85～89歳		9	8	8	8	7	7	9	7	8	10	10	10	101	8.4
	90歳以上		5	7	7	6	6	5	4	6	5	5	4	4	64	5.3
連携	退院前カンファレンス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0.2
	担当者会議		0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	5	0.4
	地域包括ケア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

*実働日数には休日・祝日は含まれない

訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

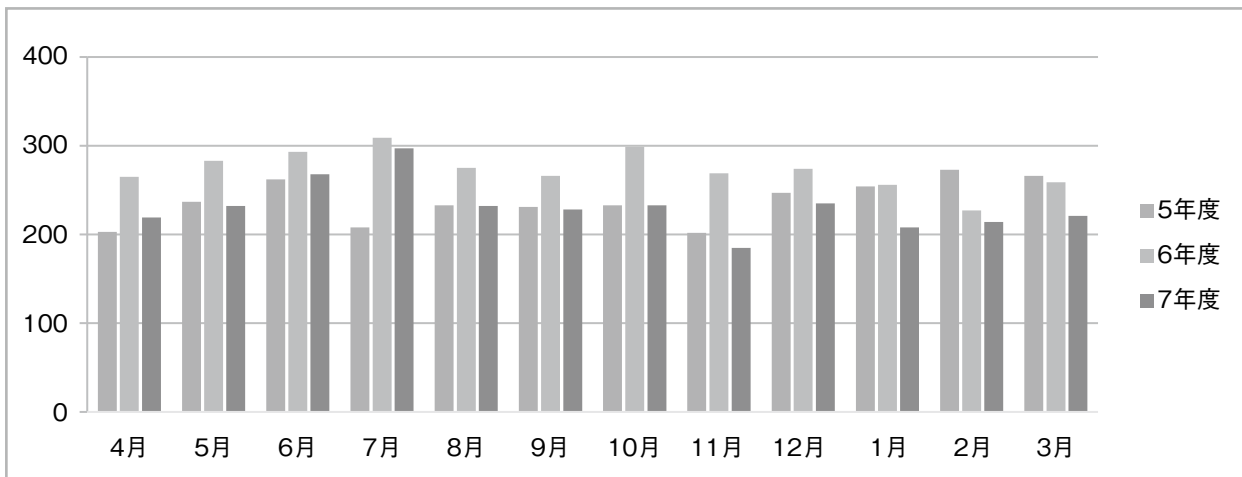
1 利用者の月別・年度別推移

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	37	37	40	41	38	39	37	35	38	38	37	37	454
6年度	36	34	34	34	34	34	34	35	35	33	33	34	410
7年度	34	32	32	30	32	31	29	30	31	30	31	32	374



2 訪問回数の月別・年度別推移

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	203	237	262	208	233	231	233	202	247	254	273	266	2,849
6年度	265	283	293	309	275	266	299	269	274	256	227	259	3,275
7年度	219	232	268	297	232	228	233	185	235	208	214	221	2,772



令和 7 年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

1. 経緯

当事業所は、在宅療養支援のニーズの高まりを背景に、平成10年（1998）に開設された。介護保険法施行により、平成12年（2000）に指定居宅介護支援事業所を開設。事業拡大に向け平成19年（2007）に訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成20年（2008）に訪問看護ステーションいそべと合併。現在、小規模訪問看護ステーションとして、利用者一人ひとりに寄り添った看護の提供に努めている。また、看護学生や病院看護師の研修受け入れを担い、地域における人材育成にも取り組んでいる。さらに今年度は、ケアプランデータ連携システムの導入・運用を通じて、多職種との情報共有の円滑化を図り連携体制の強化を進めた。これらの取り組みを通じ、地域包括ケアシステムの一役を担う事業所として現在に至る。

2. 職員体制（令和 8 年 3 月現在）

常勤換算 3.7名

勤務形態

管理者（看護師）	1名
常勤（看護師）	2名
非常勤（看護師）	1名

3. 訪問看護活動実績（149ページ参照）

4. 他機関連携

- ・富山医療圏地域医療推進対策協議会がん・在宅医療部会出席（委員）
- ・医療観察制度指定医療機関等連絡会出席（7/23）
- ・出向研修事業受入れ（かみいち総合病院）（7/1～7/31）
- ・富山県立大学看護学部看護学実習運営協議会出席（8/19・3/17）
- ・神明・五福地区医療介護連携推進会議出席（7/11）
- ・富山市医療・介護連携推進研修会出席（7/24・8/27・9/25）
- ・5エリア合同講習会出席（12/8）
- ・西・南エリア在宅医療介護連携研修会出席（12/23）
- ・在宅医療研修会出席（1/30・3/12）

5. 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・精神科訪問看護師育成研修（8/16）
- ・管理者育成研修（9/27）
- ・在宅ケア事例検討会（8/27・9/2）

【訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・富山Ⅱ地区情報交換（7/14・12/15）
- ・富山Ⅰ地区研修会「高齢者虐待の早期発見と対応～専門職の視点を生かして」（9/30）
- ・富山Ⅱ地区研修会「もっと看護に専念できるチームへ」（10/23）

【富山県看護協会・訪問看護ステーション連絡協議会共催】

- ・令和 6 年度訪問看護に関する事業報告会（6/26）
- ・第 2 回研修「救急搬送時に訪問看護師ができることの関する意見交換会」（11/29）

【その他】

- ・訪問看護サミット2025（11/8）
- ・ケアマネジャー在宅医療研修会「訪問看護について」（9/26）（講師）

- ・脳神経看護学術集会出席（10/12）
- ・緩和ケア合同検討会議（1/21）（Web）
- ・循環器病支援研修会（12/19）

6. 訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（名）
富山市医師会看護専門学校	令和7年5月16日～7月24日	6
富山医療福祉専門学校	令和7年6月4日～6月9日	1
富山市立看護専門学校	令和7年9月1日～9月30日	4
富山県立大学（看護学部）	令和7年12月4日～12月11日	3
令和7年度病院看護師研修	令和7年7月1日～7月31日	1
医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和7年7月9日	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル実習	令和7年7月22日～7月25日	2
令和7年度訪問看護師養成講習会	令和7年10月15日～11月14日	1
計		19

令和 7 年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり富山

区分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	20.2
利用者状況	登録者数	33	32	31	33	32	33	33	34	36	35	33	33	398	33.2
	利用者数	30	30	31	33	32	33	32	33	35	32	31	31	383	31.9
	介護保険	17	17	19	20	21	21	21	20	21	21	19	19	236	19.7
	医療保険	14	14	13	13	12	12	11	13	14	11	12	13	152	12.7
	新規利用者数	0	0	2	2	0	3	0	1	2	1	1	1	13	1.1
	終了者数	1	2	1	1	2	0	0	0	1	1	1	1	11	0.9
	入院中・保留中	3	2	0	0	0	0	1	1	2	3	2	2	16	1.3
訪問状況	訪問延回数	178	173	178	199	170	182	197	169	184	168	157	175	2130	177.5
	介護保険	99	99	97	119	110	124	134	111	124	112	102	111	1342	111.8
	医療保険	79	74	81	80	60	58	63	58	60	56	55	64	788	65.7
	複数名訪問	8	7	8	7	6	7	7	6	8	6	5	8	83	6.9
	平均訪問回数	8.5	8.7	8.5	9.0	8.5	9.1	9.0	9.3	9.2	8.8	8.7	8.3	106	8.8
終了内訳	死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4	0.3
	入院	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0.3
	入所	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	軽快	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
新規依頼状況	居宅介護支援事業所	1	1	1	2	2	2	0	1	1	0	0	0	11	0.9
	地域包括支援センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
	医療機関	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	8	0.7
	家族・本人	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
利用者介護度	要支援	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	1
	要介護 1	5	5	5	6	6	7	7	7	8	6	6	6	74	6
	要介護 2	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	4	46	4
	要介護 3	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	27	2
	要介護 4	3	4	3	3	2	3	4	3	3	4	4	5	41	3
	要介護 5	2	2	2	4	4	3	4	4	4	4	2	2	37	3
	申請中/更新	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	0
	医療保険利用	14	14	13	13	12	12	11	13	14	11	12	13	152	13
利用者年齢	平均年齢	76.6	75.9	77.3	77.4	77.9	77.3	77.0	76.1	75.9	76.9	76.7	76.0	921	76.8
	3 歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～39歳	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16	1
	40～64歳	6	6	6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	67	6
	65～69歳	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7	1
	70～74歳	3	3	3	2	3	3	3	2	1	1	1	1	26	2
	75～79歳	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	3	4	49	4
	80～84歳	5	5	5	6	5	6	6	6	7	5	6	6	68	6
	85～89歳	4	4	4	6	5	5	5	7	8	7	7	7	69	6
	90歳以上	7	7	8	8	8	7	6	6	6	7	6	5	81	7
連携	退院前カンファレンス	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3	0.3
	担当者会議	0	2	0	1	0	1	0	1	3	1	0	2	11	0.9
	地域包括ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2

* 実働日数には休日・祝日は含まれない

令和7年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

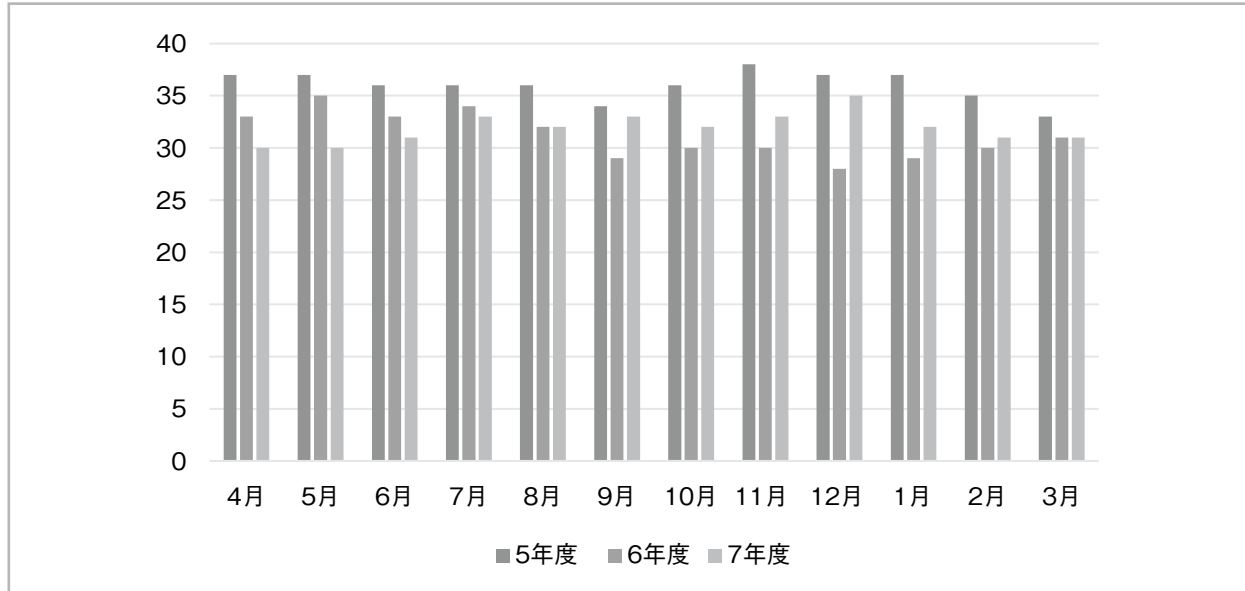
訪問看護ステーションひよどり富山

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
利用者状況	登録者数	5	4	3	4	4	7	6	6	6	5	5	8	63	5.3
	新規利用者数	3	0	0	1	0	4	0	0	1	1	1	3	14	1.2
	モニタリング実施数	5	4	3	4	4	7	6	6	6	5	5	8	63	5.3
	終了者数	0	1	1	0	0	1	1	0	1	2	1	0	8	0.7
訪問状況	訪問看護契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
	入院	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4	0.3
	入所（ショート）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0.2
	軽快	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
新規依頼状況	居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	3	0	0	1	0	4	0	0	1	1	1	3	14	1.2
介護度	要介護1	3	2	1	2	2	5	4	4	3	4	4	4	38	5.8
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	5	0.4
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
	要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8	0.7
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	申請中/更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険利用	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	1	11	0.9
利用者年齢	平均年齢	82.3	82.3	82.3	83.0	83.0	84.6	82.8	83.2	82.7	86.0	85.8	83.9	1001.9	83.5
	65歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	70～74歳	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0.5
	75～79歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	10	0.8
	80～84歳	0	0	0	0	0	3	3	3	4	3	3	4	23	1.9
	85～89歳	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	9	0.8
	90歳以上	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	15	1.3

訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

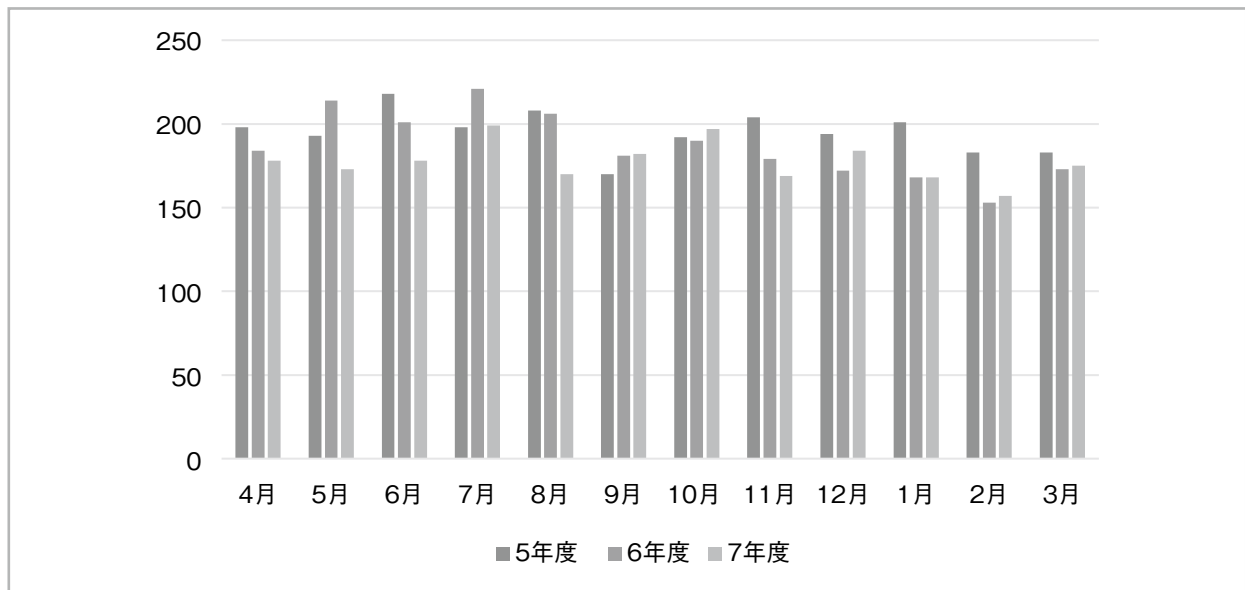
1 利用者数の月別・年度別推移

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	常勤換算
5年度	37	37	36	36	36	34	36	38	37	37	35	33	432	4.8
6年度	33	35	33	34	32	29	30	30	28	29	30	31	374	3.6
7年度	30	30	31	33	32	33	32	33	35	32	31	31	383	3.7



2 訪問延回数の月別・年度別推移

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	常勤換算
5年度	198	193	218	198	208	170	192	204	194	201	183	183	2,342	4.8
6年度	184	214	201	221	206	181	190	179	172	168	153	173	2,242	3.6
7年度	178	173	178	199	170	182	197	169	184	168	157	175	2,130	3.7



令和7年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告

1 経緯

平成12年4月介護保険法施行により訪問看護事業と併設にて指定居宅介護支援事業所を開設した。その後、平成19年4月より事業拡大に向け、訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離し事業運営していた。介護支援専門員の確保が困難になったことから令和8年1月31日付けで事業所を廃止した。

2 職員体制（令和7年12月現在）

常勤換算 1.6人 管理者（主任介護支援専門員 看護師） 1人
 非常勤介護支援専門員（看護師） 0.6人

3 居宅介護支援事業活動実績（153ページ参照）

4 研修会出席

主催	研修会名
富山市	富山市医療介護連携研修会 3回 第2回主任介護支援専門員ケアマネジャー定例会
神明・五福地域包括支援センター	認知症ブロック別研修会 医療介護連携推進会議 介護支援専門員情報交換会
百塚地域包括支援センター	介護支援専門員情報交換会
富山県介護支援専門員協会	北陸ブロック研修会in富山 「介護支援専門員と多職種連携の未来 —災害時に備えるケアマネジメント提供体制—」
とやま在宅協議会	高齢者で気をつけたい眼疾患について
その他	災害時事業継続（BCP）訓練 高齢者虐待防止研修 感染症対策研修 訪問看護ステーションひよどり富山と事例検討会

5 ひよどり富山居宅介護事業所の年度別推移

（1）ケアプラン作成件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	47	47	44	42	43	38	40	39	40	44	42	52	518
6年度	50	49	52	51	56	59	61	55	63	62	59	60	677
7年度	56	52	49	47	43	40	30	23	17	17	—	—	374

（2）認定調査件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	2	0	1	1	3	3	2	3	3	1	3	3	25
6年度	5	3	4	1	5	1	1	4	9	5	2	4	44
7年度	2	3	4	2	5	3	3	1	1	2	—	—	26

令和7年度 居宅介護支援事業活動実績

ひよどり富山居宅介護支援事業所
令和8年1月末日で事業廃止

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
認定調査件数			2	3	4	2	5	3	3	1	1	2	-	-	26	2.6
給付管理	要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
	要支援2		1	1	3	3	4	4	3	3	1	1	-	-	24	2.4
	要介護1		21	17	17	16	14	12	8	6	5	5	-	-	121	12.1
	要介護2		16	16	12	12	10	11	8	8	6	6	-	-	105	10.5
	要介護3		10	10	10	10	10	10	9	5	4	4	-	-	82	8.2
	要介護4		5	5	4	3	3	0	0	0	0	0	-	-	20	2.0
	要介護5		3	3	3	3	2	3	2	1	1	1	-	-	22	2.2
	小計		56	52	49	47	43	40	30	23	17	17	-	-	374	37.4
	加算	新規・2区分アップ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	-	1	0.1
		入院時情報連携	1	6	1	1	0	3	1	0	0	1	-	-	14	1.4
		退院・退所連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		通院	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	2	0.2
		小計	1	7	1	1	1	3	2	0	0	1	-	-	17	1.7
支援内容	社会資源の調整	徘徊SOS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		介護手当て	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	2	0.2
		オムツ支給	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0.1
		配食	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0.1
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
	住宅改修工事	申請	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	-	-	2	0.2
		完了	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	-	-	2	0.2
	福祉用具	例外給付申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		購入 他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0.1
	小計		1	3	3	2	0	0	0	0	0	0	-	-	9	0.9
	医療・介護施設連携		11	11	12	9	3	4	7	5	0	12	-	-	74	7.4
	サービス担当者会議		11	7	10	4	4	3	2	3	1	2	-	-	47	4.7

総合相談	時間内	T E L	239	259	353	273	275	252	227	179	115	160	-	-	2,332	233.2
		来所	52	30	41	23	30	28	25	11	11	10	-	-	261	26.1
		訪問	90	65	89	78	60	55	43	38	32	33	-	-	583	58.3
		合計	381	354	483	374	365	335	295	228	158	203	-	-	3,176	317.6
	時間外	T E L	35	22	19	16	10	10	6	7	16	16	-	-	157	15.7
		来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0.0
		訪問	2	1	2	0	2	0	0	0	1	0	-	-	8	0.8
		合計	37	23	21	16	12	10	6	7	17	16	-	-	165	16.5

研修会	2	0	0	3	1	3	4	4	1	1	-	-	19	1.9
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

令和 7 年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告

1 経緯

平成18年4月1日から富山市より業務委託を受け、事業を開始。平成24年度、平成29年度、令和4年度に再委託を受け事業を継続している。

2 職員体制

管理者（主任介護支援専門員）1名 保健師1名 社会福祉士2名

3 事業内容

（1）一般介護予防事業

- ア 介護予防把握事業
- イ 介護予防普及啓発事業
- ウ 地域介護予防推進事業
- エ 介護予防訪問相談指導事業
- オ 介護予防ふれあいサークル事業
- カ 介護予防推進リーダー事業

（2）介護予防・生活支援サービス事業

- ア 介護予防ケアマネジメント事業
- イ 介護予防教室事業

（3）包括的支援事業

- ア 総合相談事業
- イ 権利擁護事業
- ウ 包括的・継続的マネジメント支援事業
- エ 認知症総合支援事業
- オ 生活支援体制整備事業
- カ 在宅医療・介護連携推進事業

（4）任意事業

- ア 認知症高齢者見守り支援事業

（5）指定介護予防支援事業

4 実習生受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（名）
富山いずみ高校	令和7年5月15日～5月16日	1
	令和7年6月5日～6月6日	2
	令和7年10月23日～10月24日	2
富山福祉短期大学	令和7年6月25日～6月26日	2
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	令和7年7月22日～7月25日	4
訪問看護師養成講習会	令和7年10月2日～10月30日	4

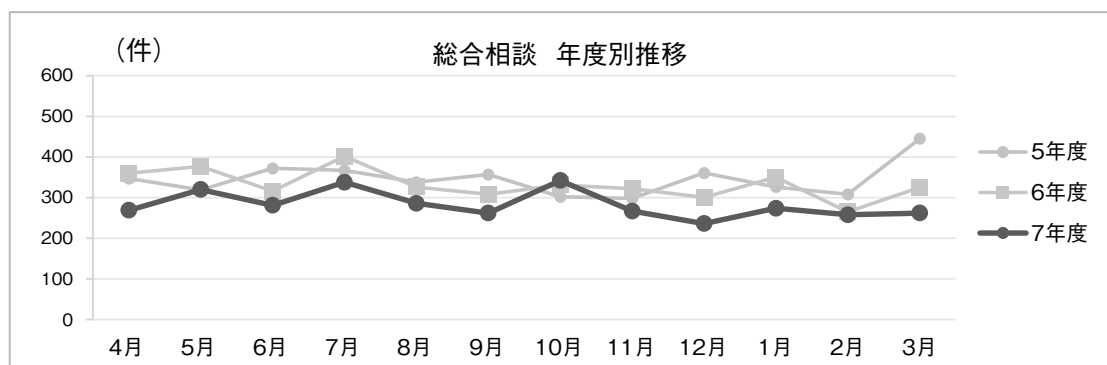
令和7年度 神明・五福地域包括支援センター事業活動実績

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合 相談	TEL		133	192	163	191	162	154	216	150	133	160	138	152	1,944
	来所		20	18	23	17	23	11	18	14	15	20	15	15	209
	訪問		116	110	95	130	101	97	108	103	88	94	105	95	1,242
	合計		269	320	281	338	286	262	342	267	236	274	258	262	3,395
実態把握			10	36	6	14	23	13	5	2	10	12	24	32	187
介護予防教室			0	0	0	0	0	1	5	4	2	0	0	1	13
介護予防 地域説明会等			1	6	8	1	1	2	3	2	5	1	3	1	34
地域関係機関会議			1	2	1	2	1	2	3	1	1	1	1	2	18
地域ケア会議等			2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	6
認知症地域説明会 家族介護教室等			3	6	0	2	2	2	5	7	1	1	0	1	30
予防給付、介護予防 ケアマネジメント費			147	150	144	142	142	154	153	156	150	134	135	138	1,745
認定調査			9	5	8	8	12	8	13	7	17	7	6	7	107
主な研修会			0	1	6	2	2	2	1	0	4	0	0	0	18

神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

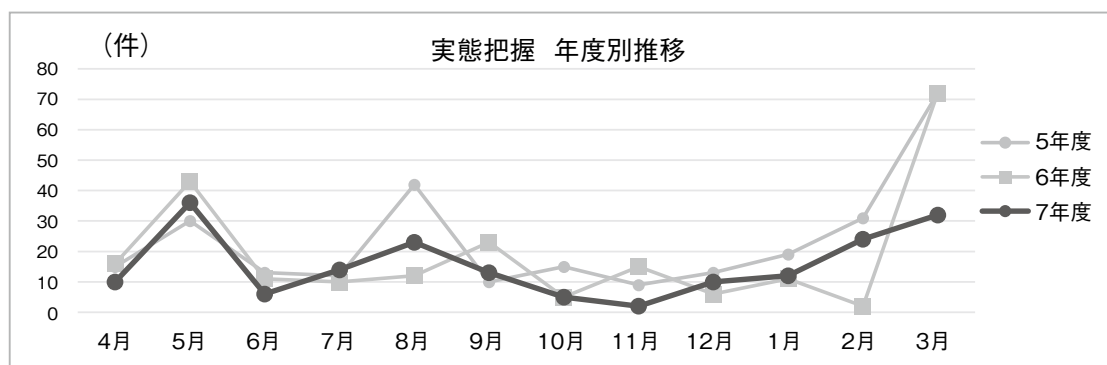
1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度		347	319	372	367	338	357	302	298	361	326	308	445	4,140
6年度		360	377	316	402	326	308	331	322	301	350	265	325	3,983
7年度		269	320	281	338	286	262	342	267	236	274	258	262	3,395



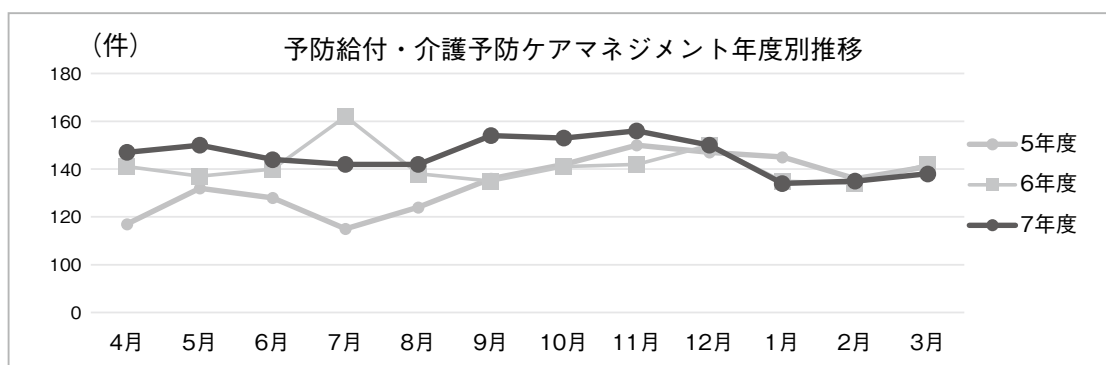
2 実態把握（事業対象者）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度		15	30	13	12	42	10	15	9	13	19	31	72	281
6年度		16	43	11	10	12	23	5	15	6	11	2	72	226
7年度		10	36	6	14	23	13	5	2	10	12	24	32	187



3 予防給付介護予防ケアマネジメント費（件数）

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	117	132	128	115	124	136	142	150	147	145	136	141	1,613
6年度	141	137	140	162	138	135	141	142	150	135	134	142	1,697
7年度	147	150	144	142	142	154	153	156	150	134	135	138	1,745



4 介護予防教室

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	0	1	13
6年度	0	0	0	0	0	0	5	4	3	0	0	1	13
7年度	0	0	0	0	0	1	5	4	2	0	0	1	13

5 介護予防地域説明会等

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	2	5	10	1	0	3	1	1	4	0	3	4	34
6年度	2	4	9	2	0	2	2	2	3	2	2	1	31
7年度	1	6	8	1	1	2	3	2	5	1	3	1	34

6 地域ケア会議、地域関係機関会議等

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	2	2	0	2	2	2	2	6	4	0	4	2	28
6年度	2	3	1	1	1	3	4	2	1	2	5	1	26
7年度	3	2	1	3	1	2	4	2	2	1	1	2	24

7 認知症地域説明会等

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	0	0	1	4	1	0	1	2	1	1	0	0	11
6年度	0	0	2	2	3	0	1	4	0	1	1	1	15
7年度	3	6	0	2	2	2	5	7	1	1	0	1	30

8 認定調査

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	9	6	6	9	11	10	9	4	11	7	6	8	96
6年度	9	10	10	14	4	8	9	7	6	9	5	7	98
7年度	9	5	8	8	12	8	13	7	17	7	6	7	107

令和7年度 高齢者保健事業推進基盤整備事業報告 (富山県後期高齢者医療広域連合委託事業)

1 目的

被保険者の健康増進、健康寿命延伸のため健康診査の受診勧奨を推進するとともに、高齢者の健康課題であるフレイルやポリファーマシー等を予防するための普及啓発活動を行う。

2 実施主体

富山県看護協会（支部活動）

3 実施内容

(1) 啓発普及（14回 延792人, その他500人へYouTube限定配信）

支 部 名	実績	内 容
黒部・魚津支部	1 回 29人	魚津市のフレイル予防セミナーに共催参加した。70～90歳代の地域住民の方が集まり、フレイル予防に意欲的な声が多数聞かれた。
富山東・北支部	1 回 50人	「ロコケン®」に参加し、健康相談コーナーを開設した。各種測定や健康相談を実施し、健康増進・フレイル予防に関心を持ってもらった。
富山西・南支部	2 回 97人	「ロコケン®」「みどり苑フェスタ」に参加。健康相談コーナー開設や血圧測定、骨密度測定、酸素飽和度測定などを実施。健康に関心の高い方が多く、ポリファーマシーやフレイル予防の啓発が行えた。
上市支部	4 回 357人	つるぎフェスティバルinかみいちでのかみいち総合病院との合同ブースにて、バイタル測定、血管年齢測定、介護・健康・認知症相談、フレイル予防を実施、啓発活動を行う。 フレイル予防に関するYouTube動画を、地域住民及び医療従事者500人へ限定公開した。
高岡・射水・氷見支部	6 回 259人	高岡市民病院、射水市民病院での糖尿病教室・心不全教室・腎臓病教室・骨粗鬆症教室にてフレイル予防啓発を併せて実施。高齢者が多く集まる地域イベントにも出向き、ポリファーマシーの予防啓発、フレイル予防の実践を促す。
砺波・小矢部支部	2 回 88人	老人福祉センターやショッピングセンターにブースを設け、フレイル予防について理解を深め、地域住民への予防・啓発を図った。

(2) 支部長会での主な意見

- ・各支部で作成したパンフレット等の共有を行ってはどうか。
- ・学校で出前講座を実施するにあたっての工夫点は、年末に教育委員会を訪問すること。
活動に関する説明を行うことで、教育委員会から校長会に情報提供がされるため、学校によっては「将来に向けた授業」等の一環として行われる。

(3) 情報の共有

支部長会において、各支部で実施している事業や検討内容の共有を行った。

- ・2回開催（9月2日(火)、12月8日(月) 各14名出席）

令和 8 年度 富山県行政への要望事項

令和 7 年 8 月 27 日実施（対 厚生部長）

1 看護の質の向上について

（1）2040 年に向けた看護提供体制等のあり方に関する県有識者会議の新たな設置

現役世代が急減する中で、今後、多様化する看護ニーズに対応していくためには、2040 年を見据えた中長期的視座による施設や分野を超えた協議・協働が必要となる。2026 年度に策定が予定されている新たな地域医療構想や看護職員の需給推計等においては、医療需要の変化に対応した看護職員の確保・育成が課題となる。

県内における看護職員の確保・育成に関する現下の課題・要望として、例えば、①施設や分野を超えて地域で看護職を育てる仕組みの構築、②65 歳以降プラチナナースの就労継続支援、③小規模事業所や障害福祉施設に働く看護職員の新人教育や継続教育の充実などがある。

そこで、2040 年を見据えた看護提供体制のあり方や看護職員の確保・育成に関する諸課題について検討する有識者等による意見交換の機会を、年 2 回程度、県において設けていただきたい。

（2）医療機能の異なる施設への出向や人事交流による看護職員の確保・育成

近年、助産師・看護師確保の課題として、地域偏在をはじめ、ライフステージに応じたキャリアチェンジや多様な働き方を志向する傾向がある。看護職員の確保と育成は表裏一体ですすめる必要があり、他県では、一定期間、医療機能の異なる病院等への出向や人事交流を行うことで、視野や人脈が広がり、離職防止や新たな領域へのチャレンジにより地域における人材確保につながる効果がある。

このため、県において平成 29 年度から実施されている「訪問看護・医療機関相互研修事業」の「病院看護師出向研修事業」を拡大し、病院機能の異なる施設との人事交流や助産師の出向を、当該事業の対象に含めることについて検討いただきたい。

（3）富山県立大学における認定看護師教育課程の開設

看護の質向上のためには、高度な知識を持った専門性の高い看護師の計画的な育成が必要である。中でも認定看護師は、専門分化が進む医療の現場において、熟練した看護技術と知識を有し水準の高い看護実践を行っている。しかし、県内の公的病院では需要に供給が追いついていない状況が続いている。

当該資格を得るには、認定看護師教育課程を開設している大学等の教育機関等において、看護分野ごとに 600 時間以上の認定看護師教育を受ける必要があるが、県内に開設機関はなく、県外での受講を余儀なくされている。

このため、地域および社会に貢献する看護人材の育成を担う県立大学において、現場ニーズの高い心不全看護や緩和ケア、認知症看護の認定看護師教育課程をぜひとも開設いただきたい。

2 看護職の働き方改革の推進について

（1）訪問看護におけるカスタマーハラスメント対策の更なる強化

訪問看護におけるカスタマーハラスメント対策は、看護職の離職防止、勤務環境改善の観点から極めて重要な対策とされている。医療機関等とは異なり「在宅」という環境下では、看護職が一人で対応することが多いことから、様々なハラスメントリスクが高まる。

本年 4 月に、一般社団法人全国訪問看護事業協会及び公益財団法人日本訪問看護財団が合同で実施した「訪問看護におけるカスタマーハラスメント緊急アンケート調査」の結果では、64.2%の事業所が「受けたことがある」と回答している。

今年度、県において防犯機器整備に係る補助事業を創設いただいたところであるが、他の都道府県で実施されている「カスタマーハラスメント相談窓口」の開設や、カスタマーハラスメ

ント対応力向上研修の定期開催、利用者に向けての周知媒体の配布など、訪問看護師等が安心して就労できる環境を整えていただきたい。

(2) 子育て支援（放課後児童クラブや育児休業明けの保育園の確保）の充実

子育て中の看護職員が、安心して就労を継続できる環境づくりに向け支援いただきたい。特に放課後児童クラブについては、地域によって、平日の終了時間に間に合わない場合や、夏休み中の預かり時間の短縮などにより退職を余儀なくされる職員が散見される。また、年度途中で育児休業が明ける職員が、保育園の受け入れ先が見つからず、復職時期を延期する場合もある。

このため、放課後児童クラブについては、①小学校新1年生の確実な利用受入れ、②夏季休業期間中の預かり時間の確保、③利用料金に係る保護者負担の軽減、加えて、年度途中からの育児休業明け保育園確保に努めていただきたい。

3 看護領域の開発・展開について

(1) 産後ケア事業の利便性向上

産後ケア事業は、今年度から「地域子ども・子育て支援事業」として都道府県の役割が新たに追加され、一層の事業拡大や利用者にとって利便性の高い事業となることが期待されている。しかし、現状では、利用のための事前登録や予約申込みが紙書類（面談）で行われていること、また、空き状況の電話確認や予約手続きなどが負担となり、利用控えに繋がっているとの指摘もある。

一方、受託施設や自治体においては、事前登録から予約、利用、事後報告、集計、請求・支払い等の業務について、多様で煩雑な作業工程が生じている。このため、一部の自治体では、産後ケア事業用に開発されたWebアプリ「あずかるこちゃん産後ケア」が活用されており、利用者、受託者、自治体三者の利便性と効率化が実現している。

そこで、市町村と連携し、全県共通で利用できる利便性の高いWebサービスの導入を検討いただきたい。

(2) 訪問看護事業所における新卒・新任及び指導的役割を担う看護職員の育成

県内訪問看護事業所では、新卒者を含む20歳代の看護職員は少ない。事業所の安定と継続を図るうえで、また、今後の訪問看護の需要に対応するため、次世代を担う若手看護職員の採用と育成は欠かせない。

このため、現在、県で実施されている「訪問看護トライアル雇用事業」の対象や期間、また、育成に必要な対象経費等を見直し、新卒者に限定した助成期間の延長や補助率の引き上げ、さらに指導的役割を担う看護師の研修受講に係る経費を補助対象とすることにより、事業所の規模や地域に応じて活用可能な補助事業となるよう更なる充実をお願いしたい。

(3) 看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備推進

2040年に向け、医療と介護の複合ニーズを持つ高齢者が一層増加すると見込まれている。このため、医療処置が必要な在宅療養者に、「通い」「泊り」「訪問」を柔軟に組み合わせたサービスを提供する「看護小規模多機能型居宅介護事業所」の更なる需要拡大は必至とされているが、県内の整備は進んでいない（令和7年7月2日現在、富山市5、高岡市4、射水市2、入善町1、計12事業所）。

全国的には、病院や有床診療所の病床を看護小規模多機能型居宅介護事業所に転換し、医療と介護の複合ニーズを持つ高齢者の受け入れに寄与している。

このため、県において、令和8年度に予定されている新たな地域医療構想の策定経過の中で、医師会や市町村・介護保険者等とも連携し、前述の取組みを推進いただきたい。

(4) 県民に向けた「人生会議」(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)の啓発

国では、「人生会議」の普及・啓発のため、各種イベントや資料・動画を作成しているが、県内医療機関等の現場では周知が進んでいない状況にある。

医療機関の意見として、「あなたの気持ちの確認用紙」を入院患者に配布し意思確認をしているが回収率は約3割であった。特に高齢者の救急搬送において、事前に話されている場合は家族が本人の意思を伝えることができているが、本人の意思が不明な場合は、現場で対応に苦慮する場面もある。一方、病院が行う公開講座等では、地域住民から「そんなことは知らなくてもよい。」といった反応が一定数ある。

このため、県として、周知媒体の配布等による県民に向けた「人生会議」(ACP)の啓発をお願いしたい。

令和7年8月27日

公益社団法人 富山県看護協会
会長 岡本 里美

令和 7 年度 行政機関および関連団体等の委員等就任状況

依頼元	団体会議名	役員・委員等
富山県	富山県医療審議会・地域医療構想部会 医療法人部会	委員
	富山県医療対策協議会	委員
	富山県感染症対策連携協議会	構成員
	富山県循環器病対策推進協議会	委員
	富山県防災会議・富山県国民保護協議会	委員
	富山県災害ケースマネジメント協議会	構成団体
	富山県がん対策推進協議会	委員
	富山県がん対策推進県民会議	委員
	富山県母乳育児推進連絡協議会 理事会	理事
	富山県周産期保健医療協議会	委員
	富山県医療的ケア児の看護に関する協議会	委員
	富山県社会福祉審議会・高齢者福祉専門分科会	委員
	富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議・富山県認知症施策推進会議	委員
	富山県障害者施策推進協議会 (富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会)	委員
	富山県医療費適正化計画検討委員会	委員
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員
	富山県国民健康保険運営協議会	委員
	富山県アレルギー疾患医療連絡協議会	委員
	富山県難病対策地域協議会	委員
	特定行為指定研修機関連絡会	関係機関
	富山マラソン2025 実行委員会	委員
	富山マラソン2025 メディカル協議会	委員
	富山県薬事審議会	委員
	富山県精神医療審査会	委員
	富山県水防協議会	委員
	富山県献血推進協議会	委員
	富山県骨髄バンク推進連絡協議会	委員
	特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員
	富山県犯罪被害者等支援協議会	団体代表者
富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会	委員
	富山市介護予防推進会議	委員
	富山市自殺対策推進連絡会議	委員
	富山市社会福祉審議会・老人福祉専門分科会	委員
	富山市保健所運営協議会	委員
	富山市民病院地域医療支援病院委員会	委員

依頼元	団体会議名	役員・委員等
富山市	富山市病院事業経営改善委員会	委員
	富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	代表者
	富山市防災会議	委員
	富山市生活支援体制整備推進会議	委員
	富山市地域密着型サービス等運営委員会	委員
	富山市障害者自立支援協議会	委員
	富山市障害者差別解消支援協議会	委員
	富山市国民保護協議会	委員
関連団体等	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 評議員会	評議員
	富山県福祉カレッジ運営委員会・富山県福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター 評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター 理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・NPO大会企画運営委員会	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会支部 理事会	理事
	富山赤十字病院地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院地域医療支援病院委員会	委員
	国立大学法人富山大学附属病院運営協議会	委員
	女性保護富山県民協議会 役員会	役員
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	日本糖尿病協会富山県支部 理事会	役員
	富山県公衆衛生学会 理事会	理事
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	委員
	富山県ポリファーマシー対策検討会	委員
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 理事会	理事
	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
	富山大学大学院 総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム特定行為研修管理委員会	委員

令和 7 年度 他団体等への推薦

依頼元	委員名	推薦数 (人)
富山県	富山地域医療推進対策協議会 委員	1
	富山地域医療推進対策協議会 災害医療部会 委員	1
	富山県難聴児支援協議会 委員	1
	富山県新生児聴覚検査事業に係る協議会 委員	1
	新たな総合計画の策定に係る意見交換会	1
	富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの指定管理候補者選定委員会 委員	1
	砺波地域医療推進対策協議会 委員	1
高岡市	高岡市子ども・子育て会議 委員	1
	高岡市要保護児童対策地域協議会委員	1
関連団体等	富山県介護支援専門員協会 外部理事	1

令和7年度 後援等の報告

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
事務・販売・サービス[含む医療・福祉] 部門QCサークル大会	QCサークル北陸支部富山地区	高周波文化ホール	2025/7/3(木)
福祉のお仕事フェア in TOYAMA	富山県社会福祉協議会 富山県民間保育連盟	富山国際会議場	児童・保育 2025/7/26(土)
			福祉・介護 2025/7/27(日)
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2025/8/1(金) 等
新川地区 在宅医療支援センター 市民公開講座	新川地域在宅医療支援センター	新川文化ホール 小ホール	2025/9/27(土)
第3回医療安全心理・行動学会 学術総会	医療安全心理・行動学会	東京大学医学部本郷キャンパス オンデマンドとのハイブリッド 開催	2025/9/27(土) 9/28(日)
摂食嚥下ケア研修会 12th クール	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	第1回（呉東開催） 富山西総合病院	2025/9/28(日)
		第2回（呉西開催） 南砺市民病院	2025/10/26(日)
第53回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	富山大学附属病院 臨床講義室 I	2025/10/4(土)
第23回北陸言語聴覚学術集会	富山県言語聴覚士会 石川県言語聴覚士会 福井県言語聴覚士会	富山西総合病院	2025/10/5(日)
第17回公開健康講座	富山赤十字病院	オーバードホール 中ホール	2025/10/6(月)
第25回日本クリニカルパス学会 学術集会	富山県立中央病院	富山県民会館 富山国際会議場	2025/10/17(金) 10/18(土)
第55回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会	富山大学附属病院 臨床講義室 I	2025/10/18(土)
講演会 「後悔のない健康生活を～知って得する糖尿病の重症化予防～」	富山県 NPO法人富山県腎友会	高岡市ふれあい 福祉センター 1 階 多目的ホール	2025/10/26(日)
第2回富山県緩和ケア認定看護師 高岡支部会 研修会	富山県緩和ケア認定看護師会 高岡支部会	アイン薬局 A-1 会議室	2025/11/29(土)
第29回富山県理学療法学術大会	富山県理学療法士会	富山大学 医業イノベーションセンター	2025/11/30(日)
第54回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	富山大学附属病院 臨床講義室 I	2025/12/6(土)
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2026/1/8(木) ～1/11(日) 等
第37回富山県母性衛生学会学術 集会（公開講座）	富山県母性衛生学会	富山市民プラザ4階 アンサンブルホール	2026/2/7(土)

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第11回摂食嚥下ケア特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	アイザック小杉文化ホール ラポール	2026/ 2 /21(土)
第23回富山県作業療法学会	富山県作業療法士会	富山県民会館	2026/ 3 / 1 (日)
第56回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会	富山大学附属病院 医薬イノベーションセンター	2026/ 3 /14(土)
講演会 「あなたの腎臓は大丈夫？慢性腎臓病（CKD）を予防しよう」	富山県 NPO法人富山県腎友会	富山県民会館 3 階 304号室	2026/ 3 /15(日)
第12回日本医療安全学会 学術総会	日本医療安全学会	大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪	2026/ 4 /18(土) 4 /19(日)

統括保健師の配置と育成

統括保健師が役割を発揮するために

保健師職能委員会

1 ね ら い 統括保健師が感じる困難さの共有や、統括保健師の位置づけや支える体制について意見交換し、共に育ちあう職場づくりが実践できるようにする

2 日 時 令和7年10月6日(月) 14:00～16:30

3 場 所 富山県看護研修センター

4 内 容 (1) 結果報告「統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果報告」
(2) 実践報告「統括保健師の配置と育成」

報告者

富山市保健所保健予防課課長 堀井 由紀 氏

小矢部市健康福祉課課長補佐 荒井 都子 氏

(3) 意見交換「統括保健師またはその役割を担う困難、統括保健師の配置のための働きかけ、次期統括保健師の育成に向けて所属でできること」

助 言

富山県厚生部医務課

主幹 平 和美 氏

PHN-PERオフィス 富山県立大学名誉教授 佐伯 和子 氏

5 参 加 者 29名

(1) 職種 保健師：29名

(2) 経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
0	1	2	2	3	8	13

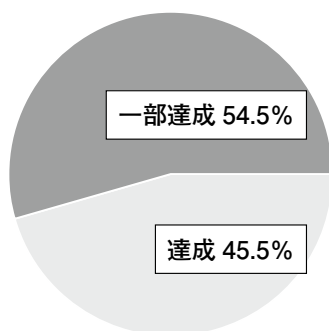
6 概 要 調査結果報告については、昨年度実施した統括保健師に関する現状と課題についての調査結果を保健師職能委員会が報告した。

実践報告では、2名の報告者から、それぞれが所属する組織内での統括保健師の役割や実際の取り組みと今後の課題について発表いただいた。

意見交換では、統括保健師の役割・立場のあいまいさや重責、活動内容の多様さに困難さを感じているという発言があったが、組織として統括保健師を支えられる環境づくりをする等、各々の場所で保健師活動を円滑に行うための努力や工夫を共有できた。また、今後の統括保健師のあり方や次期統括保健師育成に関して、人材確保や人材育成の必要性を共通理解し、他職種に対して保健師活動への理解を促す働きかけや保健師同士のつながり作り、課題共有等の組織的な取組と、知識・経験の醸成、保健師活動・統括保健師としての役割の理解等の個人的な取組について意見があった。

7 研修会評価 アンケート回収 22名より（回収率75.9%）

研修目的の達成度



自由記載（理由）

実践活動が参考になった。一方、グループワークのテーマが難しかった。

統括保健師の役割と組織づくりを学べた。

他自治体の取り組みを知り、自身の業務に生かせると感じた。

明日からの心構えを再確認できた。他の所属の現状がよくわかった。

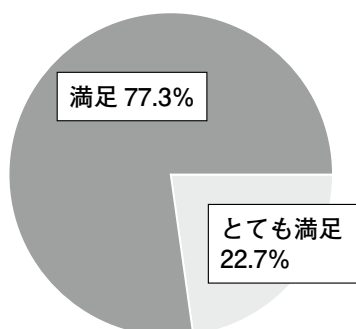
統括保健師の役割の理解につながった。

統括として、所属内での役割等を再確認できた。

統括保健師の果たす役割や課題について知ることができた。

同じような立場の方と情報交換ができてよかったです。

研修の満足度



自由記載（理由）

意見交換では、色々と話し合いができ、情報共有もでき学びが多かった。

参考にしたい取組を学べたこと、情報交換できたこと。

実践報告が、大変興味深く大変参考になった。

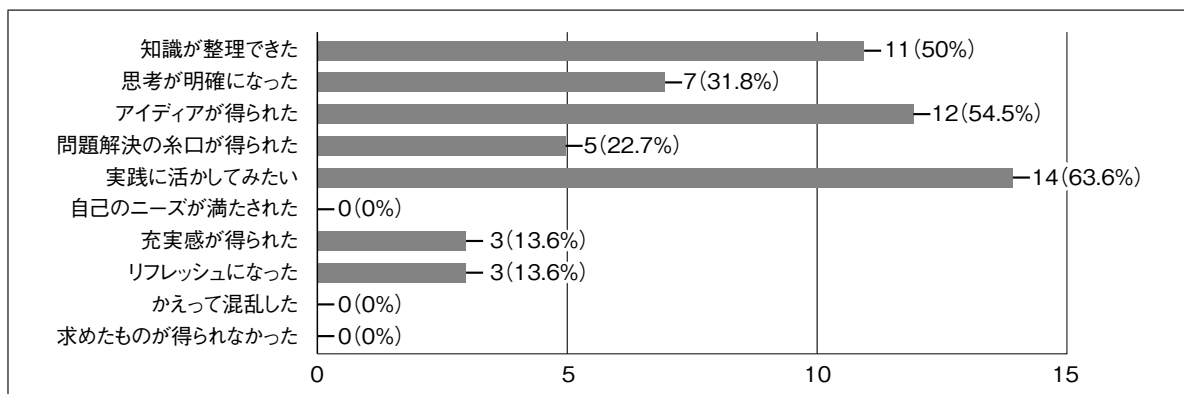
上記に加えスタッフが統括に求めていることを把握できた。

情報 情報交換で皆同じ思いをしていることがわかり、頑張ろうと思えたから。

統括保健師が他自治体でどのように活動されているか、また今後の課題など保健師活動を考える行く上で参考になる話が聞けたため。

佐伯先生の講義があればよかったです。

研修全体を通しての感想



もっと聞きたかった点（自由記載）

佐伯教授の助言をもう少し聞きたかった。

このような機会が定期的にあればいいと思いました。

- 8 ま と め 統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査や実際の活動報告の発表により、統括保健師の果たしている役割や活動内容、必要性等について学ぶことができた。また、グループワークを通して、参加者それぞれが統括保健師に必要な能力や育成、人材の確保、統括保健師へのサポートなどについて考えることができた。研修会全体を通して、統括保健師の役割を担う保健師同士が交流し、情報共有できただけでなく、統括保健師役割達成の動機付けができ、今後の保健師活動につながるよい機会となった。

保健師・助産師交流会報告

気がかりな妊産婦への支援

保健師職能委員会

- 1 ね ら い 特定妊婦など気がかりな妊産婦への支援をとおり、各機関の役割を共有し、看護職が連携した支援について話し合い、実践できるようにする。
- 2 日 時 令和7年8月18日(月) 14:00～16:30
- 3 場 所 富山県看護研修センター
- 4 内 容 (1) 実践報告「気がかりな妊産婦への支援」
～特定妊婦、要保護児への支援 看護職の連携～
- | | | |
|-----------------------|---------------|---------|
| ① 入善町元気わくわく健康課・保健センター | 保健師 | 田中 優香 氏 |
| ② 南砺市健康課 | 副主幹・母子保健係長 | 橋爪 奈千 氏 |
| 南砺市こども課こども家庭センター | 副主幹・こども家庭支援係長 | 但田 誠子 氏 |
| ③ 高岡児童相談所 | 主任 | 土浦 優 氏 |
| ④ 富山県立中央病院 | 上席主任 | 廣川 絢 氏 |
- (2) 意見交換・発表
- (3) まとめ・助言
- ・富山県高岡厚生センター氷見支所 地域健康課長 板鼻 広美 氏
 - ・保健師職能委員、助産師職能委員

- 5 参 加 者 46名
- (1) 職種 保健師：23名、助産師：22名、看護師：1名
- (2) 経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明
14	3	6	7	5	3	3	5

6 概 要

(1) 実践報告

- ・市町村 こども家庭センターにおける気がかり妊産婦の把握と支援の流れや医療機関との連携、母子保健部門と児童福祉部門の庁内連携の取組みとその強みについて
- ・児童相談所 主な業務と保健師の役割、0歳児の虐待死を予防するための周産期医療機関との連携の実践について
- ・県立中央病院 院内の独自基準からトリアージを行い、妊娠から産後まで継続的に丁寧な支援を行うとともに、早期から地域との連携を行っている。

(2) 意見交換

① 「気がかりな妊産婦への支援で、工夫していること」

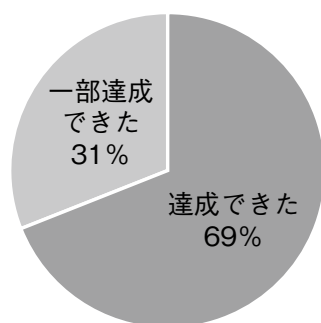
- ・医療機関 担当制。家族への指導のほか、再診や母乳外来等、次に会う約束をしている。地域との連携のため、妊産婦支援連絡票の送付、退院前カンファレンスを開催している。
- ・市町村 妊娠届出時に気がかり妊産婦を把握。訪問や産後ケア等のサービスを妊娠中から紹介する。外国籍の母が増加。翻訳アプリの活用や文化を意識した支援を行う。

② 「病院と地域との連携の実際や地域で必要な情報について」

- ・医療機関 要保護・ネグレクト等、地域が把握している養育情報を教えてほしい。
妊娠届出時や訪問等で気になることを教えてほしい。
- ・市町村 妊娠期の本人の言動を妊産婦支援連絡票に記載してほしい。
緊急性が高い場合や、妊産婦支援連絡票に記載のない特記事項等は電話連絡がほしい。

7 研修会に対する評価（アンケート回収（回収率63%）29名より）

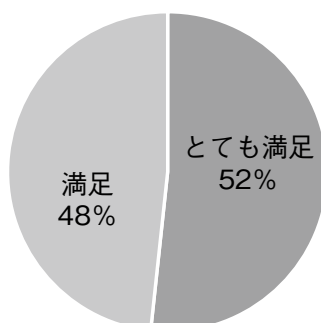
研修目的の達成度



自由記載（理由）

- ・他の施設の取り組みや機能、支援がわかった。
- ・有意義な意見交換、保健師助産師各々の立場で行っている事や考えが聞け、よかった。
- ・地域での気がかり妊婦への取り組みを知ることができた。
- ・医療機関側が市町村から欲しい情報が何かを聞き取ることができよかった。
- ・助産師と意見交換ができたことが大収穫だった。
- ・いろんな機関の立場から母子保健についての話を聞くことができた。 等

講義の満足度



自由記載（理由）

- ・多職種連携のヒントになった。
- ・顔つなぎの良い機会になった。
- ・実際の現場の意見や思いを交換できた。
- ・保健師や地域で必要としている病院からの情報提供の内容を知ることができた。
- ・市町村の取り組みがわかった。
- ・病院に求める患者の情報が何か分かった。 等

受講した感想（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	22	② 思考が明確になった	9
③ アイデアが得られた	15	④ 問題解決の糸口が得られた	3
⑤ 実践に活かしてみたい	18	⑥ 自己のニーズが満たされた	3
⑦ 充実感が得られた	5	⑧ リフレッシュになった	3
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

8 ま と め

本研修を通して、各機関の機能や各看護職の役割について理解を深めることができた。

また、医療機関・地域それぞれが必要とする情報提供の内容を知ることができた等、実践に繋がる意見交換もできた。

すべての妊産婦が住み慣れた地域で安心して妊娠・出産・子育てをしていくために、今後も各々の看護職の専門性を生かした支援を実践し、連携していくことの大切さを再認識する機会となり、有意義な研修会となった。

「いのちの教室」実践報告

助産師職能委員会

中学校2校、小学校6校から「いのちの教室」の出前講座の依頼があった。

依頼内容には、生まれてきたことへの肯定感を育み、いのちの大切さや他者を思いやる心を伝えてほしいという要望が含まれている。

現在は、依頼元に最も近い病院に勤務する助産師へ、地域活動の一環として講座を依頼している。

滑川市では、教育委員会から毎年度複数件の依頼があり、助産師の勤務調整が難しく1名での対応となった。高岡市の報告では、助産師2名で実施しても、十分に目が行き届かない場面の報告が上がっている。1つの施設から複数の助産師が抜けることによる業務上の負担も課題となっている。そこで、このデメリットを軽減し、病院の地域活動を安心して続けられるように、助産師職能委員会が支援できる体制を整えていきたい。

令和7年度「いのちの教室」実施状況（令和7年6月～令和8年2月）

実施月日	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数 (協力病院)
12月12日	高岡市立 福岡中学校	88名	養護教諭	2名 (富山県済生会高岡病院)
12月15日	滑川市立 田中小学校	2年生37名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
12月16日	滑川市立 南部小学校	4年生23名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
12月16日	滑川市立 東部小学校	4年生41名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
12月19日	高岡市立 五位中学校	2年生78名	養護教諭	2名 (高岡市民病院)
1月30日	滑川市立 北加積小学校	4年生37名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
2月12日	滑川市立 西部小学校	4年生87名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
2月13日	滑川市立 寺家小学校	2年生54名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)

多様で柔軟な働き方、看護補助者との 業務分担・協働に関する調査結果報告

看護師職能Ⅰ委員会

1 調査目的

限られた人材で質の高い看護を提供するため、県内各施設における多様で柔軟な働き方や、看護補助者との業務分担・協働に関する取り組みについて情報収集を行い、取り組みの共有や課題について検討する。

2 調査方法

- (1) 対象者：富山県看護協会会員施設のうち調査回答可能な70病院の看護部長や看護部代表者
- (2) 調査期間：令和7年10月27日～令和7年11月21日
- (3) 調査方法：WEB（Googleフォーム）によるアンケート調査

3 調査結果

- (1) アンケート回答数：44件の回答（回答率62.8%）

(2) 属性

- ア 病床数：200床以下 28件（63.6%）、200～299床 8件（18.2%）、300床以上 8件（18.2%）
職員数：200人以下 32件（72.7%）、201～450人 9件（20.5%）、500人以上 3件（6.8%）
- イ 正規職員数の割合：90%以上 17件（38.6%）70～89% 22件（50%）50～69% 4件（9.1%）
- ウ 非正規職員のフルタイム勤務者の割合：
29%以下 29件（65.9%）30～49% 8件（18.2%）50%以上 7件（15.9%）

(3) 多様で柔軟な働き方に関して

ア フルタイム正規職員について

- (ア) 育児・介護以外で、働く勤務帯や曜日の選択が「できる」は29件（65.9%）であった。その内容（複数回答）としては、「日勤専従」19件（65.5%）「夜勤専従」9件（31%）「平日のみ勤務」13件（44.8%）であった。また、規則・規定に明記してあるのは11件（37.9%）であった。一方「できない」は、15件（34.1%）あり、その理由として「規定にないから」が13件（86.7%）であった。働く勤務帯や曜日の選択に関する工夫や配慮の自由記載では、「本人の希望や家庭の事情を配慮する」が21件と最も多く、「定期的な面談」が7件「勤務形態を調整する」が5件「配置場所を検討する」が4件であった。
- (イ) 勤務場所や業務内容の選択に関しては、「できる」12件（27.3%）、「できない」32件（72.7%）であった。勤務場所や業務内容の選択に関する工夫や配慮の自由記載では、「本人の希望を配慮する」が最も多く16件、「定期的な面談や意向調査」が14件、「健康上の理由を配慮する」が6件、「夜勤への配慮」が5件であった。
- (ウ) 交代制勤務については、二交代のみが25件（56.8%）、二交代と三交代のミックスが15件（34.1%）三交代のみが4件（9.1%）であった。二交代を導入している40件の夜間拘束時間は、13時間以上が26件（65%）、13時間以内が7件（17.5%）、13時間以上と13時間以内の両方ありが4件（10%）であった。同一病棟内で二交代と三交代のミックスは7件であった。
- (エ) 夜勤回数や曜日の選択に関して「できる」32件（72.7%）、「できない」12件（27.3%）であった。

イ 短時間正規職員と部分休業勤務職員について

- (ア) 正規職員の勤務形態に「短時間勤務あり」は35件（79.5%）、「なし」は9件（20.5%）であった。また、「部分休業勤務あり」は19件（43.2%）、「なし」は25件（56.8%）であった。短時間勤務と部分休業の両方の活用があるのは、16件（36.3%）短時間勤務のみは19件（43.2%）部分休業のみは3件（6%）どちらも活用ないは6件（13.6%）であった。
- (イ) 短時間勤務職員について、対象は「育児」が100%であった。「介護」は12件（34.3%）であったが、R6年度の利用者は0～2人であった。1日の勤務時間の選択に関しては、「選択肢の規定がある」は19件（54.3%）、「個人のニーズに合わせて自由に選択できる」が16件（45.7%）であった。1週間の勤務日数の選択に関しては、22件（64.7%）が「できる」、その内「自由に選択できる」が12件（57.1%）、「選択できる日数が決まっている」が9件

(42.9%)であった。1週間の合計勤務時間により1日の勤務時間が自由に選択できるかに対しては、「できる」が12件(38.7%)であった。

(ウ) 部分休業勤務職員について、対象は「育児」が18件(94.7%)「介護」が7件(36.8%)であった。その内、R6年度の「介護」の利用者は「0人」が5件「1～2人」が2件であった。部分休業の範囲は、「2時間まで30分単位」が18件(94.7%)であった。

(エ) 短時間正規職員の夜勤については、「夜勤はしない」が16件(45.7%)、「夜勤制限なし」が13件(37.2%)「夜勤をしてるが回数や曜日の制限がある」が4件(11.4%)であった。部分休業職員の夜勤については、「夜勤はしない」が7件(36.9%)「夜勤制限なし」が10件(52.6%)「夜勤制限はあるが夜勤はしている」が2件(10.5%)であった。

ウ 育児休業・介護休業の取得について

育児休業の取得は100%、介護休業の取得は97.7%、希望どおり取得できると回答した。

エ 夜勤者確保の取り組みについて(複数回答)

「二交代勤務」が33件(75%)で最も多く、次いで「夜勤回数が選べる」が28件(63.6%)、「業務改善」が25件(56.8%)、「夜勤する曜日が選べる」が24件(54.5%)であった。

オ フレックスタイム制について(複数回答)

「早出や遅出など決められた勤務時間がある」が28件(63.6%)で最も多く、「フレックスタイムの勤務はない」が16件(36.4%)、「希望に応じた時差出勤が可能」が4件(9.1%)であった。

(4) 看護補助者との業務分担・協働に関して

ア 看護補助者の雇用形態 労働条件

看護補助者を雇用している43件のうち、「正規職員・非正規職員のミックス」が28件(65.1%)と最も多く、「非正規職員のみ」は11件(25.6%)、「正規職員」のみは、4件(9.3%)であった。

勤務日については、「平日」「土曜日」「日曜日」「祝日」のすべての勤務ありが38件(88.3%)、「平日」「土曜」が3件(7%)、「平日」のみが2件(4.7%)であった。勤務時間については「日勤のみ」が23件(52.3%)で最も多く、次いで「日勤・早出・遅出勤務」が17件(38.6%)、「日勤・早出・遅出・夜間勤務」が15件(34.1%)であり、多様な勤務時間で働いている現状であった。

イ 看護補助者への指示方法について

看護補助者への「指示書あり」は21件(48.8%)であった。その内訳として、「指示書を使用し明確な運用規定がある」が17件(38.6%)、「指示書はあるが運用の詳細はない」は4件(9.3%)であった。一方、「指示書なし」は22件(51.2%)であった。その内訳として「指示書はなく慣用的なルールに任せている」15件(34.9%)、「個々の看護師の指示に任せている」が7件(16.3%)であった。

ウ 看護補助者への業務の委譲について

委譲業務内容の現状は、「シーツ交換やベッドメイキング」「病室の環境整備」「物品の補充」等患者に直接関わらない周辺業務が90%以上と多かった。今後さらに拡大を望む業務に関しては、「夜間の患者の見守り」「入院案内(オリエンテーション)」「日中の患者の見守り」の順に多かった。

エ 看護補助者との業務分担・協働の推進について

「以前より推進されている」は31件(70.5%)であった。その理由は、研修の充実や補助者ラダーを活用した教育の取り組み、委員会やチームカンファレンスの参加等であった。一方「推進されていない」は13件(29.5%)でありその理由は、「もともと協働している」「看護補助者の人員不足」「高齢者が多くフルタイム勤務者が少ない」「看護補助者の業務範囲の理解不足」であった。

オ 看護補助者のキャリアラダー 看護補助者に関する加算の取得状況

キャリアラダーが「ある」は21件(48.8%)、「なし」は、22件(51.2%)であった。キャリアラダーの使用は、「日本看護協会の指標を参考に作成・修正している」が15件(71.4%)と最も多く、「日本看護協会の指標を使用している」が4件(19.1%)、「自施設独自の指標を使用し評価している」が2件(9.5%)であった。看護補助者に関する加算の取得状況は「看護補助者体制充実加算」が25件(62.5%)と最も多かった。

4 考察

(1) 多様で柔軟な働き方に関して

フルタイム正規職員の多様で柔軟な働き方に関しては、6割以上が働く勤務帯や曜日の選択(日

勤・夜勤専従、平日のみ等）ができ、本人の希望や事情を配慮していた。勤務場所や勤務内容の選択に関しては約7割が自由に選択できないが、夜勤可能の有無や面談による希望や事情・キャリア等、個人のライフスタイルや要望に応じた働き方を模索している現状であった。

交代制勤務に関しては、9割が二交代（ミックスも含め）を導入しているが、拘束13時間以上の勤務形態が6割以上であり、「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」で指摘されている夜間の長時間労働によるリスクに配慮が必要と考えられる。また、夜勤回数や曜日の選択に関しては、7割が「選択できる」が、3割は「選択できない」としており、夜勤に関してはすべての職場で柔軟な働き方が実現できているわけではない現状もうかがえた。8割の施設に短時間勤務、4割の施設に部分休業勤務の勤務形態があるが、どちらの活用もない施設も1割程度みられた。対象はほとんどが育児を理由とするものであった。介護のための制度が一部で利用されているものの、多くの職場ではまだ利用者がいない現状であった。勤務時間の選択に関しては、短時間正規職員の場合は、約半数が個人にあわせて勤務時間を選択できる現状にある。また、1日の勤務時間の選択肢のみではなく1週間の勤務日数による選択や、1週間の合計時間によって1日の勤務時間が選択できる等工夫されていた。部分休業の範囲は、9割以上が「2時間まで30分単位」と規定されていた。短時間勤務・部分休業職員の夜勤に関しては、短時間勤務職員は夜勤制限を含めて5割、部分休業職員は6割が夜勤をしている現状にあった。それぞれの施設で夜勤者の確保も含め、多様で柔軟な勤務形態を導入していることがわかった。

夜勤者確保の取り組みとしては、二交代勤務を導入している施設が9割と多く、県内の最も多い夜勤形態である事からも導入が進んでいる現状にある。また、回数や曜日の選択など働き方の検討や業務改善、回数に応じた手当等により、夜勤者確保に取り組んでいることがわかった。

多様で柔軟な働き方に関する課題については、公平性の確保や人員の確保・夜勤勤務者の確保が必要という意見が多かった。また、多様な働き方に関する勤務管理やお互い様風土の醸成、処遇改善（インセンティブ）短時間や部分休業勤務者のキャリア形成への対策等が挙げられた。

日本看護協会発行の「看護職の「多様で柔軟な働き方」導入応援ブック」には、「看護職の確保のためには、これまでの画一的な働き方の概念に促われず、看護職一人ひとりが、組織との協議のもとで自らに適した働き方を選び、働き続けられる環境を整えることが重要」とある。県内の多様で柔軟な働き方を導入している施設であっても、その対象や条件を限局している現状があり、他施設での取り組みを参考に、勤務者の意見を聞きながら組織として推進に取り組んでいく必要がある。

(2) 看護補助者との業務分担・協働に関して

看護補助者への指示方法に関しては、「指示書を使用し明確な運用規定がある」は、半数に満たない現状であった。「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者との業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」を活用し、看護師が一つひとつの業務について看護補助者が実施しても良い業務であるかを的確に判断し、適切に指示を出す事が課題である。看護補助者との業務分担については、環境整備などの患者周辺業務が90%以上と多く、今後さらに拡大を望む業務では、現状ではあまり行えていない夜間の患者見守りや、入院案内、オリエンテーションが40%以上と多かった。また、看護補助者との協働により看護師はベットサイドケアや多職種カンファレンスなど患者と接する時間や多職種連携に時間を多くとることを期待している事がわかった。看護補助者との業務分担・協働は、3割の施設が「推進できていない」とあり、看護補助者のキャリアラダーを活用した教育や、マニュアルの整備、カンファレンスの参加や委員会等の取り組みを推進していく事が課題である。

5 まとめ

多様で柔軟な働き方の推進は、看護職員の確保・定着における重要な課題であり、今後も勤務環境の改善に向けた継続的な取り組みが重要である。今回県内44施設の働き方について情報を得ることができた。働き方改革が進む中、それぞれの施設で育児等による様々な勤務体制の工夫がされているが、夜勤制限等に対する夜勤体制の確保、夜勤交代制勤務の負担軽減が課題である。また、働き方に応じた処遇・待遇の設定や看護提供体制の見直し、教育体制の整備、キャリア支援等看護管理者の役割発揮が求められる。

看護補助者との業務分担・協働については、今後も「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者との業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」を活用し推進していく必要がある。看護補助者との業務分担・協働に関する教育を継続しながら、安全で質の高い看護を効果的・効率的に提供する事を目指して取り組んでいく事が重要である。

資質向上研修（小規模事業所・福祉施設等対象）報告

看護師職能Ⅱ委員会

- 1 研修名 患者・利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策について学ぶ
- 2 ねらい 患者・利用者・家族からの暴力・ハラスメントに対する理解を深め、看護職の安全確保と心理的ケアの向上を目的とする
- 3 講師 関西医科大学 看護学部 教授 三木 明子 先生
- 4 日時 令和7年7月26日(土) 13:30～16:30
- 5 場所 富山県看護研修センター
- 6 参加者 50名（会員25名、非会員23名、手続き中2名）

7 研修内容

2018年日本看護協会は「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイスを目指して～」を作成した。また、2019年国際労働機関（ILO）総会において、「職場における暴力およびハラスメントの根絶」を目指す宣言及び条約が採択された。日本国内でもパワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止措置が法制度化されている。さらに2026年には、カスタマーハラスメントから従業員を守る対策を企業に義務づける改正労働施策総合推進法施行予定である。

本研修では、

- ・暴力・ハラスメントの定義と種類
- ・発生要因と背景の理解
- ・具体的な対策と対応方法 について講演を通して学んだ。

包括的な暴力防止対策として、

- ・組織の安全文化・風土づくり
- ・報告・連絡・相談体制の強化
- ・管理者による明確な暴力防止方針の提示
- ・対応マニュアル・ガイドラインの整備・改訂
- ・職員への継続的な研修・訓練 の必要性が示された。

また、暴力場面を想定したKYT（危険予知トレーニング）を用いたグループワークを実施し、実践的な対応方法について意見交換を行った。

患者・利用者・家族を「加害者」にさせない視点を持つと共に、看護職員も被害者にならないための組織的対応の重要性を再認識する機会となった。

8 研修会に対する評価（アンケート回答率52%）

受講目的は達成できましたか？

- ・達成できた 57.7%
- ・一部達成できた 42.3%

自由記載より

- ・ハラスメントの内容や対応方法の周知、ロールプレイの必要性が理解できた。
- ・これまでクレームに対し、謝罪と傾聴を中心に対応していたが、適切な対処方法の視点を得ることができた。
- ・自施設のマニュアル見直しの必要性を感じた。

9 まとめ

近年、カスタマーハラスメントをはじめとする暴力・ハラスメント事案は増加傾向にあり、看護職の心身の安全確保は喫緊の課題である。本研修を通して、暴力・ハラスメントは個人の問題ではなく、組織として取り組むべき重要課題であることを再確認した。今後は、各施設・事業所においてマニュアル整備や職員研修の充実を図り、安心・安全な職場環境づくりを推進していくことが求められる。看護師職能Ⅱ委員会としても、引き続き現場の実情に即した支援と研修企画に取り組んでいきたい。

看護職の勤務間インターバルに関する調査結果報告

社会経済福祉委員会

1 調査目的

勤務間インターバルの実態や課題を明らかにし、看護職の職場環境改善・定着支援に役立てる。

2 調査方法

- (1) 対象者：富山県内公的病院24施設の病棟師長165名
- (2) 調査期間：令和7年10月27日～11月21日
- (3) 調査方法：自記式質問紙調査（Googleフォーム）によるWebアンケート

3 調査結果

- (1) 対象者165名に対し、アンケート回答数は122、回収率は73.9%であった。アンケートは全17問、問1～4は属性、問5～14は選択式（一部理由のみ自由記載）、問15～17は記述式とした。記述の回答については設問ごとにカテゴリーを抽出した。
- (2) 属性：高度急性期病棟19（15.6%）、急性期病棟74（60.6%）、地域包括ケア病棟8（6.6%）回復期リハビリテーション病棟6（4.9%）、慢性期病棟5（4.1%）、その他10（8.2%）であった。
- (3) (2)を高度急性期病棟・急性期病棟（以下「急性期」）93（76.2%）と高度急性期病棟以外・急性期病棟以外（以下「急性期以外」）29（23.8%）で分類した。
- (4) 勤務間インターバル取り組み状況
勤務間インターバル制度については「知っている」が89.3%、「知らない」が10.7%であった。部署での勤務間インターバルの導入については、「導入している」が49.2%、「検討中」8.2%、「導入していない」28.7%、「分からない」が13.9%であった。「導入している」部署は、急性期80.0%、急性期以外20.0%であった。
- (5) 勤務間インターバル時間
勤務間インターバル確保の時間は、多い順に「11時間」68.3%、「12時間超」18.4%、「8時間」8.3%、「12時間」3.3%、「10時間」1.7%であった。急性期では、多い順に「11時間」70.8%、「12時間超」12.5%、「8時間」10.4%、「12時間」4.2%、「10時間」2.1%、であった。急性期以外では、「11時間」58.3%、「12時間超」41.7%であった。
- (6) 病棟の勤務形態
勤務形態は「2交代制」76.7%、「3交代制」16.7%、「2交代と3交代のミックス制」6.6%であった。急性期では「2交代制」77.1%、「3交代制」18.7%、「2交代と3交代のミックス制」4.2%であった。急性期以外では「2交代制」75.0%、「3交代制」8.3%、「2交代と3交代のミックス制」16.7%であった。
- (7) 病棟の勤務間インターバルの遵守
勤務間インターバルの遵守において「常に守られている」66.7%、「ほとんど守られている」28.3%、「あまり守られていない」5.0%、「全く守られていない」0%であった。急性期では「常に守られている」60.4%、「ほとんど守られている」33.3%、「あまり守られていない」6.3%であり、急性期以外では、「常に守られている」91.7%、「ほとんど守られている」8.3%であった。
- (8) 勤務間インターバルの導入による効果（複数回答）
勤務間インターバルの導入における効果として「疲労の軽減」68.3%、「ワークライフバランスの向上」61.7%、「睡眠の質の向上」35.0%、「業務ミスの減少」31.7%、「メンタルヘルスの改善」28.3%、「特に変化は感じなかった」10.0%であった。急性期では、「疲労の軽減」70.8%、「ワークライフバランスの向上」56.3%、「睡眠の質の向上」35.4%、「業務ミスの減少」33.3%、「メンタルヘルスの改善」29.2%、「特に変化は感じなかった」10.4%であった。急性期以外では、「ワークライフバランスの向上」83.3%、「疲労の軽減」58.3%、「睡眠の質の向上」33.3%、「業務ミスの減少」25.0%、「メンタルヘルスの改善」25.0%、「特に変化は感じなかった」8.3%であった。
- (9) 勤務間インターバル確保における工夫（自由記載）は、多い順に「勤務表（シフト）作成での工夫」、

「年休・半休取得の活用」「業務改善・残業削減の工夫」「スタッフ希望への配慮/チーム運用の工夫」「引き継ぎ方法の工夫」「患者安全に関する視点」であった。

- (10) 病院に求める支援(自由記載)は、多い順に「人員確保・増員」「多様な勤務形態・シフト制度の改善」「休暇制度・休息環境の整備」「業務改善・業務分散・ICT化」「職場環境の改善」「勤務間インターバル制度への理解・研修・普及」であった。
- (11) 看護協会に求める支援(自由記載)は、多い順に「人員確保・育成支援」「勤務間インターバルの制度化・提言」「意識改革・広報活動」「処遇改善」であった。
- (177ページ「勤務間インターバルにおける工夫と求める支援」参照)

4 考察

本調査では、勤務間インターバル制度の認知度は約9割と高く、勤務間インターバルの導入は約5割の部署で進められていた。また、勤務間インターバルを確保している部署では9割が11時間以上確保されていた。これは、日本看護協会が示す看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの内容と一致しており、継続的な啓発の成果が現場に浸透しているといえる。勤務形態では、急性期・急性期以外ともに2交代制が7割を超えており、2交代制は勤務間インターバルが確保しやすい体制であることが推察される。一方で勤務間インターバルの遵守は、急性期で遵守割合が低い傾向がみられた。急性期病棟では、急変対応や緊急入院などによる突発的業務が時間外勤務として影響していると考えられる。時間外労働が発生することで、予定されていた勤務間インターバルが短くなるため、「残業を前提としない勤務体系の構築やAI・ICT導入による看護記録や情報共有の効率化、タスク・シフト/シェアによる多職種へ的一部業務移管など効率的な業務改善の取り組みが必要である」¹⁾と言える。

勤務間インターバル導入による効果として、「疲労の軽減」「ワークライフバランスの向上」「睡眠の質の向上」などが挙げられた。十分な睡眠時間の確保は、看護職の身体的・精神的疲労の回復を促し、私生活の充実にもつながると考えられ、これらは看護職の健康維持のみならず、医療安全の確保や離職防止に寄与するとされている²⁾。一方で、勤務間インターバルの効果を「特に感じなかった」とする回答もみられた。2交代制勤務では、勤務時間が長い場合や業務負担が大きい場合には、勤務間インターバルが確保されていても十分な休息が得られない可能性が考えられる。勤務中の休息時間の確保や業務負担軽減を図るための部署での業務改善、組織としての人員確保といった包括的な働き方改革と連動させた対応が必要である。

勤務間インターバル確保における工夫として部署においては「勤務表作成での工夫」「業務改善・残業削減の工夫」などの取り組みが行われていた。一方で病院に対し、「人員確保」「多様な勤務形態」「ICT化」などの支援を求めている、現場の努力のみでは限界があるといえる。さらに、看護協会への要望として、「制度の普及・提言」「広報活動」などが挙げられており、勤務間インターバルの実効性向上には組織的支援と関係機関との連携が不可欠であると考えられる。

5 まとめ

勤務間インターバルの認知度は高く、導入している部署では11時間以上の勤務間インターバルが確保されていることが明らかとなった。また、2交代制勤務は勤務間インターバルを確保しやすい傾向がみられた。一方で、急性期病棟では、勤務間インターバル遵守が難しく、時間外勤務の影響が課題として明らかとなった。今後は、部署での業務改善、組織での人員確保支援の強化、関係機関と連携した勤務環境改善に向けた取り組みが必要である。看護協会としては、勤務間インターバルの実効性確保に向け、啓発や好事例の共有、研修の実施を通じた現場支援を継続していきたい。

引用文献

- 1) 堀川尚子：多様で柔軟な働き方を実現する夜勤・交代制勤務のマネジメントの実装，日本看護協会機関誌，看護，78(2),20,2026.
- 2) 角谷沙江加，小村由香：就業継続が可能な看護職の働き方の提案．日本看護協会機関誌，看護，73(12),35-41,2021.

参考文献

- 1) 日本看護協会：看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン,2013.
- 2) 日本看護協会：就業可能が可能な看護職の働き方の提案,2021.
- 3) 日本看護協会：看護職の「多様で柔軟な働き方」導入応援ブック,2026.

勤務間インターバル確保における工夫と求める支援

勤務間インターバル確保における工夫
勤務表（シフト）作成
二交代では必然的にインターバルを取れる
二交代勤務になり、日勤深夜など無理な勤務がなくなった
夜勤明けの次は休みまたは連休となるよう勤務表で調整
早出・遅出と夜勤を組み合わせている
夜勤前後の休日確保
スタッフ希望を踏まえた夜勤配置調整
長日勤の翌日は夜勤配置など勤務間隔の調整
年休・半休取得の活用
深夜入り前の年休取得などを活用しインターバル確保
半日有休を活用した休息時間の確保
業務改善・残業削減
業務内容の整理と時間管理
超過勤務削減のための業務改善
業務量調整により時間外勤務を抑制
業務が時間内に終了するよう声掛けと調整
スタッフ希望への配慮／チーム運用
スタッフの希望を確認し勤務調整
家庭状況を踏まえた勤務調整
急な休みでも休息確保できるよう調整
引き継ぎ方法の工夫
引き継ぎ方法の見直し
患者安全に関する視点
患者安全の観点から休息確保を重視

病院にどのような支援を求めますか
人員確保
看護職員の増員および人員確保
適正配置によるシフト調整の円滑化
インターバル導入に必要な人員確保
勤務体制
勤務体制の整備（2交代制導入など）
多様な働き方の推進
休憩・休息環境
休憩・休息時間の確保
休憩・休息場所の確保
休暇取得の促進
業務改善
タスクシフトの活用
業務の効率化・ICT活用
勤務表作成ソフト導入
勤務シフト調整支援
職場環境
休憩場所不足など職場環境の改善
柔軟な勤務対応
病院全体での取り組み
制度理解
勤務間インターバル制度の知識普及

看護協会にどのような支援を求めますか
人材確保
看護職の成り手の増加
看護師確保
潜在看護師の活用
復職支援
看護職員の増員
看護助手の増員
制度整備
勤務間インターバル制度の研修
勤務間インターバル制度の周知
制度化や指針提示
日勤深夜勤務の禁止など制度整備
国への働きかけ
勤務環境改善
看護師が働き続けられる環境整備
業務負担軽減支援
業務改善支援
ICT活用支援
残業を評価しない職場風土支援
処遇改善
給与改善
手当増額
看護職の地位向上
情報共有
看護職の魅力発信
社会への実情発信
他施設の取り組み共有
県内・全国情報提供
人材育成
若手看護師支援
新任看護師支援
子育て看護師支援
離職防止の取り組み

自由記載回答を基に原文表現を基本として整理し、回答数の多い内容を順に記載した。

看護倫理活動に関する調査結果報告

看護倫理委員会

1 調査目的

県内の急性期・回復期病院を除く施設における、看護倫理活動の現状とニーズを明らかにし、今後の看護倫理研修の企画運営に活かす。

2 調査方法

- (1) 対象者：富山県内における急性期・回復期病院を除く医療機関・福祉施設の看護管理者
- (2) 調査方法：Webアンケート調査
- (3) 調査期間：令和7年10月27日～令和7年11月21日

3 調査結果

対象37施設のうち27施設から回答があり、回答率は72.9%であった。

(1) 属性

回答施設の規模は「20～99床」が12施設（44.4%）、「100床以上」が15施設（55.6%）であった。

(2) 看護部倫理委員会の設置

看護部倫理委員会の設置については、「あり」が8施設（29.6%）、「なし」が19施設（70.4%）であった。

(3) 看護倫理に関する研修会・勉強会の開催

看護倫理に関する研修会・勉強会の開催については、「開催している」が16施設（59.3%）、「開催はない」が11施設（40.7%）であった。

(4) 富山県看護協会（以下看護協会）による看護倫理研修の周知

看護協会での看護倫理研修の開催に関する周知については、「知っている」が25施設（92.6%）、「知らない」が2施設（7.4%）であった。

(5) 倫理カンファレンスの開催

自施設での倫理カンファレンスの開催については、「開催している」が10施設（37%）、「開催はない」が17施設（63%）であった。

(6) 看護倫理に関する出前講座（※注1）の希望

看護協会による看護倫理に関する出前講座の希望については、「希望する」が16施設（59.3%）、「希望しない」が8施設（29.6%）、「その他」が3施設（11.1%）であった。

倫理委員会が設置されている施設では、8施設中7施設（87.5%）が出前講座を希望していた。一方、倫理委員会が設置されていない施設では、19施設中11施設（57.9%）が出前講座を希望していた。「その他」の具体的な回答（自由記載）は以下の通りであった。

- ・開催時間や参加人数に関する懸念

（平日の日中開催の場合、勤務の都合上、講師が想定する人数が集まるか不安である）。

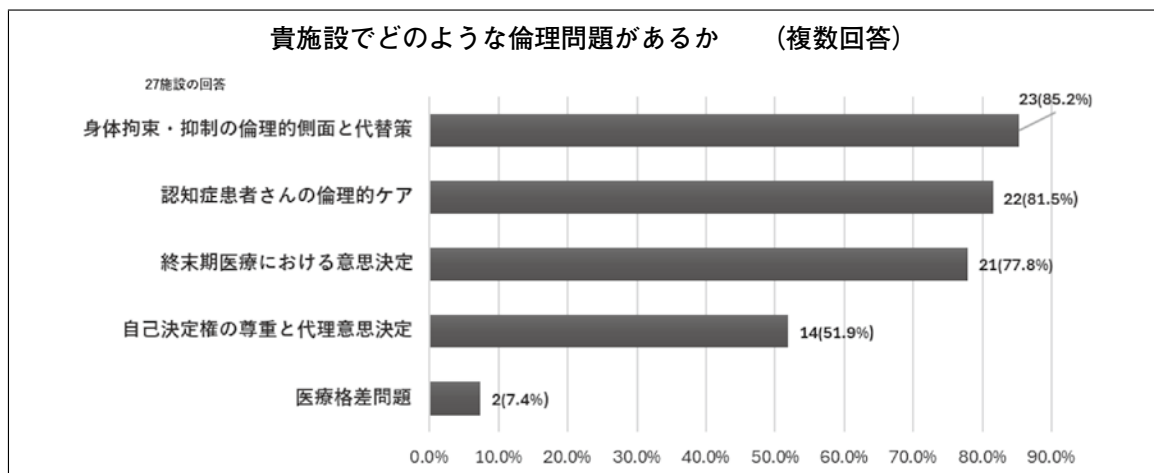
- ・現時点では判断しがたいが、将来的には検討したい。

- ・施設の管理者（トップ）の意識・判断による。

※注1：看護協会が推薦する講師が施設に出向き、看護倫理に関する学習の機会を提供すること。

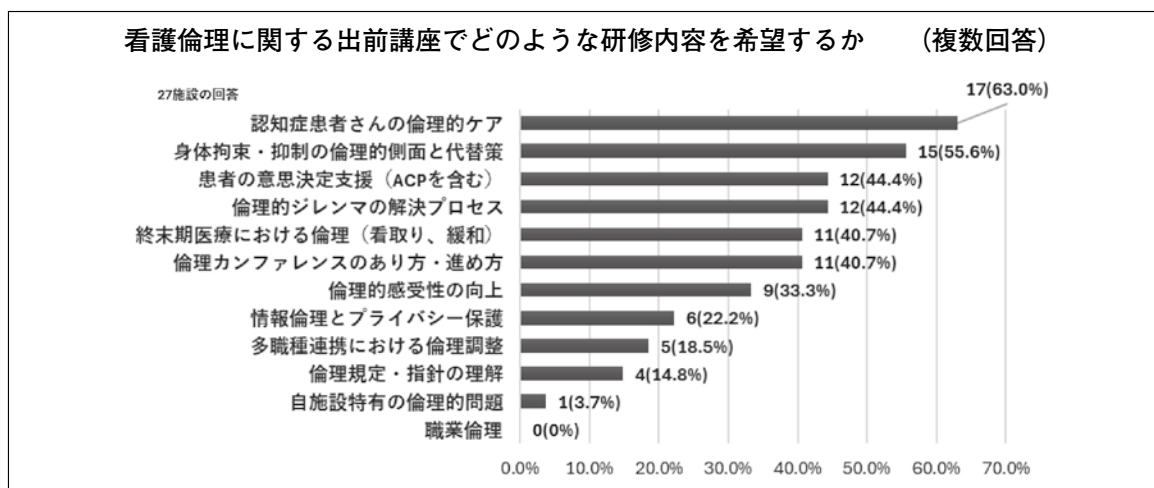
(7) 施設での倫理問題について（複数回答）

倫理問題について尋ねたところ、27施設中「身体拘束・抑制の倫理的側面と代替策」が23施設（85.2%）と最も多く、次いで「認知症患者さんの倫理的ケア」が22施設（81.5%）、「終末期医療における意思決定」が21施設（77.8%）、「医療格差問題」が2施設（7.4%）であった。



(8) 出前講座で希望する研修内容（複数回答）

出前講座で希望する研修内容について尋ねたところ、27施設中「認知症患者さんの倫理的ケア」が17施設（63.0%）と最も多く、次いで「身体拘束・抑制の倫理的側面と代替策」が15施設（55.6%）、「患者の意思決定支援（ACPを含む）」と「倫理的ジレンマの解決プロセス」がともに12施設（44.4%）であった。



(9) 看護協会の看護倫理委員会に希望すること（自由記載）

- ・第三者による研修は受け入れられやすく組織改善につながる可能性があるため、出前講座の実施と活用を期待する。
- ・職種や教育背景の違いによる知識差を踏まえ、基礎から学べる倫理教育や患者主体の意思決定支援、OOVL（人生の最終段階における意思決定プロセス）・POLST（医療処置に関する指示書）および関連ガイドラインの活用方法の普及が必要であると考えます。
- ・小規模施設における倫理課題に対しては、現状把握と支援の制度化に加え、施設内で解決困難な場合の外部相談体制の整備が必要であると感じる。
- ・全国的な倫理課題や傾向の分析と共有を通じて、看護職が倫理的判断を行いやすい基盤整備が必要であると考えます。

4 考察

(1) 組織体制の現状

看護部倫理委員会の設置は29.6%、倫理カンファレンスの実施は37.0%に留まっており、組織的な倫理支援体制が十分に整っている施設が少ない。一方で、院内研修の開催は59.3%に達しており、体制整備が途上であっても、教育の機会を確保しようとする現場の意欲が伺える。また、看護協会による研修の周知は92.6%と非常に高く、倫理研修の情報は共有されていることが確認された。これらは、倫理問題に対する組織的支援体制の整備が重要であるとする先行文献の指摘とも一致している¹⁾。

(2) 現場が直面する倫理問題

施設が抱える倫理問題として、8割以上の施設が「身体拘束・抑制」や「認知症ケア」を挙げた。これらは日常業務に直結する課題であり、単なる知識の習得だけでなく、現場での具体的な判断基準や代替案の模索に苦慮している現状が推察される。また、「終末期医療における意思決定」への関心も高く、多死社会における患者の権利擁護と意思決定支援の重要性が増している。これは、臨床現場における倫理問題が複雑化・高度化しているとする報告とも合致する²⁾。

(3) 出前講座への期待

出前講座の希望は59.3%にのぼり、希望テーマにおいては、「認知症患者の倫理的ケア」が最も多く、次いで「身体拘束・抑制の倫理的側面と代替策」であった。また、「倫理カンファレンスのあり方や進め方」への要望も強く、現場での具体的な解決手法が求められている。自由記載では、内部教育の限界や、第三者である外部講師の介入による組織改善への期待が示された。

(4) 倫理委員会の設置と出前講座の希望の有無

倫理委員会が設置されている施設では、8施設中7施設(87.5%)が出前講座を希望しており、倫理活動を推進する上で研修機会へのニーズが高いことが示された。一方、倫理委員会が設置されていない施設においても、19施設中11施設(57.9%)が出前講座を希望しており、倫理教育への関心や支援ニーズが一定程度あることが示唆された。

また、「その他」として、開催時間や参加人数に関する懸念、現時点では判断が難しいが将来的には検討したい、施設管理者の意向によるとの回答があった。これらの結果から、看護倫理の出前講座へのニーズは一定程度存在する一方で、勤務体制や参加しやすい研修方法など、実施方法への配慮が必要であると考えられる。

5 まとめ

今回の調査結果から、急性期・回復期病院を除く医療機関・福祉施設における看護倫理活動の実態とニーズが明らかとなった。看護倫理に対する高い感受性と学習ニーズがある一方で、組織的な体制整備や具体的な解決手法の不足が課題として示唆された。

今後は、看護協会として各施設の実情に応じた学習機会の充実や外部からの支援のあり方を検討しながら、看護職が倫理的判断を実践しやすい環境づくりを支えていくとともに、継続的な支援体制のあり方について検討していきたい。

参考文献

1) 日本看護協会：『看護職の倫理綱領』（2021年改訂）

2) 厚生労働省：

『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン』（2018年改訂）

看護職の職場におけるハラスメントの調査結果報告

医療安全委員会

1 調査目的

看護職が安心して業務に取り組むことのできる職場環境の整備を推進するため、各施設におけるハラスメントの実態や取り組み状況を調査し、職場環境の改善や離職予防に向けた活動に活かす。

2 調査方法

(1) 対象者

富山県内の公的病院24施設の看護部長、民間病院62施設の看護管理者、保健所・厚生センター・市町27施設の統括保健師等、訪問看護ステーション23施設及び介護施設13施設の看護管理者 合計149施設

(2) 調査方法：WEB（Googleフォーム）によるアンケート調査

(3) 調査期間：令和7年12月15日（月）～令和8年1月16日（金）

3 調査結果

アンケート回答数：104件の回答（回答率69.8%）であった。

(1) 属性

ア 施設の種類：民間病院36件（34.6%）、公的病院30件（28.8%）、保健所・厚生センター・市町村16件（15.4%）、訪問看護ステーション13件（12.5%）、介護施設9件（8.7%）

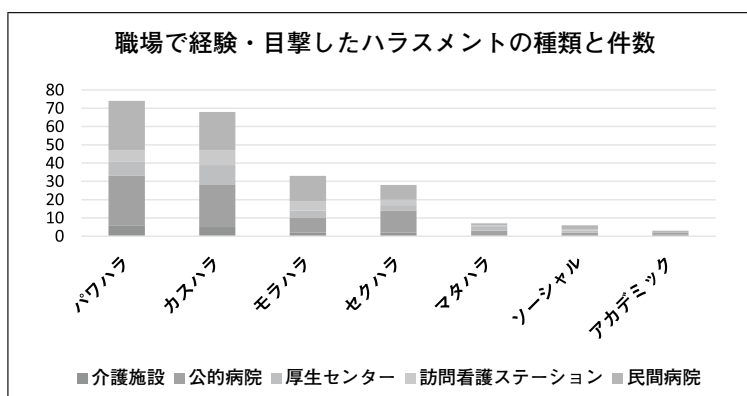
イ 看護職員数：10人以下14件（13.5%）、11～20人17件（16.3%）、21～100人36件（34.6%）、101～200人19件（18.3%）、201人以上18件（17.3%）

ウ 回答者の所属部署

看護部81人（77.9%）、施設長7人（6.7%）、保健センター 3人（2.9%）、ステーション管理者2人（1.9%）他

(2) 職場で経験・目撃したハラスメントの種類（複数回答）

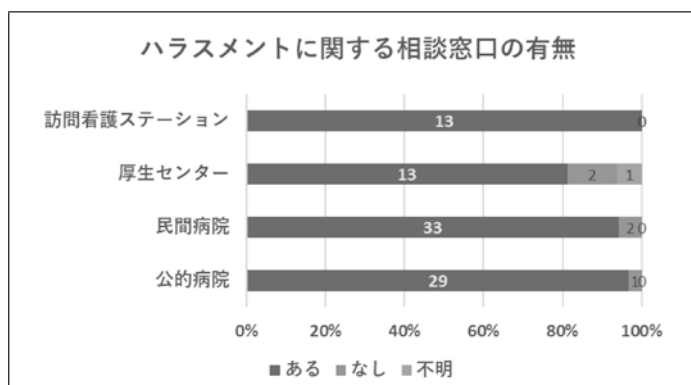
パワーハラスメント74件（71.2%）、カスタマーハラスメント67件（64.4%）、モラルハラスメント32件（30.8%）、セクシャルハラスメント28件（26.9%）、マタニティハラスメント（6.7%）、ソーシャルハラスメント6件（5.9%）、アカデミックハラスメント2件（5.8%）、なし3件（2.9%）であった。



(3) ハラスメントに関する相談窓口

ある96件（92.3%）、ない5件（4.8%）、不明3件（2.9%）であった。

ハラスメントに関する相談窓口は、介護施設・訪問看護ステーションではすべての回答施設で設置されており、厚生センター（2か所）、民間病院（2か所）、公的病院（1か所）では、設置されていない施設があった。

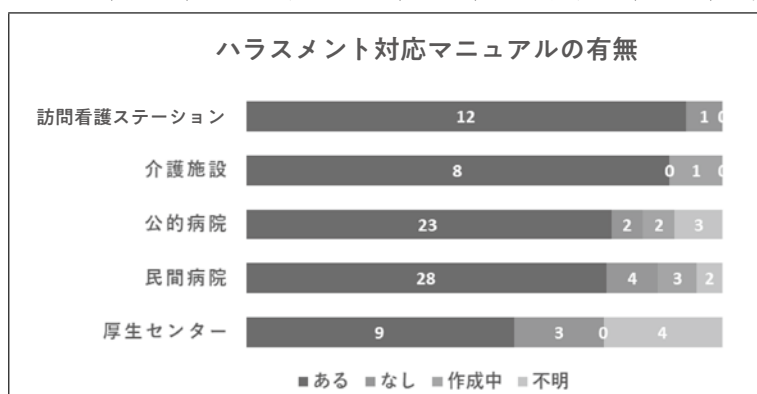


(4) ハラスメント相談窓口の担当部署（複数回答）

人事・総務47件（45.2%）、事務部門42件（40.4%）、看護部29件（27.9%）、施設長12件（11.5%）、外部機関7件（6.7%）、地域医療連携室3件（2.9%）などであった。

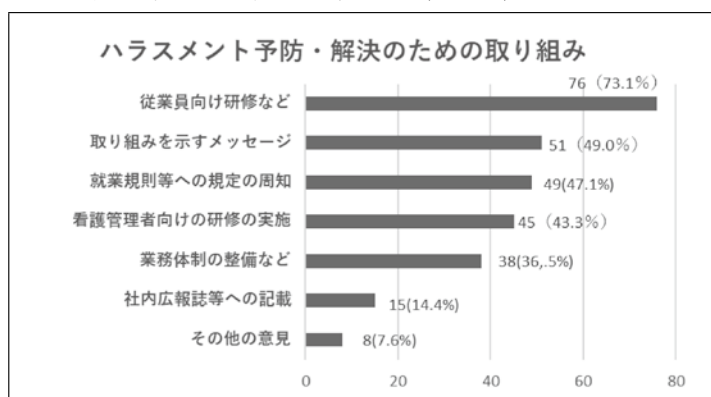
(5) ハラスメント対応のマニュアル

ある80件（76.9%）ない10件（9.6%）、作成中6件（4.8%）わからない8件（8.7%）であった。施設別にマニュアルがある件数・割合をみると、訪問看護ステーション12件（92.3%）、介護施設8件（88.9%）、公的病院23件（76.6%）、民間病院28件（75.7%）、厚生センター（56.6%）であった。



(6) ハラスメント予防・解決のための取り組み（複数回答）

従業員向け研修76件（73.1%）、取り組みを示すメッセージ51件（49%）、就業規則等への規定の周知49件（47.1%）、看護管理者向けの研修の実施45件（43.3%）、業務体制の整備38件（36.5%）、社内広報誌等への記載15件（14.4%）であった。



管理者向け研修の実施は、公的病院21件（回答があった30件の70%）、民間病院11件（回答があった36件の31%）、従業員研修は公的病院13件（回答があった30件の43%）、民間病院25件（回答があった36施設の70%）と、公的病院は管理者向け研修の実施割合が多い反面、民間病院は、従業員研修の実施割合が多かった。

(7) 職場で困っていること（自由記載）

ア パワハラに関して

(ア) 公的病院

- ・医師からのパワハラは仕事に支障をきたす
- ・いじめに関して当事者にいじめの意識がない
- ・管理者同士のハラスメント
- ・復讐を恐れ表面化しにくい

(イ) 民間病院

- ・指導的言動でも相手がパワハラと受け止めれば指導しづらい
- ・経験年数の長い人の嫌味な発言を止めれない
- ・看護師、看護助手に対する威圧的な態度
- ・パワハラにタイミングよく対処できない

(ウ) 保健所・厚生センター

- ・なすべきことをしないことに対し指導するとハラスメントと防衛される
- ・パワハラに困っている

イ カスハラに関して

(ア) 公的病院

- ・カスハラに対しての明確なマニュアルが無い
- ・患者からのカスハラで職員がメンタルに不調をきたす

(イ) 民間施設

- ・カスハラの対応に難儀している

ウ モラハラに関して

(ア) 公的病院

- ・感情コントロールできない管理者

(イ) 民間病院

- ・患者への尊厳の欠如・看護師長のセクショナリズム

エ その他の意見

(ア) 公的病院

- ・マニュアルの更新がされていない
- ・職場を挙げてのハラスメント対応が不十分

(イ) 民間病院

- ・加害者に注意すると離職に繋がる
- ・ハラスメントに関して病院以外の組織に関わってほしい
- ・病院対応では解決に繋がらない

(ウ) 介護施設

- ・民間施設であり組織体制が弱く相談窓口が無いことに困っている

4 考察

- (1) ハラスメントの種類で最も多いのは、パワーハラスメント（71.2%）であり、次いでカスタマーハラスメント（64.4%）、モラルハラスメント（30.8%）、セクシャルハラスメント（26.9%）の順であった。厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」¹⁾では、パワーハラスメントが発生している職場の特徴として、上司と部下のコミュニケーションが少ない、様々な立場の従業員と一緒に働いている、残業が多い、休みがとりにくい、失敗が許されない等がある。これらの特徴は、医療・介護・福祉の現場においても同様のことがいえるため、労働環境の改善や心理的安全性の確保に取り組むことがパワーハラスメントの低減につながる一助となると考える。
- (2) ハラスメントの相談窓口については、ある92.3%、なし4.8%、わからない2.9%と90%以上に相談窓口がある。なし・わからないと答えたのは職員数が少ない施設であった。2025年6月に成立し、2026年10月1日に施行予定の改正労働施策総合推進法では、事業主に対して職場におけるカスタマーハラスメントへの対策を義務付けている。これを受けて厚生労働

省が示した「事業主が職場における顧客等の言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針（案）」²⁾では、相談に応じ、適切に対応するために必要な体制として、相談窓口を設置し、労働者に周知する等が記されている。この内容について、全ての事業主に周知され、早急に実施されることが望まれる。

- (3) ハラスメント対応マニュアルについては、マニュアルがある76.9%、ない9.6%、作成中5.8%、わからない7.7%であった。ないと回答した施設は保健所・厚生センターであった。

職場でハラスメントが発生した場合、「相談対応はどのような点に注意すべきか」、「どのように事実確認をすればよいか」、「ハラスメントかどうか判断に迷った場合どうすればよいか」といった、相談対応の方法に苦慮している施設が少なからずあるため、判断の指針として、マニュアルは必要である。マニュアルがないと回答した施設ではマニュアルを作成し、対応していくことを啓発していく必要があると考える。

5 まとめ

今回の調査では、各施設のハラスメントの実態やハラスメント対策の現状がわかった。また、相談窓口が活用されておらず表面化されていないハラスメントがあることや、各種のハラスメント対応に苦慮している施設があることも明らかになった。今後は、各種マニュアルの整備、心理的安全性の確保をはじめとした労働環境の改善が求められる。

看護協会としても、この調査結果を活かし、ハラスメント防止対策や、安全・安心な職場環境の改善や離職防止に向けた活動を行っていく必要がある。

参考文献

- 1) 厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」2012年2月報道発表資料
- 2) 厚生労働省「事業主が職場における顧客等の言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針（案）」2025年12月

令和 7 年度 支部長会報告

1 目的

地域共生社会において、看々連携を深め行政や関係機関を巻き込んだ活動が求められる。令和 2 年度より新しい支部体制とし、施設の看護管理者に支部長を担っていただく仕組みにするとともに、支部間の情報共有や支部活動の強化を図るため、県内 6 支部長及び担当理事の出席による支部長会を年 2 回開催している。

2 出席者

支部長、担当理事、協会長、専務理事、職員 計14名

3 開催日及び内容

第 1 回 令和 7 年 9 月 2 日(火)

(1) 支部活動の進捗状況報告

(2) 協議事項

- ・「看護の日」及び看護週間事業における若年層へのアプローチ（小学校訪問）として、教育委員会への企画説明・書類審査後に応募用紙を添えて各学校宛てに棚入れしていること、学校によっては授業計画に盛り込まれていること等の情報交換をした。
- ・協会長による『支部研修会 2025 最近の看護の動向』の動画を 3 部構成で作成し、当協会ホームページにアップした。各支部の用途に合わせて利用いただくよう情報提供した。

第 2 回 令和 7 年12月 8 日(月)

(1) 支部活動の進捗状況、次年度の活動計画報告

(2) 協議事項

- ・各支部が独自に作成しているパンフレット等を、他の支部も共有・活用できるようにした。
- ・学校での出前講座等実施に向けて、年末に教育委員会へ説明（チラシ等持参）し、教育委員会から校長会に情報提供してもらうこと、また、学校によっては「将来に向けた授業」の一環に取り入れていることについて情報交換を行った。
- ・多職種による活動を行う際には、公的病院の職員や各職種のエリア毎の各支部長等を通して依頼し、謝金は協会で定めている額を参考にすることを確認した。
- ・クリアファイル（富山県かんごちゃんデザイン）を各支部のイベント等で使用したいとの要望があり、来年度予算で作成することとした。
- ・「まちの保健室」の名称が他企業により商標登録済であった。このため、2015年に作成したのぼり旗の使用を中止し、新たな名称「看護協会まちの保健室」によるのぼり旗を作成（各支部 2 枚）することの合意を得た。

4 理事・支部長名簿

支部名	担当理事	支部長
黒部・魚津	渡邊和美（黒部市民病院）	藤田由紀江（黒部市民病院）
富山東・富山北	沖山正子（かみいち総合病院）	水落治江（富山市立富山まちなか病院）
富山西・富山南		南 峰子 （特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院）
上市		松井由香（上市町役場 福祉課）
高岡・射水・氷見	秋山朝子（厚生連高岡病院）	高柳知子 （高岡市福祉保健部 健康増進課）
砺波・小矢部	吉澤 環（南砺市民病院）	中山詠美 （公立学校共済組合 北陸中央病院）

令和7年度 富山県看護協会 施設別・職種別会員数

令和8年3月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
あさひ総合病院			82	1	83	医療法人社団尽誠会 野村病院			9		9
射水市民病院	1		140		141	医療法人社団健心会 坂東病院			3		3
金沢医科大学水見市民病院			194	2	196	光ヶ丘病院			55	11	66
かみいち総合病院	3	2	125	1	131	姫野病院			1		1
黒部市民病院	2	24	308		334	医療法人深川病院			7		7
厚生連高岡病院	23	16	502		541	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院			13		13
厚生連滑川病院	6	7	141	2	156	医療法人財団恵仁会 藤木病院			4		4
市立砺波総合病院	5	25	361		391	不二越病院	6		58	2	66
高岡市民病院 看護科	7	5	315		327	医療法人財団北聖会 北聖病院			4		4
独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院	5		70	1	76	政岡内科病院			7		7
富山県済生会高岡病院		18	199		217	医療法人社団秋桜 丸川病院			23	2	25
富山県済生会富山病院	1		191		192	南富山中川病院			1		1
富山県立中央病院		76	704		780	医療法人社団双星会 みなみの星病院			12		12
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター			155		155	医療法人高岡みなみハートセンター みなみの杜病院		1	18	1	20
富山市立富山市民病院		22	453		475	医療法人社団あずさ会 駅南あずさ病院			1		1
富山市立富山まちなか病院		1	29		30	特定医療法人社団三医会 三輪病院			13		13
富山赤十字病院	10	39	387		436	医療法人社団友愛病院会 友愛温泉病院			11		11
国立大学法人富山大学附属病院		58	698		756	医療法人社団友愛病院会 陽和温泉病院			11		11
独立行政法人国立病院機構 富山病院			49		49	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院			18	3	21
独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院	1	4	168		173	医療法人社団秀林会 吉見病院			5		5
公立南砺中央病院			68		68	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック	1		0		1
南砺市民病院	2		121	4	127	あいARTクリニック			1		1
公立学校共済組合 北陸中央病院	1		121		122	医療法人社団信和会 魚津神経サナトリウム			1		1
独立行政法人国立病院機構 北陸病院			29		29	医療法人社団桜仁会 さくらニューロクリニック			4		4
医療法人社団寿山会 あおい病院			5		5	かんすいこうえんレディースクリニック		3			3
医療法人社団睦心会 あさなぎ病院			17		17	医療法人社団アルベン会アルベン室谷クリニック			1		1
医療法人社団アルベン会 アルベリハビリテーション病院			12		12	くれよん在宅クリニック			1		1
池田リハビリテーション病院			10	1	11	医療法人社団藤聖会八尾クリニック			1		1
いま泉病院			4		4	けやきひふ科			2		2
医療法人社団スバル うおざきファミリー病院	1		6		7	女性クリニックWe富山			1		1
医療法人社団七徳会 魚津病院			15		15	セーナー苑診療所			9		9
医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院			6	5	11	瀬尾内科医院			1		1
医療法人社団樫の木会 大島くろみ病院			5		5	高岡市急患医療センター			1		1
医療法人社団東方会 おおやま病院			21	3	24	富山駅前おおむら内科内視鏡クリニック			1		1
医療法人社団基伸会栗山病院・栗山介護医療院			1		1	医療法人社団寿恵会 津田産婦人科医院		1			1
医療法人社団友愛病院会 黒部温泉病院			13		13	なかしま産婦人科		14	8	1	23
医療法人社団白雲会 呉陽病院			2		2	長田整形外科クリニック			1		1
特定医療法人財団五省会 西能病院	1		78	3	82	沼内科医院			4		4
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院			27		27	医療法人社団萩野医院			1		1
医療法人社団平成会 桜井病院			3		3	医療法人社団 吉本レディースクリニック		2	3		5
医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院			69		69	富山県厚生部医務課	2		1		3
医療法人社団志貴野会 サンバリー高岡病院			10		10	富山県 厚生部 厚生企画課	2				2
医療法人社団志貴野会 サンバリー福岡病院			3		3	富山県厚生部健康対策室健康課	8				8
医療法人社団清幸会 島田病院			2		2	富山県厚生部高齢福祉課	3				3
常願寺病院			5		5	富山県厚生部障害福祉課	1				1
医療法人社団城南会 城南内科介護医療院			4		4	富山県厚生部こども家庭室子育て支援課	1				1
医療法人真生会 真生会富山病院	1		170	1	172	富山県経営管理部人事課	1				1
医療法人社団正啓会 成和病院			1		1	富山県心の健康センター	4				4
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院	1		45		46	富山県高岡厚生センター	15				15
チューリップ長江病院			17		17	富山県高岡厚生センター 射水支所	8				8
医療法人社団寿恵会 つざわ津田病院			8		8	富山県高岡厚生センター 氷見支所	6				6
医療法人社団藤和会 砺波サンシャイン病院			2		2	富山県高岡児童相談所	2				2
医療法人社団三医会 となみ三輪病院			8	1	9	富山県中部厚生センター	12				12
富山医療生活協同組合 富山協立病院			59		59	富山県砺波厚生センター	12				12
医療法人社団城南会 富山城南病院			17		17	富山県砺波厚生センター 小矢部支所	3				3
医療法人社団聖豊会 富山西総合病院	1		130	1	132	富山県富山児童相談所	2				2
医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院			42	1	43	富山県新川厚生センター	9		1		10
医療法人財団正友会 中村記念病院			6		6	富山県新川厚生センター 魚津支所	4		1		5
流杉病院			18	1	19	富山県立黒部学園	1				1
医療法人社団にし会 西野内科病院			1		1	富山県後期高齢者医療広域連合	1				1

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
富山市保健所	15		2		17	訪問看護ナースソフィアにいかわ			3		3
富山市大沢野保健福祉センター	3				3	中新川訪問看護ステーション			5		5
富山市大山保健福祉センター	3				3	滑川市医師会訪問看護ステーション			1		1
富山市北保健福祉センター	11				11	南砺市訪問看護ステーション			13		13
富山市中央保健福祉センター	16				16	訪問看護ステーションなでしこ			2		2
富山市西保健福祉センター	9				9	訪問看護ステーションなないろ			1		1
富山市南保健福祉センター	11				11	東岩瀬訪問看護ステーション			1		1
富山市八尾保健福祉センター	7				7	氷見訪問看護ステーション			7		7
富山市福祉保健部介護保険課	2				2	訪問看護ステーションままアシスト			6		6
富山市福祉保健部障害福祉課	2				2	ものがたり訪問看護ステーション			1		1
富山市福祉保健部長寿福祉課	8				8	もみじ訪問看護ステーション			4		4
富山市福祉保健部保険年金課	3				3	合同会社 人間讃歌訪問看護ステーション 十色			9		9
富山市まちなか総合ケアセンター	5	4	3		12	ソフィアメディ訪問看護ステーション富山			1		1
富山市役所こども家庭部こども健康課	7				7	PDハウス富山訪問看護ステーション			1		1
富山市役所こども家庭部こども保育課			4		4	訪問看護ステーション かけはし			2		2
富山市役所福祉保健部福祉政策課	2				2	だいもん訪問看護ステーション			1		1
富山市立みよの保育所			1		1	訪問看護ステーションゆりかご	2		3		5
高岡市福祉保健部	29	1			30	株式会社ラ・ファミユ 訪問看護ステーションわか木			4		4
射水市保健センター	10				10	(医)信和会障害者社会復帰センターあゆみの郷	1				1
射水市こども福祉課こどもすこやか係	9				9	社会福祉法人射水福祉会 いみず会			1		1
射水市こども福祉課こども家庭係	1				1	富山型デイサービス くわの里			1		1
射水市社会福祉課	1				1	特定非営利活動法人デイサービス このゆびとーまれ			2		2
射水市保険年金課	1				1	ナーシングホーム悠ライフ 富山			2		2
射水市地域福祉課	2				2	社会福祉法人福寿会			1		1
魚津市健康センター	12				12	社会福祉法人マーシ園療養ホーム			1		1
魚津市役所 社会福祉課	5				5	介護老人保健施設おおぞら			6	2	8
氷見市役所	9				9	介護老人保健施設さくら苑			1		1
滑川市民健康センター	4				4	介護老人保健施設 城端うらら			1		1
滑川市役所 医療保健課	6				6	老人保健施設シルバーケア今泉			1		1
砺波市健康センター	21				21	シルバーケア城南			1		1
南砺市役所こども課	1				1	介護老人保健施設シルバーケア羽根苑			2		2
小矢部市民生部健康福祉課	16		1		17	医療法人社団藤聖会上市老人保健施設つぎの庭			2		2
南砺市健康課保健センター	5				5	グループホーム ひより			1		1
南砺市役所健康課	3	1			4	ケアポート庄川			1		1
南砺家庭地域医療センター			4		4	プラトリーケアセンター 高岡			1		1
南砺市地域包括支援センター	2				2	アクアホーム富山秋吉			1		1
南砺市井波在宅支援センター	1		1		2	デイサービスセンターふるりの風			1		1
南砺市上平診療所			1		1	デイサービスこころ			1		1
舟橋村役場生活環境課	3				3	介護老人保健施設チューリップ苑			5		5
上市町役場福祉課	3				3	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑			8	4	12
立山町健康福祉課	12	1			13	八尾老人保健施設風の庭			9	4	13
入善町保健センター	7				7	介護老人保健施設ゆうゆうハウス			1		1
朝日町保健センター	1				1	特別養護老人ホーム 敬寿苑			4		4
公益社団法人砺波医師会 砺波准看護学院			4		4	特別養護老人ホーム やなせ苑			1		1
富山医療福祉専門学校		1	8		9	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム 梨雲苑			4		4
学校法人富山国際学園富山短期大学	1				1	特別養護老人ホームおあしす新川			1		1
富山県高岡看護専門学校	2	5	17		24	介護老人保健施設 やすらぎ	1				1
公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	6	8	36		50	介護施設 日和野			1		1
富山県立富山いずみ高等学校 看護科			7		7	養護老人ホーム志貴野長生寮			1		1
富山県立高志支援学校			1		1	富山市立愛宕保育所			2		2
富山福祉短期大学			2		2	ふなはしこども園			1		1
富山市医師会看護専門学校		1	11		12	(福)あおぞらくども福祉会 堀川保育園			1		1
富山市立看護専門学校		1	11		12	JFEミネラル株式会社 クロム&リサイクル事業部	1				1
国立大学法人富山大学医学部看護学科		1			1	富山市医師会健康管理センター	4		6		10
株式会社Yメディカルサービス あさなぎ訪問看護ステーション			2		2	とやま介護テクノロジー普及・推進センター		1			1
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション			3		3	富山県がん総合相談支援センター		1	3		4
訪問看護ステーションあばかど			5		5	富山県国民健康保険団体連合会	1				1
医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション			9		9	富山県看護連盟			4		4
下新川郡医師会 黒部訪問看護ステーション			1		1	公益社団法人富山県看護協会	1	2	9		12
ケアメディカルおやべ 訪問看護ステーション			1		1	訪問看護ステーションひよどり			5		5
光風会訪問看護ステーション			5		5	訪問看護ステーションひよどり富山			3		3
高志訪問看護ステーション			2		2	神明・五福地域包括支援センター	1				1
社会福祉法人富山城南会 しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	1		2		3						
訪問看護ステーションジョジョ			2		2	個人会員	37	51	807	10	905
高岡市医師会訪問看護ステーション			1		1						
NPO法人シャフト訪問看護ステーションだこた			1		1	合計	503	397	7,887	68	8,855

令和 7 年度 受章(彰)者名簿

種 別	受章(彰)者	所 属 (受章(彰)時)
春の叙勲 瑞宝単光章	稲 村 睦 子	元富山県立中央病院
秋の叙勲 瑞宝単光章	神 保 浩 子	元富山市立富山市民病院
	高 山 由紀子	元黒部市民病院
日本看護協会会長表彰	神 保 浩 子	元富山市立富山市民病院
	向 野 勝 美	元公益社団法人富山県看護協会
富山県部門功労表彰	岩 城 光 子	厚生連滑川訪問看護ステーション
	浦 野 妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	加 藤 浩 子	元富山市役所
	川 岸 孝 美	公益社団法人富山県看護協会
	藤 井 淳 子	公益社団法人富山県看護協会
富山県看護協会会長表彰	伊 井 亮 子	かみいち総合病院
	稲 見 年 美	高岡市民病院
	海 原 真 澄	厚生連滑川病院
	梅 村 夕 子	富山市基幹相談支援室
	河 上 裕 子	高岡市民病院
	酒 井 敦 子	富山市役所
	酒 井 和 子	国立大学法人富山大学附属病院
	高 長 雅 美	富山県立中央病院
	向 千 春	金沢医科大学永見市民病院
	若 杉 央	富山県高岡厚生センター

令和7年度 富山県看護協会 役員及び委員名簿

●役員（25名）

役職名	氏 名	施 設 名
会 長	岡 本 里 美	公益社団法人富山県看護協会
副 会 長	中 島 眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学
副 会 長	渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
専務理事	吉 田 智 子	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	藤 井 淳 子	公益社団法人富山県看護協会
保健師 職能理事	若 杉 央	富山県高岡厚生センター
助産師 職能理事	森 太貴子	富山赤十字病院
看護師 職能Ⅰ理事	小 倉 里 美	市立砺波総合病院
看護師 職能Ⅱ理事	小 原 留 美	光風会訪問看護ステーション
監 事	丸 池 小百合	国立大学法人富山大学附属病院
〃	吉 岡 智 子	富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
〃	河 村 拓 栄	河村公認会計士事務所
理 事	秋 山 朝 子	厚生連高岡病院
〃	稲 見 年 美	高岡市民病院
〃	海 原 真 澄	厚生連滑川病院
〃	沖 山 正 子	かみいち総合病院
〃	瀬 山 尚 子	富山県済生会富山病院
〃	高 長 雅 美	富山県立中央病院
〃	春 木 加 奈	富山市北保健福祉センター
〃	向 千 春	金沢医科大学氷見市民病院
〃	村 井 純 子	富山市立富山市民病院
〃	山 崎 美 保	あさひ総合病院
〃	吉 澤 環	南砺市民病院
〃	渡 邊 和 美	黒部市民病院
〃	稲 垣 伸 寿	魚津緑ヶ丘病院

●保健師職能委員（8名）

○副委員長

氏 名	施 設 名
荒 井 都 子	小矢部市健康福祉課
伊 藤 紗綾子	富山県新川厚生センター
○ 酒 井 昌 子	射水市こども福祉課
田 原 百 恵	富山県砺波厚生センター
坪 野 由 美	厚生連高岡病院
日名田 雪 絵	立山町健康福祉課
横 山 智 子	富山市南保健福祉センター
米 田 マ キ	朝日町保健福祉センター

●助産師職能委員（8名）

○副委員長

氏 名	施 設 名
相 澤 舞 衣	黒部市民病院
石 黒 美菜子	富山県済生会高岡病院
竹 田 英 子	市立砺波総合病院
辻 口 てるみ	富山赤十字病院
鍋 田 祐美子	訪問看護ステーションここいく
○ 土 師 里 美	国立大学法人富山大学附属病院
林 輝 美	厚生連高岡病院
廣 川 絢	富山県立中央病院

●看護師職能Ⅰ委員（8名）

○副委員長

氏 名	施 設 名
窪 田 雅 江	公立学校共済組合北陸中央病院
笹 倉 博 恵	富山県済生会富山病院
篠 山 留 美	富山市立富山市民病院
武 田 真由美	富山赤十字病院
田 畑 美沙子	あさひ総合病院
○ 宝 田 佐己子	富山県済生会高岡病院
水 戸 伊希子	射水市民病院
加 藤 歩 実	おおやま病院

●看護師職能Ⅱ委員（8名）

○副委員長

氏 名	施 設 名
○ 猪 谷 亜希子	となみ三輪病院
近 藤 道 代	厚生連高岡訪問看護ステーション
杉 田 美 紀	訪問看護ステーション希望のひかり
萩 行 愛	光ヶ丘病院
古 川 明 子	特定医療法人財団五省会 西能病院
森 初 美	医療法人社団尽誠会 野村病院
吉 岡 典 子	不二越病院
高 野 佳代子	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院

●総務委員（８名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
◎ 黒 田 昌 樹	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
越 坂 裕 子	あさひ総合病院
澤 田 明 子	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
田 中 裕 美	高岡市民病院
野 上 千 寿	射水市民病院
○ 林 ナツノ	市立砺波総合病院
○ 樋 口 恵 実	富山市立富山市民病院
藤 名 裕 美	上市町保健センター

●教育委員（18名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
◎ 石 黒 伸 昌	あさひ総合病院
扇 割 恵美子	特定医療法人財団五省会 西能病院
○ 大 重 亜希子	かみいち総合病院
○ 神 田 亜矢子	富山市立富山市民病院
小 井 夕紀子	国立大学法人富山大学附属病院
酒 井 香津美	富山赤十字病院
瀬 川 明 子	市立砺波総合病院
○ 竹 田 睦	厚生連高岡病院
田 中 敦	富山県高岡看護専門学校
丹 保 香寿栄	富山県立中央病院
仲 井 杏 子	富山市北保健福祉センター
西 川 恵利加	金沢医科大学水見市民病院
西 川 陽 子	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
長谷川 良 美	高岡市民病院
平 田 千 栄	黒部市民病院
法 邑 香 織	南砺市民病院
松 田 由加里	富山市医師会看護専門学校
山 下 江 美	富山県中部厚生センター

●広報委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
◎ 伊勢呂 博 恵	富山県済生会高岡病院
市 川 憲 子	富山赤十字病院
大 幸 直 美	厚生連滑川病院
表 寺 朱 美	富山県済生会富山病院
神 林 玲 奈	富山市中央保健福祉センター
桑 原 久美子	不二越病院
酒 井 加奈子	国立大学法人富山大学附属病院
酒 田 外希子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
松 木 紀 子	射水市民病院
○ 山 岸 久 枝	富山県立中央病院

●社会経済福祉委員（８名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
◎ 中 空 真由美	富山県立中央病院
中 田 香緒里	富山市立富山まちなか病院
西 田 雅 人	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
水 野 博 美	かみいち総合病院
○ 南 英 樹	医療法人真生会 真生会富山病院
向 山 忍	公立学校共済組合 北陸中央病院
山 本 麻 美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
綿 珠 美	独立行政法人国立病院機構 富山病院

●看護倫理委員（５名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
草 切 幸	黒部市民病院
酒 井 留美子	富山赤十字病院
◎ 高 しのぶ	厚生連高岡病院
中 澤 美 架	富山県済生会高岡病院
○ 森 木 郷 江	市立砺波総合病院

●医療安全委員（６名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
東 野 順 子	金沢医科大学水見市民病院
久 和 弘 子	富山県済生会富山病院
小 村 敬 子	高岡市民病院
関 堂 好 子	富山市立富山市民病院
○ 二ノ宮 聡 子	国立大学法人富山大学附属病院
◎ 濱 田 裕 子	黒部市民病院

●災害看護委員（５名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
○ 木 村 絵理香	高岡市民病院
杉 田 麻 理	黒部市民病院
橋 爪 美 幸	富山県立中央病院
干 場 めぐみ	市立砺波総合病院
◎ 山 口 都	富山市立富山市民病院

●学会委員（８名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
川 部 恵	富山県済生会富山病院
坂 中 善 恵	富山市立看護専門学校
田 畑 貴 裕	富山市立富山市民病院
○ 田 村 愛	国立大学法人富山大学附属病院
◎ 寺 井 彩	厚生連高岡病院
野 尻 都	富山県高岡看護専門学校
村 上 由利子	富山県立中央病院
山 田 裕 子	市立砺波総合病院

●選挙管理委員（５名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
○ 浦 本 かおり	黒部市民病院
飛 世 照 枝	富山県立中央病院
◎ 中 谷 栄里子	市立砺波総合病院
濱 谷 京 子	国立大学法人富山大学附属病院
遊 道 啓 子	富山市八尾保健福祉センター

●推薦委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏 名	施 設 名
荒 瀬 孝 志	富山市立富山市民病院
○ 石 黒 幸 子	富山県立中央病院
浦 井 由 巳	南砺市健康課
久 和 恵 子	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
橘 美 里	高岡市健康増進課
◎ 中 橋 香 織	富山県高岡厚生センター
長谷川 弥 生	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
畠 山 和 美	南砺市民病院
山 崎 いずみ	独立行政法人国立病院機構 富山病院
綿 知 子	高岡市民病院

認定看護管理者教育課程 教育運営委員（10名）

氏 名	施 設 名
丸 池 小百合	国立大学法人富山大学附属病院
高 長 雅 美	富山県立中央病院
稲 見 年 美	高岡市民病院
渡 邊 和 美	黒部市民病院
小 倉 里 美	市立砺波総合病院
西 谷 美 幸	富山大学大学院医学薬学研究部 基礎看護学
籠 井 瑞 穂	富山市立看護専門学校
平 和 美	富山県厚生部医務課
藤 井 淳 子	富山県看護協会
佐 伯 久 恵	富山県看護協会

富山県新卒訪問看護師育成検討会委員（10名）

氏 名	施 設 名
山 崎 智 可	公立大学法人富山県立大学
杉 原 雅 子	富山医療福祉専門学校
高 長 雅 美	富山県立中央病院
渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
村 田 伊紀子	富山県済生会高岡病院
中 井 ともこ	真生会訪問看護ステーションこころ
小 原 留 美	光風会訪問看護ステーション
若 林 勇 人	富山県厚生部高齢福祉課
平 和 美	富山県厚生部医務課
岡 本 里 美	富山県看護協会

富山県ナースセンター事業運営委員（15名）

氏 名	施 設 名
加 藤 弘 之	富山労働局職業安定部
小 倉 憲 一	富山県厚生部医務課
木 本 達 也	富山県市長会
村 岡 裕 子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会
長谷川 徹	公益社団法人富山県医師会
川 端 雅 彦	富山県済生会高岡病院
高 長 雅 美	富山県立中央病院
渡 邊 和 美	黒部市民病院
沖 山 正 子	かみいち総合病院
稲 見 年 美	高岡市民病院
吉 澤 環	南砺市民病院
山 本 裕美子	医療法人光ヶ丘病院
中 井 ともこ	真生会訪問看護ステーションこころ
若 杉 央	富山県高岡厚生センター
杉 原 雅 子	富山医療福祉専門学校

看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員（10名）

氏 名	施 設 名
河 相 てる美	公立大学法人富山県立大学
佐 藤 好 久	富山県医療勤務環境改善支援センター
小 倉 里 美	市立砺波総合病院
村 井 純 子	富山市立富山市民病院
中 空 真由美	富山県立中央病院
中 村 真由美	富山県厚生部医務課
岡 本 里 美	富山県看護協会
吉 田 智 子	富山県看護協会
川 岸 孝 美	富山県看護協会 富山県訪問看護総合支援センター
境 信 子	富山県看護協会 ナースセンター

令和 7 年度 富山県看護協会 支部役員名簿

支 部	担当理事	支 部 長	副支部長	会 計	役 員
黒部・魚津	㊦渡 邊 和 美 (黒部市民病院)	㊦藤 田 由紀江 (黒部市民病院)	㊦林 瑞 穂 (あさひ総合病院)	㊦横 田 葵 (入善町保健センター)	㊦朝 倉 由 紀 (富山労災病院)
					㊦三 浦 紫 乃 (新川厚生センター)
					㊦細 田 絵 理 (魚津市健康センター)
富 山 東 北 富 山 北	㊦沖 山 正 子 (かみいち総合病院)	㊦水 落 治 江 (富山市立富山まちなか病院)	㊦郷 谷 さと美 (富山赤十字病院)	㊦高 澤 秀 幸 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)	㊦大 上 戸 薫 (富山県立中央病院)
					㊦飯 野 由美子 (富山県済生会富山病院)
富 山 西 南 富 山 南		㊦南 峰 子 (特定医療法人財団五省会西能みなみ病院)	㊦上 山 雅 代 (国立大学法人富山大学附属病院)	㊦中 林 麻 紀 子 (医療法人社団城南会富山城南病院)	㊦嘉 藤 朋 美 (富山市まちなか総合ケアセンター)
					㊦麻 柄 宣 子 (医療法人社団和敬会谷野呉山病院)
					㊦中 村 麻友美 (独立行政法人国立病院機構富山病院)
上 市		㊦松 井 由 香 (上市町役場 福祉課)	㊦志 村 珠 美 (厚生連滑川病院)	㊦柴 田 久 美 (かみいち総合病院)	㊦西 田 愛 理 (富山市保健所 地域健康課)
					㊦西 谷 眞砂美 (厚生連滑川病院)
高岡・射水・氷見	㊦秋 山 朝 子 (厚生連高岡病院)	㊦高 柳 知 子 (高岡市福祉保健部健康増進課)	㊦松 木 靖 子 (医療法人真生会真生会富山病院)	㊦沼 順 子 (高岡市民病院)	㊦竹 原 美 香 (富山県高岡厚生センター)
					㊦柏 嶋 由香里 (射水市民病院)
			㊦越 田 瞳 (厚生連高岡病院)		㊦中 島 由 華 (氷見市役所 健康課)
					㊦諸 江 由紀子 (独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院)
					㊦岩 原 ゆみ子 (富山県済生会高岡病院)
					㊦藤 井 祐 子 (医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院)
					㊦向 井 真紀子 (金沢医科大学氷見市民病院)
砺波・小矢部	㊦吉 澤 環 (南砺市民病院)	㊦中 山 詠 美 (公立学校共済組合北陸中央病院)	㊦石 田 美 奈 (砺波厚生センター地域保健班)	㊦遠 藤 陽 子 (独立行政法人国立病院機構北陸病院)	㊦田 中 晴 美 (市立砺波総合病院)
			㊦福 井 亜希子 (公立南砺中央病院)	㊦澤 ちづる (南砺市地域包括医療ケア部健康課福光保健センター)	㊦横 川 香 (南砺市民病院)

令和8年度日本看護協会 代議員及び予備代議員名簿

(五十音順)

No.	代 議 員			予 備 代 議 員		
	職種	氏 名	勤 務 先	職種	氏 名	勤 務 先
1	准看	稲 垣 伸 寿	医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院	看	猪 谷 亜希子	医療法人三医会 となみ三輪病院
2	看	小 倉 里 美	元市立砺波総合病院	准看	加 藤 歩 実	医療法人社団東方会 おおやま病院
3	看	小 原 留 美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護 ステーション	保	酒 井 昌 子	射水市こども福祉課
4	看	渋谷 美保子	富山県がん総合相談 支援センター	看	笹 倉 博 恵	富山県済生会富山病院
5	助	藤 井 淳 子	公益社団法人 富山県看護協会	保	中 島 眞由美	一般社団法人 しあわせKAIGOネットワーク
6	保	松 井 由 香	上市町役場	看	中 山 詠 美	公立学校共済組合 北陸中央病院
7	看	水 落 治 江	富山市立 富山まちなか病院	助	土 師 里 美	国立大学法人 富山大学附属病院
8	助	森 太 貴 子	富山赤十字病院	看	藤 田 由紀江	元黒部市民病院
9	保	若 杉 央	富山県高岡厚生センター 氷見支所	保	吉 田 智 子	公益社団法人 富山県看護協会

会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	08.3.31 現在 会員数	07.3.31 現在 会員数(a)	06.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	08.3.31 現在 会員数	07.3.31 現在 会員数(a)	06.12.31 就業者数(b)	入会率 (a/b)	08.3.31 現在 会員数	07.3.31 現在 会員数(a)	06.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	39,356	40,986	85,750	48	1,073 (75)	1,099 (70)	3,242	34	1,247	1,269	1,533	83
青森	8,031	8,319	18,394	45	199 (11)	212 (12)	755	28	316	323	331	98
岩手	7,388	7,646	17,752	43	276 (9)	299 (8)	857	35	292	313	382	82
宮城	12,549	12,743	28,901	44	239 (8)	253 (9)	1,233	21	632	632	782	81
秋田	6,451	6,632	15,145	44	152 (10)	160 (8)	664	24	280	286	310	92
山形	7,668	7,816	15,866	49	280 (11)	321 (11)	726	44	363	362	356	102
福島	11,604	11,988	25,699	47	322 (27)	340 (28)	1,156	29	393	406	517	79
茨城	15,463	15,657	33,153	47	308 (15)	329 (15)	1,356	24	553	571	773	74
栃木	12,287	12,387	26,272	47	471 (14)	473 (14)	1,074	44	440	425	581	73
群馬	10,994	11,237	29,690	38	536 (37)	563 (39)	1,195	47	342	343	553	62
埼玉	23,398	24,078	75,703	32	358 (43)	382 (43)	2,547	15	923	949	1,657	57
千葉	26,562	27,661	63,767	43	351 (24)	377 (24)	2,561	15	855	902	1,603	56
東京	39,002	40,991	153,241	27	405 (24)	403 (24)	5,144	8	1,909	2,008	4,618	43
神奈川	32,719	34,730	89,205	39	575 (34)	600 (37)	3,083	19	1,143	1,211	2,540	48
新潟	14,813	15,659	30,322	52	774 (40)	800 (38)	1,256	64	540	569	708	80
山梨	5,704	5,842	11,360	51	485 (18)	484 (15)	673	72	191	186	258	72
長野	14,358	14,572	31,304	47	1,114 (56)	1,109 (57)	1,950	57	675	687	849	81
富山	8,855	8,916	17,205	52	503 (12)	505 (15)	776	65	397	402	390	103
石川	9,225	9,397	18,616	50	243 (8)	239 (9)	692	35	294	296	383	77
福井	6,428	6,465	12,751	51	205 (9)	218 (8)	540	40	227	225	279	81
岐阜	12,226	12,443	26,374	47	234 (11)	290 (11)	1,252	23	419	425	628	68
静岡	22,426	22,495	44,869	50	463 (26)	491 (25)	1,968	25	871	887	1,049	85
愛知	37,548	38,659	88,269	44	456 (21)	504 (20)	3,366	15	1,547	1,602	2,312	69
三重	11,111	11,612	24,889	47	122 (5)	130 (5)	939	14	343	354	525	67
滋賀	8,927	9,147	16,302	56	292 (9)	310 (8)	697	44	348	338	562	60
京都	15,246	16,015	36,010	44	246 (24)	262 (25)	1,328	20	595	602	951	63
大阪	47,609	50,223	107,089	47	545 (21)	561 (21)	2,967	19	1,907	1,988	2,883	69
兵庫	28,632	30,107	72,444	42	617 (23)	643 (25)	2,232	29	956	985	1,613	61
奈良	9,142	9,491	18,074	53	75 (1)	93 (2)	630	15	292	290	407	71
和歌山	5,958	6,060	15,332	40	128 (9)	144 (10)	570	25	220	217	290	75
鳥取	4,111	4,209	10,234	41	102 (2)	99 (3)	394	25	213	206	225	92
島根	5,649	5,748	12,164	47	224 (8)	240 (8)	633	38	276	277	330	84
岡山	17,125	17,371	30,405	57	698 (19)	713 (18)	1,230	58	415	432	561	77
広島	19,107	19,673	45,812	43	321 (14)	333 (13)	1,540	22	451	467	747	63
山口	9,643	9,946	24,889	40	465 (11)	447 (11)	810	55	302	317	398	80
徳島	4,517	4,657	13,447	35	123 (1)	136 (1)	468	29	240	241	281	86
香川	7,225	7,528	16,565	45	185 (5)	195 (5)	634	31	307	304	287	106
愛媛	9,845	9,958	22,925	43	343 (14)	348 (13)	847	41	235	238	310	77
高知	5,589	5,962	14,841	40	112 (1)	113 (2)	590	19	135	149	217	69
福岡	41,155	42,061	83,402	50	595 (22)	627 (24)	2,672	23	1,030	1,066	1,591	67
佐賀	5,151	5,276	16,200	33	172 (3)	177 (3)	595	30	100	103	239	43
長崎	9,311	9,529	25,851	37	156 (4)	166 (4)	823	20	192	195	442	44
熊本	15,195	15,482	34,467	45	468 (14)	475 (14)	1,156	41	364	377	521	72
大分	9,777	9,965	21,665	46	542 (11)	541 (11)	865	63	209	210	365	58
宮崎	8,281	8,577	20,902	41	206 (11)	211 (13)	746	28	256	256	377	68
鹿児島	11,288	11,832	32,272	37	452 (14)	456 (13)	1,113	41	363	379	653	58
沖縄	9,780	10,155	22,632	45	269 (30)	278 (30)	991	28	407	420	554	76
合 計	704,429	727,903	1,698,421	43	17,480 (819)	18,149 (822)	63,536	29	25,005	25,690	38,721	66

- 注 (1) 就業者数は、『令和6年度 衛生行政報告例』により計上。
(2) 「入会率」は、令和7年3月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（令和6年度決算報告書）とは異なる。
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（ ）内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
08.3.31 現在 会員数	07.3.31 現在 会員数(a)	06.12.31 現在 就業者数(b)	入会率	08.3.31 現在 会員数	07.3.31 現在 会員数(a)	06.12.31 現在 就業者数(b)	入会率	
人	人	人	%	人	人	人	%	
35,785 (3,523)	37,174 (3,571)	69,117	54	1,251 (85)	1,444 (93)	11,858	12	北海道
7,265 (656)	7,515 (677)	13,499	56	251 (16)	269 (17)	3,809	7	青森
6,716 (581)	6,921 (592)	14,322	48	104 (6)	113 (8)	2,191	5	岩手
11,431 (873)	11,593 (871)	22,607	51	247 (14)	265 (15)	4,279	6	宮城
5,966 (629)	6,126 (641)	11,832	52	53 (8)	60 (9)	2,339	3	田
6,917 (555)	7,016 (551)	12,603	56	108 (7)	117 (9)	2,181	5	山形
10,376 (983)	10,661 (988)	18,634	57	513 (48)	581 (54)	5,392	11	福島
13,802 (1,362)	13,937 (1,355)	25,108	56	800 (93)	820 (97)	5,916	14	茨城
10,928 (1,126)	10,976 (1,110)	19,488	56	448 (39)	513 (50)	5,129	10	栃木
9,687 (1,320)	9,863 (1,311)	21,626	46	429 (51)	468 (56)	6,316	7	群馬
21,703 (2,225)	22,297 (2,247)	60,639	37	414 (35)	450 (40)	10,860	4	埼玉
24,775 (2,278)	25,732 (2,342)	52,318	49	581 (44)	650 (49)	7,285	9	千葉
36,394 (2,824)	38,261 (2,943)	133,099	29	294 (28)	319 (33)	10,380	3	東京都
30,653 (2,884)	32,544 (2,986)	77,188	42	348 (26)	375 (30)	6,394	6	神奈川
13,144 (1,425)	13,894 (1,478)	24,301	57	355 (31)	396 (29)	4,057	10	新潟
4,901 (577)	5,030 (607)	8,866	57	127 (7)	142 (8)	1,563	9	山梨
12,385 (1,446)	12,565 (1,445)	24,885	50	184 (19)	211 (22)	3,620	6	長野
7,887 (688)	7,932 (671)	13,712	58	68 (7)	77 (8)	2,327	3	富山
8,498 (669)	8,661 (665)	15,435	56	190 (21)	201 (22)	2,106	10	石川
5,875 (515)	5,886 (507)	9,784	60	121 (4)	136 (4)	2,148	6	福井
11,208 (1,139)	11,326 (1,153)	19,710	57	365 (31)	402 (30)	4,784	8	岐阜
20,597 (1,748)	20,590 (1,722)	36,856	56	495 (28)	527 (26)	4,996	11	静岡県
35,160 (2,978)	36,071 (3,048)	72,232	50	385 (14)	482 (20)	10,359	5	愛知
10,282 (896)	10,733 (951)	19,551	55	364 (23)	395 (26)	3,874	10	三重
8,175 (984)	8,368 (987)	13,946	60	112 (6)	131 (10)	1,097	12	滋賀
14,044 (1,357)	14,743 (1,414)	30,415	48	361 (28)	408 (36)	3,316	12	京都
44,102 (3,308)	46,493 (3,401)	90,141	52	1,055 (62)	1,181 (71)	11,098	11	大阪
26,569 (2,119)	27,941 (2,200)	60,788	46	490 (18)	538 (22)	7,811	7	兵庫
8,548 (809)	8,851 (827)	15,325	58	227 (6)	257 (8)	1,712	15	奈良
5,526 (760)	5,611 (766)	11,984	47	84 (9)	88 (11)	2,488	4	和歌山
3,759 (332)	3,866 (337)	8,015	48	37 (3)	38 (3)	1,600	2	鳥取
5,061 (460)	5,139 (455)	9,079	57	88 (10)	92 (8)	2,122	4	島根
15,575 (1,149)	15,749 (1,159)	25,271	62	437 (20)	477 (21)	3,343	14	岡山
17,697 (1,745)	18,151 (1,786)	34,765	52	638 (40)	722 (45)	8,760	8	広島
8,568 (716)	8,839 (733)	18,541	48	308 (28)	343 (33)	5,140	7	山口
4,114 (305)	4,236 (304)	9,710	44	40 (3)	44 (2)	2,988	1	徳島
6,552 (664)	6,841 (708)	12,287	56	181 (33)	188 (32)	3,357	6	香川
9,021 (1,042)	9,118 (1,064)	17,742	51	246 (20)	254 (22)	4,026	6	愛媛
5,148 (618)	5,494 (648)	11,531	48	194 (33)	206 (34)	2,503	8	高知
38,134 (3,502)	38,834 (3,503)	66,522	58	1,396 (138)	1,534 (156)	12,617	12	福岡
4,704 (682)	4,811 (689)	11,793	41	175 (27)	185 (27)	3,573	5	佐賀
8,751 (978)	8,936 (966)	19,131	47	212 (17)	232 (15)	5,455	4	長崎
13,420 (1,232)	13,614 (1,225)	25,043	54	943 (97)	1,016 (105)	7,747	13	熊本
8,547 (816)	8,692 (794)	15,997	54	479 (55)	522 (57)	4,438	12	大分
7,497 (1,013)	7,741 (1,036)	15,267	51	322 (41)	369 (47)	4,512	8	宮崎
10,122 (1,250)	10,615 (1,307)	24,143	44	351 (40)	382 (43)	6,363	6	鹿児島
8,866 (1,741)	9,189 (1,778)	18,294	50	238 (39)	268 (44)	2,793	10	沖縄
644,835 (61,482)	665,176 (62,519)	1,363,142	49	17,109 (1,458)	18,888 (1,607)	233,022	8	合計

都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45 アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉市美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	160-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	462-0825	名古屋市北区大曾根3-17-20	052-908-8824	052-908-8353
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	536-0014	大阪市城東区鳴野西2丁目5-25	06-6964-5000	06-6964-5001
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0074	橿原市四分町252-1	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2-7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3番24号 北海道看護協会内1階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階 青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘2-4-55 岩手県看護研修センター1階 岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木2-3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル1階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄1-5-45 山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町1-20-24 福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館1階 茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階 栃木県看護協会内	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3 埼玉県看護協会内	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ (ナースバンク東京)	160-0023	新宿区西新宿4-2-19 東京都看護協会会館2階	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館5階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11 新潟県看護研修センター1階 新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1 富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町3-69 石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601 福井県看護協会会館1階	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺2-25-1 山梨県看護協会内1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭2-11-34 長野県看護協会会館内	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県民ふれあい会館第1棟5階 岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 パティオ3階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	462-0825	名古屋市北区大曾根3-17-20	052-908-7091	052-908-7092
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-10 三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路2-11-51 滋賀県看護研修センター 滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通鳥丸東入清水町375 ハートピア京都地下1階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鳴野西2-5-25 ナーシングアート大阪2階	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24 兵庫県看護協会会館1階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0074	橿原市四分町252-1	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318-1 看護研修センター1階 鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町7-11 看護研修センター1階 島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団4-39 岡山県看護研修センター3階	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2 広島県看護協会会館1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上石田2686 山口県看護研修会館本館1階 山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮1-329-18 徳島県看護協会内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会看護研修センター2階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町2-11-14 愛媛県看護協会内 愛媛看護研修センター1階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825-5 高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6 ながさき看護センター1階 長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町3-10-39 看護研修センター1階 熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1 看護研修会館1階 大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6 宮崎県看護協会1階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 看護研修会館1階 鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	鳥尻郡南風原町新川272-17 沖縄県看護研修センター1階 沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

公益社団法人富山県看護協会定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

(日看協への入会)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。
- (2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。

2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第8条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規程に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。

3 除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

(会員資格の喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第8条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。
- (2) 全正会員が同意したとき。

- (3) 当該会員が死亡したとき。

第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

- 2 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 日看協代議員及び予備代議員の選任
- (5) 理事及び監事の報酬等の額
- (6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。
- 3 前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。
- 4 総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

(議長)

第16条 総会に議長団を置く。

- 2 議長団は3名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。
- 3 議長は議長団がこれを定める。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(1) 会員の除名

(2) 監事の解任

(3) 定款の変更

(4) 解散

(5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議決権の代理行使)

第19条 正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

(書面による議決権の行使)

第20条 書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までには当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員

(役員の設置)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 役員の構成は次のとおりとする。
 - (1) 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師、会員外（以下「外部理事」という。）から各1名以上を含むものとする。
 - (2) 監事のうち1名以上を会員外（以下「外部監事」という。）とする。
- 3 前項第1号の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。
- 4 各理事について、各監事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第5条第12号に規定する特別利害関係を有しないものとする。
- 5 外部理事は次の全てを満たすものとする。
 - (1) 本会の業務執行理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の業務執行理事又は使用人であったことがない者
 - (2) 本会の正会員ではない者
- 6 外部監事は次の全てを満たすものとする。
 - (1) 本会の理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の理事又は使用人であったことがない者
 - (2) 本会の正会員ではない者

（役員の選任）

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
- 3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
- 4 第2項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

（役員の欠格事由）

第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。

- (1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
- (2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
- (3) 認定法第6条に該当する者
- (4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

（役員の資格喪失）

第25条 前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員の資格を喪失する。

(理事等の構成)

第26条 本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても同様とする。

2 他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても、同様とする。

(理事等との特殊の関係)

第27条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

5 常任理事は、業務を分担執行する。

6 副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

7 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

3 監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

- 4 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。
- 5 監事は、第3項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。
- 6 前項の規定による請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。
- 7 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告する。
- 8 監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

(役員任期)

- 第30条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
- 2 前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。
 - 3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。
 - 4 前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後8年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。
 - 5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
 - 6 理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

- 第31条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

- 第32条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。
- 2 役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

(損害賠償責任)

第33条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会对し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。
- 3 第2項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理 事 会

(構成)

第34条 本会に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し議長となる。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

(決議)

第37条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

第39条 本会に次の職能委員会を置く。

(1) 保健師職能委員会

(2) 助産師職能委員会

(3) 看護師職能委員会

2 職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。

3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。

4 各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。

5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

第8章 委員会

(委員会)

第40条 この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

2 委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。

3 委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。

4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第9章 支部

(支部)

第41条 本会に支部を設置する。

2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第10章 事務局

(事務局)

第42条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 予算等については、定時総会に報告するものとする。
- 3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

(会計の規程等)

第47条 会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。

2 特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第49条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第5条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附 則

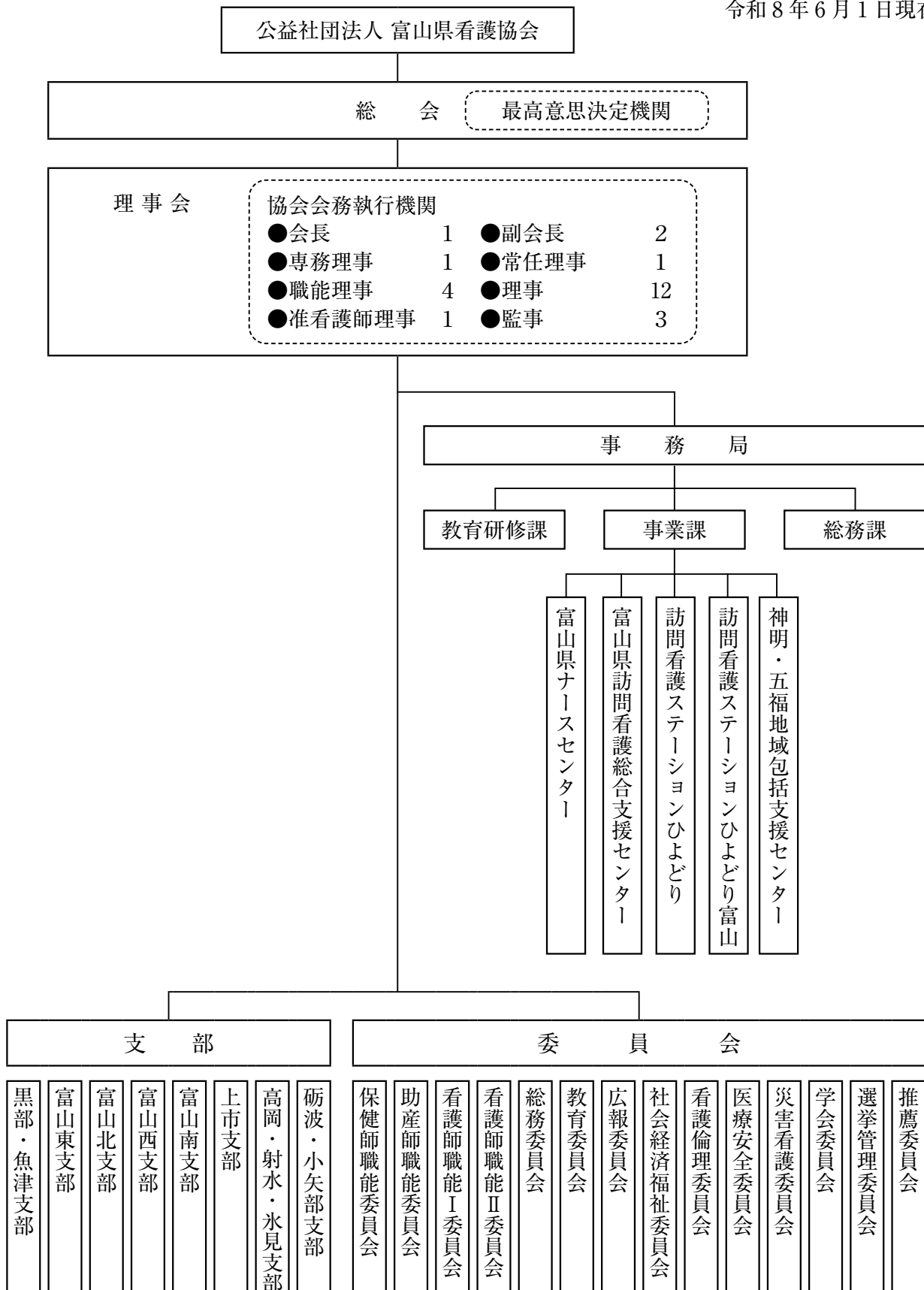
- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の代表理事は三谷順子とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

附 則（令和7年6月20日）

この定款は、令和7年6月20日から施行し、第22条第2項第1号の外部理事については、令和8年度改選役員の選任に係る事項についてから適用する。

公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和8年6月1日現在



公益社団法人 富山県看護協会職員名簿

(令和8年6月1日現在)

事務局

事務局長 熊野 真

総務課

主任 小杉 理恵
職員 石田 三緒子 中林 聡子
非常勤職員 古川 恵子

教育研修課

専任教員 佐伯 久恵
職員 島崎 潤子
非常勤職員 河浦 恭子

事業課

富山県ナースセンター

センター長 境 信子
主任 黒田 麻衣子
非常勤職員 新村 千晶 城生 裕子 三日市 麻紀子
田村 雅子 濱井 郁美 清水 阿佐美(兼)
野末 法子

富山県訪問看護総合支援センター

センター長 川岸 孝美
職員 加賀 美希
非常勤職員 清水 阿佐美 中嶋 育美

訪問看護ステーションひよどり

管理者 森 陽子
主任 帯刀 あづさ 草島 文子 宮脇 真未
非常勤職員 干場 嘉代子

訪問看護ステーションひよどり富山

管理者 廣田 恭子
主任 宮田 美香子
職員 會田 和美
非常勤職員 河岸 輝子

神明・五福地域包括支援センター

管理者 本田 理恵子
主任 佐々木 智子 宮本 恵理子 松林 真奈

日本看護協会歌

光
求
め
て

補作詩・作曲 小椋 佳

大空のもと 光求めて
看護の心 胸深く
両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

さざなみに揺れ 光求めて
看護の願い 胸熱く
つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

そよ風に乗り 光求めて
看護の祈り 胸清く
枕べにたつ 花の香りは
ほのかに匂う 優しく匂う
今 この時 そして明日に
今 この時 そして明日に

かんごちゃん 
「看護の日」キャラクター



公益社団法人 富山県看護協会

〒 930-0885 富山市鶴島字川原 1907-1

TEL 076-433-5680 FAX 076-433-6428